

シラバス

2023 年度版

健康科学部
理学療法学科

了徳寺大学

2023 年 5 月 23 日

講義コード	0002701
講義名	スポーツ理論と実習I〔理〕
(副題)	
講義開講時期	前期
講義区分	実習
基準単位数	1
時間	30.00
対象学年	1
必修/選択	必修

担当教員

氏名
野田 哲由
上岡 尚代
田辺 達磨
角田 佳貴

総合学習目標

身体と精神を一体として捉えた運動についての知識・理解と運動の合理的な実践を通して、生涯にわたって計画的、継続的に運動を親しむ資質や能力を高め、明るく豊かで活力のある生活を営む態度を育てる。

理学療法学科DP3-①に該当する。

個別学習目標

- 1) 各種スポーツ（サッカー、バスケットボール、テニス、バドミントン、フライングディスク）の基礎的技術を獲得する
- 2) 各種スポーツのルールを理解して、ゲームを実施できる
- 3) チームスポーツを通して、パートナーまたはチームメイトと円滑なコミュニケーションがとれる
- 4) 運動を行うことの楽しさを知り、生涯にわたって日常生活の一部として運動を取り入れることができる

授業計画

第1回	担当教員	野田 哲由 田辺 達磨 角田 佳貴 オリエンテーション【野田90分・田辺90分・角田90分】
	内容	種目分けと種目別ガイダンス、種目別の連絡、3クラスの分けて実施する（体育館、グラウンド、総合公園他）
第2回	担当教員	野田 哲由 田辺 達磨 角田 佳貴 球技系競技（サッカー、バスケットボール、テニス）①【野田90分・田辺90分・角田90分】
	内容	基本的な個人技術の導入
		野田 哲由

第3回	担当 教員	田辺 達磨 角田 佳貴 球技系競技（サッカー、バスケットボール、テニス）② 【野田90分・田 辺90分・角田90分】
	内容	基本的な集団技術の習得
第4回	担当 教員	野田 哲由 田辺 達磨 角田 佳貴 球技系競技（サッカー、バスケットボール、テニス）③ 【野田90分・田 辺90分・角田90分】
	内容	ルールの理解とゲームの実施
第5回	担当 教員	野田 哲由 田辺 達磨 角田 佳貴 球技系競技（サッカー、バスケットボール、テニス）④ 【野田90分・田 辺90分・角田90分】
	内容	攻撃を中心に・コミュニケーション
第6回	担当 教員	野田 哲由 田辺 達磨 角田 佳貴 球技系競技（サッカー、バスケットボール、テニス）⑤ 【野田90分・田 辺90分・角田90分】
	内容	守備を中心に・コミュニケーション
第7回	担当 教員	野田 哲由 田辺 達磨 角田 佳貴 球技系競技（サッカー、バスケットボール、テニス）⑥ 【野田90分・田 辺90分・角田90分】
	内容	攻守の切り替えを中心に・コミュニケーション
第8回	担当 教員	野田 哲由 田辺 達磨 角田 佳貴 球技系競技（サッカー、バスケットボール、テニス）⑦ 【野田90分・田 辺90分・角田90分】
	内容	審判・ルール・コミュニケーション
第9回	担当 教員	野田 哲由 田辺 達磨 角田 佳貴 ラケット・その他競技（バドミントン・フライングディスク）① 【野 田90分・田辺90分・角田90分】
	内容	基本的な個人技術の導入
第10回	担当 教員	野田 哲由 田辺 達磨 角田 佳貴 ラケット・その他競技（バドミントン・フライングディスク）② 【野 田90分・田辺90分・角田90分】
	内容	基本的な個人技術の習得
第11回	担当 教員	野田 哲由 田辺 達磨 角田 佳貴 ラケット・その他競技（バドミントン・フライングディスク）③ 【野 田90分・田辺90分・角田90分】
	内容	ルールの理解とゲームの実施

第12回	担当 教員	野田 哲由 田辺 達磨 角田 佳貴 ラケット・その他競技（バドミントン・フライングディスク）④ 【野田90分・田辺90分・角田90分】
	内容	攻撃を中心に・コミュニケーション
第13回	担当 教員	野田 哲由 田辺 達磨 角田 佳貴 ラケット・その他競技（バドミントン・フライングディスク）⑤ 【野田90分・田辺90分・角田90分】
	内容	守備を中心に・コミュニケーション
第14回	担当 教員	野田 哲由 田辺 達磨 上岡 尚代 角田 佳貴 ラケット・その他競技（バドミントン・フライングディスク）⑥ 【野田90分・田辺90分・角田90分/上岡90分】
	内容	攻守の切り替えを中心に・コミュニケーション
第15回	担当 教員	野田 哲由 田辺 達磨 上岡 尚代 角田 佳貴 ラケット・その他競技（バドミントン・フライングディスク）⑦ 【野田90分・田辺90分・角田90分/上岡90分】
	内容	審判・ルール・コミュニケーション

評価方法

サッカー、バスケットボール2種目の基礎技術の実技テストによって評価する。①サッカー・・・ボールリフティング、ドリブル等の基礎技術（授業時間に指示する）50%②バスケットボール・・・ドリブルからのレイアップシュート50%

教科書

テキスト なし

参考文献 イラストでみる最新スポーツルール2015/大修館書店/ 840円+消費税

参考書

テキスト なし

参考文献 イラストでみる最新スポーツルール2015/大修館書店/ 840円+消費税

実務経験の有無

有

その他

①運動ができる服装を準備すること

②雨天などで屋外での実施が困難な場合、集中講義形式による補講を実施する場合がある。

③履修者多数の場合には、シラバスの一部を変更する場合がある。また、外部グラウンドにて集中講義を開催する場合がある。(ソフトボール大会等)

担当教員実務経験の有無，有

クラスルーム

<https://classroom.google.com/c/NDUyNTg5OTc4ODk5>

講義コード	0002801
講義名	スポーツ理論と実習II〔理〕
(副題)	
講義開講時期	後期
講義区分	実習
基準単位数	1
時間	30.00
対象学年	1・2
必修/選択	選択

担当教員

氏名
田辺 達磨
上岡 尚代
野田 哲由
角田 佳貴

総合学習目標

身体と精神を一体として捉えた運動についての知識・理解と運動の合理的な実践を通して、生涯にわたって計画的、継続的に運動を親しむ資質や能力を高め、明るく豊かで活力のある生活を営む態度を育てる。

理学療法学科DP3-①に該当する。

個別学習目標

- 1) 各種スポーツ（サッカー、バスケットボール、テニス、バドミントン、卓球、フライングディスク）の基礎的技術を獲得する
- 2) 各種スポーツのルールを理解して、ゲームを実施できる
- 3) チームスポーツを通して、パートナーまたはチームメイトと円滑なコミュニケーションがとれる
- 4) 自身の体力レベルを全国平均と比較して、自身の体力の課題を知る。
- 5) 運動を行うことの楽しさを知り、生涯にわたって日常生活の一部として運動を取り入れることができる

授業計画

第1回	担当教員	田辺 達磨 野田 哲由 角田 佳貴 オリエンテーション 【野田90分・田辺90分・角田90分】
	内容	種目分けと種目別ガイダンス、種目別の連絡 3つのグループに分けてオリエンテーションを実施する
第2回	担当教員	田辺 達磨 野田 哲由 角田 佳貴 球技系競技（サッカー、バスケットボール、テニス）① 【野田90分・田

		辺90分・角田90分】
	内容	基本的な個人技術の導入。野田グループ；総合公園グラウンド、田辺グループ；体育館、角田グループ；体育館、または総合公園グラウンド
第3回	担当教員	田辺 達磨 野田 哲由 角田 佳貴 球技系競技（サッカー、バスケットボール、テニス）② 【野田90分・田辺90分・角田90分】
	内容	基本的な集団技術の習得。野田グループ；総合公園グラウンド、田辺グループ；体育館、角田グループ；体育館、または総合公園グラウンド
第4回	担当教員	田辺 達磨 野田 哲由 角田 佳貴 球技系競技（サッカー、バスケットボール、テニス）③ 【野田90分・田辺90分・角田90分】
	内容	ルールの理解とゲームの実施。野田グループ；総合公園グラウンド、田辺グループ；体育館、角田グループ；体育館、または総合公園グラウンド
第5回	担当教員	田辺 達磨 野田 哲由 角田 佳貴 球技系競技（サッカー、バスケットボール、テニス）④ 【野田90分・田辺90分・角田90分】
	内容	守備を中心としたゲーム；他者との連携・コミュニケーション。野田グループ；総合公園グラウンド、田辺グループ；体育館、角田グループ；体育館、または総合公園グラウンド
第6回	担当教員	田辺 達磨 野田 哲由 角田 佳貴 球技系競技（サッカー、バスケットボール、テニス）⑤ 【野田90分・田辺90分・角田90分】
	内容	攻撃を中心としたゲーム；他者との連携・コミュニケーション。野田グループ；総合公園グラウンド、田辺グループ；体育館、角田グループ；体育館、または総合公園グラウンド
第7回	担当教員	田辺 達磨 野田 哲由 角田 佳貴 ラケット・その他競技（バドミントン・フライングディスク）① 【野田90分・田辺90分・角田90分】
	内容	基本的な個人技術の導入。野田、田辺グループ入れ替え。野田グループ；総合公園グラウンド、田辺グループ；体育館、角田グループ；体育館、または総合公園グラウンド
第8回	担当教員	田辺 達磨 野田 哲由 角田 佳貴 ラケット・その他競技（バドミントン・フライングディスク）② 【野田90分・田辺90分・角田90分】
	内容	基本的な個人技術の習得。野田グループ；総合公園グラウンド、田辺グループ；体育館、角田グループ；体育館、または総合公園グラウンド
第9回	担当教員	田辺 達磨 野田 哲由 角田 佳貴 ラケット・その他競技（バドミントン・フライングディスク）③ 【野田90分・田辺90分・角田90分】

	内容	ルールの理解とゲームの実施。野田グループ；総合公園グラウンド、田辺グループ；体育館、角田グループ；体育館、または総合公園グラウンド
第10回	担当教員	田辺 達磨 野田 哲由 角田 佳貴 ラケット・その他競技（バドミントン・フライングディスク）④【野田90分・田辺90分・角田90分】
	内容	守備を中心としたゲーム：他者との連携・コミュニケーション。野田グループ；総合公園グラウンド、田辺グループ；体育館、角田グループ；体育館、または総合公園グラウンド
第11回	担当教員	田辺 達磨 野田 哲由 角田 佳貴 ラケット・その他競技（バドミントン・フライングディスク）⑤【野田90分・田辺90分・角田90分】
	内容	攻撃を中心としたゲーム：他者との連携・コミュニケーション。野田グループ；総合公園グラウンド、田辺グループ；体育館、角田グループ；体育館、または総合公園グラウンド
第12回	担当教員	田辺 達磨 野田 哲由 角田 佳貴 新体力テスト①【野田90分・田辺90分・角田90分】
	内容	握力等室内種目。野田・田辺・角田グループとも体育館
第13回	担当教員	田辺 達磨 野田 哲由 新体力テスト②【野田90分・田辺90分・角田90分】
	内容	ハンドボール、50M走屋外種目。野田・田辺・角田グループとも総合公園グラウンド
第14回	担当教員	田辺 達磨 野田 哲由 上岡 尚代 角田 佳貴 新体力テスト③【野田90分・田辺90分・角田90分・上岡90分】
	内容	20Mシャトルラン。野田・田辺・角田・上岡グループとも総合公園グラウンド
第15回	担当教員	田辺 達磨 野田 哲由 上岡 尚代 角田 佳貴 新体力テストレポート作成（情報処理室）【野田90分・田辺90分・角田90分・上岡90分】
	内容	12回、13回、14回目に行った体力測定の結果のレポート作成。野田・角田グループ；図書館PCルーム、田辺・上岡グループ；情報処理室

評価方法

新体力テストを実施して、そのスコアの評価レポート及び全国の同じ年代の体力結果と比較してレポートを作成。提出レポートの評価（100%）

教科書

テキストなし

参考文献 イラストでみる最新スポーツルール2015/大修館書店/840円+消費税

参考書

テキスト なし

参考文献 イラストでみる最新スポーツルール2015/大修館書店/840円+消費税

オフィスアワー

適宜うけつける。

その他

①運動ができる服装を準備すること

②雨天などで屋外での実施が困難な場合、集中講義形式による補講を実施する場合がある。その場合は体育委員を通じて連絡する。

③履修者多数の場合には、シラバスの一部を変更する場合がある。また、外部グラウンドにて集中講義を開催する場合がある。(ソフトボール大会等)

毎回、3グループに分けて行う。野田グループ；浦安市総合公園グラウンド。田辺グループ；体育館。角田グループ；体育館、または総合公園グラウンド。

担当教員実務経験の有無，有

講義コード	0003301
講義名	文化人類学〔理〕
(副題)	
講義開講時期	前期
講義区分	講義
基準単位数	2
時間	30.00
対象学年	1・2・3
必修/選択	選択

担当教員

氏名
中畑 充弘

総合学習目標

文化というのは一般的、普遍的な原理が、世界中に通用するという立場に立つのではありません。むしろ個別の社会、個別の生き方から理論を見い出していく姿勢をとります。

文化人類学は、人間とそれを取り巻く社会組織を観察するうえで、個別社会学である政治学・経済学・経営学等とは趣を異にする「全体的志向」(holistic approach) [レヴィ=ストロース1972] という立場をとってきました。

本講義では、人間とは一体、何であるのか？これまで何をしてきたのか？これからどこに向かっていこうとするのか？現在も人類をとりまく諸状況がどんなに激動・変転・混沌の環境下只中にあるも私たちは自らを捉え返し何かを希求する強い衝動に駆られるのは何故か？そうしたことを念頭に文化人類学上の知識・理論・方法・技術を紹介します。

理学療法学科 DP3-② および DP4-①に該当し、
DP3-② 感性豊かな人間性と倫理観を備え、人間の尊厳を重視することを学びます。
DP4-① 異文化への理解を深め、国際的な視野を持つことができるようにします。

以上のように、異文化理解・他者理解を通じて「人間理解」を深め、社会科学ならびに人文科学的な教養を身につけます。

個別学習目標

「人類学」・「社会学」に限らず全ての人文科学・社会科学領域の subject および object は人間です。文化人類学は、文化の研究が目的なのではなくて、それはあくまで手段であり、目的は人間の理解であり、どのように生き生きとした人間像を描くことができるかという認識を志向してきました。そして大事なことは、あなたがた若い学生が、未来によりよい社会・文化を担い、創っていく主体となるという自覚をもつことです。

①他者や異文化に触れることで、自己を捉え返し、世界を問い直すという思考力の醸成、感性の涵養ができるようになります。

②グローバル・ボーダレス・ダイバーシティ等「文化多様性」尊重の認識に立脚した国際的な視野を養うことができます。

準備学修

とくに予習する必要はありませんが、授業当日の内容の復習をおこたらないようにしてください。

日頃から国際社会におけるニュース・メディアを通じてグローバルな視点から、諸事象を深く精査したり探求するクセを身につけ、思考を連続させる訓練をおこなうように心掛けてください。

さらに、自身のありふれた日常と、どう繋がっているのかを思索してみてください。

授業計画

第1回	担当教員	中畑 充弘 人間・文化・民族とは何か？
	内容	種族・人種概念 言語・思考の発生
第2回	担当教員	中畑 充弘 現代と文化人類学
	内容	社会と宗教 文化多様性と相対性認識 対立と連帯
第3回	担当教員	中畑 充弘 採集狩猟民と牧畜農耕民
	内容	バンド社会 アニミズム シャーマニズム トーテムズム
第4回	担当教員	中畑 充弘 贈与交換の人類学
	内容	マリノウスキーとモース レヴィストロースの交換論
第5回	担当教員	中畑 充弘 婚姻・家族・親族
	内容	性の禁忌（インセストタブー） 外婚／内婚 忌避／冗談関係
第6回	担当教員	中畑 充弘 祭祀儀礼と通過儀礼
	内容	呪術・妖術・邪術 超自然的資力 神話 コスモロジー
第7回	担当教員	中畑 充弘 シンボリズムと世界観
	内容	内／外 浄／不浄 聖／俗 あの世／この世 コミュニタス
第8回	担当教員	中畑 充弘 死者儀礼と祖先崇拜
	内容	霊魂と身体 憑依・供犠・再生観 植物状態と脳死状態
第9回	担当教員	中畑 充弘 文化変容の過程
	内容	文化の接触・伝播・拒否 モルガンの図式 新進化主義
第10回	担当教員	中畑 充弘 構造主義・機能主義
	内容	ラドクリフ＝ブラウン マリノフスキー レヴィ＝ストロース
第11回	担当教員	中畑 充弘 ジェンダーとセクシュアリティ
	内容	クラ交換 第3の性 トランスジェンダー
第12回	担当教員	中畑 充弘 医療と文化・性と生殖
	内容	民俗生殖観 人工授精と代理母 ジェニターとペイター
第13回	担当教員	中畑 充弘 観光と文化
	内容	文化遺産とノスタルジア グリーン・ツーリズム 地域活性化と開発
第14回	担当教員	中畑 充弘 文化人類学と民族誌
	内容	オリエンタリズム批判 ポストモダン的人类学 文化表象
第15回	担当教員	中畑 充弘 人間とネットワーク
	内容	血縁 地縁 社縁 女縁 情報縁

評価方法

定期試験 80%、授業内の課題「小レポート」等 10%に加え「授業への意欲的参加・建設的な意見」10%等の平常点を加算します。

教科書

テキスト：『沖縄 備瀬』著者：中畑 充弘 出版社：新典社 定価：1,540円

講義形式は、板書・パワーポイント・VTR（世界の諸民族）その他、視聴覚資料等を中心として適宜レジュメを配布します。

参考文献：『西太平洋の遠洋航海者』著者：マリノウスキー 訳者：増田義郎 出版社：講談社学術文庫 定価：1,458円，『ザンデ族の妖術・託宣・呪術』著者：エヴァンス＝プリチャード 訳者：向井元子 出版社：みすず書房 定価：28,000円，『高地ビルマの政治体系』著者：リーチ 訳者：関本照夫 出版社：弘文堂 定価：8,000円，『金枝篇』著者：フレーザー 訳者：吉岡晶子 出版社：講談社学術文庫 定価：1,080円，『宗教生活の原初形態』著者：デュルケム 訳者：山崎亮 出版社：ちくま学芸文庫 定価：1,620円，『文化の型』著者：ベネディクト 訳者：米山俊直 出版社：講談社学術文庫 定価：2,272円，『親族の基本構造』著者：レヴィ＝ストロース 訳者：福井和美 出版社：青弓社 定価：15,120円，『社会構造』著者：マードック 訳者：内藤莞爾 出版社：新泉社 定価：7,560円，『母権』著者：シュミット 訳者：山田隆治 出版社：平凡社 定価：800円。他、翻訳書はないが、原著でラドクリフ＝ブラウン『アンダマン島民』，ミード『アドミラルティ諸島の親族』，ボアズ『セントラル・エスキモー』，クローバー『人類学』，モルガン『人類の血縁と婚姻の諸体系』にあたりとよい。

参考書

テキスト：『沖縄 備瀬』著者：中畑 充弘 出版社：新典社 定価：1,540円

講義形式は、板書・パワーポイント・VTR（世界の諸民族）その他、視聴覚資料等を中心として適宜レジュメを配布します。

参考文献：『西太平洋の遠洋航海者』著者：マリノウスキー 訳者：増田義郎 出版社：講談社学術文庫 定価：1,458円，『ザンデ族の妖術・託宣・呪術』著者：エヴァンス＝プリチャード 訳者：向井元子 出版社：みすず書房 定価：28,000円，『高地ビルマの政治体系』著者：リーチ 訳者：関本照夫 出版社：弘文堂 定価：8,000円，『金枝篇』著者：フレーザー 訳者：吉岡晶子 出版社：講談社学術文庫 定価：1,080円，『宗教生活の原初形態』著者：デュルケム 訳者：山崎亮 出版社：ちくま学芸文庫 定価：1,620円，『文化の型』著者：ベネディクト 訳者：米山俊直 出版社：講談社学術文庫 定価：2,272円，『親族の基本構造』著者：レヴィ＝ストロース 訳者：福井和美 出版社：青弓社 定価：15,120円，『社会構造』著者：マードック 訳者：内藤莞爾 出版社：新泉社 定価：7,560円，『母権』著者：シュミット 訳者：山田隆治 出版社：平凡社 定価：800円。他、翻訳書はないが、原著でラドクリフ＝ブラウン『アンダマン島民』，ミード『アドミラルティ諸島の親族』，ボアズ『セントラル・エスキモー』，クローバー『人類学』，モルガン『人類の血縁と婚姻の諸体系』にあたりとよい。

その他

その他、隣接社会/人文科学領域として「世界の歴史と文化」「人間関係実践演習」、「伝承東洋医学概論」を合わせて受講しておくことが望ましいでしょう。また「民族学」「民俗学」等に関連する図書を購読することもお薦めします。

講義コード	0004601
講義名	情報処理演習I (ICTを含む) [理A]
(副題)	
講義開講時期	前期
講義区分	演習
基準単位数	1
時間	30.00
対象学年	1
必修/選択	必修

担当教員

氏名

岡部 拓哉

総合学習目標

今日では、コンピュータを操作し基本的な情報処理を行えることは、社会人の必須条件であると言っても言い過ぎではありません。医療・介護・健康分野においても、ネットワーク化や先進的なICT活用の推進に伴い、医療従事者はICTを活用するための基礎的な能力を有していることが求められています。

パソコンは大学での学習を効率的に行う上でも必要不可欠です。講義で学習した内容やインターネットなどを通じて収集した情報、様々なデータを表計算ソフトを使って解析した結果などをレポートや論文にまとめたり、その内容をプレゼンテーションスライドのかたちに簡潔にまとめて発表したりする機会が頻繁にあるからです。この授業では、そういった作業に必要な技術（ワープロソフトの利用方法、電子メール・ウェブの活用法、表計算ソフトの利用法、プレゼンテーションスライドの作成法、ファイル管理、ホームページ作成の基礎）を身につけることが目的です。

(該当するディプロマポリシー：健康科学部DP3-①)

個別学習目標

- 1) オペレーティングシステムの基本操作ができる。
- 2) ワードプロソフト (Microsoft Word 2016) を使用して文書を作成し編集できる。
- 3) 電子メールの送受信、インターネットによる情報検索ができる。
- 4) 表計算ソフト (Microsoft Excel 2016) を用いて、簡単な表計算とデータのグラフ化ができる。
- 5) プレゼンテーションスライド作成ソフト (Microsoft PowerPoint 2016) が使用できる。
- 6) 基本的なHTML言語を理解して、ホームページの成り立ちが理解できる。
- 7) 様々なソフトで作成したファイルを管理できる。

授業計画

第1回	担当教員	岡部 拓哉 ガイダンス、オペレーティングシステムの基本操作
第2回	担当教員	岡部 拓哉 ワープロソフトの基本 (1) 文字入力
第3回	担当教員	岡部 拓哉

		電子メールの送受信
第4回	担当教員	岡部 拓哉 ワープロソフトの基本（2）文書の作成、タイピング練習
第5回	担当教員	岡部 拓哉 ワープロソフトの基本（3）文書の編集
第6回	担当教員	岡部 拓哉 ワープロソフトの基本（4）表の作成・編集
第7回	担当教員	岡部 拓哉 ワープロソフトの基本（5）図の挿入・編集
第8回	担当教員	岡部 拓哉 ワープロソフトの基本（6）図形描画
第9回	担当教員	岡部 拓哉 表計算ソフトの基本（1）簡単な表計算、データのグラフ化
第10回	担当教員	岡部 拓哉 表計算ソフトの基本（2）簡単な統計処理
第11回	担当教員	岡部 拓哉 インターネットの活用法
第12回	担当教員	岡部 拓哉 プレゼンテーションスライド作成の基本
第13回	担当教員	岡部 拓哉 自由にテーマを設定してのプレゼンテーションスライド作成
第14回	担当教員	岡部 拓哉 ファイル管理
第15回	担当教員	岡部 拓哉 HTML言語の基礎と簡単なホームページ作成

評価方法

授業中に与えた課題と、必要に応じて課される宿題の完成度をもとに成績を評価する。課題（授業内課題と宿題の両方）の未提出が1/3を超えた場合は不合格となる。

教科書

テキスト

『Office2013／2016によるコンピュータ活用入門』 坂本正徳、近藤良彦 ムイスリ出版 ¥1,500

参考書

テキスト

『Office2013／2016によるコンピュータ活用入門』 坂本正徳、近藤良彦 ムイスリ出版 ¥1,500

その他

- 内容は初心者にもやさしいレベルに設定します。
- 必要に応じて課される宿題を消化すると、その日の復習になります。
- パソコンは楽しくやれるはずだし、その方がよく身につきます。なるべく楽しみながら取り組めるテーマを用意したいと思っています。

担当教員実務経験の有無， 有

講義コード	0004602
講義名	情報処理演習I (ICTを含む) [理B]
(副題)	
講義開講時期	前期
講義区分	演習
基準単位数	1
時間	30.00
対象学年	1
必修/選択	必修

担当教員

氏名
西川 哲夫

総合学習目標

今日では、コンピュータを操作し基本的な情報処理を行えることは、社会人の必須条件であると言っても言い過ぎではありません。医療・介護・健康分野においても、ネットワーク化や先進的なICT活用の推進に伴い、医療従事者はICTを活用するための基礎的な能力を有していることが求められています。

パソコンは大学での学習を効率的に行う上でも必要不可欠です。講義で学習した内容やインターネットなどを通じて収集した情報、様々なデータを表計算ソフトを使って解析した結果などをレポートや論文にまとめたり、その内容をプレゼンテーションスライドのかたちに簡潔にまとめて発表したりする機会が頻繁にあるからです。この授業では、そういった作業に必要な技術（ワープロソフトの利用方法、電子メール・ウェブの活用法、表計算ソフトの利用法、プレゼンテーションスライドの作成法、ファイル管理、ホームページ作成の基礎）を身につけることが目的です。

(該当するディプロマポリシー：健康科学部DP3-①)

個別学習目標

- 1) オペレーティングシステムの基本操作ができる。
- 2) ワードプロソフト (Microsoft Word 2016) を使用して文書を作成し編集できる。
- 3) 電子メールの送受信、インターネットによる情報検索ができる。
- 4) 表計算ソフト (Microsoft Excel 2016) を用いて、簡単な表計算とデータのグラフ化ができる。
- 5) プレゼンテーションスライド作成ソフト (Microsoft PowerPoint 2016) が使用できる。
- 6) 基本的なHTML言語を理解して、ホームページの成り立ちが理解できる。
- 7) 様々なソフトで作成したファイルを管理できる。

授業計画

第1回	担当教員	西川 哲夫 ガイダンス、オペレーティングシステムの基本操作
第2回	担当教員	西川 哲夫 ワープロソフトの基本 (1) 文字入力
第3回	担当教員	西川 哲夫

		電子メールの送受信
第4回	担当教員	西川 哲夫 ワープロソフトの基本（2）文書の作成、タイピング練習
第5回	担当教員	西川 哲夫 ワープロソフトの基本（3）文書の編集
第6回	担当教員	西川 哲夫 ワープロソフトの基本（4）表の作成・編集
第7回	担当教員	西川 哲夫 ワープロソフトの基本（5）図の挿入・編集
第8回	担当教員	西川 哲夫 ワープロソフトの基本（6）図形描画
第9回	担当教員	西川 哲夫 表計算ソフトの基本（1）簡単な表計算、データのグラフ化
第10回	担当教員	西川 哲夫 表計算ソフトの基本（2）簡単な統計処理
第11回	担当教員	西川 哲夫 インターネットの活用法
第12回	担当教員	西川 哲夫 プレゼンテーションスライド作成の基本
第13回	担当教員	西川 哲夫 自由にテーマを設定してのプレゼンテーションスライド作成
第14回	担当教員	西川 哲夫 ファイル管理
第15回	担当教員	西川 哲夫 HTML言語の基礎と簡単なホームページ作成

評価方法

授業中に与えた課題と、必要に応じて課される宿題の完成度をもとに成績を評価する。課題（授業内課題と宿題の両方）の未提出が1/3を超えた場合は不合格となる。

教科書

テキスト

『Office2013／2016によるコンピュータ活用入門』 坂本正徳、近藤良彦 ムイスリ出版 ¥1,500

その他

- 内容は初心者にもやさしいレベルに設定します。
- 必要に応じて課される宿題を消化すると、その日の復習になります。
- パソコンは楽しくやれるはずだし、その方がよく身につきます。なるべく楽しみながら取り組めるテーマを用意したいと思っています。

担当教員実務経験の有無, 有

講義コード	0004802
講義名	総合英語I[火1]
(副題)	
講義開講時期	前期
講義区分	講義
基準単位数	1
時間	30.00
対象学年	1
必修/選択	必修

担当教員

氏名
林 響子

総合学習目標

高校段階までの学習内容を基礎に、「読む、聞く、書く、話す」という英語の4技能を伸ばし、英語で基礎的なコミュニケーションをとる力を養うことに重点を置く。主に医療分野に関する英文の読解を通じて、基礎となる文法、語彙、語法の増強を行うとともに、リスニングや発音練習を通じて英語の音にも習熟する。さらに、会話練習や基本的な英作文を行って英語で表現する力を身につける。
健康科学部DP 1-②に該当する。

個別学習目標

この授業では、基礎的な英文法を確認し、英語を読む能力を高めること、加えて医療に関わる英語表現を身につけることを目標とする。医療英語に特有の単語の確認から始め、医療に関わる会話を読み、さらに聴き取り・会話の練習を行うことで英語の構造や音に馴れ、意味を把握できるようにする。繰り返し演習を行うことを通じて、重要事項を含んだ英文を確実に理解し、英語の基礎を身につける。
また、Unit終了時に小テストを行い、理解度の確認をはかる。

準備学修

毎回指定された部分の予習（単語調べと和訳：30分程度）と復習（和訳の確認と音声を聞き返す：30分程度）をしっかりと行うことが必要となる

授業計画

第1回	担当教員	林 響子 授業の導入
	内容	英語で自己紹介、授業の説明
第2回	担当教員	林 響子 Unit 1 May I Help you? 初心受付の流れを学ぶ① 症状を伝える基本の表現を学ぶ
	内容	Listening & Writing
第3回	担当教員	林 響子 Unit 1 May I Help you? 初心受付の流れを学ぶ① 症状を伝える基本の表現を学ぶ
	内容	Reading
第4回	担当教員	林 響子 Unit 1 May I Help you? 初心受付の流れを学ぶ① 症状を伝える基本の表現を学ぶ
	内容	Further Study
		林 響子

第5回	担当教員	Unit 2 Where do you Live? 初心受付の流れを学ぶ② 初診登録に必要な表現を学ぶ
	内容	Listening & Writing
第6回	担当教員	林 響子 Unit 2 Where do you Live? 初心受付の流れを学ぶ② 初診登録に必要な表現を学ぶ
	内容	Reading
第7回	担当教員	林 響子 Unit 2 Where do you Live? 初心受付の流れを学ぶ② 初診登録に必要な表現を学ぶ
	内容	Further Study
第8回	担当教員	林 響子 Unit 3 Do you Have an Insurance Card? 初心受付の流れを学ぶ③ 保険に関する表現を学ぶ
	内容	Listening & Writing
第9回	担当教員	林 響子 Unit 3 Do you Have an Insurance Card? 初心受付の流れを学ぶ③ 保険に関する表現を学ぶ
	内容	Reading
第10回	担当教員	林 響子 Unit 3 Do you Have an Insurance Card? 初心受付の流れを学ぶ③ 保険に関する表現を学ぶ
	内容	Further Study
第11回	担当教員	林 響子 Unit 4 What Department do you Want to Visit? 患者を案内する 各診療科の名称を学ぶ
	内容	Listening & Writing
第12回	担当教員	林 響子 Unit 4 What Department do you Want to Visit? 患者を案内する 各診療科の名称を学ぶ
	内容	Reading
第13回	担当教員	林 響子 Unit 4 What Department do you Want to Visit? 患者を案内する 各診療科の名称を学ぶ
	内容	Further Study
第14回	担当教員	林 響子 Unit 5 What are your Symptoms? 患者の症状を聞く 風邪症状の表現を学ぶ
	内容	Listening & Writing
第15回	担当教員	林 響子 学期のまとめ
	内容	総合復習

評価方法

総合復習試験(50%)、小テスト(20%)、授業内での発表(10%)、プレイスメントテスト (20%) の合計 (100%) で評価する。

教科書

Check-Up! Basic English for Nursing (基礎から学ぶやさしい看護英語)

出版社:金星堂

著者:樋口晶彦ほか

定価:2090円

参考書
中学・高校6年間の英語をこの1冊でざっと復習する 出版社:KADOKAWA/中経出版 著者:稲田一 定価:1210円
オフィスアワー
木曜4限・502研究室
実務経験の有無
有
その他
英和辞典を毎回の授業に必ず持参すること。電子辞書を使用する者は、使い方を理解した上で使用すること。携帯電話等の辞書は一切認めない。授業態度の悪い者、教科書や辞書を持参しない者は授業内での発表点を加算しない。

講義コード	0004803
講義名	総合英語I[火1]
(副題)	
講義開講時期	前期
講義区分	講義
基準単位数	1
時間	30.00
対象学年	1
必修/選択	必修

担当教員

氏名
鄧 瑩

総合学習目標

実際の医療の現場で用いられる英語表現・語彙を学び、リスニングや会話の練習をし、医療に関する英文を理解することで、医療の現場で意志の疎通ができる英語力を身につけます。特に医療従事者として英語で対応し、症状を聞き、説明できるようになることを目標とします。ただ、それだけでなく英語の文法や基本的な英作文など「読む、聞く、書く、話す」という英語の4技能の基本的な力を総合的に伸ばし、英語で表現する力を身につけます。

ディプロマポリシー健康科学部DP1-②,DP2-①

個別学習目標

- ・医療現場で使用される基本的な語彙や表現を身に付ける。
- ・簡単な会話練習を通して、医療従事者として基本的なコミュニケーションができるように練習する。
- ・比較的わかりやすい医療に関わる英文を読んだり聞き取ったりできるようになる。
- ・英語の基本的な仕組みや文法を理解し、短い英文で基本的な表現ができるようになる。

※ Unit終了時に小テストを行い、理解度の確認をはかる。

準備学修

- ・予習（30分程度）：教科書に目を通し、分からない単語の意味を調べる
- ・復習（30分程度）：和訳の確認と音声の復唱練習

授業計画

第1回	担当教員	鄧 瑩 授業の導入 Unit 1 (May I Help You?)
	内容	教材紹介
第2回	担当教員	鄧 瑩 Unit 1 (May I Help You?)
	内容	初診受付の流れを学ぶ①
第3回	担当教員	鄧 瑩 Unit 1 (May I Help You?)
	内容	症状を伝える基本の表現を学ぶ
第4回	担当教員	鄧 瑩 Unit 2 (Where Do You Live?)

	内容	初診受付の流れを学ぶ②
第5回	担当教員	鄧 瑩 Unit 2 (Where Do You Live?)
	内容	初診登録に必要な表現を学ぶ
第6回	担当教員	鄧 瑩 Unit 2 (Where Do You Live?)
	内容	文法
第7回	担当教員	鄧 瑩 Unit3 (Do You Have an Insurance Card?)
	内容	初診受付の流れを学ぶ③
第8回	担当教員	鄧 瑩 Unit3 (Do You Have an Insurance Card?)
	内容	保険に関する表現を学ぶ
第9回	担当教員	鄧 瑩 Unit3 (Do You Have an Insurance Card?)
	内容	文法
第10回	担当教員	鄧 瑩 Unit 4 (What Department Do You Want to Visit?)
	内容	患者を案内する
第11回	担当教員	鄧 瑩 Unit 4 (What Department Do You Want to Visit?)
	内容	各診療科の名称を学ぶ
第12回	担当教員	鄧 瑩 Unit 4 (What Department Do You Want to Visit?)
	内容	文法
第13回	担当教員	鄧 瑩 Unit 5 (What Are Your Symptoms?)
	内容	患者の症状を聞く
第14回	担当教員	鄧 瑩 Unit 5 (What Are Your Symptoms?)
	内容	風邪症状の表現を学ぶ
第15回	担当教員	鄧 瑩 総合復習
	内容	まとめと期末試験の説明

評価方法

プレイスメントテスト (20%)、定期試験 (40%)、小テスト (20%)、授業参加と課題 (20%) の合計 (100%) で評価します。

教科書

Check-Up! Basic English for Nursing (基礎から学ぶ やさしい看護英語)
樋口晶彦 / John Tremarco 著

金星堂 ¥1,900円+税

参考書

適宜プリントを配布します。

オフィスアワー

質問などは授業の前後、もしくはメール (en-tou@ryotokuji-u.ac.jp) で随時受け付けます。

実務経験の有無
有
その他
辞書を必ず持参すること（電子辞書可）。毎回予習・復習が必要です。

講義コード	0004804
講義名	総合英語I[火2]
(副題)	
講義開講時期	前期
講義区分	講義
基準単位数	1
時間	30.00
対象学年	1
必修/選択	必修

担当教員

氏名
出縄 貴良

総合学習目標

医療現場でよく使われる語彙やフレーズを覚える。また、英語音声のルールを覚え、そのような語彙やフレーズが英語で発話されても聞き取れるようにする。同時にそれらを自ら発話できるようにする。その際、片仮名ではなくしっかりと英語の音声ルールに則って発話するようにする。必要に応じてペアワークやグループワークを行うので、その際にはできる限り英語を用いること。また、リーディングを通して基本的な文法の復習も行う。
健康科学部DP 1-②に該当する。

個別学習目標

医療現場で使える英語を身に付けるということが目標です。その為、必要な語彙は覚えなければいけません。また、実際にコミュニケーションを取る為には相手の言っていることが理解できなければなりません。従って、リスニングにはそれなりの時間を割きます。その時に英語音声のルールも学びます。同時によく使われるフレーズなどを実際に発話してもらいます。

準備学修

- 事後学習について
- ・授業内で行ったListening Activityの箇所をもう一度音声を聞きテキストを見ながら正確に発音する練習を行う。最終的にテキストを見ずに音声を聞いただけで再生できるようになるまで繰り返す(60分)
 - ・テキストに出てきた単語をまとめ意味を覚える(45分)

授業計画

第1回	担当教員	出縄 貴良 ガイダンス
	内容	ガイダンス, 英語の音声の基礎の確認 AL: B
第2回	担当教員	出縄 貴良 Unit 1 First Visit, アルファベットのルール1
	内容	Vocabulary Study, Listening Activity アルファベットV, R, Lの発音について
第3回	担当教員	出縄 貴良 Unit 1 First Visit, アルファベットのルール2
	内容	Listening Activity 会話練習 アルファベットS, Sh, Thの発音について AL: B
第4回	担当教員	出縄 貴良 Unit 1 First Visit, 英語音声のルール1

	内容	Reading Activity 英語の文における音声のルールについて
第5回	担当教員	出縄 貴良 Unit 1 First Visit、英語音声のルール2
	内容	Comprehension Questions 英語音声におけるリンキングについて
第6回	担当教員	出縄 貴良 Unit 2 At the Examination Room
	内容	Vocabulary Study Listening Activity 診察室で用いられる表現の確認
第7回	担当教員	出縄 貴良 Unit 2 At the Examination Room
	内容	Listening Activity, 会話練習 英語での体温・血圧の表し方 AL: B
第8回	担当教員	出縄 貴良 Unit 2 At the Examination Room
	内容	Reading Activity, Comprehension Questions, Writing Activity ノロウイルスについて
第9回	担当教員	出縄 貴良 Unit 3 Flu Symptoms
	内容	Vocabulary Study, Listening Activity 病状を表す語句
第10回	担当教員	出縄 貴良 Unit 3 Flu Symptoms
	内容	Listening Activity, 会話練習 英語で病状を伝える AL: B
第11回	担当教員	出縄 貴良 Unit 3 Flu Symptoms
	内容	Reading Activity, Comprehension Questions, Writing Activity タミフルについて
第12回	担当教員	出縄 貴良 Unit 4 Pain Problems
	内容	Vocabulary Study, Listening Activity 痛みの種類を表す語句
第13回	担当教員	出縄 貴良 Unit 4 Pain Problems
	内容	Listening Activity, 会話練習 英語で痛みを伝える AL: B
第14回	担当教員	出縄 貴良 Unit 4 Pain Problems
	内容	Reading Activity, Writing Activity 狂牛病について
第15回	担当教員	出縄 貴良 Unit 4 Pain Problems
	内容	Comprehension Questions, 学期末試験に向けての復習

- ・学期末試験 60%
- ・単語テスト 20%
- ・プレイスメントテスト20%

居眠り, 私語, その他授業に参加するうえで不適切だと考えられる行為は減点対象です。

教科書

テキスト：Medical English Clinic (やさしい医療英語) Toshiaki Nishihara, Mayumi Nishihara, Tony Brown 著 センゲージラーニング 2,090円

オフィスアワー

月曜日・金曜日のお昼休み 535研究室
その他随時在室時は対応します。

実務経験の有無

有

その他

第一回目の授業で、授業について詳しく説明します。必ず出席してください。

講義コード	0004805
講義名	総合英語I[火2]
(副題)	
講義開講時期	前期
講義区分	講義
基準単位数	1
時間	30.00
対象学年	1
必修/選択	必修

担当教員

氏名
鄧 瑩

総合学習目標

実際の医療の現場で用いられる英語表現・語彙を学び、リスニングや会話の練習をし、医療に関する英文を理解することで、医療の現場で意志の疎通ができる英語力を身につけます。特に医療従事者として英語で対応し、症状を聞き、説明できるようになることを目標とします。ただ、それだけでなく英語の文法や基本的な英作文など「読む、聞く、書く、話す」という英語の4技能の基本的な力を総合的に伸ばし、英語で表現する力を身につけます。

ディプロマポリシー健康科学部DP1-②,DP2-①

個別学習目標

- ・医療現場で使用される基本的な語彙や表現を身に付ける。
- ・簡単な会話練習を通して、医療従事者として基本的なコミュニケーションができるように練習する。
- ・比較的わかりやすい医療に関わる英文を読んだり聞き取ったりできるようになる。
- ・英語の基本的な仕組みや文法を理解し、短い英文で基本的な表現ができるようになる。

※ Unit終了時に小テストを行い、理解度の確認をはかる。

準備学修

- ・予習（30分程度）：教科書に目を通し、分からない単語の意味を調べる
- ・復習（30分程度）：和訳の確認と音声の復唱練習

授業計画

第1回	担当教員	鄧 瑩 授業の導入 Unit 1 (May I Help You?)
	内容	教材紹介
第2回	担当教員	鄧 瑩 Unit 1 (May I Help You?)
	内容	初診受付の流れを学ぶ①
第3回	担当教員	鄧 瑩 Unit 1 (May I Help You?)
	内容	症状を伝える基本の表現を学ぶ
第4回	担当教員	鄧 瑩 Unit 2 (Where Do You Live?)

	内容	初診受付の流れを学ぶ②
第5回	担当教員	鄧 瑩 Unit 2 (Where Do You Live?)
	内容	初診登録に必要な表現を学ぶ
第6回	担当教員	鄧 瑩 Unit 2 (Where Do You Live?)
	内容	文法
第7回	担当教員	鄧 瑩 Unit3 (Do You Have an Insurance Card?)
	内容	初診受付の流れを学ぶ③
第8回	担当教員	鄧 瑩 Unit3 (Do You Have an Insurance Card?)
	内容	保険に関する表現を学ぶ
第9回	担当教員	鄧 瑩 Unit3 (Do You Have an Insurance Card?)
	内容	文法
第10回	担当教員	鄧 瑩 Unit 4 (What Department Do You Want to Visit?)
	内容	患者を案内する
第11回	担当教員	鄧 瑩 Unit 4 (What Department Do You Want to Visit?)
	内容	各診療科の名称を学ぶ
第12回	担当教員	鄧 瑩 Unit 4 (What Department Do You Want to Visit?)
	内容	文法
第13回	担当教員	鄧 瑩 Unit 5 (What Are Your Symptoms?)
	内容	患者の症状を聞く
第14回	担当教員	鄧 瑩 Unit 5 (What Are Your Symptoms?)
	内容	風邪症状の表現を学ぶ
第15回	担当教員	鄧 瑩 総合復習
	内容	まとめと期末試験の説明

評価方法

プレイスメントテスト (20%)、定期試験 (40%)、小テスト (20%)、授業参加と課題 (20%) の合計 (100%) で評価します。

教科書

Check-Up! Basic English for Nursing (基礎から学ぶ やさしい看護英語)
樋口晶彦 / John Tremarco 著

金星堂 ¥1,900円+税

参考書

適宜プリントを配布します。

オフィスアワー

質問などは授業の前後、もしくはメール (en-tou@ryotokuji-u.ac.jp) で随時受け付けます。

実務経験の有無
有
その他
辞書を必ず持参すること（電子辞書可）。毎回予習・復習が必要です。

講義コード	0004806
講義名	総合英語I[火2]
(副題)	
講義開講時期	前期
講義区分	講義
基準単位数	1
時間	30.00
対象学年	1
必修/選択	必修

担当教員

氏名
林 響子

総合学習目標

高校段階までの学習内容を基礎に、「読む、聞く、書く、話す」という英語の4技能を伸ばし、英語で基礎的なコミュニケーションをとる力を養うことに重点を置く。主に医療分野に関する英文の読解を通じて、基礎となる文法、語彙、語法の増強を行うとともに、リスニングや発音練習を通じて英語の音にも習熟する。さらに、会話練習や基本的な英作文を行って英語で表現する力を身につける。
健康科学部DP 1-②に該当する。

個別学習目標

この授業では、基礎的な英文法を確認し、英語を読む能力を高めること、加えて医療に関わる英語表現を身につけることを目標とする。医療英語に特有の単語の確認から始め、医療に関わる会話を読み、さらに聴き取り・会話の練習を行うことで英語の構造や音に馴れ、意味を把握できるようにする。繰り返して演習を行うことを通じて、重要事項を含んだ英文を確実に理解し、英語の基礎を身につける。
また、Unit終了時に小テストを行い、理解度の確認をはかる。

準備学修

毎回指定された部分の予習（単語調べと和訳：30分程度）と復習（和訳の確認と音声を聞き返す：30分程度）をしっかりと行うことが必要となる

授業計画

第1回	担当教員	林 響子 授業の導入
	内容	英語で自己紹介、授業の説明
第2回	担当教員	林 響子 Unit 1 May I Help you? 初心受付の流れを学ぶ① 症状を伝える基本の表現を学ぶ
	内容	Listening & Writing
第3回	担当教員	林 響子 Unit 1 May I Help you? 初心受付の流れを学ぶ① 症状を伝える基本の表現を学ぶ
	内容	Reading
第4回	担当教員	林 響子 Unit 1 May I Help you? 初心受付の流れを学ぶ① 症状を伝える基本の表現を学ぶ
	内容	Further Study
		林 響子

第5回	担当教員	Unit 2 Where do you Live? 初心受付の流れを学ぶ② 初診登録に必要な表現を学ぶ
	内容	Listening & Writing
第6回	担当教員	林 響子 Unit 2 Where do you Live? 初心受付の流れを学ぶ② 初診登録に必要な表現を学ぶ
	内容	Reading
第7回	担当教員	林 響子 Unit 2 Where do you Live? 初心受付の流れを学ぶ② 初診登録に必要な表現を学ぶ
	内容	Further Study
第8回	担当教員	林 響子 Unit 3 Do you Have an Insurance Card? 初心受付の流れを学ぶ③ 保険に関する表現を学ぶ
	内容	Listening & Writing
第9回	担当教員	林 響子 Unit 3 Do you Have an Insurance Card? 初心受付の流れを学ぶ③ 保険に関する表現を学ぶ
	内容	Reading
第10回	担当教員	林 響子 Unit 3 Do you Have an Insurance Card? 初心受付の流れを学ぶ③ 保険に関する表現を学ぶ
	内容	Further Study
第11回	担当教員	林 響子 Unit 4 What Department do you Want to Visit? 患者を案内する 各診療科の名称を学ぶ
	内容	Listening & Writing
第12回	担当教員	林 響子 Unit 4 What Department do you Want to Visit? 患者を案内する 各診療科の名称を学ぶ
	内容	Reading
第13回	担当教員	林 響子 Unit 4 What Department do you Want to Visit? 患者を案内する 各診療科の名称を学ぶ
	内容	Further Study
第14回	担当教員	林 響子 Unit 5 What are your Symptoms? 患者の症状を聞く 風邪症状の表現を学ぶ
	内容	Listening & Writing
第15回	担当教員	林 響子 学期のまとめ
	内容	総合復習

評価方法

総合復習試験(50%)、小テスト(20%)、授業内での発表(10%)、プレイスメントテスト (20%) の合計 (100%) で評価する。

教科書

Check-Up! Basic English for Nursing (基礎から学ぶやさしい看護英語)

出版社:金星堂

著者:樋口晶彦ほか

定価:2090円

参考書
中学・高校6年間の英語をこの1冊でざっと復習する 出版社:KADOKAWA/中経出版 著者:稲田一 定価:1210円
オフィスアワー
木曜4限・502研究室
実務経験の有無
有
その他
英和辞典を毎回の授業に必ず持参すること。電子辞書を使用する者は、使い方を理解した上で使用すること。携帯電話等の辞書は一切認めない。授業態度の悪い者、教科書や辞書を持参しない者は授業内での発表点を加算しない。

講義コード	0004912
講義名	総合英語II[火1]
(副題)	
講義開講時期	後期
講義区分	講義
基準単位数	1
時間	30.00
対象学年	1
必修/選択	必修

担当教員

氏名
林 響子

総合学習目標

「総合英語I」での学習内容を踏まえて、医療分野で用いられる英語表現を理解し、英語でコミュニケーションをとることができるよう総合的な英語力を身につける。そのために、医療現場で使用されると想定される英文を中心に読解練習とリスニング練習を行い、医療に関わる基礎的な語彙、表現方法を学ぶ。さらに、これらの英語表現を使った基礎的な英作文や会話練習を行い、医療に携わる中で基本的な内容を英語で理解し伝達できる総合的な英語力を身につける。

健康科学部DP 1-②に該当する。

個別学習目標

この授業では、基礎的な英文法を確認し、英語を読む能力を高めること、加えて医療に関わる英語表現を身につけることを目標とする。医療英語に特有の単語の確認から始め、医療に関わる会話を読み、さらに聴き取り・会話の練習を行うことで英語の構造や音に馴れ、意味を把握できるようにする。繰り返して演習を行うことを通じて、重要事項を含んだ英文を確実に理解し、英語の基礎を身につける。

また、Unit終了時に小テストを行い、理解度の確認をはかる。

準備学修

毎回指定された部分の予習（単語調べと和訳：30分程度）と復習（和訳の確認と音声を聞き返す：30分程度）をしっかりと行うことが必要となる。

授業計画

第1回	担当教員	林 響子 Unit 5 What are your Symptoms? 患者の症状を聞く 風邪症状の表現を学ぶ
	内容	Reading AL:B
第2回	担当教員	林 響子 Unit 5 What are your Symptoms? 患者の症状を聞く 風邪症状の表現を学ぶ
	内容	Further Study AL:B
第3回	担当教員	林 響子 Unit 6 Take One Tablet Three Times a Day 薬の処方について学ぶ 服薬指導の表現を学ぶ
	内容	Listening & Writing AL:B
第4回	担当教員	林 響子 Unit 6 Take One Tablet Three Times a Day 薬の処方について学ぶ 服薬指導の表現を学ぶ
	内容	Reading AL:B

第5回	担当教員	林 響子 Unit 6 Take One Tablet Three Times a Day 薬の処方について学ぶ 服薬指導の表現を学ぶ
	内容	Further Study AL:B
第6回	担当教員	林 響子 Unit 7 You're Suffering from Hay Fever 診察の流れを学ぶ アレルギー症状の表現を学ぶ
	内容	Listening & Writing AL:B
第7回	担当教員	林 響子 Unit 7 You're Suffering from Hay Fever 診察の流れを学ぶ アレルギー症状の表現を学ぶ
	内容	Reading AL:B
第8回	担当教員	林 響子 Unit 7 You're Suffering from Hay Fever 診察の流れを学ぶ アレルギー症状の表現を学ぶ
	内容	Further Study AL:B
第9回	担当教員	林 響子 Unit 8 What Kind of Pain is it? 外科診療の流れを学ぶ 痛みを表す表現を学ぶ
	内容	Listening & Writing AL:B
第10回	担当教員	林 響子 Unit 8 What Kind of Pain is it? 外科診療の流れを学ぶ 痛みを表す表現を学ぶ
	内容	Reading AL:B
第11回	担当教員	林 響子 Unit 8 What Kind of Pain is it? 外科診療の流れを学ぶ 痛みを表す表現を学ぶ
	内容	Further Study AL:B
第12回	担当教員	林 響子 Unit 9 Let's Check your Daily Activities 問診の流れを学ぶ 生活習慣を伝える表現を学ぶ
	内容	Listening & Writing AL:B
第13回	担当教員	林 響子 Unit 9 Let's Check your Daily Activities 問診の流れを学ぶ 生活習慣を伝える表現を学ぶ
	内容	Reading AL:B
第14回	担当教員	林 響子 Unit 9 Let's Check your Daily Activities 問診の流れを学ぶ 生活習慣を伝える表現を学ぶ
	内容	Further Study AL:B
第15回	担当教員	林 響子 学期のまとめ
	内容	総合復習

評価方法

総合復習試験(50%)、小テスト(20%)、授業内での発表(10%)、プレイスメントテスト (20%) の合計(100%)で評価する。

教科書

Check-Up! Basic English for Nursing (基礎から学ぶやさしい看護英語)

出版社:金星堂

著者:樋口晶彦ほか

定価:2090円

参考書

中学・高校6年間の英語をこの1冊でざっと復習する

出版社:KADOKAWA/中経出版

著者:稲田一

定価:1210円

オフィスアワー

木曜4限・502研究室

実務経験の有無

有

その他

英和辞典を毎回の授業に必ず持参すること。電子辞書を使用する者は、使い方を理解した上で使用すること。携帯電話等の辞書は一切認めない。授業態度の悪い者、教科書や辞書を持参しない者は授業内での発表点を加算しない。

講義コード	0004913
講義名	総合英語II[火1]
(副題)	
講義開講時期	後期
講義区分	講義
基準単位数	1
時間	30.00
対象学年	1
必修/選択	必修

担当教員

氏名
鄧 瑩

総合学習目標

実際の医療の現場で用いられる英語表現・語彙を学び、リスニングや会話の練習をし、医療に関する英文を理解することで、医療の現場で意志の疎通ができる英語力を身につけます。特に医療従事者として英語で対応し、症状を聞き、説明できるようになることを目標とします。ただ、それだけでなく英語の文法や基本的な英作文など「読む、聞く、書く、話す」という英語の4技能の基本的な力を総合的に伸ばし、英語で表現する力を身につけます。

ディプロマポリシー健康科学部DP1-②,DP2-①

個別学習目標

- ・医療現場で使用される基本的な語彙や表現を身に付ける。
- ・簡単な会話練習を通して、医療従事者として基本的なコミュニケーションができるように練習する。
- ・比較的わかりやすい医療に関わる英文を読んだり聞き取ったりできるようになる。
- ・英語の基本的な仕組みや文法を理解し、短い英文で基本的な表現ができるようになる。

※ Unit終了時に小テストを行い、理解度の確認をはかる。

準備学修

- ・予習（30分程度）：教科書に目を通し、分からない単語の意味を調べる
- ・復習（30分程度）：和訳の確認と音声の復唱練習

授業計画

第1回	担当教員	鄧 瑩 Unit 6 (Take One Tablet Three Times a Day)
	内容	薬の処方について学ぶ
第2回	担当教員	鄧 瑩 Unit 6 (Take One Tablet Three Times a Day)
	内容	服薬指示の表現を学ぶ
第3回	担当教員	鄧 瑩 Unit 6 (Take One Tablet Three Times a Day)
	内容	文法
第4回	担当教員	鄧 瑩 Unit 7 (You're Suffering from Hay Fever)
	内容	診察の流れを学ぶ

第5回	担当教員	鄧 瑩 Unit 7 (You're Suffering from Hay Fever)
	内容	アレルギー症状の表現を学ぶ
第6回	担当教員	鄧 瑩 Unit 7 (You're Suffering from Hay Fever)
	内容	文法
第7回	担当教員	鄧 瑩 Unit 8 (What Kind of Pain Is It?)
	内容	外科診療の流れを学ぶ
第8回	担当教員	鄧 瑩 Unit 8 (What Kind of Pain Is It?)
	内容	痛みを表す表現を学ぶ
第9回	担当教員	鄧 瑩 Unit 8 (What Kind of Pain Is It?)
	内容	文法
第10回	担当教員	鄧 瑩 Unit 9 (Let's Check Your Daily Activities)
	内容	問診の流れを学ぶ
第11回	担当教員	鄧 瑩 Unit 9 (Let's Check Your Daily Activities)
	内容	生活習慣を伝える表現を学ぶ
第12回	担当教員	鄧 瑩 Unit 9 (Let's Check Your Daily Activities)
	内容	文法
第13回	担当教員	鄧 瑩 Unit 10 (Let's Check Your Pulse and Blood Pressure)
	内容	診察前の計測をおこなう
第14回	担当教員	鄧 瑩 Unit 10 (Let's Check Your Pulse and Blood Pressure)
	内容	計測に関する表現を学ぶ
第15回	担当教員	鄧 瑩 総合復習
	内容	まとめと期末試験の説明

評価方法

プレイスメントテスト (20%)、定期試験 (40%)、小テスト (20%)、授業参加と課題 (20%) の合計 (100%) で評価します。

教科書

Check-Up! Basic English for Nursing (基礎から学ぶ やさしい看護英語)
樋口晶彦 / John Tremarco 著

金星堂 ¥1,900円+税

参考書

適宜プリントを配布します。

オフィスアワー

質問などは授業の前後、もしくはメール (en-tou@ryotokuji-u.ac.jp) で随時受け付けます。

実務経験の有無

有

その他

辞書を必ず持参すること（電子辞書可）。毎回予習・復習が必要です。

講義コード	0004914
講義名	総合英語II[火2]
(副題)	
講義開講時期	後期
講義区分	講義
基準単位数	1
時間	30.00
対象学年	1
必修/選択	必修

担当教員

氏名
鄧 瑩

総合学習目標

実際の医療の現場で用いられる英語表現・語彙を学び、リスニングや会話の練習をし、医療に関する英文を理解することで、医療の現場で意志の疎通ができる英語力を身につけます。特に医療従事者として英語で対応し、症状を聞き、説明できるようになることを目標とします。ただ、それだけでなく英語の文法や基本的な英作文など「読む、聞く、書く、話す」という英語の4技能の基本的な力を総合的に伸ばし、英語で表現する力を身につけます。

ディプロマポリシー健康科学部DP1-②,DP2-①

個別学習目標

- ・医療現場で使用される基本的な語彙や表現を身に付ける。
- ・簡単な会話練習を通して、医療従事者として基本的なコミュニケーションができるように練習する。
- ・比較的わかりやすい医療に関わる英文を読んだり聞き取ったりできるようになる。
- ・英語の基本的な仕組みや文法を理解し、短い英文で基本的な表現ができるようになる。

※ Unit終了時に小テストを行い、理解度の確認をはかる。

準備学修

- ・予習（30分程度）：教科書に目を通し、分からない単語の意味を調べる
- ・復習（30分程度）：和訳の確認と音声の復唱練習

授業計画

第1回	担当教員	鄧 瑩 Unit 6 (Take One Tablet Three Times a Day)
	内容	薬の処方について学ぶ
第2回	担当教員	鄧 瑩 Unit 6 (Take One Tablet Three Times a Day)
	内容	服薬指示の表現を学ぶ
第3回	担当教員	鄧 瑩 Unit 6 (Take One Tablet Three Times a Day)
	内容	文法
第4回	担当教員	鄧 瑩 Unit 7 (You're Suffering from Hay Fever)
	内容	診察の流れを学ぶ

第5回	担当教員	鄧 瑩 Unit 7 (You're Suffering from Hay Fever)
	内容	アレルギー症状の表現を学ぶ
第6回	担当教員	鄧 瑩 Unit 7 (You're Suffering from Hay Fever)
	内容	文法
第7回	担当教員	鄧 瑩 Unit 8 (What Kind of Pain Is It?)
	内容	外科診療の流れを学ぶ
第8回	担当教員	鄧 瑩 Unit 8 (What Kind of Pain Is It?)
	内容	痛みを表す表現を学ぶ
第9回	担当教員	鄧 瑩 Unit 8 (What Kind of Pain Is It?)
	内容	文法
第10回	担当教員	鄧 瑩 Unit 9 (Let's Check Your Daily Activities)
	内容	問診の流れを学ぶ
第11回	担当教員	鄧 瑩 Unit 9 (Let's Check Your Daily Activities)
	内容	生活習慣を伝える表現を学ぶ
第12回	担当教員	鄧 瑩 Unit 9 (Let's Check Your Daily Activities)
	内容	文法
第13回	担当教員	鄧 瑩 Unit 10 (Let's Check Your Pulse and Blood Pressure)
	内容	診察前の計測をおこなう
第14回	担当教員	鄧 瑩 Unit 10 (Let's Check Your Pulse and Blood Pressure)
	内容	計測に関する表現を学ぶ
第15回	担当教員	鄧 瑩 総合復習
	内容	まとめと期末試験の説明

評価方法

プレイスメントテスト (20%)、定期試験 (40%)、小テスト (20%)、授業参加と課題 (20%) の合計 (100%) で評価します。

教科書

Check-Up! Basic English for Nursing (基礎から学ぶ やさしい看護英語)
樋口晶彦 / John Tremarco 著

金星堂 ¥1,900円+税

参考書

適宜プリントを配布します。

オフィスアワー

質問などは授業の前後、もしくはメール (en-tou@ryotokuji-u.ac.jp) で随時受け付けます。

実務経験の有無

有

その他

辞書を必ず持参すること（電子辞書可）。毎回予習・復習が必要です。

講義コード	0004915
講義名	総合英語II[火2]
(副題)	
講義開講時期	後期
講義区分	講義
基準単位数	1
時間	30.00
対象学年	1
必修/選択	必修

担当教員

氏名
出縄 貴良

総合学習目標

医療現場でよく使われる語彙やフレーズを覚える。また、英語音声のルールを覚え、そのような語彙やフレーズが英語で発話されても聞き取れるようにする。同時にそれらを自ら発話できるようにする。その際、片仮名ではなくしっかりと英語の音声ルールに則って発話するようにする。必要に応じてペアワークやグループワークを行うので、その際にはできる限り英語を用いること。また、リーディングを通して基本的な文法の復習も行う。
健康科学部DP 1-②に該当する。

個別学習目標

医療現場で使える英語を身に付けるということが目標です。その為、必要な語彙は覚えなければいけません。また、実際にコミュニケーションを取る為には相手の言っていることが理解できなければなりません。従って、リスニングにはそれなりの時間を割きます。その時に英語音声のルールも学びます。同時によく使われるフレーズなどを実際に発話してもらいます。

準備学修

- 事後学習について
- ・授業内で行ったListening Activityの箇所をもう一度音声を聞きテキストを見ながら正確に発音する練習を行う。最終的にテキストを見ずに音声を聞いただけで再生できるようになるまで繰り返す(60分)
 - ・テキストに出てきた単語をまとめ意味を覚える(45分)

授業計画

第1回	担当教員	出縄 貴良 ガイダンス
	内容	後期授業についてのガイダンス 前期で学習した英語音声のルールの確認
第2回	担当教員	出縄 貴良 Unit 5 Stomachache
	内容	Vocabulary Study, Listening Activity 尿検査・胃腸科に関する語彙や表現の確認
第3回	担当教員	出縄 貴良 Unit 5 Stomachache
	内容	Listening Activity、会話練習、Writing Activity 胃腸の不調を英語で伝える AL: B
第4回	担当教員	出縄 貴良 Unit 5 Stomachache

	内容	Reading Activity, Comprehension Questions 摂食障害について
第5回	担当教員	出縄 貴良 Unit 6 Abdominal Pain
	内容	Vocabulary Study, Listening Activity 腹痛に関する語句の確認
第6回	担当教員	出縄 貴良 Unit 6 Abdominal Pain
	内容	Listening Activity、会話練習、Writing Activity 腹痛を英語で伝える AL: B
第7回	担当教員	出縄 貴良 Unit 6 Abdominal Pain
	内容	Reading Activity, Comprehension Questions 内分泌系攪乱物質について
第8回	担当教員	出縄 貴良 Unit 7 Urinalysis
	内容	Vocabulary Study, Listening Activity 腎機能や肝機能を調べる際に必要な語句の確認
第9回	担当教員	出縄 貴良 Unit 7 Urinalysis
	内容	Listening Activity、会話練習、Writing Activity 患者に尿を取ってきてもらう AL: B
第10回	担当教員	出縄 貴良 Unit 7 Urinalysis
	内容	Reading Activity, Comprehension Questions 市販の薬について
第11回	担当教員	出縄 貴良 Unit 10 Injury
	内容	Vocabulary Study, Listening Activity 日常生活における怪我に関する語句の確認
第12回	担当教員	出縄 貴良 Unit 10 Injury
	内容	Listening Activity、会話練習、Writing Activity 肘を出血している患者の対応 AL: B
第13回	担当教員	出縄 貴良 Unit 10 Injury
	内容	Reading Activity, Comprehension Questions ウォーキングについて
第14回	担当教員	出縄 貴良 Unit 8 Cholesterol
	内容	Vocabulary Study, Listening Activity メタボリックシンドロームに関する語句
第15回	担当教員	出縄 貴良 Unit 8 Cholesterol
	内容	Listening Activity 健康診断の結果を取りに行く

- ・学期末試験 60%
- ・単語テスト 20%
- ・プレイスメントテスト20%

居眠り, 私語, その他授業に参加するうえで不適切だと考えられる行為は減点対象です。

教科書

テキスト：Medical English Clinic (やさしい医療英語) Toshiaki Nishihara, Mayumi Nishihara, Tony Brown 著 センゲージラーニング 2,090円

オフィスアワー

水曜日・金曜日のお昼休み 535研究室
その他随時在室時は対応します。

実務経験の有無

有

その他

第一回目の授業で、授業について詳しく説明します。必ず出席してください。

講義コード	0004916
講義名	総合英語II[火2]
(副題)	
講義開講時期	後期
講義区分	講義
基準単位数	1
時間	30.00
対象学年	1
必修/選択	必修

担当教員

氏名
林 響子

総合学習目標

「総合英語I」での学習内容を踏まえて、医療分野で用いられる英語表現を理解し、英語でコミュニケーションをとることができるよう総合的な英語力を身につける。そのために、医療現場で使用されると想定される英文を中心に読解練習とリスニング練習を行い、医療に関わる基礎的な語彙、表現方法を学ぶ。さらに、これらの英語表現を使った基礎的な英作文や会話練習を行い、医療に携わる中で基本的な内容を英語で理解し伝達できる総合的な英語力を身につける。

健康科学部DP 1－②に該当する。

個別学習目標

この授業では、基礎的な英文法を確認し、英語を読む能力を高めること、加えて医療に関わる英語表現を身につけることを目標とする。医療英語に特有の単語の確認から始め、医療に関わる会話を読み、さらに聴き取り・会話の練習を行うことで英語の構造や音に馴れ、意味を把握できるようにする。繰り返して演習を行うことを通じて、重要事項を含んだ英文を確実に理解し、英語の基礎を身につける。

また、Unit終了時に小テストを行い、理解度の確認をはかる。

準備学修

毎回指定された部分の予習（単語調べと和訳：30分程度）と復習（和訳の確認と音声を聞き返す：30分程度）をしっかりと行うことが必要となる。

授業計画

第1回	担当教員	林 響子 Unit 5 What are your Symptoms? 患者の症状を聞く 風邪症状の表現を学ぶ
	内容	Reading AL:B
第2回	担当教員	林 響子 Unit 5 What are your Symptoms? 患者の症状を聞く 風邪症状の表現を学ぶ
	内容	Further Study AL:B
第3回	担当教員	林 響子 Unit 6 Take One Tablet Three Times a Day 薬の処方について学ぶ 服薬指導の表現を学ぶ
	内容	Listening & Writing AL:B
第4回	担当教員	林 響子 Unit 6 Take One Tablet Three Times a Day 薬の処方について学ぶ 服薬指導の表現を学ぶ
	内容	Reading AL:B

第5回	担当教員	林 響子 Unit 6 Take One Tablet Three Times a Day 薬の処方について学ぶ 服薬指導の表現を学ぶ
	内容	Further Study AL:B
第6回	担当教員	林 響子 Unit 7 You're Suffering from Hay Fever 診察の流れを学ぶ アレルギー症状の表現を学ぶ
	内容	Listening & Writing AL:B
第7回	担当教員	林 響子 Unit 7 You're Suffering from Hay Fever 診察の流れを学ぶ アレルギー症状の表現を学ぶ
	内容	Reading AL:B
第8回	担当教員	林 響子 Unit 7 You're Suffering from Hay Fever 診察の流れを学ぶ アレルギー症状の表現を学ぶ
	内容	Further Study AL:B
第9回	担当教員	林 響子 Unit 8 What Kind of Pain is it? 外科診療の流れを学ぶ 痛みを表す表現を学ぶ
	内容	Listening & Writing AL:B
第10回	担当教員	林 響子 Unit 8 What Kind of Pain is it? 外科診療の流れを学ぶ 痛みを表す表現を学ぶ
	内容	Reading AL:B
第11回	担当教員	林 響子 Unit 8 What Kind of Pain is it? 外科診療の流れを学ぶ 痛みを表す表現を学ぶ
	内容	Further Study AL:B
第12回	担当教員	林 響子 Unit 9 Let's Check your Daily Activities 問診の流れを学ぶ 生活習慣を伝える表現を学ぶ
	内容	Listening & Writing AL:B
第13回	担当教員	林 響子 Unit 9 Let's Check your Daily Activities 問診の流れを学ぶ 生活習慣を伝える表現を学ぶ
	内容	Reading AL:B
第14回	担当教員	林 響子 Unit 9 Let's Check your Daily Activities 問診の流れを学ぶ 生活習慣を伝える表現を学ぶ
	内容	Further Study AL:B
第15回	担当教員	林 響子 学期のまとめ
	内容	総合復習

評価方法

総合復習試験(50%)、小テスト(20%)、授業内での発表(10%)、プレイスメントテスト (20%) の合計(100%)で評価する。

教科書

Check-Up! Basic English for Nursing (基礎から学ぶやさしい看護英語)

出版社:金星堂

著者:樋口晶彦ほか

定価:2090円

参考書

中学・高校6年間の英語をこの1冊でざっと復習する

出版社:KADOKAWA/中経出版

著者:稲田一

定価:1210円

オフィスアワー

木曜4限・502研究室

実務経験の有無

有

その他

英和辞典を毎回の授業に必ず持参すること。電子辞書を使用する者は、使い方を理解した上で使用すること。携帯電話等の辞書は一切認めない。授業態度の悪い者、教科書や辞書を持参しない者は授業内での発表点を加算しない。

講義コード	0005201
講義名	芸術表現I（造形の感性と創造）〔理〕
(副題)	
講義開講時期	前期
講義区分	演習
基準単位数	1
時間	30.00
対象学年	1
必修/選択	選択

担当教員

氏名
金森 昭憲
松崎 仰生

総合学習目標

この講座は基本的な造形表現や、医療現場における療養環境の改善を目的としたアートやデザイン活動について学んでいく。学生各々が心地よさや満たされた感情に気づき、生きる活力を取り戻していくことを目指していく。実際に手を動かしたり、グループワークを通じて、参加者全員が身近なものとして創作を体感し、芸術への理解を深めることを目標とする。

DP4-①

個別学習目標

1. デッサンを学び、基本的な形体の把握ができる。
2. 水彩絵具の特性を理解し、基本的な描画ができる。
3. 医療現場で展開されるアートやデザイン活動を体験的に学び、そのよさや課題を理解できる。
4. アートやデザインを通じたコミュニケーションのアプローチを学び、その特性を理解し活用できる。
5. 様々な課題を通して、感性と創造力を養うことができる。

準備学修

事前に説明された課題については次の授業までに準備してくること。

授業計画

第1回	担当教員	金森 昭憲 松崎 仰生 ガイダンス
	内容	授業概要の説明
第2回	担当教員	金森 昭憲 名画から学ぶ水彩画1
	内容	「模写」トレース・着彩
第3回	担当教員	金森 昭憲 名画から学ぶ水彩画2
	内容	「模写」着彩・仕上げ（細部の表現）
第4回	担当教員	金森 昭憲 初歩の沿筆デッサン
	内容	「静物デッサン」構図・描画・仕上げ
第5回	担当教員	金森 昭憲 フラッグアート1

	内容	「旗の制作」デザインの選定・下書き・着彩
第6回	担当教員	金森 昭憲 フラッグアート2
	内容	「旗の制作」着彩・仕上げ
第7回	担当教員	金森 昭憲 アクリル絵具で描く静物画1
	内容	「静物着彩」構図・下書き・着彩
第8回	担当教員	金森 昭憲 アクリル絵具で描く静物画2
	内容	「静物着彩」着彩・仕上げ
第9回	担当教員	松崎 仰生 アイズブレイク/医療現場におけるアートやデザイン活動の事例紹介
	内容	アートを用いたコミュニケーションゲームの実践/筑波大学附属病院を中心とした事例紹介
第10回	担当教員	松崎 仰生 「よりよい療養環境」の検討
	内容	患者視点を用いた「よりよい療養環境」を考えるブレインストーミング
第11回	担当教員	松崎 仰生 医療現場におけるアート活動の実践とその検討I
	内容	筑波大学附属病院におけるアートワークショップ「まど百景」の実践と検討①
第12回	担当教員	松崎 仰生 医療現場におけるアート活動の実践とその検討I
	内容	筑波大学附属病院におけるアートワークショップ「まど百景」の実践と検討②
第13回	担当教員	松崎 仰生 医療現場におけるアート活動の実践とその検討I
	内容	筑波大学附属病院におけるアートワークショップ「まど百景」の実践と検討③
第14回	担当教員	松崎 仰生 医療現場におけるアート活動の実践とその検討II
	内容	筑波大学附属病院におけるアートワークショップ「どんつきまど」の実践と検討①
第15回	担当教員	松崎 仰生 医療現場におけるアート活動の実践とその検討II/まとめ
	内容	筑波大学附属病院におけるアートワークショップ「どんつきまど」の実践と検討②/本授業のまとめ

評価方法

提出課題100% [金森]

提出課題（レポート）70%、授業内での議論30% [松崎]

教科書

指定なし。配布資料を用いる。

参考書

指定なし。配布資料を用いる。

オフィスアワー

質問等は授業の前後で受け付ける。

実務経験の有無

有

その他

受講生の人数などに応じて、第9回～15回は変更の可能性あり。 [松崎]
適宜プリント資料を配布する。

講義コード	0005301
講義名	芸術表現II（書の感性と創造）〔理〕
(副題)	
講義開講時期	前期
講義区分	演習
基準単位数	1
時間	30.00
対象学年	1
必修/選択	選択

担当教員

氏名
笹山 紅樹
園山 絢上

総合学習目標

書は心のありよう心象を墨によって表現するものである。心理的作用として書は表現される。作品制作を通し、書道の基本となる五体（楷書・行書・草書・隷書・篆書）を学び、各書体の特徴を的確にとらえ基本点画・執筆法など書の技法を習得する。書の基本を繰り返し練習しながら、あわせて伝統美・文化についての関心を深める。また、自由な書表現や技法を習得し、書を通して、医療人として豊かな心を育むことを目標とする。理学療法学科DP3-②に該当する。

個別学習目標

- ①書体の特徴を理解することができる。
- ②楷書の基本点画をしっかりと書くことができる。
- ③行書の筆使いができる。
- ④草書の字形を理解して書くことができる。
- ⑤隷書の字形・波法を理解して書くことができる。
- ⑥篆書の字形・線質を理解して書くことができる。
- ⑦体裁よく硬筆で書くことができる。
- ⑧実用的な文字を正しく書くことができる。
- ⑨小筆の使い方を理解することができる。
- ⑩伝統的な書を学び豊かな心を育むことができる。

授業計画

第1回	担当教員	園山 絢上 笹山 紅樹 ガイダンス・ペンで書く楷書の作品制作
第2回	担当教員	園山 絢上 文字で時代の旅をする 楷書の作品制作
第3回	担当教員	園山 絢上 文字で時代の旅をする 行書の作品制作

第4回	担当教員	園山 絢上 文字で時代の旅をする 草書の作品制作
第5回	担当教員	園山 絢上 文字で時代の旅をする 露鋒と蔵鋒の書き分け
第6回	担当教員	園山 絢上 文字で時代の旅をする 篆刻（篆書の文字で雅印を彫る）デザイン制作
第7回	担当教員	園山 絢上 文字で時代の旅をする 篆刻（篆書の文字で雅印を彫る）刻す
第8回	担当教員	園山 絢上 文字で時代の旅をする 古代文字の作品制作
第9回	担当教員	笹山 紅樹 書に親しむI 楷書の技法と表現
第10回	担当教員	笹山 紅樹 書に親しむII 行書の技法と表現
第11回	担当教員	笹山 紅樹 書に親しむIII 草書の技法と表現
第12回	担当教員	笹山 紅樹 書に親しむiv 隷書の技法と表現
第13回	担当教員	笹山 紅樹 書に親しむV 様々な書体で表現しよう
第14回	担当教員	笹山 紅樹 書に親しむV 様々な書体で表現しよう
第15回	担当教員	笹山 紅樹 書に親しむVI 最終作品制作と鑑賞

評価方法

毎時の清書作品100%で評価する。（園山）（笹山）

教科書

毎時プリントを配布

参考書

参考文献
五體字類／西東書房

実務経験の有無

有

その他

筆・墨汁の購入必須（大筆・小筆・墨汁 計2,500円程度）
※学内販売日は別途お知らせいたします。
授業は園山クラスと笹山クラスに分かれ、15回行う。

講義コード	0006101
講義名	人間関係実践演習I[理]
(副題)	(初年次教育)
講義開講時期	前期
講義区分	演習
基準単位数	1
時間	30.00
対象学年	1
必修/選択	必修

担当教員

氏名
中島 琢磨
中村 浩
平野 正広

総合学習目標

高校生と大学生の違いを認識し、前向きな意識形成を図り、意欲的に大学生活に臨む姿勢を作る
 学修は暗記でないことを理解し、自ら考え、周囲に働きかけて修正したりまとめたりする行動力を身につける

これらは理学療法学科DP-2①、②、DP-3①、②、DP-4②に相当する

初年次教育は、『高等学校や他大学からの円滑な移行を図り、学習及び人格的な成長に向け、大学での学問的・社会的な諸経験を成功させるべく、主に新入生を対象に総合的に作られた教育プログラム』あるいは『初年次学生が大学生になることを支援するプログラム』として説明される、新たな学校段階への移行を支援する取組である。(中央教育審議会『学士課程教育の構築に向けて(答申)』平成20年(2008年)35頁より引用。)

個別学習目標

1. 目的意識を持って大学生活に臨む基本意識を形成する
2. 以下の基本的な対人関係スキルを身につける
 - ① 人の話を傾聴し、理解するスキル(傾聴力・理解力)
 - ② 自分の考えを整理し、適切な言葉でわかりやすく話すスキル(話力・発表力)
 - ③ わからない事を適切な資料を選び、調べ、まとめるスキル(調査力)
 - ④ 起こったこと、学んだこと、感じた事などを客観的にわかりやすい文書で伝えるスキル(報告力)

準備学修

なし

授業計画

第1回	担当教員	中島 琢磨 中村 浩 平野 正広 オリエンテーション
	内容	前半：初年次教育についてやスケジュールの案内・感染症と本学の感染対策についての説明 後半：履修登録方法についての確認と初年次教育プログラム開催におけるオリエンテーション

		グループ A ; 学籍番号51123001—51123049 (担当 : 中村浩) グループ B ; 学籍番号51123050—51123099 (担当 : 平野正広)
第2回	担当 教員	中村 浩 平野 正広 学習スキル アカデミックリテラシー①
	内容	「導入教育」プログラム① : 高校生と大学生の違いを認識させ「早期に前向きな意識形成を図り、意欲的に大学生生活に臨む姿勢を作る」ためのプログラム グループ A ; 学籍番号51123001—51123049 (担当 : 中村浩) グループ B ; 学籍番号51123050—51123099 (担当 : 平野正広)
第3回	担当 教員	中村 浩 平野 正広 学習スキル アカデミックリテラシー②
	内容	「導入教育」プログラム② : 高校生と大学生の違いを認識させ「早期に前向きな意識形成を図り、意欲的に大学生生活に臨む姿勢を作る」ためのプログラム グループ A ; 学籍番号51123001—51123049 (担当 : 中村浩) グループ B ; 学籍番号51123050—51123099 (担当 : 平野正広)
第4回	担当 教員	中村 浩 平野 正広 学習スキル アカデミックリテラシー ③
	内容	「ストレス・マネジメント力形成」プログラム : 大学～社会人生活を通して活かすことのできる「ストレス・マネジメントの力」を育み、学生一人ひとりに、「ストレスを自己マネジメントできる力」を身につけさせる グループ A ; 学籍番号51123001—51123049 (担当 : 中村浩) グループ B ; 学籍番号51123050—51123099 (担当 : 平野正広)
第5回	担当 教員	中村 浩 平野 正広 学習スキル 情報モラルとインターネット操作活用能力
	内容	PC機器利用、遠隔授業、SNS上の注意他 グループ A ; 学籍番号51123001—51123049 (担当 : 中村浩) グループ B ; 学籍番号51123050—51123099 (担当 : 平野正広)
第6回	担当 教員	中村 浩 平野 正広 学習スキル 社会人基礎力① レポートの書き方講座(1)
	内容	わかりやすいレポートを書くための、「レポート力」を身につけるための講座である。「わかりやすいレポート」と「わかりにくいレポート」には、決定的な違いがある。伝わるレポートを書くにはどうすればよいか、ワークを通して学ぶ グループ A ; 学籍番号51123001—51123049 (担当 : 中村浩) グループ B ; 学籍番号51123050—51123099 (担当 : 平野正広)
第7回	担当 教員	中村 浩 平野 正広 医療と芸術の融合 ; 芸術鑑賞 学外プログラム① 歌舞伎鑑賞事前説明会
		芸術鑑賞では、本学の開学理念である日本固有の美や和の精神の継承と、医療と芸術の融合による新たな社会創造に向け、我が国固有の舞台芸術である歌舞伎に

	内容	ついて学ぶことを目的とする 歌舞伎を鑑賞する際の留意点を説明する（実際の鑑賞は学外で6月4日に実施） グループA；学籍番号51123001－51123049（担当：中村浩） グループB；学籍番号51123050－51123099（担当：平野正広）
第8回	担当教員	中村 浩 平野 正広 医療と芸術の融合；芸術鑑賞 学外プログラム② 歌舞伎鑑賞教室参加；2023年6月4日（日）国立芸術劇場大ホール
	内容	必修講義の一環として歌舞伎鑑賞教室に参加する グループA；学籍番号51123001－51123049（担当：中村浩） グループB；学籍番号51123050－51123099（担当：平野正広）
第9回	担当教員	中村 浩 平野 正広 医療と芸術の融合／社会人基礎力② 学外プログラム③／レポートの書き方講座② 歌舞伎鑑賞後レポート作成／レポートの書き方（1）で行ったワークの振り返り
	内容	歌舞伎鑑賞に関するディスカッションとレポートの作成、ワークの振り返りを行い、自己採点する（各学科） グループA；学籍番号51123001－51123049（担当：中村浩） グループB；学籍番号51123050－51123099（担当：平野正広）
第10回	担当教員	中村 浩 平野 正広 学習スキル 社会人基礎力③ マナー接遇講座
	内容	大学生としての基本的なマナー講座（挨拶、電話、メール、交通のマナーなど） グループA；学籍番号51123001－51123049（担当：中村浩） グループB；学籍番号51123050－51123099（担当：平野正広）
第11回	担当教員	中村 浩 平野 正広 学習スキル 情報・文献検索、論文の書き方
	内容	図書館利用ツアー：学科別に分かれ、図書館、パソコンルーム、自習室の使い方、書籍の閲覧方法、論文の検索方法など、図書館を有効に使う方法を学ぶ グループA；学籍番号51123001－51123049（担当：中村浩） グループB；学籍番号51123050－51123099（担当：平野正広）
第12回	担当教員	中村 浩 平野 正広 学習スキル アカデミックリテラシー④
	内容	「アクティブラーニング&スタディスキル形成」プログラム①： 大学4年間で継続学修していけるための「基礎的学修技術」を指導し、大学生力を醸成するプログラム。「学び取るために必要な、理解力、論理力、質問力、構成力、記述力」といった、根幹から技術を指導 グループA；学籍番号51123001－51123049（担当：中村浩） グループB；学籍番号51123050－51123099（担当：平野正広）
第13回	担当教員	中村 浩 平野 正広 学習スキル アカデミックリテラシー⑤
		「アクティブラーニング&スタディスキル形成」プログラム②： 大学4年間で継続学修していけるための「基礎的学修技術」を指導し、大学生力を

	内容	醸成するプログラム。「学び取るために必要な、理解力、論理力、質問力、構成力、記述力」といった、根幹から技術を指導 グループA；学籍番号51123001－51123049（担当：中村浩） グループB；学籍番号51123050－51123099（担当：平野正広）
第14回	担当教員	中村 浩 平野 正広 学習スキル 専門教育の準備①
	内容	各専門分野を学んでいくうえで必要となる基礎知識を学習する グループA；学籍番号51123001－51123049（担当：中村浩） グループB；学籍番号51123050－51123099（担当：平野正広）
第15回	担当教員	中村 浩 平野 正広 学習スキル 専門教育の準備②
	内容	各専門分野を学んでいくうえで必要となる基礎知識を学習する グループA；学籍番号51123001－51123049（担当：中村浩） グループB；学籍番号51123050－51123099（担当：平野正広）

評価方法

授業内容について毎回評価カードを提出する（40%）
課題がある場合は以下の様に配分する
学科共通の課題（30%）
学科ごとの課題（30%）

教科書

『プレリハビリハビリ・医療系』第1版、企画：日本リハビリテーション教育学会、編集協力：小野田公、糸数昌史、屋嘉比章紘、出版社：株式会社アイペック、2022年、定価660円（税込み）

参考書

指定なし

オフィスアワー

担当教員研究室。授業内容についての質問は授業中、授業後およびオフィスアワーに受け付ける。またメールでの質問も受け付ける
（中島琢磨：t-nakajima@ryotokuji-u.ac.jp）
（中村浩：h-nakamura@ryotokuji-u.ac.jp）
（平野正広：m-hirano@ryotokuji-u.ac.jp）

実務経験の有無

有

その他

授業形態は演習であり、講義を聴くだけでなく毎回授業時間内に各自が作業を行い、そのプロダクトを提出する。授業後は授業の内容を振り返り、自分の考えを再度整理しておくこと

講義コード	0006204
講義名	人間関係実践演習II[理]
(副題)	(医療教養)
講義開講時期	前期
講義区分	演習
基準単位数	1
時間	30.00
対象学年	1
必修/選択	必修

担当教員

氏名
檀 和夫
橋本 和幸
佐伯 晴子
都築 則彦

総合学習目標

医療のプロフェッショナルになる上で個々の医学知識やさまざまな技能の修得の前にまず理解し、また身につけておかなければならない「医療の重さ」、「生命の重さ」、「他者のために働くことの意味」、「人と人との対話」の重要性について学ぶ。これらは理学療法学科DP-3①、②に相当する。

個別学習目標

- 1) 医療の本質と医療を学ぶ者に求められていることを説明できる。
- 2) 生命の驚異と神秘の仕組みを学び、生命への畏敬の念と尊厳の気持ち、健康の大切さを理解できる。
- 3) 生命を扱う医療人として生命倫理、医療倫理を理解できる。
- 4) 他者のために働くことの意味を理解できる。
- 5) 医療の対象となる患者の気持ち、家族の気持ちが理解できる。
- 6) 対話をする上で自己の理解が不可欠であることを理解できる。
- 7) 医療に不可欠な対話の大切さが理解できる。

準備学修

授業形態は演習であり、講義を聴くだけではなく毎回授業時間内に各自が作業を行い、そのプロダクトを提出する。授業後は授業の内容を振り返り、自分の考えを再度整理しておくこと(60分)。

授業計画

第1回	担当教員	檀 和夫 医療の本質と医療学生の資質
	内容	医療とは何か・医療系学生に求められるもの
第2回	担当教員	檀 和夫 生命の驚異と神秘

	内容	生命の驚異の仕組み。生命への畏敬の念。健康の大切さ。
第3回	担当教員	檀 和夫 生命倫理と医療倫理・研究倫理
	内容	知っておくべき生命倫理と医療倫理および研究倫理
第4回	担当教員	檀 和夫 都築 則彦 ボランティアについてI
	内容	キャリアへの繋がり
第5回	担当教員	檀 和夫 都築 則彦 ボランティアについてII
	内容	様々なテーマの活動
第6回	担当教員	檀 和夫 佐伯 晴子 患者の気持ち・家族の気持ちI
	内容	患者および家族への思いやりI
第7回	担当教員	檀 和夫 佐伯 晴子 患者の気持ち・家族の気持ちII
	内容	患者および家族への思いやりII
第8回	担当教員	橋本 和幸 対話の基礎・自己理解I
	内容	性格の理解
第9回	担当教員	橋本 和幸 対話の基礎・自己理解II
	内容	自分史の理解
第10回	担当教員	橋本 和幸 対話の基礎・自己理解III
	内容	自己概念の理解
第11回	担当教員	橋本 和幸 面接技法 I
	内容	面接を行う前の準備
第12回	担当教員	橋本 和幸 面接技法 II
	内容	ペース合わせ
第13回	担当教員	橋本 和幸 面接技法 III
	内容	非言語的メッセージの取り扱い
第14回	担当教員	橋本 和幸 面接技法 IV
	内容	明確化
第15回	担当教員	橋本 和幸 面接技法 V
	内容	リフレーミング

評価方法

授業内課題（50%）と全15回の授業終了後に課すレポート（50%）により評価する。

教科書

テキスト

相談・指導のための面接技法 橋本和幸 ムイスリ出版 880円＋税

参考書

参考文献

人間学入門—医療のプロをめざすあなたに 日本医学教育学会 南山堂 2, 400円

看護学生のための医療倫理 盛永審一郎、長島 隆 丸善出版 2, 600円

オフィスアワー

（檀）：月曜日および金曜日昼休み（12:10-13:00）、担当教員研究室。授業内容についての質問は授業中、授業後およびオフィスアワーに受け付ける。またメールでの質問も受け付ける（メールアドレス：dan@ryotokuji-u.ac.jp）。

（橋本）：木曜日5限（16:20-17:50）、担当教員研究室。授業内容についての質問は授業後、オフィスアワーおよびその他随時に受け付ける。またメールでの質問も受け付ける（メールアドレス：k-hashimoto@yrotokuji-u.ac.jp）。

実務経験の有無

担当教員実務経験の有無，有

その他

<キャリア教育科目>

講義コード	0006301
講義名	人間関係実践演習III[理]
(副題)	(医療コミュニケーション論II)
講義開講時期	前期
講義区分	演習
基準単位数	1
時間	30.00
対象学年	3
必修/選択	必修

担当教員

氏名
盆子原 秀三

総合学習目標

DP 3
 医療専門職チームという集団の中ではまず個としての医療人としての自覚が必要である。医療職として働くとはどういう意味なのか？それを考えることでチームの重要性を認識すること、さらに「医療」の重さ、「生命」の重さ、「人と人との対話」や「チーム医療」の大切さならびに「医療安全」の重要性を学ばなければならない。

個別学習目標

1. 医療に不可欠な対話の大切さを理解できる。
2. 医療の対象となる患者の気持ちや家族の気持ちを理解できる。
3. 実習を通じて「チーム医療」の大切さが実感できるようになる。
4. 実習を通じて「医療安全」の重要さが実感できるようになる。

授業計画

第1回	担当教員	盆子原 秀三 医療職として働くことの意味
	内容	なぜこの仕事をするのか、医療職として働く理由はなにか、をあらためて見つめる内省ワークです。
第2回	担当教員	盆子原 秀三 判断する基盤となる価値について
	内容	臨床推論において様々な状況での判断を要求される。この判断のもとになるのは価値観である。いろいろな価値観があること、それを共感することを学ぶ。
第3回	担当教員	盆子原 秀三 チーム・アプローチとは
	内容	
	担	

第4回	当 教 員	盆子原 秀三 チームワークの機能
	内 容	
第5回	担 当 教 員	盆子原 秀三 リハビリテーションチームと専門職
	内 容	
第6回	担 当 教 員	盆子原 秀三 ケース・カンファレンス
	内 容	
第7回	担 当 教 員	盆子原 秀三 ケース・カンファレンス ロールプレイ
	内 容	医師が画像から診断を伝え、看護師から問題を提起されます、理学療法士、作業療法士、ソーシャルワーカーで、解決策を話し合しましょう。
第8回	担 当 教 員	盆子原 秀三 チームによる意思決定
	内 容	
第9回	担 当 教 員	盆子原 秀三 組織形態とその特徴
	内 容	
第10回	担 当 教 員	盆子原 秀三 理学療法士としての接遇
	内 容	
第11回	担 当 教 員	盆子原 秀三 パーソナルディスタンス
	内 容	
第12回	担 当 教 員	盆子原 秀三 患者の主訴とは
	内 容	

第13回	担当教員	盆子原 秀三 意思決定のための基本
	内容	
第14回	担当教員	盆子原 秀三 リスク管理 伝達のしかた
	内容	
第15回	担当教員	盆子原 秀三 リスク管理 予測と対応
	内容	

評価方法

毎回の出欠カード課題（40%）ならびに最終のレポート（60%）により総合評価を行う。

教科書

適宜資料を配布する。

参考書

リハビリテーションリスク管理ケーススタディ メジカルビュー社 宮越浩一

その他

毎回、出欠カードに課題を提示しますので回答してください。出欠確認として活用します。

担当教員実務経験の有無，有

<キャリア教育科目>

講義コード	0006901
講義名	体育実技（ワークアウト）
(副題)	[理（前期）]
講義開講時期	前期
講義区分	実技
基準単位数	0
時間	30.00
対象学年	1
必修/選択	選択

担当教員

氏名

山形 貴枝

金子 実穂

杉木 颯人

総合学習目標

この科目は

理学 DP 1、DP 2、DP 3 に対応

整復 DP 1、DP 2、DP 3 に対応

音楽を用いて楽しく身体を動かす中で得られる「脂肪燃焼」「心配持久力向上」「柔軟性向上」「筋持久力向上」「体幹強化」「気分の変化」など様々効果について、自ら身体を動かしワークアウトを体験し「安全」で「効果的」な運動指導方法を身に着ける。

個別学習目標

運動時の正確な動作（安全で効果的）について理解を深める

音楽と運動の相乗効果について理解を深める

他者の動きを観察し動きの中から正しいアライメントについて理解する。

準備学修

運動生理学及び解剖学の基礎について理解する。

- ・ 大筋群の起始部、停止部を理解し、主動筋がわかるようにしておくこと。
- ・ 正しいアライメントについて理解しておくこと。
- ・ 関節可動域を理解しておくこと。

授業計画

第1回	担当 教員	山形 貴枝 グループワークアウトについて。グループワークアウトで学ぶこと。ワークアウトの楽しさや効果について。 ①ヨガとピラティスを使ったエクササイズ②ダンス系エクササイズ③格闘系エクササイズ
	内容	○ワークアウトを通して得られる様々な効果を知るとともに安全に行う為に必要な事を理解する。 ①～③のエクササイズ特徴について ヨガとピラティスを使ったエクササイズ①
第2回	担当 教員	山形 貴枝 グループワークアウト GROUP CENTERGY①～ヨガとピラティスを使ったエクササイズで柔軟性～
	内容	ヨガとピラティスの要素を取り入れたワークアウト。 身体の使い方や呼吸を通して心地よい動きを学ぶ。 音楽と動きの融合を楽しむ。
第3回	担当 教員	山形 貴枝 グループワークアウト GROUP CENTERGY② ヨガとピラティスを使ったエクササイズ全10曲を使用 1～3について
	内容	動き方の解説 主に1～3トラックについての解説を中心に 動きに慣れることを目的とする ①主にウォーミングアップとしての動き ②太陽礼拝を中心とした動き ③下半身を強化するポーズを中心に動く
第4回	担当 教員	山形 貴枝 グループワークアウト GROUP CENTERGY③ ～ヨガとピラティスを使ったエクササイズ～ トラック4～6
	内容	④ヨガとピラティスを使った「体幹強化」を学ぶ ⑤呼吸や動きでインナーマッスルを刺激し強化する方法を知る。 ⑥ヨガのバランスを使い集中力を向上させる。
第5回	担当 教員	グループワークアウト GROUP CENTERGY④ ヨガとピラティスを使ったエクササイズ トラック7～10
	内容	⑦主に股関節周辺の可動域を広げ ⑧脊柱の安定と可動性を高める。 ⑨ハムストリングスや腰背部の柔軟性を向上させる。 回復のポーズ
第6回	担当 教員	金子 実穂 グループワークアウト GROUP GROOVE① ダンスエクササイズで脂肪燃焼
	内容	様々なダンスを使い、型にはまりすぎず「音」を楽しみながら効果的に動くワークアウト

		基本的な動作を理解する。
第7回	担当 教員	金子 実穂 グループワークアウト GROUP GROOVE② ダンスエクササイズで脂肪燃 焼 トラック1～4
	内容	ダンスエクササイズのウォーミングアップから、カーディオエクササイズで心 拍数を上げます。 目的をもって動くことで運動効果を得ることを知る。 ①WARM-UP 身体を温め調子上げる ②FIRST DANCE 控えめなインパ クト(衝撃)のダンスで強度を徐々に上げる ③PARTY DANCE 1 楽しいダンススタイルで更に強度を上げる ④LOW DANCE 1 重心を低くして踊りm脚への強度を上げる
第8回	担当 教員	金子 実穂 グループワークアウトGROUP GROOVE② ダンスエクササイズで脂肪燃焼 トラック5～8
	内容	音楽を楽しみ、型にはまりすぎず自由に体を動かすワークアウト。 ⑤CARDIO DANCE 2 シンプルで様々なインパクト(衝撃)を組み合わせたエ ネルギーの高いダンスで最初のピークに達する ⑥LOW DANCE 2 低い重心で脚への強度をさらに上げる ⑦CARDIO DANCE 2 速いペースの曲でシンプル且つ様々なインパクトの動きで2回目の ピークに達する
第9回	担当 教員	金子 実穂 グループワークアウト GROUP GROOVE④ ダンスエクササイズで脂肪燃 焼 トラック9～11
	内容	ダンススキルではなく、ワークアウトの目的を達成させることを学ぶ。 ⑧BREAK DANCE ローインパクトのダンススタイルを使いfinaleに備え一度 強度を下げる ⑨PARTY DANCE 2 楽しいスタイルのダンスの動きでfinaleに向け強度を上 げていく ⑩finale シンプルで様々なインパクトの動きを組み合わせエネルギーの高い 動きで気分も上げて最後のピークに達する ⑪cooldown 姿勢をリセットし、ダンス風のムーブメントで毎日の積み重ね による姿勢の影響をリカバリーする
第10回	担当 教員	杉木 颯人 グループワークアウト GROUP FIGHT① 格闘系エクササイズでストレス発 散とシェイプアップ トラック1～4
	内容	格闘系の動きを用いて、主に肩や背中ウエスト周りのシェイプを狙うワークア ウト全体の構成を理解する。 ①WARM-UP 上半身を主に使い心拍を上げ準備する ②BOX ボクシングにスピードとパワーを取り入れ強度を上げる ③MUAYTHAI ムエタイのコンビネーションにより最初の心拍ピークに達する

		④KICKS 下半身の動きを練習しながら上半身を回復させる 各トラックの動きの基礎を学ぶ
第11回	担当 教員	杉木 颯人 グループワークアウト GROUP FIGHT② 格闘系エクササイズでストレス発散とシェイプアップ トラック5～7
	内容	⑤MMA1 (MIXED MARTIAL ARTS) 総合格闘技 (MMA) のファイトスタイルとトレーニング動作でコーディネーション改善&強度を上げる ⑥SUPER BOX ボクシングにスピードとパワーを取り入れ強度を上げる ⑦MMA2 総合格闘技のファイトスタイルとトレーニング動作でコーディネーションを改善し、最後のピークに備える 動きの目的を理解し「安全」なアライメントを学ぶ
第12回	担当 教員	杉木 颯人 グループワークアウト GROUP FIGHT③ 格闘系エクササイズでストレス発散とシェイプアップ トラック8～10
	内容	⑧MUAY THAI 2 ムエタイ2 このトラックで、心拍数最高に上げ、最後のピークに達する ⑨CONDITIONING 胸部、上腕三頭筋、脚部、コアのトレーニングパート ⑩cool down 専門的なファイトトレーニングと毎日の積み重ねによる姿勢の影響を特有の戦略を通してリカバリーさせる 目的を達成するためにはここに合わせた「強度変換」について学ぶ
第13回	担当 教員	杉木 颯人 グループワークアウト GROUP FIGHT④ 格闘系エクササイズでストレス発散とシェイプアップ
	内容	自分自身の動きの正確性を高める 課題曲（実技テスト実施曲）の動きについて理解を深める
第14回	担当 教員	杉木 颯人 グループワークアウト GROUP FIGHT③ 格闘系エクササイズでストレス発散とシェイプアップ 動きの復習
	内容	強度変換を知り、適切に指示する事を学ぶ 課題曲の理解を深める② グループワークで他者の動きを修正する
第15回	担当 教員	山形 貴枝 杉木 颯人 グループワークアウト 実技 【総括】
	内容	「イクサイズ」の安全な動き方を理解しているか 「イクサイズ」の目的に沿った動作が出来ているか 「イクサイズ」を楽しもうとしているか 「イクサイズ」を効果的に実践しようとしているか 今までの授業の総括を実技を通して行う。

評価方法
定期試験(実技) 80%、授業出席、受講態度20% 合計100点にて評価する。 課題ワークアウトの中で「正しいアライメント」「安全面に配慮した動き」「運動強度の選択」を評価する。
教科書
教科書は使用しない。
参考書
参考書指定なし。
オフィスアワー
質問等は授業の前後で受け付ける。
実務経験の有無
有

講義コード	0006903
講義名	体育実技（ワークアウト）
(副題)	[理（後期）]
講義開講時期	後期
講義区分	実技
基準単位数	0
時間	30.00
対象学年	1
必修/選択	選択

担当教員

氏名

山形 貴枝

金子 実穂

杉木 颯人

総合学習目標

この科目は

理学 DP 1、DP 2、DP 3 に対応

整復 DP 1、DP 2、DP 3 に対応

音楽を用いて楽しく身体を動かす中で得られる「脂肪燃焼」「心配持久力向上」「柔軟性向上」「筋持久力向上」「体幹強化」「気分の変化」など様々効果について、自ら身体を動かしワークアウトを体験し「安全」で「効果的」な運動指導方法を身に着ける。

グループワークで授業を進めることで、他者へのフォローや指導を通して運動時の身体動作に対する観察力を身に着ける。

個別学習目標

運動時の正確な動作（安全で効果的）について理解を深める

音楽と運動の相乗効果について理解を深める

他者の動きを観察し的確な指導ができるためのスキルが身につく

準備学修

運動生理学及び解剖学の基礎について理解する。

- ・ 大筋群の起始部、停止部を理解し、主動筋がわかるようにしておくこと。
- ・ 正しいアライメントについて理解しておくこと。
- ・ 関節可動域を理解しておくこと。

授業計画

第1回	担当 教員	山形 貴枝 グループワークアウトについて。グループワークアウトで学ぶこと。ワークアウトの楽しさや効果について。 ①ヨガとピラティスを使ったエクササイズ②ダンス系エクササイズ③格闘系エクササイズ
	内容	○ワークアウトを通して得られる様々な効果を知るとともに安全に行う為に必要な事を理解する。 ①～③のエクササイズ特徴について ヨガとピラティスを使ったエクササイズ①
第2回	担当 教員	山形 貴枝 グループワークアウト GROUP CENTERGY①～ヨガとピラティスを使ったエクササイズで柔軟性～
	内容	ヨガとピラティスの要素を取り入れたワークアウト。 身体の使い方や呼吸を通して心地よい動きを学ぶ。 音楽と動きの融合を楽しむ。
第3回	担当 教員	山形 貴枝 グループワークアウト GROUP CENTERGY② ヨガとピラティスを使ったエクササイズ全10曲を使用 1～3について
	内容	動き方の解説 主に1～3トラックについての解説を中心に 動きに慣れることを目的とする ①主にウォーミングアップとしての動き ②太陽礼拝を中心とした動き ③下半身を強化するポーズを中心に動く
第4回	担当 教員	山形 貴枝 グループワークアウト GROUP CENTERGY③ ～ヨガとピラティスを使ったエクササイズ～ トラック4～6
	内容	④ヨガとピラティスを使った「体幹強化」を学ぶ ⑤呼吸や動きでインナーマッスルを刺激し強化する方法を知る。 ⑥ヨガのバランスを使い集中力を向上させる。
第5回	担当 教員	グループワークアウト GROUP CENTERGY④ ヨガとピラティスを使ったエクササイズ トラック7～10
	内容	⑦主に股関節周辺の可動域を広げ ⑧脊柱の安定と可動性を高める。 ⑨ハムストリングスや腰背部の柔軟性を向上させる。 回復のポーズ
第6回	担当 教員	金子 実穂 グループワークアウト GROUP GROOVE① ダンスエクササイズで脂肪燃焼

	内容	様々なダンスを使い、型にはまりすぎず「音」を楽しみながら効果的に動くワークアウト 基本的な動作を理解する。
第7回	担当 教員	金子 実穂 グループワークアウト GROUP GROOVE② ダンスエクササイズで脂肪燃焼 トラック1～4
	内容	ダンスエクササイズのウォーミングアップから、カーディオエクササイズで心拍数を上げます。 目的をもって動くことで運動効果を得ることを知る。 ①WARM-UP 身体を温め調子上げる ②FIRST DANCE 控えめなインパクト（衝撃）のダンスで強度を徐々に上げる ③PARTY DANCE 1 楽しいダンススタイルで更に強度を上げる ④LOW DANCE 1 重心を低くして踊りm脚への強度を上げる
第8回	担当 教員	金子 実穂 グループワークアウトGROUP GROOVE② ダンスエクササイズで脂肪燃焼 トラック5～8
	内容	音楽を楽しみ、型にはまりすぎず自由に体を動かすワークアウト。 ⑤CARDIO DANCE 2 シンプルで様々なインパクト(衝撃)を組み合わせたエネルギーの高いダンスで最初のピークに達する ⑥LOW DANCE 2 低い重心で脚への強度をさらに上げる ⑦CARDIO DANCE 2 速いペースの曲でシンプル且つ様々なインパクトの動きで2回目のピークに達する
第9回	担当 教員	金子 実穂 グループワークアウト GROUP GROOVE④ ダンスエクササイズで脂肪燃焼 トラック9～11
	内容	ダンススキルではなく、ワークアウトの目的を達成させることを学ぶ。 ⑧BREAK DANCE ローインパクトのダンススタイルを使いfinaleに備え一度強度を下げる ⑨PARTY DANCE 2 楽しいスタイルのダンスの動きでfinaleに向け強度を上げていく ⑩finale シンプルで様々なインパクトの動きを組み合わせエネルギーの高い動きで気分も上げて最後のピークに達する ⑪cooldown 姿勢をリセットし、ダンス風のムーブメントで毎日の積み重ねによる姿勢の影響をリカバリーする
第10回	担当 教員	杉木 颯人 グループワークアウト GROUP FIGHT① 格闘系エクササイズでストレス発散とシェイプアップ トラック1～4
	内容	格闘系の動きを用いて、主に肩や背中ウエスト周りのシェイプを狙うワークアウト全体の構成を理解する。 ①WARM-UP 上半身を主に使い心拍を上げ準備する ②BOX ボクシングにスピードとパワーを取り入れ強度を上げる

		<p>③MUAYTHAI ムエタイのコンビネーションにより最初の心拍ピークに達する</p> <p>④KICKS 下半身の動きを練習しながら上半身を回復させる</p> <p>各トラックの動きの基礎を学ぶ</p>
第11回	担当 教員	<p>杉木 颯人</p> <p>グループワークアウト GROUP FIGHT② 格闘系エクササイズでストレス発散とシェイプアップ トラック5～7</p>
	内容	<p>⑤MMA1 (MIXED MARTIAL ARTS) 総合格闘技 (MMA) のファイトスタイルとトレーニング動作でコーディネーション改善&強度を上げる</p> <p>⑥SUPER BOX ボクシングにスピードとパワーを取り入れ強度を上げる</p> <p>⑦MMA2 総合格闘技のファイトスタイルとトレーニング動作でコーディネーションを改善し、最後のピークに備える</p> <p>動きの目的を理解し「安全」なアライメントを学ぶ</p>
第12回	担当 教員	<p>杉木 颯人</p> <p>グループワークアウト GROUP FIGHT③ 格闘系エクササイズでストレス発散とシェイプアップ トラック8～10</p>
	内容	<p>⑧MUAY THAI 2 ムエタイ2 このトラックで、心拍数最高に上げ、最後のピークに達する</p> <p>⑨CONDITIONING 胸部、上腕三頭筋、脚部、コアのトレーニングパート</p> <p>⑩cool down 専門的なファイトトレーニングと毎日の積み重ねによる姿勢の影響を特有の戦略を通してリカバリーさせる</p> <p>目的を達成するためにはここに合わせた「強度変換」について学ぶ</p>
第13回	担当 教員	<p>杉木 颯人</p> <p>グループワークアウト GROUP FIGHT④ 格闘系エクササイズでストレス発散とシェイプアップ</p>
	内容	<p>自分自身の動きの正確性を高める</p> <p>他者のアライメント修正にチャレンジする (グループワーク)</p> <p>課題曲について理解を深める</p>
第14回	担当 教員	<p>杉木 颯人</p> <p>グループワークアウト GROUP FIGHT③ 格闘系エクササイズでストレス発散とシェイプアップ 動きの復習</p>
	内容	<p>強度変換を知り、適切に指示する事を学ぶ</p> <p>課題曲の理解を深める②</p> <p>グループワークで他者の動きを修正する</p>
第15回	担当 教員	<p>グループワークアウト 実技 【総括】</p>
	内容	<p>エクササイズを安全に実施する方法を理解しているか</p> <p>エクササイズの目的を理解して動いているか</p> <p>エクササイズを楽しんでいるか</p> <p>エクササイズを効果的に実践しているか</p> <p>実技を通して確認する。</p>

評価方法

定期試験(実技) 80%、授業出席、受講態度20% 合計100点にて評価する。

課題ワークアウトの中で「正しいアライメント」「安全面に配慮した動き」「運動強度の選択」を評価する。

教科書

教科書は使用しない。

参考書

参考書指定なし。

オフィスアワー

質問等は授業の前後で受け付ける。

実務経験の有無

有

講義コード	2000302
講義名	教育心理学〔理〕
(副題)	
講義開講時期	後期
講義区分	講義
基準単位数	2
時間	30.00
対象学年	1
必修/選択	選択

担当教員

氏名
橋本 和幸

総合学習目標

この授業は、教育、指導、学習などに役立つ心理学の知識や考え方を学ぶものです。
【理学療法学科ディプロマポリシー:DP2-①、DP3-②に相当】

個別学習目標

- ・教育や指導の場面で対象者を理解するために心理学の知見を役立てることが出来るようになる。
- ・各回の内容から発達経過に理解を深める。
- ・授業で提示された様々な用語を理解し、他者に説明することが出来る。
- ・自分自身が教育・指導を行う立場になった時のことを想定しながら、講義を聴くことが出来る。

準備学修

各回を受講する前に教科書の該当ページに目を通しておくと、理解しやすくなると思います。

授業計画

第1回	担当教員	橋本 和幸 イントロダクション
	内容	授業の進め方や教育心理学が扱う領域を説明する。
第2回	担当教員	橋本 和幸 学習
	内容	学びによる行動の変化について説明する。
第3回	担当教員	橋本 和幸 記憶
	内容	記憶の仕組みを説明する。
第4回	担当教員	橋本 和幸 動機づけ
	内容	やる気が生まれて持続する仕組みを説明する。
第5回	担当教員	橋本 和幸 発達
	内容	心身の質的・量的な変化について説明する。
第6回	担当教員	橋本 和幸 発達段階
	内容	年齢時期による特徴的な変化の違いを説明する。
第7回	担当教員	橋本 和幸 発達課題

	内容	それぞれの発達段階で達成する必要がある課題について説明する。
第8回	担当教員	橋本 和幸 知能
	内容	「頭がいい」とはどういうことかを説明する。
第9回	担当教員	橋本 和幸 発達障害
	内容	心身の発達の遅れや偏りと、それによって生じる問題について説明する。
第10回	担当教員	橋本 和幸 性格
	内容	個性が形成される過程を説明する。
第11回	担当教員	橋本 和幸 適応
	内容	環境に適応する仕組みを説明する。
第12回	担当教員	橋本 和幸 評価
	内容	指導者の評価の方法や評価に影響する要因などを説明する。
第13回	担当教員	橋本 和幸 教授
	内容	教え方の種類や特徴などを説明する。
第14回	担当教員	橋本 和幸 集団
	内容	グループができる仕組みやメンバーの仲の良さの調べ方などを説明する。
第15回	担当教員	橋本 和幸 相談活動
	内容	問題を抱える当事者を心理学的に支援する方法を説明する。

評価方法

レポート10%と定期試験90%で評価を行う。

教科書

テキスト 教育心理学メモランダム 橋本和幸 ムイスリ出版 1,470円+税

参考書

授業ごとに紹介します。

オフィスアワー

後期は木曜日・3限に教員研究室で受け付けます。

実務経験の有無

有

その他

- ・テキストを指定するので、事前に予習して授業に臨んでください。
- ・授業中に挙げた参考文献は、授業の復習に用いると良いと思います。

講義コード	2004002
講義名	教育方法論 [理]
(副題)	
講義開講時期	前期
講義区分	講義
基準単位数	2
時間	30.00
対象学年	2
必修/選択	選択

担当教員

氏名
三浦 芳恵

総合学習目標

本講義では、教育方法学の基礎的な理論や優れた実践を学ぶことを通し、教育方法と指導者の指導技術を中心に教育方法学の基本事項と授業づくりの基礎的技法を学ぶ。また、情報機器の活用法を理解し、質の高い学びへとつなげる授業のあり方について考える。健康科学部DP2-①、DP3-①、理学DP3に該当する。

個別学習目標

- 1.指導における学習理論、教授理論について理解し、実際の指導への適用について考えることができる。
- 2.指導計画の意味と方法を知り、それを用いて目的に合った案を作成できる。
- 3.学びにおける情報化の重要性と教育効果について理解し、自身でも情報機器活用することができる。

準備学修

事前に関連するテーマについて自身の教育経験を振り返り、疑問点を整理しておく（30分）
 授業後に資料や記録を整理し、内容理解を深める（60分）
 授業実践及び口頭発表などを行うので、事前に課題、表現方法を設定し、資料を収集、まとめ、表現活動の練習に積極的に取り組むこと（15時間）

授業計画

第1回	担当教員	三浦 芳恵 オリエンテーションと学修全体の概観
	内容	本授業の全体概要と進め方、目標・評価について理解する。AL:E
第2回	担当教員	三浦 芳恵 教育方法論の歴史的概観と情報化社会における教育
	内容	先人に学ぶ「授業理論と実践」から、近代社会と教育方法学、教育方法について理解するとともに情報化社会におけるICTの役割について理解する。AL:B, C
第3回	担当教員	三浦 芳恵 情報教育の理論
	内容	情報教育の理論～キーコンピテンシーとしての情報教育について理解す

	容	る。AL:A
第4回	担当教員	三浦 芳恵 学力問題と授業づくりの課題 ・教育実践演習I
	内容	教育における現代的な課題と学力モデルから授業づくりの要諦を理解する。AL:A, B ・ICTを活用した実践演習I AL:C
第5回	担当教員	三浦 芳恵 教育目標・教育内容の設定
	内容	学習者を中心とした教育のデザイン（教育目標・教育内容）の設定について理解する。AL:A, B
第6回	担当教員	三浦 芳恵 アクティブラーニングや教育の情報化における主体的・対話的で深い学び
	内容	アクティブラーニングや授業の魅力を高めるICTの活用について基本と課題を理解する。AL:A, B
第7回	担当教員	三浦 芳恵 授業展開を導く教授行為
	内容	発問・板書・机間指導の機能とその本質から指導者の果たす役割を理解する。AL:A, B
第8回	担当教員	三浦 芳恵 教育評価を活かした授業づくりと校務の情報化
	内容	指導と評価の一体化、指導者の果たす役割とICTを活用した評価手法について理解する。AL:B
第9回	担当教員	三浦 芳恵 指導における生徒指導の機能
	内容	指導における学習規律と生徒指導の関連について理解する。AL:B
第10回	担当教員	三浦 芳恵 特別な教育的ニーズへの対応 ・指導実践演習II
	内容	教育的ニーズの把握と障がいに応じた具体的な支援の方法と指導体制について理解する。AL:A, D ・ICTを活用した指導実践演習II AL:C
第11回	担当教員	三浦 芳恵 指導の具体的な設計
	内容	指導の内容構成と指導案作成の基本について理解する。AL:B, D
	担当	三浦 芳恵

第12回	教員	指導における具体的なICT活用
	内容	ICT活用を活用した指導方法について教育的効果や課題を理解し、模擬指導の構想と指導案作成を行う。AL:B, C, D
第13回	担当教員	三浦 芳恵 ICTを活用した模擬指導の実践(1) 中間報告
	内容	ICT活用を活用した指導実践の検討会（中間報告）を行い、細部の修正を行う。AL:A, B, C, D
第14回	担当教員	三浦 芳恵 ICTを活用した模擬指導の実践(2) 最終提案 ・指導実践演習III
	内容	指導実践の検討会（最終提案）相互評価により成果と課題を明確にする。AL:A, B, C, D ・ICTを活用した指導実践演習III AL:C
第15回	担当教員	三浦 芳恵 補足と総括
	内容	指導における今日的課題と指導者の果たす役割について理解する。AL:A 試験

評価方法

最終レポート及びテスト 45点(45%)、実践課題への取り組み35点(35%)、授業態度、提出物等 20点(20%)により評価を行い、60点以上を合格とする。

- ・合格点に満たなかった場合は再試験を行う。

教科書

テキストなし

実務経験の有無

無

その他

本授業では実践を通して理解を深めることに重点を置いているので、授業内における積極的な意見表出、実践課題への参加を望む。また表現活動では準備・練習を行いスキルアップへ積極的に取り組むことを期待する。

講義コード	2005303
講義名	教育原論〔理〕
(副題)	
講義開講時期	前期
講義区分	講義
基準単位数	2
時間	30.00
対象学年	1
必修/選択	必修

担当教員

氏名
池谷 壽夫

総合学習目標

教育が人類の存続にとってどれほど重要な意義を持っているかを理解し、教育に関する諸概念と基本的問題について基本的な理解を深める。

DP1-②、DP3-①、理学DP2-①に該当する。

個別学習目標

- ・ 教育の本質、目的および意義を理解できる。
- ・ 教育に関する重要な諸概念（教育、子ども、学力、発達、学習など）を理解できる。
- ・ 教育における学校・家庭・共同体の役割を理解できる。

準備学修

授業後に、講義の内容を振り返り、わからない点や重要な点をチェックしておくこと（30分）

授業計画

第1回	担当教員	池谷 壽夫 イントロダクション
	内容	講義のねらいと目標, 子どもを見る視点と子どもの状況
第2回	担当教員	池谷 壽夫 教育 (education) はなぜ必要なのか (その1) AL:A
	内容	人間に特有な、生命の継承、文化の伝達としての教育
第3回	担当教員	池谷 壽夫 教育 (education) はなぜ必要なのか (その2)
	内容	人間 (とりわけ、子ども) の成長と発達を援助しケアする教育
第4回	担当教員	池谷 壽夫 子ども・青年の現在を考える AL:A
	内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 貧困の中で生きる子ども・青年 ・ 虐待される子ども ・ 自殺する子ども ・ 幸せだけど「絶望」している子ども・青年 ・ つながっているのに「孤独」な子ども・青年 ・ スクール・カーストの中で生きる子ども
第5回	担当教員	池谷 壽夫 人間が発達するってどういうこと? (その1)
		・ 「生理的早産」としての人間

	内容	・ 人間に特有な「発達」 (development) とは何か
第6回	担当 教員	池谷 壽夫 人間の発達を考える (その2)
	内容	乳幼児から高齢者までの発達を考える
第7回	担当 教員	池谷 壽夫 学習ってどういうことだろうか (その1) AL:A
	内容	「僕は勉強が嫌いだ！」－これまでの学習の特徴と問題点－①他律的な学習 (お勉強としての学習)、②銀行貯蓄型の学習、③孤立的な学習
第8回	担当 教員	池谷 壽夫 学習ってどういうことだろうか (その2)
	内容	・ これからの学習を考える－①周縁的参加としての学習、②共同的探求としての学習 ・ 教育者の新たな役割
第9回	担当 教員	池谷 壽夫 中間的まとめ
	内容	これまでの学習をまとめて、理解を深める
第10回	担当 教員	池谷 壽夫 学校は何のためにあるのか (その1) AL:A
	内容	学校が社会の中で果たしている否定的な機能とは何だろうか
第11回	担当 教員	池谷 壽夫 学校は何のためにあるのか (その2)
	内容	今日の学校が果たす肯定的な機能・役割は何だろうか
第12回	担当 教員	池谷 壽夫 家庭の教育を考える (その1) AL:A, E
	内容	しつけという名目での虐待 (abuse) はなぜ起こるのだろうか
第13回	担当 教員	池谷 壽夫 家庭の教育を考える (その2) AL: A, E
	内容	子育て不安や子育てノイローゼがなぜ起こるのだろうか
第14回	担当 教員	池谷 壽夫 「子どもの権利条約」から教育を考える
	内容	①「子どもの権利条約」の意義とその内容 ② 教育者の役割と仕事を考える
第15回	担当 教員	池谷 壽夫 まとめと討論
	内容	後半期の学習のまとめを行い、「教育」の意義を改めて考える

評価方法

定期試験 (80%)、毎回の授業の最後に提出する小レポート (10%)、課題レポート (10%)

教科書

とくになし。

参考書

参考文献を授業時に随時指示するとともに、参考資料を随時配布する。

オフィスアワー

金曜日3限・池谷研究室

その他

できるだけ対面で聞くだけの授業にならず、自分たちで考え合うようにするために、グループ学習を取り入れていきます。

講義コード	5100101
講義名	生化学
(副題)	(栄養学を含む) [理]
講義開講時期	前期
講義区分	講義
基準単位数	2
時間	30.00
対象学年	1
必修/選択	選択

担当教員

氏名
中島 琢磨
作田 雅子

総合学習目標

人体部位を構成する組織や細胞が適切な刺激を受け取ると、代謝の改善や組織の修復・再構築が誘導される。理学療法目的は機能の回復であり、適切な療法・刺激によって目的が達成される。従って、人体組織の代謝や細胞レベルでの機能調節にかかわる基本知識は、整体法の根幹に関わると言っても過言ではない。また、優れたスポーツトレーナーとして人々の運動能力の向上をサポートする場合も、この知識が必須となってくる。生化学は、基礎医学の最も基本となる生命現象の原理を解き明かす学問である。一方、栄養学は個々の細胞内で起こる化学反応：代謝のしくみを人体の恒常性維持のシステムに統合し、そのシステムを正常に働かせ、時に異常を起こしたシステムを正常化させるための材料：栄養とそのバランスや使い方について解き明かす学問である。従って、生化学の知識無しに基礎医学は理解できないし、栄養学なしには理学療法による回復メカニズムやトレーニングの効果を具体的に理解することはできない。とは言え、生化学も栄養学も膨大な知識の集大成であり、その両方を半期の講義で修得することはおろか、正しく網羅して把握することさえ不可能である。そこで本講義では、生化学と栄養学のもっとも基礎的な知識の習得を目標とし、将来直面する治療効果や疾患・故障のメカニズムへの理解の欲求に対し、適切な情報にたどり着くための素養を身につけることを目的とする。

理学療法学科 DP1-①、DP2-①, ②に該当する。

個別学習目標

- ① 生命現象の基本である分子とその相互作用について理解する。
- ② 生命の最小単位である細胞の構成と各構成要素の役割について知る。
- ③ 生体構成成分（物質）の機能と役割を知る。
- ④ 栄養と生体構成成分の関係、生命現象を構成する仕組み：代謝について知る。
- ⑤ 恒常性とその維持の仕組みについて知る。
- ⑥ 遺伝子の発現調節と栄養、恒常性の維持の関係について知る。

授業計画

第1回	担当教員	中島 琢磨 細胞の構造
	内容	細胞の基本構造と機能・性質について学ぶ
	担当	中島 琢磨

第2回	教員	糖質と脂質
	内容	エネルギー源や生体構成成分、機能分子となる糖質と脂質の役割について学ぶ
第3回	担当 教員	中島 琢磨 タンパク質とアミノ酸
	内容	タンパク質とアミノ酸について知り、タンパク質の性質と役割について学ぶ タンパク質が構造を保ち、機能を発揮する上で重要なpHバランスについて理解する
第4回	担当 教員	中島 琢磨 酵素
	内容	機能タンパク質である酵素の性質と役割を学ぶ
第5回	担当 教員	中島 琢磨 ビタミンとミネラル・核酸
	内容	ビタミンとミネラルの役割を理解する 遺伝物質であり、エネルギー通貨でもある核酸の性質と役割について学ぶ
第6回	担当 教員	作田 雅子 5大栄養素の特徴
	内容	5大栄養素の特徴と性質について知る
第7回	担当 教員	作田 雅子 消化と吸収
	内容	栄養素の消化・吸収の過程について知る
第8回	担当 教員	作田 雅子 エネルギー代謝
	内容	エネルギーの生成に関わる代謝について学ぶ
第9回	担当 教員	中島 琢磨 pHと恒常性-1
	内容	恒常性の維持に重要な体液のpHについて学ぶ
第10回	担当 教員	中島 琢磨 pHと恒常性-2
	内容	pHとともにタンパク質/酵素が構造を保ち、機能を発揮する上で重要なpKとpIについて理解する
第11回	担当 教員	中島 琢磨 遺伝子の発現とその制御-1
	内容	遺伝子の役割と複製のしくみについて知る 遺伝子の発現とその調節について学ぶ
第12回	担当 教員	中島 琢磨 遺伝子の発現とその制御-2
	内容	個体の差異（個性）に関わる遺伝子の多形や変異、遺伝子病について学ぶ 栄養素と遺伝子発現の関係について知る
第13回	担当 教員	中島 琢磨 個体の調節機構とホメオスタシス-1
	内容	人体の恒常性維持に関わる情報伝達システムについて学ぶ 情報伝達のしくみについて学ぶ
第14回	担当 教員	中島 琢磨 個体の調節機構とホメオスタシス-2
	内容	ホルモンによる生体調節のしくみについて学ぶ
第15回	担当 教員	中島 琢磨 生体防御機構概論
	内容	主に感染防御を担う免疫システムがどのように統合され、どのようなときに異常を起こすのかについての概要を把握する

評価方法
定期試験 80%、小テスト 20% 合計 100%
教科書
栄養化学イラストレイテッド 生化学 改訂第3版, 藺田勝 編, 羊土社, 2018年1月刊 2, 800円+税
参考書
リハベーシック生化学・栄養学 医歯薬出版 内山靖・藤井浩美・立石雅子 編, 医歯薬出版, 2020年1月刊 2,970円+税
オフィスアワー
授業内容についての質問は授業中、授業後およびオフィスアワー（教員研究室）に受け付ける。また、メールでの質問も受け付ける。 オフィスアワー；火曜日と木曜日の昼休み, 月曜日午後（13:00 - 16:00） メールアドレス：t-nakajima@ryotokuji-u.ac.jp
実務経験の有無
あり
その他
小テストを適宜実施し、復習を促す。

講義コード	5100202
講義名	人間発達学[理]
(副題)	
講義開講時期	後期
講義区分	講義
基準単位数	2
時間	30.00
対象学年	1
必修/選択	必修

担当教員

氏名
山田 洋一

総合学習目標

- ① 人間発達学は人間を「発達」という視点から捉え、整理した知識体系である。人間は誕生から死までの全生涯を通して常に発達の途上であり、理学療法を実施していくにあたり必要となる各段階に応じた状態像と発達の課題を知ることが目標とする。
- ② 理学療法学科DP1-①

個別学習目標

- ① 人間発達における各機能の発達について説明できる
- ② 社会生活活動の発達について説明できる
- ③ 発達の諸段階と発達課題について説明できる

授業計画

第1回	担当教員	山田 洋一 オリエンテーション、人間発達総論
	内容	1. 授業の進め方、内容、ルールについて説明する。 2. 発達概念：教科書 p 1～23
第2回	担当教員	山田 洋一 人間発達理論
	内容	1. 人間発達（発達理論）：教科書 p 25～39
第3回	担当教員	山田 洋一 発達検査
	内容	1. 発達検査とは？ 2. 代表的な発達検査の紹介：教科書 p 41～58
第4回	担当教員	山田 洋一 姿勢反射/反応
	内容	1. 原始反射、姿勢反射/反応とは？ 2. 各反射について：教科書 p 61～75
第5回	担当教員	山田 洋一 運動発達 ①
	内容	1. 0～3カ月児の運動発達：教科書 p 77～87

第6回	担当教員	山田 洋一 運動発達 ②
	内容	1. 4~6カ月児の運動発達：教科書 p 89~102
第7回	担当教員	山田 洋一 運動発達 ③
	内容	1. 7~9カ月時の運動発達：教科書 p 105~125
第8回	担当教員	山田 洋一 運動発達 ④
	内容	1. 10~12カ月時の運動発達：教科書 p 127~136
第9回	担当教員	山田 洋一 運動発達 ⑤
	内容	1. 13~18カ月時の運動発達：教科書 p 139~148
第10回	担当教員	山田 洋一 姿勢反射/反応と6歳までの発達
	内容	1. 6歳までの粗大運動の発達：教科書 p 151~161 2. 6歳までの姿勢反射/反応について 3. 6歳までの各領域の発達（日常生活活動，言語能力，認知，社会性）
第11回	担当教員	山田 洋一 上肢機能の発達
	内容	1. 人間の上肢の役割：教科書 p 163~174 2. 上肢機能の発達
第12回	担当教員	山田 洋一 日常生活活動の発達
	内容	1. 遊び，食事，排泄，更衣の発達：教科書 p 177~199
第13回	担当教員	山田 洋一 感覚・知覚・認知・社会性の発達
	内容	1. 感覚・知覚・認知・社会性の発達：教科書 p 201~209
第14回	担当教員	山田 洋一 学童期以降の各発達期について
	内容	1. 学童・青年・成人・老年期の発達：教科書 p 211~234
第15回	担当教員	山田 洋一 定期試験 振り返り
	内容	単位認定のための試験を実施 その後，本科目の要点を解説

評価方法

定期試験90%，授業内確認テスト（10%）で評価する。

教科書

テキスト

1. イラストでわかる人間発達学 上杉雅之・他 医歯薬出版 ¥4, 200（税別）
2. 授業用資料はGoogle classroom「人間発達学」に投稿する

参考書

テキスト

1. イラストでわかる人間発達学 上杉雅之・他 医歯薬出版 ¥4,200 (税別)
2. 授業用資料はGoogle classroom「人間発達学」に投稿する

その他

再三の注意にも関わらず授業態度が著しく不良、他者への迷惑行為を行う者は退室を命ずることがある。

医学を学ぶ学生にふさわしい態度で授業に臨むこと。

担当教員実務経験の有無, 有

講義コード	5100301
講義名	解剖学I[理]
(副題)	
講義開講時期	前期
講義区分	講義
基準単位数	2
時間	30.00
対象学年	1
必修/選択	必修

担当教員

氏名
町田 志樹

総合学習目標

学生が将来、理学療法士になるために必要な人体の解剖学的基礎知識を習得することが主要目標である。前期では、人体の動きにかかわる運動器系（骨格系、筋系）に重きを置きながら、その基本構造を学ぶ。次に心臓を中心に循環器系の構造を学ぶ（理学療法学科DP1-①に該当する）。

個別学習目標

1. 身体の区分や面・方向を示す用語を理解し、用いることができるようになる。
2. 骨格を形成する骨や関節、靭帯について理解する。
3. 骨格筋の起始・停止・神経支配を理解し、作用を説明できるようになる。
4. 循環器系における構造物を理解し、小循環・大循環を説明できるようになる。

準備学修

シラバスに記載された各回ごとの範囲を、予習することが好ましい。

授業計画

第1回	担当 教員	町田 志樹 総論
	内容	講義の進行に関するオリエンテーションを実施し、その後に解剖学の概論を講義する（教科書 P16-37）。
第2回	担当 教員	町田 志樹 上肢の骨
	内容	上肢の骨の部位名を学ぶ（教科書 P45-54）。
第3回	担当 教員	町田 志樹 上肢の関節・靭帯
	内容	上肢の関節・靭帯の構造を学ぶ（教科書 P55-64）。
第4回	担当 教員	町田 志樹 上肢の筋①
	内容	肩甲帯・上腕の筋の起始・停止・神経支配・作用を覚える（教科書 P65-72）。
第5回	担当 教員	町田 志樹 上肢の筋②・筋膜
	内容	前腕・手の筋の起始・停止・神経支配・作用、ならびに上肢の筋膜を覚える（教科書 P73-87）。

第6回	担当 教員	町田 志樹 下肢の骨
	内容	下肢の骨の部位名を学ぶ（教科書 P99-115）。
第7回	担当 教員	町田 志樹 下肢の関節・靭帯(小テストを実施)
	内容	下肢の関節・靭帯の構造を学ぶ（教科書 P116-127）。また講義後半には、1～6コマ目の内容の小テストを実施する。
第8回	担当 教員	町田 志樹 下肢の筋①
	内容	骨盤帯・大腿の筋の起始・停止・神経支配・作用を覚える（教科書 P128-137）。
第9回	担当 教員	町田 志樹 下肢の筋②・筋膜
	内容	下腿・足の筋の起始・停止・神経支配・作用、ならびに下肢の筋膜を覚える（教科書 P137-150）。
第10回	担当 教員	町田 志樹 頭頸部・体幹の骨
	内容	頭頸部・体幹の骨の部位名を学ぶ（教科書 P162-185）。
第11回	担当 教員	町田 志樹 頭頸部・体幹の関節・靭帯
	内容	頭頸部・体幹の関節・靭帯の構造を学ぶ（教科書 P187-197）。
第12回	担当 教員	町田 志樹 頭頸部・体幹の筋・筋膜
	内容	頭頸部・体幹の筋と筋膜の構造を覚える（教科書 P198-224）
第13回	担当 教員	町田 志樹 循環器系① 心臓の構造・刺激伝導系
	内容	心臓の構造と循環、刺激伝導系を理解する（教科書 P225-236）。
第14回	担当 教員	町田 志樹 循環器系② 冠状動脈と心臓の静脈、頭頸部・体幹の動脈と静脈
	内容	心臓ならびに頭頸部・体幹に分布する動脈と静脈を覚える（教科書 P236-245）
第15回	担当 教員	町田 志樹 循環器系② 四肢の脈管
	内容	上肢・下肢に分布する動脈と静脈を覚える（教科書 P93-98、P157-161）

評価方法

定期試験80%、小テスト20%で評価する。

教科書

『PTOTビジュアルテキスト専門基礎 解剖学』

監修：坂井建雄

著者：町田志樹

出版社：羊土社 定価：5,600円

参考書

『町田志樹の聴いて覚える起始停止』

著者：町田志樹

出版社：三輪書店 定価：2,200円

オフィスアワー

【前期】月曜1・3・4限、水曜1～5限、木曜1・2限、金曜3～5限

【教室】539研究室

実務経験の有無

有

その他

1. 適宜、多視点3D解剖教育システムを使用する。
2. 必要に応じ、資料の配布を行う。

講義コード	5100401
講義名	解剖学II[理]
(副題)	
講義開講時期	後期
講義区分	講義
基準単位数	2
時間	30.00
対象学年	1
必修/選択	必修

担当教員

氏名
足立 和隆

総合学習目標

学生が将来、理学療法士になるために必要な人体の解剖学的基礎知識を習得することが主要目標である。後期では、神経系、呼吸器系、消化器系、泌尿器系、生殖器系、内分泌系、感覚器系の構造を学ぶ。DP1-①

個別学習目標

1. 脳と脊髄および脳神経と脊髄神経の概略を理解し、説明できるようになる。
2. 気道のルートおよび肺の構造を理解し、説明できるようになる。
3. 消化管および付属器官の構造の概略を理解し、説明できるようになる。
4. 尿の生成および排尿のルートを理解し、説明できるようになる。
5. 男性・女性の生殖器の解剖学的特徴を理解し説明できるようになる。
6. ホルモンの産生部位とその作用を理解し、説明できるようになる。
7. 眼と耳の構造を理解し、説明できるようになる。

準備学修

教科書における授業範囲をあらかじめよく読み、理解し、覚える。理解できない点については、マーカー等で印をつける(30分)。復習：授業で解説した内容について、理解できたかチェックし、知識を整理する(30分)。

授業計画

第1回	担当教員	足立 和隆 神経系1：神経系の機能的区分・脊髄の基本構造
	内容	1. 神経系の概要を説明する。 2. 脊髄神経が4つの機能を持っていることを説明する。 3. 脊髄の基本構造を説明する。
第2回	担当教員	足立 和隆 神経系2：脳の区分について
	内容	1. 脳が大腦、間脳、中脳、橋、延髄、小脳からなっていることを画像を使って説明する。 2. 脳と脊髄の発生を説明する。 3. 脳脊髄液の循環を説明する。 4. 脳の循環系を説明する。
第3回	担当教員	足立 和隆 神経系3：脊髄神経1
	内容	1. 脊髄神経が4つの機能を持っていることを説明する。 2. 神経叢および上肢の神経を解説する。 小テスト1
	担当教	足立 和隆

第4回	員	神経系4：脊髄神経2・脳神経1
	内容	1. 下肢の神経を説明する。 2. 脳神経が7つの機能を持っていることを説明する。
第5回	担当教員	足立 和隆 神経系5：自律神経系・脳神経2
	内容	1. 自律神経系の概略を解説する。 2. 主要な脳神経について、その走行と機能を説明する。
第6回	担当教員	足立 和隆 神経系6：上行性伝導路と下行性伝導路
	内容	1. 体性感覚路、視覚伝導路、聴覚伝導路の上行性伝導路を説明する。 2. 下行性伝導路である皮質脊髄路を説明する。 3. 体性神経路の概略を説明する。 小テスト2
第7回	担当教員	足立 和隆 呼吸器系：気道および肺の構造
	内容	1. 鼻腔から気管支までの気道を説明する。 2. 肺の構造および縦隔を説明する。
第8回	担当教員	足立 和隆 消化器系1：口腔～胃
	内容	1. 体の中にある管腔構造が3層からなることを説明する。 2. 口腔から胃までの消化器系を解説する。 小テスト3
第9回	担当教員	足立 和隆 消化器系2：小腸～直腸
	内容	1. 小腸から直腸までの消化器系を解説する。 2. 十二指腸の特徴を説明する。 3. 空腸と回腸の違い、小腸と結腸の違いについて説明する。
第10回	担当教員	足立 和隆 消化器系3：肝臓と膵臓
	内容	1. 肝臓と膵臓の構造を説明する。 2. 腹膜および腹膜腔について、発生をはさみながら解説する。 小テスト4
第11回	担当教員	足立 和隆 泌尿器系：腎臓・尿管・膀胱・尿道
	内容	1. 泌尿器系を構成する腎臓、尿管、膀胱、尿道を解説する。 2. 腎臓で尿が作られる仕組みを説明する。
第12回	担当教員	足立 和隆 生殖器系：男性生殖器と女性生殖器
	内容	男性および女性の生殖器の構造的特徴を解説する。 小テスト5
第13回	担当教員	足立 和隆 内分泌系：ホルモンの産生部位とその作用
	内容	各ホルモンが体のどこで作られるのかを説明する。
第14回	担当教員	足立 和隆 感覚器系：眼と耳の構造
	内容	眼と耳の構造を取り上げて、視覚および聴覚の働きを説明する。 小テスト6
第15回	担当教員	足立 和隆 総まとめ
	内容	後期14回の講義内容を、特に神経系に重きをおいて総復習する。

評価方法
小テスト（10%）ならびに定期試験（90%）による。
教科書
PTOTビジュアルテキスト解剖学（第1版）坂井建雄監修 町田志樹著 羊土社 6,160円
参考書
<ul style="list-style-type: none">・プロメテウス解剖学アトラス 解剖学総論/運動器系 第3版 医学書院 13,200円(税込)・プロメテウス解剖学アトラス 頭頸部/神経解剖 第3版 医学書院 13,200円(税込)・プロメテウス解剖学アトラス 胸部/腹部・骨盤部 第3版 医学書院 13,200円(税込)・解剖学要点整理ノート 井上・松村著 羊土社 4,180円
オフィスアワー
授業の前後15分間
実務経験の有無
有
その他
毎回プリントを配布するので、きちんと保管整理しておくこと。 6色以上の色鉛筆ないしは蛍光ペンを常に持参すること。

講義コード	5100501
講義名	解剖学実習[理]
(副題)	
講義開講時期	前期
講義区分	実習
基準単位数	2
時間	90.00
対象学年	2
必修/選択	必修

担当教員

氏名
町田 志樹
石井 成美

総合学習目標

学生が将来、理学療法士になるために必要な人体の解剖学的実践知識を習得することが主要目標である。運動器系（骨格系、筋系、関節・靭帯）に重点を置き、骨格標本や骨格筋の触察等を通じてその基本構造を学ぶ。また運動器に加えて各器官の講義を行い、3次元的な人体の構造の理解を目指す。後半では合計6コマの解剖実習見学を予定している（理学療法学科DP1-①②に該当する）

個別学習目標

1. 骨格標本の触察を通じ、骨と関節の構造を理解して説明できるようになる。
2. 骨格筋の触察を通じ、筋の起始・停止ならびに神経支配・作用を理解して説明できるようになる。
3. 上記を踏まえ、各主要器官の位置関係を理解して説明できるようになる。

準備学修

シラバスに記載された各回ごとの範囲を、予習することが好ましい。

授業計画

第1回	担当教員	町田 志樹 石井 成美 オリエンテーションおよび解剖学概論
	内容	講義の進行に関するオリエンテーションを実施し、その後に解剖学の概論を行う。
第2回	担当教員	町田 志樹 石井 成美 脊柱と胸郭を構成する骨・関節・靭帯
	内容	脊柱と体幹についての講義を行い、骨標本ならびに体表からの触察を行う（P173～197）。
第3回	担当教員	町田 志樹 石井 成美 脊柱と胸郭の骨格筋
	内容	脊柱と胸郭の骨格筋についての講義を行い、体表からの触察を行う（P209～222）。

第4回	担当教員	町田 志樹 石井 成美 上肢（肩甲帯・上腕）の骨・関節・靭帯
	内容	上肢の骨・関節・靭帯についての講義を行い、骨標本ならびに体表からの触察を行う（P45～52、P55～60）。
第5回	担当教員	町田 志樹 石井 成美 上肢（肩甲帯）の骨格筋
	内容	上肢の骨格筋（肩甲帯）についての講義を行い、体表からの触察を行う（P65～70）。
第6回	担当教員	町田 志樹 石井 成美 上肢（上腕）の骨格筋
	内容	上肢（上腕）の骨格筋についての講義を行い、体表からの触察を行う（P70～72）。
第7回	担当教員	町田 志樹 石井 成美 上肢（前腕・手）の骨・関節・靭帯
	内容	上肢（前腕・手）の骨・関節・靭帯についての講義を行い、骨標本ならびに体表からの触察を行う（P52～54、P60～64）。
第8回	担当教員	町田 志樹 石井 成美 上肢（前腕屈筋群）の骨格筋
	内容	上肢（前腕屈筋群）の骨格筋についての講義を行い、体表からの触察を行う（P73～76）。
第9回	担当教員	町田 志樹 石井 成美 上肢（前腕伸筋群）の骨格筋
	内容	上肢（前腕伸筋群）の骨格筋についての講義を行い、体表からの触察を行う（P76～82）。
第10回	担当教員	町田 志樹 石井 成美 下肢（骨盤帯・大腿）の骨・関節・靭帯
	内容	下肢（骨盤帯・大腿）の骨・関節・靭帯についての講義を行い、骨標本ならびに体表からの触察を行う（P99～107、P116～121）。
第11回	担当教員	町田 志樹 石井 成美 下肢（骨盤帯）の骨格筋
	内容	下肢（骨盤帯）の骨格筋についての講義を行い、体表からの触察を行う（P132～135）。
第12回	担当教員	町田 志樹 石井 成美 下肢（大腿）の骨格筋
	内容	

	内容	下肢（大腿）の骨格筋についての講義を行い、体表からの触察を行う(P128～131、P135～137)。
第13回	担当教員	町田 志樹 石井 成美 下肢（下腿・足部）の骨・関節・靭帯
	内容	下肢（下腿・足部）の骨・関節・靭帯についての講義を行い、骨標本ならびに体表からの触察を行う（P108～115、P122～127）。
第14回	担当教員	町田 志樹 石井 成美 下肢（下腿背屈筋群）の骨格筋
	内容	下肢（下腿背屈筋群）の骨格筋についての講義を行い、体表からの触察を行う（P137～139）。
第15回	担当教員	町田 志樹 石井 成美 下肢（下腿底屈筋群）の骨格筋
	内容	下肢（下腿底屈筋群）の骨格筋についての講義を行い、体表からの触察を行う（P139～147）。
第16回	担当教員	町田 志樹 循環器系の解剖学①
	内容	肺循環と体循環の概念ならびに心臓の主要な構造について学習する（P225～228、P230～235）。
第17回	担当教員	町田 志樹 循環器系の解剖学②
	内容	血管の基本的な構造や刺激伝導系、環状動静脈を理解した上で、全身の動脈を学習する（P235～242、P93～98、P157～161）。
第18回	担当教員	町田 志樹 循環器系の解剖学③
	内容	全身の静脈を理解した上で門脈や硬膜静脈洞、胎児の血液循環、リンパ系の構造と機能を学習する(P228～230、P243～245)。
第19回	担当教員	町田 志樹 運動器の理解度の確認（小テスト）
	内容	運動器の範囲の理解度の確認を行う。1問あたり1点、20問の小テストを実施する。
第20回	担当教員	町田 志樹 呼吸器系の解剖学①
	内容	呼吸器系の全体像ならびに上気道の構造と機能と気管支の形態（P246～251）、下気道の構造と機能ならびに縦郭、胸膜の概念について学習する（P252～260）。
	担当	町田 志樹

第21回	教員	呼吸器系の解剖学②
	内容	呼吸器の機能、ならびに関連する疾患について学習する(P260～261)。
第22回	担当教員	町田 志樹 消化器系の解剖学①
	内容	消化器系の全体像ならびに口腔、食道、胃の構造と機能を学習する(P262～273)。
第23回	担当教員	町田 志樹 消化器系の解剖学②
	内容	小腸、大腸の構造と機能を学習する(P273～278)。
第24回	担当教員	町田 志樹 消化器系の解剖学③
	内容	脾臓、肝臓、胆嚢の構造と機能ならびに腹膜の形態について学習する(P279～288)。
第25回	担当教員	町田 志樹 神経系の解剖学①
	内容	神経細胞と支持細胞の形態および中枢神経と末梢神経の全体像、中枢神経の区分について学習する(P311～314)。
第26回	担当教員	町田 志樹 神経系の解剖学②
	内容	大脳の皮質と髄質の構造ならびにその機能について学習する(P315～323)。
第27回	担当教員	町田 志樹 神経系の解剖学③
	内容	間脳と脳幹の構造と機能を学習する(P323～332)。
第28回	担当教員	町田 志樹 神経系の解剖学④
	内容	脊髄の構造、脊髄神経の主要な枝や神経叢について学習する(P332～334、P88～92、P151～156)。
第29回	担当教員	町田 志樹 神経系の解剖学⑤
	内容	主要な上行路と下行路、末梢神経の構成について学習する(P334～340)。

第30回	担当 教員	町田 志樹 神経系の解剖学⑥
	内容	脳神経・自律神経の構造と機能を学ぶ (P340～347)。
第31回	担当 教員	町田 志樹 感覚器系の解剖学①
	内容	視覚器に関わる構造と機能と、その伝導路の学習を行う (P353～358)。
第32回	担当 教員	町田 志樹 感覚器系の解剖学②
	内容	聴覚器と平衡器に関わる構造と機能と、その伝導路の学習を行う (P359～362)。
第33回	担当 教員	町田 志樹 感覚器系の解剖学③
	内容	外皮ならびに嗅覚器、味覚器の構造と機能の学習を行う (P348～352)。
第34回	担当 教員	町田 志樹 内分泌系の解剖学①
	内容	内分泌とホルモンの概念を理解した上で視床下部と下垂体の学習を行う (P289～292)。
第35回	担当 教員	町田 志樹 内分泌系の解剖学②
	内容	甲状腺と副甲状腺の拮抗作用や、レニン-アンギオテンシン-アルドステロン系などについて学ぶ (P292～296)。
第36回	担当 教員	町田 志樹 内分泌系の解剖学③
	内容	膵臓、副腎、性腺などの内分泌系としての構造と機能について学習を行う (P297～298)。
第37回	担当 教員	町田 志樹 泌尿器系の解剖学①
	内容	泌尿器系の全体像ならびに腎臓の皮質と髄質の構造と機能について学習を行う (P299～302)。
第38回	担当 教員	町田 志樹 泌尿器系の解剖学②
	内	

	容	泌尿器系における排尿路の構造と機能について学習を行う（P302～304）。
第39回	担当教員	町田 志樹 生殖器系の解剖学
	内容	男性・女性生殖器の構造と機能について学習を行う（P304～310）。
第40回	担当教員	町田 志樹 石井 成美 解剖実習見学①-1
	内容	循環器系、呼吸器系、消化器系、泌尿器系、生殖器系の摘出標本を観察する。
第41回	担当教員	町田 志樹 石井 成美 解剖実習見学①-2
	内容	循環器系、呼吸器系、消化器系、泌尿器系、生殖器系の摘出標本を観察する。
第42回	担当教員	町田 志樹 石井 成美 解剖実習見学①-3
	内容	循環器系、呼吸器系、消化器系、泌尿器系、生殖器系の摘出標本を観察する。
第43回	担当教員	町田 志樹 石井 成美 解剖実習見学②-1
	内容	1. 神経系の摘出標本を観察する。 2. 全身筋肉標本ならびに関節標本の観察を行う。
第44回	担当教員	町田 志樹 石井 成美 解剖実習見学②-2
	内容	1. 神経系の摘出標本を観察する。 2. 全身筋肉標本ならびに関節標本の観察を行う。
第45回	担当教員	町田 志樹 石井 成美 解剖実習見学②-3
	内容	1. 神経系の摘出標本を観察する。 2. 全身筋肉標本ならびに関節標本の観察を行う。

評価方法

定期試験80%、小テスト20%にて評価する。

教科書

『PTOTビジュアルテキスト専門基礎 解剖学』
監修：坂井建雄

著者：町田志樹
出版社：羊土社 定価：5,600円

参考書

『町田志樹の聴いて覚える起始停止』
著者：町田志樹
出版社：三輪書店 定価：2,200円

オフィスアワー

【前期】月曜1・3・4限、水曜1～5限、木曜1・2限、金曜3～5限
【教室】539研究室

実務経験の有無

有

その他

1. 適宜、多視点3D解剖教育システムを使用する。
2. 必要に応じ、資料の配布を行う。

講義コード	5100601
講義名	生理学I[理]
(副題)	
講義開講時期	前期
講義区分	講義
基準単位数	2
時間	30.00
対象学年	1
必修/選択	必修

担当教員

氏名
増田 敦子

総合学習目標

生理学は生体が正常な機能を営むための仕組みを解明する学問であり、臨床医学の基盤として正常な人体の機能を正しく理解することは、疾病による人体機能の変化を理解する上で極めて大切である。したがって、この科目の学習目標は、保健医療職の一員として総合的能力を身に付けるための基礎を作ることであるが、具体的には国家試験受験に必要な知識を習得することである。

理学療法学科DP1-①に該当する。

個別学習目標

- 1) 人体を構成している器官系の主要な機能とホメオスタシスの重要性について説明できる。
- 2) 人体の機能を維持する2つの調節系（神経系と内分泌系）について説明できる。
- 3) 感覚器が外界の変化を情報として受け取り、その情報を調節中枢へ伝えるしくみを説明できる。
- 4) 感覚器からの情報を分析・判断し、指令を運動器に伝える神経系のしくみが説明できる。
- 5) 調節中枢からの指令がどのように運動器に伝わり、その指令が遂行されるしくみが説明できる。

準備学修

- 1) 各回の授業概要をClassroomに掲示するので、前日までに目を通しておくこと（15分）。
- 2) 配布する〇×問題集のうち、各回の授業概要に対応する部分を授業終了後1週間以内に3回、目を通しておくこと（15分）。

授業計画

第1回	担当教員	増田 敦子 生理学の基礎①：人体
	内容	授業ガイダンス：生理学の勉強の仕方、書籍紹介、授業の進め方など。第1章 人体：オリエンテーション（教科書1～11頁）①解剖学と生理学の意味を理解する。②人体がどのように作られているかを理解する。③ヒトが生命を維持するのに必要な機能を理解する。④ホメオスタシスの概念を理解する。
第2回	担当教員	増田 敦子 生理学の基礎②：化学の基礎
		第2章 化学の基礎（教科書25～55頁）①人体の大半を作り上げている4つの元素

	内容	をあげる。②原子の構造からイオンについて理解する。③合成反応と分解反応を比較する。④無機化合物と有機化合物を分類する。⑤酸と塩基、pH（水素イオン濃度）の概念を理解し、血液のpH値を述べる。⑥糖質、脂質、タンパク質、核酸について構成要素、構造、体内での機能について理解する。⑦人体におけるATPの重要性について理解する。
第3回	担当教員	増田 敦子 生理学の基礎③：細胞
	内容	第3章 細胞と組織（教科書63～88頁） ①細胞、細胞内小器官を定義する。②細胞の主要な3領域（核、細胞質、細胞膜）を示す。③細胞内小器官のそれぞれの主要な機能について述べる。④細胞膜を介した物質の様々な輸送過程を述べる。⑤タンパク質合成の概要を述べる。
第4回	担当教員	増田 敦子 神経系総論①：神経系概要、小テスト①（範囲：第1～3回）
	内容	第7章 神経系（教科書217～227頁） ①神経系のはたらきの全体像を述べる。②神経系を構造および機能の観点から区別し、それぞれについて説明する。③中枢神経系と末梢神経系とは何かを述べ、それぞれ何から構成されているかを述べる。④神経細胞（ニューロン）と神経膠細胞（グリア細胞）の機能を説明する。⑤神経細胞の基本的な構造を説明し、その構成部分の名称を述べる。⑥灰白質と白質が何から構成されているかを説明する。
第5回	担当教員	増田 敦子 神経系総論②：神経細胞の生理学
	内容	第7章 神経系（教科書227～232頁） ①神経細胞でどのように活動電位が発生して伝導され、どのようにして他の神経細胞へ伝達されるかを説明する。②興奮の特性について説明する。
第6回	担当教員	増田 敦子 神経系各論①：中枢神経系(1)脳
	内容	第7章 神経系（教科書232～243頁） ①脳の模式図上で大脳半球・間脳・脳幹・小脳を区別し、それぞれの機能を説明する。②脳波とは何か。それによって神経系の機能がどのように把握されているかを説明する。③髄膜の3層を区別し、それぞれの機能を述べる。④髄液の産生と機能について、また、血液脳関門について説明する。
第7回	担当教員	増田 敦子 神経系各論②：中枢神経系(2)脊髄
	内容	第7章 神経系（教科書230～232、243～245頁） ①脊髄の重要な機能を、2つ述べる。②脊髄の構造を説明する。③反射弓の5つの要素について説明する。④膝蓋腱反射、屈曲反射、交差性伸展反射、折りたたみナイフ反射の5つの要素について説明する。
第8回	担当教員	増田 敦子 神経系各論③：末梢神経系(1)体性神経系、小テスト②（範囲：第4～7回）
	内容	第7章 神経系（教科書245～252頁） ①脳神経の番号・名称をあげ、それぞれのはたらきを述べる。②脊髄の前根と後根、脊髄神経、前枝と後枝について説明する。③脊髄神経の前枝と後枝の走行と分布を述べる。④大きな神経叢をあ

		げ、それぞれを構成している神経とその分布を説明する。
第9回	担当 教員	増田 敦子 神経系各論④：末梢神経系(2)自律神経系
	内容	第7章 神経系（教科書247～256頁） ①交感神経系と副交感神経系について、それぞれの構造と機能を説明する。②心臓・肺・消化器系・血管について、交感神経系と副交感神経系の作用を比較しつつ説明する。
第10回	担当 教員	増田 敦子 感覚系①：感覚系総論、体性感覚
	内容	第7章 神経系（教科書112～118、225～226頁）、第4章 皮膚と膜（教科書111～118頁） ①感覚のはたらきについて説明する。②感覚の種類について、3つ述べる。③体性感覚の受容器について説明する。④感覚の伝導路について説明する。
第11回	担当 教員	増田 敦子 感覚系②：特殊感覚
	内容	第8章 特殊感覚（教科書267～285頁） ①眼の付属器を同定し、それぞれの役割を説明する。②杆体と錐体の機能の違いを説明する。③角膜から網膜にいたる、光の透過について説明する。④視覚の神経伝導路（視覚路）を、網膜から後頭葉まで順にたどる。⑤外耳・中耳・内耳の構造と機能を説明する。⑥身体のバランスに、平衡器がどのようにはたらいているかを説明する。⑦聴覚におけるコルチ器の機能を説明する。⑧嗅覚受容器と味覚受容器について、その構造と機能を説明する。⑨基本的な5つの味覚をあげ、味覚に影響を及ぼす要因を述べる。
第12回	担当 教員	増田 敦子 運動系①：筋肉の収縮、小テスト③（範囲：第8～11回）
	内容	第6章 筋系（教科書177～190頁） ①3種類の筋組織における、構造および機能の類似点と相違点、また体内での存在を述べる。②骨格筋の微細構造を述べ、アクチンおよびミオシンを含むフィラメントの役割を説明する。③筋細胞の活動電位はどのようにして発生するのかを述べる。④筋細胞の収縮という事象について述べる。⑤骨格筋に関して適用された次の用語を定義する（強縮、等尺性・等張性収縮）。⑥筋の活動においてATPが再生される3つの方式を説明する。
第13回	担当 教員	増田 敦子 運動系②：運動の調節、レポート返却
	内容	第7章 神経系（教科書219～252頁） ①運動の調節に関与する神経系について、その概要を説明する。②錐体路と錐体外路について説明する。③レポート解説
第14回	担当 教員	増田 敦子 まとめ
	内容	①第12、13回の復習、②期末試験についてのガイダンス、③期末試験練習問題の解説
第15回	担当 教員	増田 敦子 期末試験とその解説

内容

期末試験（30分）、回収（10分）、その解説（50分）

評価方法

- 1) レポート10%・小テスト30%、期末試験60%、合計100%で評価する。
- 2) 小テストは授業の最初に10分間程度行うので、遅刻しないように留意すること。
- 3) 公欠などにより小テストを受験しなかった場合は追試験を行うので、速やかに（原則、1週間以内）申し出ること。

教科書

人体の構造と機能（第4版）、エレインNマリーブ著、林正健二訳、医学書院、5, 200円+税

参考書

ステップアップ解剖生理学（第2版）、増田敦子監修、サイオ出版、1, 700円+税

オフィスアワー

- ・月・金は2限目、火～木は3限目に教員室。それ以外でも在室していれば対応可能。
- ・メール（a-masuda@ryotokuji-u.ac.jp）でも対応可能。

実務経験の有無

有

その他

- 1) 授業終了後1週間以内に、Classroomに掲示される「講義ごとの理解度チェック」を提出期限内に提出し、早めに復習をすること。
- 2) 授業終了1週間以内に、初回講義時に配布するO×問題集で該当する部分を解いて、日頃の復習を習慣化し、早めに小テストの準備を始めること。
- 3) 教科書各章の本文中に設けられている「Q」、「確認してみよう」および章末に設けられている「復習問題」を解いて理解を深めること。
- 4) 授業中の配布物はすべてClassroomに掲示するので、休んだときは印刷するか教員室に取りに来ること。授業概要とパワーポイント資料はClassroomに掲示するので、自習すること。分からないことは、早めに質問して解決こと。

講義コード	5100701
講義名	生理学II[理]
(副題)	
講義開講時期	後期
講義区分	講義
基準単位数	2
時間	30.00
対象学年	1
必修/選択	必修

担当教員

氏名
増田 敦子

総合学習目標

生理学は生体が正常な機能を営むための仕組みを解明する学問であり、臨床医学の基盤として正常な人体の機能を正しく理解することは、疾病による人体機能の変化を理解する上で極めて大切である。したがって、この科目の学習目標は、保健医療職の一員として総合的能力を身に付けるための基礎を作ることであるが、具体的には国家試験受験に必要な知識を習得することである。

理学療法学科DP1-①に該当する。

個別学習目標

- 1) 生体防御のしくみが説明できる。
- 2) 生体の生命維持に必要なガス交換のしくみが説明できる。
- 3) 生体の生命維持に必要な栄養素の摂取とさまざまな代謝産物の排出のしくみが説明できる。
- 4) 調節系の一つとして内分泌のしくみが説明できる。
- 5) 種の保存のしくみが説明できる。

準備学修

- 1) 各回の授業概要をClassroomに掲示するので、前日までに目を通しておくこと（15分）。
- 2) 配布する○×問題集のうち、各回の授業概要に対応する部分を授業終了後1週間以内に3回、目を通しておくこと（15分）。

授業計画

第1回	担当教員	増田 敦子 血液①：血液の成分と機能、止血機構
	内容	第10章 血液（教科書323～333頁） ①血漿成分とその役割を述べる。②血球成分の名称とそれぞれの役割を述べる。③造血幹細胞の役割を述べる。④血液の凝固過程を述べる。⑤線維素溶解の過程を述べる。
第2回	担当教員	増田 敦子 血液②：生体防御、血液型
	内容	第12章 リンパ系と生体防御機構（教科書381～407頁）、第10章 血液（教科書334～335頁） ①血液中で生体防御機構に関わる成分とその機能を説明する。②先天的（非特異的）防御機構について、説明する。③液性免疫と細胞性免疫の違

	容	いを説明する。④リンパ球がどのように成熟し、B細胞とT細胞が産生されるか、比較対照して説明する。⑤免疫におけるマクロファージの重要性について説明する。⑥抗体を5種類あげ、免疫における役割を説明する。⑦ABO式およびRh式血液型について述べる。⑧なぜ同じ血液型の血液を輸血する必要があるか説明する。
第3回	担当教員	増田 敦子 循環器系①：心臓
	内容	第11章 心臓血管系（教科書341～353頁） ①血液が心臓を中心にどのように循環するか述べる。②肺循環系と体循環系を比較し、それぞれの特徴を述べる。③心臓の弁の役割を説明する。④心臓の刺激伝導系の名称をあげ、刺激が伝わる経路を説明する。⑤心電図からどのような情報が得られるかを説明する⑥収縮、拡張、1回拍出量、心周期、心音の各用語の意味を説明する。⑦以下のそれぞれの因子により心拍数がどのようにかわるかを述べる（迷走神経による刺激、運動、アドレナリン）
第4回	担当教員	増田 敦子 循環器系②：血管、血圧、リンパ系
	内容	第11章 心臓血管系（教科書353～370頁） ①動脈、静脈および毛細血管の構造と機能を比較し、それぞれの特徴を述べる。②血圧と脈拍を定義し、身体はどこで脈拍が触れられるかを述べる。③血圧に影響する、あるいは血圧を規定する因子をあげる。④毛細血管壁を通して行われる交換について説明する。⑤リンパ系が、心臓血管系とどのように機能的にむすびついているかを説明する。
第5回	担当教員	増田 敦子 呼吸器系①：呼吸のしくみ、肺気量、小テスト①（範囲：第1～4回）
	内容	第13章 呼吸器系（教科書417～430頁） ①肺換気、外呼吸、内呼吸、呼気、吸気各用語の意味を定義する。②呼吸を司る筋が、どのようにはたらいて肺をふくらませたり縮めたりしているのかを説明する。③肺気量に関する用語（1回換気量、肺活量、予備吸気量、予備呼気量、残気量、機能的残気量、全肺気量）を定義する。
第6回	担当教員	増田 敦子 呼吸器系②：ガスの運搬、呼吸調節
	内容	第13章 呼吸器系（教科書430～434頁） ①肺内および組織におけるガス交換を説明する。②酸素と二酸化炭素が、血液でどのように運ばれるかを説明する。③呼吸を司る脳の部位をあげる。④呼吸数に影響する身体の状態をいくつかあげる。⑤酸素や二酸化炭素の濃度が、どのようにして呼吸の回数と深さに影響するかを説明する。
第7回	担当教員	増田 敦子 消化器系①：消化管、消化液
	内容	第14章 消化器系と代謝（教科書447～462頁） ①消化と吸収の違いを述べる。②食物の消化・吸収に関する消化器系全般のはたらきと、各器官の役割を述べる。③唾液の成分とはたらきを述べる。④小腸で絨毛が消化の過程をどのように手助けしているかを説明する。⑤消化器系の主要なはたらきを6つ述べる。
	担当教員	増田 敦子 消化器系②：消化機能の調節、小テスト②（範囲：第5～7回）

第8回	内容	第14章 消化器系と代謝（教科書462～469頁）①嚥下の機序を説明する。②消化管の中で食物がまぜ合わされ、管に沿って移送されるしくみを説明する。③消化の過程における局所ホルモンのはたらきを説明する。④消化器官や付属腺で産生される主な酵素または酵素群の一覧を示し、どの食物に作用するかを述べる。⑤タンパク質・脂肪（脂質）・炭水化物（糖質）が消化されて生じる最終産物の名称をあげる。⑥消化の過程における胆汁の役割を説明する。
第9回	担当教員	増田 敦子 栄養と代謝、体温調節
	内容	第14章 消化器系と代謝（教科書469～482頁、）第12章 リンパ系と生体防御機構（教科書392頁）①栄養素、カロリーについて定義する。②酵素、代謝、同化、異化について、それぞれの意味を明らかにする。③代謝における肝臓の役割を述べる。④糖質、脂質、タンパク質が、細胞の代謝においてどのように消費されるかを述べる。⑤身体のエネルギー平衡の重要性を説明する。⑥体温がどのように調節されているかを述べる。
第10回	担当教員	増田 敦子 泌尿器系①：ネフロンと尿の生成
	内容	第15章 泌尿器系（教科書493～501頁）①ネフロンが腎臓の構造と機能の単位であることを理解し、その解剖を述べる。②尿が生成される過程を述べ、ろ過・再吸収・分泌にかかわるネフロンの部位を区別する。
第11回	担当教員	増田 敦子 泌尿器系②：クリアランス、排尿、体液調節
	内容	第15章 泌尿器系（教科書502～511頁）①クリアランスを定義する。②排尿を定義する。③排尿に関して外および内尿道括約筋が果たす役割を述べる。④抗利尿ホルモンとアルドステロンの役割を説明する。
第12回	担当教員	増田 敦子 内分泌系①：ホルモン概要、視床下部と下垂体、甲状腺と副甲状腺、小テスト③（範囲：第8～11回）
	内容	第9章 内分泌系（教科書295～306頁）①ホルモンとは何か、ホルモンが作用する標的細胞とは何かを述べる。②ホルモンの作用のしくみについて理解する。③生体のホメオスタシス（恒常性）がホルモンによってどのように調節されているかを、例をあげて述べる。④視床下部と下垂体とが、ホルモンの分泌に関してどのようにかかわり合っているのかを、例をあげて述べる。⑤甲状腺からはどのようなホルモンが分泌され、どのような作用をもつのかを述べる。⑥上皮小体（副甲状腺）からはどのようなホルモンが分泌され、どのような作用をもつのかを述べる。⑦血液中のカルシウムイオン濃度がどのようなホルモンの作用でどのように調節されるのかを述べる。
第13回	担当教員	増田 敦子 内分泌系②：副腎、膵臓、性腺
	内容	第9章 内分泌系（教科書306～313頁）①副腎からはどのようなホルモンが分泌され、どのような作用をもつのかを述べる。②膵臓からはどのようなホルモンが分泌され、どのような作用をもつのかを述べる。③血液中のグルコース濃度がどのようなホルモンの作用でどのように調節されるのかを述べる。④性腺からはどのようなホルモンが分泌され、どのような作用をもつのかを述べる。
	担当	増田 敦子

第14回	教員	生殖器系
	内容	第16章 生殖器系（教科書517～543頁）①性の決定を遺伝子から述べる。②精子と卵子形成について述べる。③ホルモンにより卵巣（月経周期）と子宮内膜（子宮周期）がどのように変化するのかを述べる。
第15回	担当教員	増田 敦子 まとめ
	内容	①12～14回の復習、②期末試験についてのガイダンス、③期末試験練習問題の解説

評価方法

- 1) レポート10%・小テスト30%、期末試験60%、合計100%で評価する。
- 2) 小テストは授業の最初に10分間程度行うので、遅刻しないように留意すること。
- 3) 公欠などにより小テストを受験しなかった場合は追試験を行うので、速やかに（原則、1週間以内）申し出ること。

教科書

人体の構造と機能（第4版）、エレインNマリーブ著、林正健二訳、医学書院、5, 200円+税

参考書

ステップアップ解剖生理学（第2版）、増田敦子監修、サイオ出版、1, 700円+税

オフィスアワー

- ・月～水は4限目、木・金は1限目に教員室。それ以外でも在室していれば対応可能。
- ・メール（a-masuda@ryotokuji-u.ac.jp）でも対応可能。

実務経験の有無

有

その他

- 1) 授業終了後1週間以内に、Classroomに掲示される「講義ごとの理解度チェック」を提出期限内に提出し、早めに復習をすること。
- 2) 授業終了1週間以内に、初回講義時に配布するO×問題集で該当する部分を解いて、日頃の復習を習慣化し、早めに小テストの準備を始めること。
- 3) 教科書各章の本文中に設けられている「Q」、「確認してみよう」および章末に設けられている「復習問題」を解いて理解を深めること。
- 4) 授業中の配布物はすべてClassroomに掲示するので、休んだときは印刷するか教員室に取りに来ること。授業概要とパワーポイント資料はClassroomに掲示するので、自習すること。分からないことは、早めに質問して解決すること。

講義コード	5100801
講義名	生理学実習[理]
(副題)	
講義開講時期	前期
講義区分	実習
基準単位数	1
時間	45.00
対象学年	2
必修/選択	必修

担当教員

氏名
増田 敦子
石井 成美
澤 広太
荒井 沙織

総合学習目標

1年次の講義で学んだ生理学の知識をもとに、基本的な実験や観察をとおして、生体の構造や機能の理解を深める。そのために、学生自身が実験者・被験者となり、生理現象の観察と測定を行い、得られたデータの処理・解析を通して、講義で得られた生体機能に関する知識の総合的・体系的理解を目指す。

理学療法学科DP2-①②に該当する。

個別学習目標

- 1) 心電計の操作により心電図を測定し、心筋の電気活動を説明することができる。
- 2) 外的刺激による血圧変動から循環調節を説明することができる。
- 3) スパイロメータの操作により肺気量を測定し、呼吸調節の仕組みを説明することができる。
- 4) ブドウ糖負荷による血糖値の変動から、ホルモンによる血糖調節の仕組みを説明できる。
- 5) 感覚から大脳皮質の機能局在を説明することができる。
- 6) 腎臓による体液の量とpHの調節の仕組みを説明することができる。

準備学修

- ・事前レポートを実習前日までに提出すること。
- ・事前レポートの提出は評価に含まれるレポート40%の一部である。

授業計画

第1回	担当教員	増田 敦子 澤 広太 石井 成美 ガイダンス (1) グループA・B合同 (第2回目と連続)
	内容	・実習前の準備、実習中の注意事項など ・レポートの形式、図表の書き方、レポートのまとめ方など
第2回	担当教員	増田 敦子 澤 広太 ガイダンス (1) グループA・B合同 (第1回目と連続)
	内容	・演習：グラフ用紙を使って手書きでグラフを作成し、気づいたことを書く。

第3回	担当教員	増田 敦子 石井 成美 ガイダンス (2) グループA・B合同
	内容	・第2回目に提出した演習の返却と解説 ・実習内容の具体的方法、使用する機器の使用方法など
第4回	担当教員	増田 敦子 澤 広太 石井 成美 心電図、グループA (第5、6回目と連続)
	内容	・標準の12誘導心電図を記録し、心臓の電氣的興奮の発生の様子を知る。 ・安静時および深呼吸時の心電図を記録し、安静時の心電図から平均電気軸を求める。 AL:D
第5回	担当教員	増田 敦子 澤 広太 心電図、グループA (第4、6回目と連続)
	内容	・標準の12誘導心電図を記録し、心臓の電氣的興奮の発生の様子を知る。 ・安静時および深呼吸時の心電図を記録し、安静時の心電図から平均電気軸を求める。 AL:D
第6回	担当教員	増田 敦子 石井 成美 心電図、グループA (第4、5回目と連続)
	内容	・深呼吸が心拍数に及ぼす影響についてレポートにまとめる。 AL:D
第7回	担当教員	増田 敦子 澤 広太 石井 成美 心電図、グループB (第8、9回目と連続)
	内容	・標準の12誘導心電図を記録し、心臓の電氣的興奮の発生の様子を知る。 ・安静時および深呼吸時の心電図を記録し、安静時の心電図から平均電気軸を求める。 AL:D
第8回	担当教員	増田 敦子 澤 広太 心電図、グループB (第7、9回目と連続)
	内容	・標準の12誘導心電図を記録し、心臓の電氣的興奮の発生の様子を知る。 ・安静時および深呼吸時の心電図を記録し、安静時の心電図から平均電気軸を求める。 AL:D
第9回	担当教員	増田 敦子 石井 成美 心電図、グループB (第7、8回目と連続)
	内容	・深呼吸が心拍数に及ぼす影響についてレポートにまとめる。 AL:D
	担当教員	増田 敦子 澤 広太 石井 成美

第10回	員	肺気量と呼吸調節、グループA (第11、12回目と連続)
	内容	<ul style="list-style-type: none"> ・スパイロメーターを用いて呼吸機能の測定を行う。 ・肺気量および肺内酸素量の違いが息こらえ時間に与える影響を調べる。 AL:D
第11回	担当教員	増田 敦子 澤 広太 肺気量と呼吸調節、グループA (第10、12回目と連続)
	内容	<ul style="list-style-type: none"> ・スパイロメーターを用いて呼吸機能の測定を行う。 ・肺気量および肺内酸素量の違いが息こらえ時間に与える影響を調べる。 AL:D
第12回	担当教員	増田 敦子 石井 成美 肺気量と呼吸調節、グループA (第10、11回目と連続)
	内容	<ul style="list-style-type: none"> ・呼吸機能の測定結果から換気障害の有無と種類について評価し、レポートにまとめる。 AL:D
第13回	担当教員	増田 敦子 澤 広太 石井 成美 肺気量と呼吸調節、グループB (第14、15回目と連続)
	内容	<ul style="list-style-type: none"> ・スパイロメーターを用いて呼吸機能の測定を行う。 ・肺気量および肺内酸素量の違いが息こらえ時間に与える影響を調べる。 AL:D
第14回	担当教員	増田 敦子 澤 広太 肺気量と呼吸調節、グループB (第13、15回目と連続)
	内容	<ul style="list-style-type: none"> ・スパイロメーターを用いて呼吸機能の測定を行う。 ・肺気量および肺内酸素量の違いが息こらえ時間に与える影響を調べる。 AL:D
第15回	担当教員	増田 敦子 石井 成美 肺気量と呼吸調節、Bグループ (第13、14回目と連続)
	内容	<ul style="list-style-type: none"> ・呼吸機能の測定結果から換気障害の有無と種類について評価し、レポートにまとめる。 AL:D
第16回	担当教員	増田 敦子 澤 広太 石井 成美 循環調節、グループA (第17、18回目と連続)
	内容	<ul style="list-style-type: none"> ・体位変換、運動および氷水刺激による血圧と心拍数の経時的変化に調べる。 AL:D
第17回	担当教員	増田 敦子 澤 広太 循環調節、グループA (第16、18回目と連続)
	内容	<ul style="list-style-type: none"> ・体位変換、運動および氷水刺激による血圧と心拍数の経時的変化に調べる。 AL:D
	担当	増田 敦子

第18回	教員	石井 成美 循環調節、グループA (第16、17回目と連続)
	内容	・神経系による循環調節の仕組みを考察し、レポートにまとめる。 AL:D
第19回	担当教員	増田 敦子 澤 広太 石井 成美 循環調節、グループB (第20、21回目と連続)
	内容	・体位変換、運動および氷水刺激による血圧と心拍数の経時的変化に調べる。 AL:D
第20回	担当教員	増田 敦子 澤 広太 循環調節、グループB (第19、21回目と連続)
	内容	・体位変換、運動および氷水刺激による血圧と心拍数の経時的変化に調べる。 AL:D
第21回	担当教員	増田 敦子 石井 成美 循環調節、グループB (第19、20回目と連続)
	内容	・神経系による循環調節の仕組みを考察し、レポートにまとめる。 AL:D
第22回	担当教員	増田 敦子 澤 広太 石井 成美 血糖調節、Aグループ (第23、24回目と連続)
	内容	・経口的にブドウ糖を負荷し、血糖の経時的変化を調べる。 AL:D
第23回	担当教員	増田 敦子 澤 広太 血糖調節、Aグループ (第22、24回目と連続)
	内容	・経口的にブドウ糖を負荷し、血糖の経時的変化を調べる。 AL:D
第24回	担当教員	増田 敦子 石井 成美 血糖調節、Aグループ (第22、23回目と連続)
	内容	・ブドウ糖負荷による血糖の変化から、ホルモンによる血糖調節について考察し、レポートにまとめる。 AL:D
第25回	担当教員	増田 敦子 澤 広太 石井 成美 血糖調節、Bグループ (第26、27回目と連続)
	内容	・経口的にブドウ糖を負荷し、血糖の経時的変化を調べる。 AL:D
第26回	担当教員	増田 敦子 血糖調節、Bグループ (第25、27回目と連続)
	内容	・経口的にブドウ糖を負荷し、血糖の経時的変化を調べる。

	容	AL:D
第27回	担当教員	増田 敦子 石井 成美 血糖調節、Bグループ（第25、26回目と連続）
	内容	・ブドウ糖負荷による血糖の変化から、ホルモンによる血糖調節について考察し、レポートにまとめる。 AL:D
第28回	担当教員	増田 敦子 澤 広太 石井 成美 感覚、グループA（第29、30回目と連続）
	内容	・皮膚感覚として、安静時と運動負荷後に身体各部の2点弁別閾を調べる。 ・主観的な感覚の強さを重量感覚から調べる。 AL:D
第29回	担当教員	増田 敦子 澤 広太 感覚、グループA（第28、30回目と連続）
	内容	・皮膚感覚として、安静時と運動負荷後に身体各部の2点弁別閾を調べる。 ・主観的な感覚の強さを重量感覚から調べる。 AL:D
第30回	担当教員	増田 敦子 感覚、Aグループ（第28、29回目と連続）
	内容	・感覚について以下の3点についてレポートにまとめる。①部位による2点弁別閾の違い、②身体的疲労が2点弁別閾に及ぼす影響、③ウエーバーの法則 AL:D
第31回	担当教員	増田 敦子 澤 広太 石井 成美 感覚、グループB（第32、33回目と連続）
	内容	・皮膚感覚として、安静時と運動負荷後に身体各部の2点弁別閾を調べる。 ・主観的な感覚の強さを重量感覚から調べる。 AL:D
第32回	担当教員	増田 敦子 感覚、グループB（第31、33回目と連続）
	内容	・皮膚感覚として、安静時と運動負荷後に身体各部の2点弁別閾を調べる。 ・主観的な感覚の強さを重量感覚から調べる。 AL:D
第33回	担当教員	増田 敦子 石井 成美 感覚、グループB（第31、32回目と連続）
	内容	・感覚について以下の3点についてレポートにまとめる。①部位による2点弁別閾の違い、②身体的疲労が2点弁別閾に及ぼす影響、③ウエーバーの法則 AL:D
	担当教	増田 敦子 澤 広太 石井 成美

第34回	員	腎機能、グループA (第35、36回目と連続)
	内容	・負荷なし、純水および生理的食塩水を負荷し、尿の量、pHおよび比重の経時的変化を調べる。 AL:D
第35回	担当教員	増田 敦子 荒井 沙織 腎機能、グループA (第34、36回目と連続)
	内容	・負荷なし、純水および生理的食塩水を負荷し、尿の量、pHおよび比重の経時的変化を調べる。 AL:D
第36回	担当教員	増田 敦子 腎機能、グループA (第34、35回目と連続)
	内容	・腎臓による体液の調節機構をホルモンから考察し、レポートにまとめる。 AL:D
第37回	担当教員	増田 敦子 澤 広太 石井 成美 腎機能、グループB (第38、39回目と連続)
	内容	・負荷なし、純水および生理的食塩水を負荷し、尿の量、pHおよび比重の経時的変化を調べる。 AL:D
第38回	担当教員	増田 敦子 腎機能、グループB (第37、39回目と連続)
	内容	・負荷なし、純水および生理的食塩水を負荷し、尿の量、pHおよび比重の経時的変化を調べる。 AL:D
第39回	担当教員	増田 敦子 石井 成美 腎機能、グループB (第37、38回目と連続)
	内容	・腎臓による体液の調節機構をホルモンから考察し、レポートにまとめる。 AL:D
第40回	担当教員	増田 敦子 まとめ、グループA・B合同 (第41回目と連続)
	内容	・実習で得られた結果のまとめと考察について解説する。 ・復習問題、国家試験問題について解説する。
第41回	担当教員	増田 敦子 まとめ、グループA・B合同 (第40回目と連続)
	内容	・実習で得られた結果のまとめと考察について解説する。 ・復習問題、国家試験問題について解説する。

評価方法

レポート40%、学期末試験60%、合計100%で評価する。

教科書
本学で作成した生理学実習書を配布する。
参考書
新訂・生理学実習書 日本生理学会教育委員会監修 南江堂 4, 200円+税
オフィスアワー
<ul style="list-style-type: none"> ・月・金は2限目、火～木は3限目に教員室。それ以外でも在室していれば対応可能。 ・メール (a-masuda@ryotokuji-u.ac.jp) でも対応可能。
実務経験の有無
有
その他
<ol style="list-style-type: none"> 1) ガイダンス時にグループ分けのメンバー表を配布する。 2) 実習中は測定機器の数量や決められた測定時間により空き時間が生じる。したがって、実習項目に関する内容の復習問題（課題）を課すので、生理学実習書だけでなく、1年次の生理学I・IIの教科書を必ず持参すること。 3) 予習として実習事前レポートを課すので、その提出がないと実習できないことがある。 4) 実験により得られたデータは各自で作表・統計処理し、作図してレポートにまとめるので、定規と電卓などの計算機を用意すること。 5) 完成したレポートの提出で実習終了となるので、実習がスムーズに進むようにあらかじめ実習書を読んでおくこと。また、時間内に終わらない場合もあるので、アルバイトなどは入れないことが望ましい。 6) 特別の理由がなく遅刻をした場合、30分以内では3回で1回の欠席、30分以上では出席しても欠席扱いとなる。

講義コード	5100901
講義名	臨床心理学[理]
(副題)	
講義開講時期	前期
講義区分	講義
基準単位数	2
時間	30.00
対象学年	2
必修/選択	必修

担当教員

氏名
橋本 和幸

総合学習目標

臨床心理学は、心理的な不適応に陥っている人を援助する方法を、理論的かつ実践的に研究する心理学の一領域であり、アセスメントと心理治療（教育）の二本柱から成り立っています。本授業では、臨床心理学の主な理論と技法を紹介します。
【理学療法学科ディプロマポリシー:DP1-①に相当】

個別学習目標

授業の目標は、まず臨床心理学とそれを用いた心理的援助の理解することです。この後に、自分自身の内面の理解、自分が将来目指す職業にどのように関係するかということ、利用する側の視点で考えることなどが出来ることを目指します。

準備学修

各回を受講する前に教科書の該当ページに目を通しておくと、理解しやすくなると思います。

授業計画

第1回	担当教員	橋本 和幸 イントロダクション
	内容	授業の進め方や臨床心理学で学ぶ領域の説明をする。
第2回	担当教員	橋本 和幸 精神分析①
	内容	フロイトが提唱した精神分析に基づく心に見方について説明する。
第3回	担当教員	橋本 和幸 精神分析②
	内容	精神分析を用いた心理療法について説明する。
第4回	担当教員	橋本 和幸 クライエント中心療法
	内容	ロジャーズが提唱した心の見方とそれに基づく心理療法について説明する。
第5回	担当教員	橋本 和幸 学習理論と行動療法①
	内容	行動や思考が変化する様子を説明する。
第6回	担当教員	橋本 和幸 学習理論と行動療法②
	内容	学習理論および認知行動理論に基づく心理療法について説明する。
第7回	担当教員	橋本 和幸 認知行動療法①
	内容	認知行動療法の理論を説明する。

第8回	担当教員	橋本 和幸 認知行動療法②
	内容	認知行動療法の技法を説明する。
第9回	担当教員	橋本 和幸 その他の心理療法
	内容	第2回～第8回に説明した4つの心理療法以外の理論や技法を紹介する。
第10回	担当教員	橋本 和幸 心理検査①
	内容	知能検査について説明する。
第11回	担当教員	橋本 和幸 心理検査②
	内容	人格検査の質問紙法と投影法を説明する。
第12回	担当教員	橋本 和幸 発達①
	内容	心と身体の発達について説明する。
第13回	担当教員	橋本 和幸 発達②
	内容	乳児期から老年期までの心の発達と、各ステージで達成すべき発達課題を説明する。
第14回	担当教員	橋本 和幸 パーソナリティと記憶
	内容	人間の個性を生む心の構造や、ものを覚えたり思い出したりする仕組みについて説明する。
第15回	担当教員	橋本 和幸 障害受容
	内容	当事者が自分の障害を受容していく過程を説明する。

評価方法

講義内課題15%と定期試験85%の合算で評価する。

教科書

テキスト 専門職のための臨床心理学基礎（第3版） 橋本和幸 ムイスリ出版 2,100円+税

参考書

授業ごとに紹介します。

オフィスアワー

前期は木曜・5限に教員研究室にて受け付けます。

実務経験の有無

有

その他

- ・テキストを各自で用意して授業に臨んでください。
- ・学習範囲が広いため、予習復習を各自で行うことを求めます。

講義コード	5101401
講義名	病理学
(副題)	
講義開講時期	後期
講義区分	講義
基準単位数	1
時間	30.00
対象学年	2
必修/選択	必修

担当教員

氏名
河村 俊治

総合学習目標

病理学は、病因と病態を形態学的に解明する学問で、病気の背景にある細胞・組織・臓器の病態を学び、機能が障害される原因と機序に関する理解を深める、医療従事者にとり必須の知識である。

理学療法・リハビリテーションの視点から、身体機能の低下や障害の原因、機能の回復と促進を図るための知識を習得する。

【理学DP1-①に該当する】

個別学習目標

人体における恒常性の破綻を、病因別に分類された基本型について学び、その知識をもとに、臓器系統ごとに重要な症状や徴候が生じる機能障害の機序を理解し、説明できる。

準備学修

- ①予習：講義前に教科書の該当ページに目を通す（30分程度）。
- ②復習：講義で使われたプリント・レジユメの内容を確認する（30分程度）。

授業計画

第1回	担当教員	河村 俊治 【総論1】病理学の概要（歴史・組織診・細胞診）
第2回	担当教員	河村 俊治 【総論2】病因論（内因・外因）
第3回	担当教員	河村 俊治 【総論3】退行性病変・進行性病変
第4回	担当教員	河村 俊治 【総論4】代謝障害（アミロイドーシス含む）
第5回	担当教員	河村 俊治 【総論5】循環障害
第6回	担当教員	河村 俊治 【総論6】炎症・感染症
第7回	担当教員	河村 俊治 【総論7】免疫
第8回	担当教員	河村 俊治 【総論8】腫瘍（1）
第9回	担当教員	河村 俊治 【総論9】腫瘍（2）
		河村 俊治

第10回	担当教員	【総論10】老化・先天異常 [総論まとめ]
第11回	担当教員	河村 俊治 【各論1】循環器・呼吸器疾患
第12回	担当教員	河村 俊治 【各論2】消化器・神経疾患
第13回	担当教員	河村 俊治 【各論3】運動器・泌尿生殖器疾患
第14回	担当教員	河村 俊治 【各論4】内分泌・造血器疾患
第15回	担当教員	河村 俊治 【各論5】皮膚・感覚器疾患 [全体まとめ]

評価方法

定期試験100点（100%）で評価する。

教科書

テキスト

標準理学療法学・作業療法学 専門基礎分野 病理学 監修：梶原博毅 編集：横井豊治、村雲芳樹
医学書院 4, 968円

参考書

参考文献

国民衛生の動向 2023/2024（厚生の指標2023年8月増刊）：2023年8月頃刊行予定

オフィスアワー

Google Classroomのホームから質問等を受け付ける。

実務経験の有無

有り。

その他

参考文献は適宜紹介する。

講義コード	5101501
講義名	病態生理学[理]
(副題)	
講義開講時期	後期
講義区分	講義
基準単位数	2
時間	30.00
対象学年	3
必修/選択	選択

担当教員

氏名
増田 敦子

総合学習目標

リハビリテーションの対象となる患者は、それが必要となった原因疾患だけでなく様々な疾患を合併症として抱えていることが多い。患者さんの疾患を考えようとするとき、しばしば病名に固執しがちである。しかし、本当に知らなければならないのは、今、その患者さんの中で何が起きているか、どうしてそうなっているのかである。それがわかっていなければ、どう対応したらよいかわからない。同じ病名でも、人によって出てくる症状も異なる。そこで、日常臨床で遭遇することの多い症状についての理解を深め、臨床の場で役立つ知識を習得することを目標とする。

理学療法学科DP1-①②に該当する。

個別学習目標

- 1) その症状の定義、起こるメカニズム、その症状をきたす疾患について述べることができる。
- 2) その症状を緩和するためのアプローチを、特に理学療法的な視点で考えることができる。

準備学修

- ・発表資料としてパワーポイントを作成するにあたり、テーマに関わる器官系の解剖学・生理学を復習しておくこと。
- ・各自、分担した内容を滞りなく発表できるように練習しておくこと。
- ・発表後の質問に対応できるように、内容を深めておくこと。

授業計画

第1回	担当教員	増田 敦子 オリエンテーション
	内容	授業の進め方、評価の方法、グループ分け、資料作成および発表における注意点などのオリエンテーション
第2回	担当教員	増田 敦子 テーマ1：グループワーク
	内容	テーマ1に関して、グループごとにパワーポイントの資料や発表原稿作成など発表準備をグループで行う。AL:B
第3回	担当教員	増田 敦子 テーマ1：発表および質疑応答
	内容	グループごとに発表し質疑応答を行う。AL:AC
	担当	増田 敦子

第4回	教員	テーマ1：追加講義
	内容	テーマ1に関して、発表内容に関連する過去の国家試験問題の解説などの追加講義
第5回	担当教員	増田 敦子 テーマ2：グループワーク
	内容	テーマ2に関して、グループごとにパワーポイントの資料や発表原稿作成など発表準備をグループで行う。AL:B
第6回	担当教員	増田 敦子 テーマ2：発表および質疑応答
	内容	グループごとに発表し質疑応答を行う。AL:AC
第7回	担当教員	増田 敦子 テーマ2：追加講義
	内容	テーマ1に関して、発表内容に関連する過去の国家試験問題の解説などの追加講義
第8回	担当教員	増田 敦子 テーマ3：グループワーク
	内容	テーマ3に関して、グループごとにパワーポイントの資料や発表原稿作成など発表準備をグループで行う。AL:B
第9回	担当教員	増田 敦子 テーマ3：発表および質疑応答
	内容	グループごとに発表し質疑応答を行う。AL:AC
第10回	担当教員	増田 敦子 テーマ3：追加講義
	内容	テーマ3に関して、発表内容に関連する過去の国家試験問題の解説などの追加講義
第11回	担当教員	増田 敦子 テーマ4：グループワーク
	内容	テーマ4に関して、グループごとにパワーポイントの資料や発表原稿作成など発表準備をグループで行う。AL:B
第12回	担当教員	増田 敦子 テーマ4：発表および質疑応答
	内容	グループごとに発表し質疑応答を行う。AL:AC
第13回	担当教員	増田 敦子 テーマ4：追加講義
	内容	テーマ4に関して、発表内容に関連する過去の国家試験問題の解説などの追加講義
第14回	担当教員	増田 敦子 期末試験対策
	内容	期末試験対策としてグループワークおよび発表した内容への追加講義
第15回	担当教員	増田 敦子 期末試験および解答・解説
	内容	期末試験およびマークシート回収後に解答・解説

評価方法

- 1) 授業中の発表25%、発表資料の完成度25%、期末試験50%、合計100%で評価する。
- 2) 発表後の質疑応答に貢献した場合にはこれに加点する。

教科書

人体の構造と機能（第4版）、エレインNマリーブ著、林正健二訳、医学書院、5、200円＋税（1年次の生理学I・IIで使用した教科書）

参考書
齊藤宣彦、看護につながる病態生理学（プチナースBOOKS）、照林社、2, 600円+税 田中越郎、系統看護学 病態生理学、医学書院、2, 300円+税
オフィスアワー
・月～水は4限目、木・金は1限目に教員室。それ以外でも在室していれば対応可能。 ・メール（a-masuda@ryotokuji-u.ac.jp）でも対応可能。
実務経験の有無
有
その他
1) ガイダンス時に発表のグループ分けを学生の希望を踏まえ、決定します。 2) 基本的に学生のグループ発表に基づいて授業を進めます。 3) パワーポイントを使用した発表ですので、その利用法を習得しておいてください。 4) 発表グループ以外のときに活発な質疑応答ができるように、教科書を読んで、予習をしておいてください。 5) グループワークのテーマは、①循環器系の異常としてショック、浮腫、②呼吸器系の異常として呼吸困難、咳嗽、③消化器系の異常として嚥下困難、便秘と下痢、④血液の異常として止血異常、貧血、⑤体温の異常として高体温、低体温、⑥平衡器官の異常としめまい、を挙げておくが、学生の希望によりテーマは柔軟に変更する。 6) 授業は、①グループワーク、②発表・質疑応答、③追加講義の3回を1つのクールとして進めるが、①～③の授業回数は進行状況に応じて柔軟に変更する。

講義コード	5101801
講義名	整形外科科学I[理]
(副題)	
講義開講時期	後期
講義区分	講義
基準単位数	2
時間	30.00
対象学年	2
必修/選択	必修

担当教員

氏名
下小野田 一騎

総合学習目標

整形外科科学Iでは、身体を支持する骨格及び運動器に関する疾患・外傷・障害を中心に講義が行なわれる。整形外科の取り扱う分野は、骨・関節・神経・筋肉などに関連し、局所の外傷から全身に及ぶ炎症性・代謝性疾患まで多岐にわたる。また、小児から高齢者まで幅広い年齢層が対象となるが、近年では高齢化社会に伴い、骨粗鬆症や変形性関節症などの加齢性疾患が社会的にも大きな問題となっており、それらについての知識は必須のものとなりつつある。下記の細目内容について講義が行われる。基本的な内容を主としている。講義はスライドおよび配付資料によって行う。DP1

個別学習目標

- 1) 整形外科基礎科学について理解する。
- 2) 運動器疾患の概要・疫学・病態について理解する。
- 3) 運動器疾患の診察法・診断法を理解する。
- 4) 運動器疾患の治療法・後療法を理解する。

授業計画

第1回	担当教員	下小野田 一騎 整形外科基礎科学 [下小野田]
	内容	
第2回	担当教員	下小野田 一騎 検査法 [下小野田]
	内容	
第3回	担当教員	下小野田 一騎 治療法 [下小野田]
	内容	
第4回	担当教員	下小野田 一騎 骨、関節損傷総論 [下小野田]
	内容	
第5回	担当教員	下小野田 一騎 外傷性疾患—上肢 [下小野田]
	内容	
第6回	担当教員	下小野田 一騎 外傷性疾患—下肢 [下小野田]
	内容	

	内容	
第7回	担当教員	下小野田 一騎 外傷性疾患一体幹 [下小野田]
	内容	
第8回	担当教員	下小野田 一騎 スポーツと整形外科 [下小野田]
	内容	
第9回	担当教員	下小野田 一騎 小児整形外科疾患、脊髄損傷 [下小野田]
	内容	
第10回	担当教員	下小野田 一騎 感染症、骨端症 [下小野田]
	内容	
第11回	担当教員	下小野田 一騎 骨・軟部腫瘍 [下小野田]
	内容	
第12回	担当教員	下小野田 一騎 変形性関節症、関節リウマチ [下小野田]
	内容	
第13回	担当教員	下小野田 一騎 骨系統疾患 [下小野田]
	内容	
第14回	担当教員	下小野田 一騎 神経麻痺、末梢神経障害、神経筋疾患 [下小野田]
	内容	
第15回	担当教員	下小野田 一騎 痛風、骨粗鬆症、脊髄腫瘍 [下小野田]
	内容	

評価方法

定期試験100%（合計100%）で評価する。

教科書

参考文献

1.標準整形外科学 第14版 監修：中村利孝 編集：井樋栄二

医学書院 ISBN-13：978-4260038805 2020年01月

参考書

参考文献

1.標準整形外科学 第14版 監修：中村利孝 編集：井樋栄二

医学書院 ISBN-13：978-4260038805 2020年01月

オフィスアワー

月曜日 火曜日・昼休み・517研究室
質問等は授業の前後で受け付ける

実務経験の有無

担当教員実務経験の有無， 有

その他

- 1) パワーポイント資料を用いながら講義を行う。講義時に配布した小テストの解答解説はGoogle Classroomに適宜掲示する。
- 2) 講義中の私語，携帯電話による通話およびメールは禁止し，直ちに退席を求める。
- 3) 学習状況に応じて授業計画は柔軟に変更する。

担当教員実務経験の有無，有

講義コード	5101901
講義名	整形外科科学II[理]
(副題)	
講義開講時期	前期
講義区分	講義
基準単位数	2
時間	30.00
対象学年	3
必修/選択	選択

担当教員

氏名
下小野田 一騎

総合学習目標

整形外科科学IIでは、身体を支持する骨格及び運動器に関する疾患・外傷・障害を中心に講義が行なわれる。整形外科の取り扱う分野は、骨・関節・神経・筋肉などに関連し、局所の外傷から全身に及ぶ炎症性・代謝性疾患まで多岐にわたる。また、小児から高齢者まで幅広い年齢層が対象となる。基本的な内容を主としている。講義はスライドおよび配付資料によって行う。DP1

個別学習目標

- 1) 整形外科基礎科学について理解する。
- 2) 運動器疾患の概要・疫学・病態について理解する。
- 3) 運動器疾患の診察法・診断法を理解する。
- 4) 運動器疾患の治療法・後療法を理解する。

授業計画

第1回	担当教員	下小野田 一騎 脳性麻痺、神経筋疾患 [下小野田]
第2回	担当教員	下小野田 一騎 骨、筋 [下小野田]
第3回	担当教員	下小野田 一騎 関節、軟骨 [下小野田]
第4回	担当教員	下小野田 一騎 神経・ロコモティブシンドローム [下小野田]
第5回	担当教員	下小野田 一騎 検査, 診断①下小野田]
第6回	担当教員	下小野田 一騎 診断② [下小野田]
第7回	担当教員	下小野田 一騎 頸部 [下小野田]
第8回	担当教員	下小野田 一騎 胸部 [下小野田]
第9回	担当教員	下小野田 一騎 腰部 [下小野田]
第10回	担当教員	下小野田 一騎 肩・肩甲帯 [下小野田]

第11回	担当教員	下小野田 一騎 肘・上腕 [下小野田]
第12回	担当教員	下小野田 一騎 手・手関節 [下小野田]
第13回	担当教員	下小野田 一騎 股関節 [下小野田]
第14回	担当教員	下小野田 一騎 大腿・膝関節 [下小野田]
第15回	担当教員	下小野田 一騎 下腿・足 [下小野田]

評価方法

レポート100点（100%）で評価する。

教科書

参考文献

1.標準整形外科学 第14版 監修：中村利孝 編集：井樋栄二

医学書院 ISBN-13：978-4260038805 2020年01月

参考書

参考文献

1.標準整形外科学 第14版 監修：中村利孝 編集：井樋栄二

医学書院 ISBN-13：978-4260038805 2020年01月

オフィスアワー

月曜日 火曜日・昼休み・517研究室

質問等は授業の前後で受け付ける

実務経験の有無

担当教員実務経験の有無，有

その他

1) パワーポイント資料を用いながら講義を行う。

2) 講義中の私語，携帯電話による通話およびメールは禁止し，直ちに退席を求める。

3) 学習状況に応じて授業計画は柔軟に変更する。

4) 整形外科学Iの履修内容は本講義ではほとんど重複しませんので整形外科学Iの復習は必須です。

担当教員実務経験の有無，有

講義コード	5102301
講義名	老年医学〔理〕
(副題)	
講義開講時期	後期後半
講義区分	講義
基準単位数	1
時間	15.00
対象学年	2
必修/選択	必修

担当教員

氏名
担当 未定

総合学習目標

今後、医療従事者には高齢社会に対応するために、老年医学を学び実践することが求められる。ロコモティブシンドローム、フレイル、サルコペニアの概念を学び、個々の疾病の診断・治療とともに身体ケア、心のケア、社会環境の整備を考えていく必要がある。

日本は高齢化社会を超え、超高齢化社会となっている。その背景、現状を把握し、ロコモティブシンドローム、フレイル、サルコペニアといった概念を通して、医療従事者として何をしたいのか、何ができるのか、何が求められていくのかを考え、今後の自己研鑽につなげていく。

理学DP1-①

個別学習目標

高齢者の総合機能評価ができるようになる。

老化のメカニズムと予防、リハビリテーションを学ぶ。

高齢者が病気になった際に、どのような転機をたどるかの把握、どのような社会サービスが利用できるのかの理解。

授業計画

第1回	担当教員	高齢者診察の基礎知識
	内容	定義、健康寿命、高齢者に多い疾患、診療と予防の基礎知識を学ぶ。
第2回	担当教員	老年症候群と高齢者総合的機能評価
	内容	高齢者にありふれた多岐にわたる心身の諸症状・徴候を示す老年症候群の理解と対処を学ぶ。さらに虚弱高齢者を身体面、精神・心理面、社会・環境面から評価するツールの高齢者総合的機能評価（GCA）の意義を考える。
第3回	担当教員	健康寿命延伸のスクリーニング検査と予防

	内容	健康寿命延伸には疾患に対する治療のみでなく予防医学的観点も重要である。加齢に伴う恒常性・生理的予備能の低下により、ストレスに対する脆弱性が亢進した状態がフレイルであるが、これを適切に評価する方法を学ぶ。
第4回	担当教員	フレイル・サルコペニア
	内容	高齢による衰弱は要介護になる明らかな原因疾患が加齢にしか見いだせないことが多い。フレイルは精神心理的・社会的・身体的要因からなるが、加齢にともなう骨格筋量の低下に歩行速度・握力などの身体機能の低下が合併したサルコペニアを学ぶ。
第5回	担当教員	骨粗鬆症と骨折、ロコモシンドローム
	内容	高齢者のQOLおよび生命予後において、転倒・骨折予防が重要で、骨粗鬆症の早期診断・早期治療が必要となる。運動器の障害により、立位・歩行機能が低下した状態がロコモシンドロームであり、骨折予防のため転倒リスクを評価することを学ぶ。
第6回	担当教員	認知機能の低下と認知症
	内容	神経細胞の萎縮・脱落によって認知機能は低下し、老人斑や神経原線維変化が認められる。軽度認知症(MCI)やアルツハイマー病はじめ高齢者認知症を理解する。
第7回	担当教員	高齢者と社会
	内容	健康長寿を達成するためには 栄養（食・口腔機能）、運動、社会参加の3つの柱が重要である。地域・多職種・他科連携によるまちぐるみでの包括的アプローチを学ぶ。
第8回	担当教員	高齢者と在宅医療
	内容	高齢者の'終の棲家の確保'が課題である。尊厳ある死を迎えるために、地域格差もあるなか、医療資源と社会資源をどのように配分して高齢者にできる医療を行うかを考える。

評価方法

定期試験 70点、課題（授業中に行う小テスト）30点で計100点とし、60点以上を合格とする。

授業への出席（3分の2以下は「不可」とする）。

受講環境の不備・トラブルなどといったやむを得ない事情があるものは追加課題を与え評価する。

第7・8回目の講義内容については、第8回目の講義の終わりに小テストを行う（佐藤担当分）

教科書

テキスト：改訂版 健康長寿 診療ハンドブック 日本老年医学会 1, 100円

参考書
参考文献：もう困らない！高齢者診療でよく出会う問題とその対応 羊土社 4, 500円
その他
担当教員実務経験の有無，有

講義コード	5102601
講義名	救急法[理]
(副題)	
講義開講時期	後期
講義区分	演習
基準単位数	1
時間	30.00
対象学年	1
必修/選択	必修

担当教員

氏名
憲 秀彦

総合学習目標

国内・外の救急医療制度の仕組みとバイ・スタンダー(そばに居合わせた人)として初期対応、連携の重要性を理解すると共に、将来、医療従事者として基本となる傷病者の評価・観察法、心肺蘇生、自動体外式除細動器(AED)の操作などの一次救命処置(BLS)及びその他のファーストエイドの知識と基本スキルを習得し、有事の際に積極的に対応できる心構えを養う。DP1-①、DP2-②、DP3-②

個別学習目標

- ①国内・外の救急医療制度の仕組みと一般市民の役割が理解出来る。また、事故現場での安全確認及び傷病者の評価・観察、医療情報の取り方の基本が理解できるようになる。
- ②一次救命処置の概要がわかり、最新のガイドラインに基づく心肺蘇生の手順と根拠が理解できる。
- ③一次救命処置の手順を理解し、感染防御を踏まえた心肺蘇生、AEDによる除細動が行えるようになる。
- ④実技評価基準に基づき、自分の一次救命処置の手順とスキルが確認が出来、修正出来る。
- ⑤出血の危険性、ショックの原因と症状の評価及び損傷血管に応じた出血コントロールが出来るようになる。
- ⑥外傷に伴う感染防御などの安全対策、あて物と三角巾による外傷の応急手当が行えるようになる。
- ⑦あて物と三角巾による応急手当の続きと巻軸包帯による包帯法が行えるようになる。
- ⑧目的に応じた三角巾と巻軸包帯法の続き、及び圧迫包帯による包帯法が行えるようになる。
- ⑨熱傷、暑熱寒冷障害、危険な動物、植物による事故など特殊なけがの予防と応急手当が理解できるようになる。
- ⑩高エネルギー事故での防ぎえた外傷死の概念が理解出来、安全確保の方法、外傷患者の救命手当の手順が理解出来る。
- ⑪高エネルギー事故での外傷患者の救命手当、体位変換等の基本スキルが行えるようになる。
- ⑫骨、関節、筋肉損傷の原因が理解出来、その評価と捻挫等の応急手当が行えるようになる。

⑬各損傷部位の評価と四肢の副子固定が行えるようになる。

⑭救護者に安全なリフティングと傷病者の状態に則した移動、搬送が行えるようになる。

⑮災害時の心得と避難、救護活動の基本が理解できる。重要ポイントの振り返りが確認出来る。

授業計画

第1回	担当 教員	恵 秀彦 救命の連鎖と救急医療制度の仕組みと救急現場での初期対応について
	内容	傷病者遭遇時の初期救急の重要性。効果的な救急医療サービスへの引き継ぎ。その仕組みの理解及び状況評価、初期評価の方法と実習(テキスト・配布資料・動画) 一部、B
第2回	担当 教員	恵 秀彦 一次救命処置(BLS) その1
	内容	救急蘇生の歴史、バイスタンダーの果たす役割、手順の理解と実習(G2015)(テキスト・配布資料)
第3回	担当 教員	恵 秀彦 一次救命処置(BLS) その2
	内容	一次救命処置における心肺蘇生とAED訓練器を用いた実習及び気道異物除去、回復体位などの実習(配布資料・テキスト・動画)
第4回	担当 教員	恵 秀彦 一次救命処置(BLS) その4
	内容	成人の一次救命処置の実技評価表に基づく実技評価試験(後日、集計と解説)
第5回	担当 教員	恵 秀彦 外傷の応急手当 その1
	内容	感染防御、損傷血管に応じた直接圧迫、間接圧迫、止血帯を用いた大出血のコントロール、ショックの評価と応急手当の実習(テキスト・配布資料・動画)
第6回	担当 教員	恵 秀彦 外傷の応急手当 その2
	内容	感染防御の標準予防策、あて物、バンデージ使用の目的、バンデージと三角巾による包帯法の実習(テキスト・配布資料)
第7回	担当 教員	恵 秀彦 外傷の応急手当 その3
	内容	あて物と三角巾による包帯法の続き、外傷手当の目的に応じた巻軸包帯の巻き方等の実習(テキスト・配布資料)
	担当	恵 秀彦

第8回	教員	外傷の応急手当 その4
	内容	あて物と三角巾による包帯法の続き、巻軸包帯の続き、及び圧迫包帯のつくり方と実習(テキスト・配布資料)
第9回	担当教員	恵 秀彦 外傷の応急手当 その5
	内容	熱傷、凍傷、野生動物、生物による咬傷・刺傷など特殊なけがの予防と応急手当(テキスト・配布資料・動画)
第10回	担当教員	恵 秀彦 高エネルギー事故の概要、評価 その1
	内容	高エネルギー事故の概要。事故現場における安全確認の方法。傷病者へのアプローチ法等の手順と実習 (テキスト・配布資料・動画)
第11回	担当教員	恵 秀彦 高エネルギー事故の初期対応、手順 その2
	内容	高エネルギー事故での状況評価、初期評価、全身観察、体位変換・移動の実習 (テキスト・配布資料・動画)
第12回	担当教員	恵 秀彦 打撲・捻挫・脱臼・骨折の評価観察と応急手当 その1
	内容	DOTS評価、CMSチェックと捻挫の応急手当の実習(テキスト・配布資料)
第13回	担当教員	恵 秀彦 打撲・捻挫・脱臼・骨折の評価観察と応急手当 その2
	内容	骨折の評価観察と副子固定の実習(テキスト・配布資料)
第14回	担当教員	恵 秀彦 リフティング・搬送法の実習
	内容	救助者複数での搬送、1名の救助者による緊急搬送、毛布、担架を使用した搬送の実習 (テキスト・配布資料) 一部、E (シミュレーション)
第15回	担当教員	恵 秀彦 災害時の心得及び重要ポイントの振り返り
	内容	災害時の心得の基本。日常の準備。災害発生時の避難行動の理解。全体を通じた重要ポイントの振り返り、補足 (テキスト・配布資料)

評価方法

実技評価(20%)+定期試験(70%)+課題レポート又は小テスト(10%)合計100%(点)を基準に総合評価を行う。

事前に回毎の授業計画を確認し、次の授業迄にテキスト内容の該当する項目及びGoogleクラス

ルームにアップロードされる配布資料を参照にWeb上で提示される課題について答えられるように準備をしておく事。

教科書

テキスト

「赤十字救急法基礎教本」編集 日本赤十字社 発行所（株）日赤サービス 315円（税込）

「赤十字救急法講習教本」編集 日本赤十字社 発行所（株）日赤サービス 524円（税込）

および必要な資料等は随時配布。

参考文献

参考書

テキスト

「赤十字救急法基礎教本」編集 日本赤十字社 発行所（株）日赤サービス 315円（税込）

「赤十字救急法講習教本」編集 日本赤十字社 発行所（株）日赤サービス 524円（税込）

および必要な資料等は随時配布。

参考文献

その他

原則として8回以降、授業の初めに三角巾等を用いた包帯法の基本及び不足分の実習を行う。

教材として、三角巾(サイズ：110×110×155cm)400円前後、伸縮包帯(幅5.0cm×伸張4.0m前後の標準サイズ)300円前後を使用。

担当教員実務経験の有無，有

講義コード	5102702
講義名	ケアマネジメント論〔理〕
(副題)	
講義開講時期	後期
講義区分	講義
基準単位数	2
時間	30.00
対象学年	3
必修/選択	必修

担当教員

氏名
山之口 美喜生

総合学習目標

ケアマネジメントを理論として正しく学び、地域生活支援に必要な方法及び技術とそれを支えるシステムについて理解する。

わが国では介護保険制度や支援費制度を契機に、「ケアマネジメント」という用語は急速に定着してきた。地域福祉実践を進めるうえで、個別のニーズに対する直接的で包括的なアプローチだけでなく、チームアプローチに必要な保健・医療・福祉の連携のあり方やサービス提供のシステム、福祉サービス運営管理のあり方など、ケアマネジメントの理論と実際について理解し、マネジメント技術の要点を習得する。

DP1－①に該当する。

個別学習目標

- ・ケアマネジメントに必要な社会保障制度を理解する。
- ・ケアマネジメントに必要な、保健、医療、福祉の現状を理解する。
- ・ケアプラン作成までの流れについて理解する。
- ・ケアマネジメントの視点をもって、保健、医療、福祉の現場で提供されている面接技術の要点を習得する。
- ・ケアマネジメントの視点をもって、保健、医療、福祉の現場で提供されている福祉用具活用技術の要点を習得する。

準備学修

介護支援専門員（ケアマネジャー）の受験対策を意図した授業ではない。介護支援等の制度理解については社会福祉制度論関連の知識、介護支援の方法論においては評価学とコミュニケーション論について事前に知識があると理解しやすい。

授業計画

第1回	担当教員	山之口 美喜生 ケアマネジメント総論・ケアマネジメントとは
	内容	ケアマネジメントの概要を理解する。
第2回	担当教員	山之口 美喜生 ケアマネジメントの機能 1
	内容	ケアプランの計画・実施までの流れについて理解する。
第3回	担当教員	山之口 美喜生 ケアマネジメントの機能 2
	内容	ケアプランの計画・実施までの流れについて理解する。
	担当教員	山之口 美喜生 ケアマネジメントの対象（障害者） 1

第4回	内容	障害者に関するニーズの特徴とケアマネジメントを理解する。
第5回	担当教員	山之口 美喜生 ケアマネジメントの対象（障害者） 2
	内容	障害者に関するニーズの特徴とケアマネジメントを理解する。
第6回	担当教員	山之口 美喜生 ケアマネジメントの対象（障害者） 3
	内容	社会資源の内容と特質、生活障害について理解する。
第7回	担当教員	山之口 美喜生 ケアマネジメントの対象（障害者） 4
	内容	社会資源の内容と特質、生活障害について理解する。
第8回	担当教員	山之口 美喜生 ケアマネジメントの実践 1
	内容	介護保険制度下でのケアプランと個別援助計画の関係を理解する。 （各グループに症例を提示後、ワークショップを行う）
第9回	担当教員	山之口 美喜生 ケアマネジメントの実践 2
	内容	介護保険制度下でのケアプランと個別援助計画の関係を理解する。 （各グループごとのワークショップの続き）
第10回	担当教員	山之口 美喜生 ケアマネジメントの実践 3
	内容	介護保険制度下でのケアプランと個別援助計画の関係を理解する。 （各グループごとに発表を行う）
第11回	担当教員	山之口 美喜生 ケアマネジメントの実践 4
	内容	介護保険制度下でのケアプランと個別援助計画の関係を理解する。 （各グループに症例を提示後、ワークショップを行う）
第12回	担当教員	山之口 美喜生 ケアマネジメントの実践 5
	内容	介護保険制度下でのケアプランと個別援助計画の関係を理解する。 （各グループごとのワークショップの続き）
第13回	担当教員	山之口 美喜生 ケアマネジメントの実践 5
	内容	介護保険制度下でのケアプランと個別援助計画の関係を理解する。 （各グループごとに発表を行う）
第14回	担当教員	山之口 美喜生 ケアマネジメントが捉える地域社会
	内容	地域包括ケアシステムとケアマネジメントの課題について理解する。
第15回	担当教員	山之口 美喜生 まとめ
	内容	理学療法士の業務と深くかかわるケアマネジメントの実際についてその関係を再び考察する。

評価方法

定期試験80%と課題達成度20%の合計100点（100%）によって評価する。

教科書

テキストは特に定めずプリントを配布する

参考書

『ケアマネジメントの本質 生活支援のあり方と実践方法』 著者：白沢政和 出版社：中央法規

出版 定価：4,000円＋税

オフィスアワー

質問等は随時受け付けます。研究室来訪時には公開しているオフィスアワーを参考の事。

実務経験の有無

実務経験有

講義コード	5102901
講義名	画像診断学
(副題)	
講義開講時期	後期前半
講義区分	講義
基準単位数	1
時間	15.00
対象学年	3
必修/選択	必修

担当教員

氏名
下小野田 一騎
檀 和夫

総合学習目標

現代の臨床医学において、画像医学は極めて重要な役割を果たしており、あらゆる疾患の診断、治療に欠くべからざる存在となっている。これを反映して理学療法士の医学教育においても画像診断の重要性が唱えられている。身体所見から考えられる運動器疾患の病態について、画像診断を用いて確定診断を導き出すためには、どのような画像診断があるのか、その内容、それらの基礎について講義する。当講座では運動器疾患の臨床診断の主となる画像診断について読影可能になることを目標とする。また、運動器以外では理学療法士の出会うことの多い疾患である脳出血・脳梗塞といった中枢神経疾患へのアプローチ、診療の最も基本的な画像評価方法である胸腹部エックス線写真の読み方、近年簡便に検査が可能となり情報量の多い胸腹部CTに関しての初歩的な読影を反復し画像所見から診断や症状を読み取れることを目標とする。DPI

個別学習目標

- (1) 理学療法士の診療対象となる骨関節疾患、脳血管疾患、呼吸器疾患を重点的に扱う
- (2) 各疾患の画像所見のみならず、その背景にある病態も理解できるようになる。
- (3) 画像解剖、画像検査法など、画像診断の基礎となる知識が得られ説明できるようになる。

授業計画

第1回	担当教員	檀 和夫
	内容	第1回 内科系 中枢神経疾患(頭部CT～頭部MRI/MRA)
第2回	担当教員	檀 和夫
	内容	第2回 内科系 胸腹部疾患(胸腹部Xp/CT)
第3回	担当教員	下小野田 一騎
	内容	第3回 総論：イントロダクション、画像検査の種類と特徴 下小野田
第4回	担当教員	下小野田 一騎
	内容	第4回 各論1：運動器疾患①上肢（肩甲帯・肩関節） 下小野田
第5回	担当教員	下小野田 一騎
	内容	第5回 各論2：運動器疾患②上肢（肘・手・指関節） 下小野田
第6回	担当教員	下小野田 一騎
	内容	第6回 各論3：運動器疾患③下肢（股・膝関節） 下小野田
第7回	担当教員	下小野田 一騎

	内容	第7回 各論4：運動器疾患④下肢（足・膝関節） 下小野田
第8回	担当教員	下小野田 一騎
	内容	第8回 各論5：運動器疾患⑤下肢（頸・胸・腰椎） 下小野田
評価方法		
定期試験、整形外科75点（75%）、内科25点（25%）、合計100点（100%）の評価とする。		
教科書		
テキスト		
P T・O Tのための画像診断マニュアル		
著者：百島祐貴 医学教育出版社 2970円		
参考書		
テキスト		
P T・O Tのための画像診断マニュアル		
著者：百島祐貴 医学教育出版社 2970円		
オフィスアワー		
下小野田：月曜日 火曜日・昼休み・517研究室、質問等は授業の前後で受け付ける 檀：月曜日および金曜日昼休み（12:10-13:00）、担当教員研究室。授業内容についての質問は授業中およびオフィスアワーに受け付ける。またメールでの質問も受け付ける（メールアドレス：dan@ryotokuji-u.ac.jp）。		
実務経験の有無		
担当教員実務経験の有無， 有		

講義コード	5103001
講義名	内科学I[理]
(副題)	
講義開講時期	前期
講義区分	講義
基準単位数	2
時間	30.00
対象学年	2
必修/選択	必修

担当教員

氏名
松尾 洋史

総合学習目標

内科学は医学において最も根幹的な学問であり、知識として解剖学・組織学・生理学・生化学を理解したうえで疾患の原因を理解し、原因に対する治療法として外科的手法に依存しない領域までをカバーしている。その中には患者の病態把握のための医療面接や医療記録の書き方、診察方法、所見の評価も含まれ、さらなる知識の獲得や情報共有のためにプレゼンテーションをすることも求められる。このような一連のプロセスを実践するための基礎的な情報を提供し、臓器および疾患への理解を深め、将来医療現場に出たときに速やかに医療情報を整理・活用する土台を作ること为目标とする。

【理学：DP1-①,②】

個別学習目標

- ・医学の発展と問題点を理解できている。
- ・診療の一連の流れを理解できている。
- ・診察方法の概論を理解できている。
- ・診療録の意義と記録の仕方を理解できている。
- ・アレルギーの基礎知識と主要なアレルギー疾患が理解できている。
- ・膠原病の基礎知識と主要な膠原病疾患が理解できている。
- ・内分泌の基礎知識と主要な内分泌疾患が理解できている。
- ・代謝の基礎知識と主要な代謝性疾患が理解できている。
- ・循環器の基礎知識と主要な循環器疾患が理解できている。

授業計画

第1回	担当教員	松尾 洋史 医学総論①
	内容	自己紹介、医学とは何か、医の心とは、医学の成り立ち（歴史）、リハビリテーション医学と内科学のかかわり
	担当	松尾 洋史

第2回	教員	医学総論②
	内容	診療の流れ、診断のプロセス、医療面接、診療録の記載方法(SOAP)、身体所見評価法(視診、聴診、打診、触診)、バイタルサインの測定。
第3回	担当教員	松尾 洋史 医学総論③
	内容	診断に有用な検査、画像的評価方法(X線、CT、MRI、シンチグラフィ、透視など)、生理学的評価方法(心電図、呼吸機能検査、超音波など)、検体検査(血液、喀痰、髄液、胸水、腹水、染色体など)、内科的治療(薬物療法による留意点)
第4回	担当教員	松尾 洋史 アレルギー①
	内容	アレルギー総論、I型アレルギー、II型/III型アレルギー、IV型/V型アレルギー、アレルギー性疾患に用いられる検査など
第5回	担当教員	松尾 洋史 アレルギー②
	内容	花粉症・アレルギー性鼻炎、気管支喘息、蕁麻疹・血管性浮腫、薬疹、食物アレルギー、アナフィラキシーなど
第6回	担当教員	松尾 洋史 膠原病①
	内容	膠原病総論、膠原病に多い関節症状や皮膚症状、膠原病の診断に有用な採血検査、関節リウマチ、多発性筋炎・皮膚筋炎など
第7回	担当教員	松尾 洋史 膠原病②
	内容	関節リウマチ、リウマチ熱、全身性エリテマトーデス(SLE)、多発性筋炎・皮膚筋炎、強皮症・全身性硬化症、混合性結合組織病(MCTD)、Behcet病、血管炎症候群・巨細胞性動脈炎、好酸球性多発血管炎性肉芽腫症、ベーチェット病など
第8回	担当教員	松尾 洋史 内分泌①
	内容	内分泌総論、フィードバック調節機構、視床下部と下垂体、下垂体疾患、視床下部疾患など
第9回	担当教員	松尾 洋史 内分泌②
	内容	甲状腺の機能、甲状腺機能亢進症、甲状腺機能低下症、副甲状腺の機能、副甲状腺機能亢進症、副甲状腺機能低下症、副腎の機能、コルチゾール、アルドステロン、性ホルモンと副腎髄質など
	担当	松尾 洋史

第10回	教員	代謝①
	内容	代謝総論、消化と吸収、代謝総論－栄養と異化・同化、糖尿病、脂質代謝総論、脂質異常症、高尿酸血症・痛風など
第11回	担当教員	松尾 洋史 代謝②
	内容	血糖調節、1型糖尿病、2型糖尿病、糖尿病治療薬、糖尿病合併症、脂質異常症、高尿酸血症・痛風など
第12回	担当教員	松尾 洋史 循環器①
	内容	心臓の解剖学、動脈・毛細血管・静脈、心臓の生理学、心臓の刺激伝道系、循環調節機構、循環器の診察法、胸部X線検査、冠動脈カテーテル検査、心電図、心臓超音波検査など
第13回	担当教員	松尾 洋史 循環器②
	内容	高血圧症総論、虚血性心疾患総論、狭心症、心筋梗塞、心筋梗塞の合併症、弁膜症、先天性心疾患、心筋症、心筋炎など
第14回	担当教員	松尾 洋史 循環器③
	内容	心不全、不整脈総論、不整脈各論など
第15回	担当教員	松尾 洋史 循環器④
	内容	肺性心、大動脈解離と大動脈瘤、血管炎症候群、急性動脈閉塞症・閉塞性動脈硬化症、深部静脈血栓症と肺血栓塞栓症など

評価方法

授業への出席（3分の2以下は「不可」とする）

定期試験は行わない

① 成績は、各講義後の小テスト（前期・後期それぞれ全15回）で評価します。

② 提出期限を過ぎての提出は80点満点で採点します。

③ 最終成績は、全15回小テストの合計の平均点で評価されます。

④ 追試は行いません

※各小テストで60点以下の場合でも、再テストは行いません。

※実習等で欠席の場合も、classroomに格納されているスライドを参照し小テストを受験してください。

受講環境の不備・トラブルなどといったやむを得ない事情があるものは適宜個別に対応する。

参考書

参考書：

なるほどなっとく！内科学改訂3版 西南女学院大学 教授 浅野嘉延 編 南山堂

内科学 第4版 標準理学療法学・作業療法学

病が見えるシリーズ(Medic Media)、Year note(Medic Media)、朝倉内科学(朝倉書店)をもとに資料作成は行っている。

図表等は可能な限り出典を明示し紹介する。授業前後に授業で使用したスライドを添付する。

その他

質問はClassroomを介して、ないしはメールアドレス (h-matsuo@ryotokuji-u.ac.jp) で受け付ける。

クラスルーム

<https://classroom.google.com/c/NTk1MjgwMTYyNDMx?hl=ja&cjc=e5lgmn5>

講義コード	5103101
講義名	内科学II[理]
(副題)	
講義開講時期	後期
講義区分	講義
基準単位数	2
時間	30.00
対象学年	2
必修/選択	必修

担当教員

氏名
松尾 洋史

総合学習目標

内科学は医学において最も根幹的な学問であり、知識として解剖学・組織学・生理学・生化学を理解した上で疾患の原因を理解し、原因に対する治療法として外科的手法に依存しない領域までをカバーしている。その中には患者の病態把握のための医療面接や医療記録の書き方、診察方法、所見の評価も含まれ、さらなる知識の獲得や情報共有のためにプレゼンテーションをすることも求められる。このような一連のプロセスを実践するための基礎的な情報を提供し、臓器および疾患への理解を深め、将来医療現場に出たときに速やかに医療情報を整理・活用する土台を作ること为目标とする。

【理学：DP1-①,②】

個別学習目標

- ・医学の発展と問題点を理解できている。
- ・診療の一連の流れを理解できている。
- ・診察方法の概論を理解できている。
- ・診療録の意義と記録の仕方を理解できている。
- ・呼吸器の基礎知識と主要な呼吸器疾患が理解できている。
- ・消化器の基礎知識と主要な消化器疾患が理解できている。
- ・造血器の基礎知識と主要な造血器疾患が理解できている。
- ・腎・泌尿器の基礎知識と主要な腎・泌尿器疾患が理解できている。
- ・感染症・中毒の基礎知識と主要な感染症・中毒疾患が理解できている。

授業計画

第1回	担当教員	松尾 洋史 呼吸器疾患① 総論
	内容	解剖、ガス交換、低酸素血症、呼吸機能検査、身体診察、胸部レントゲン/CT検査、気管支鏡検査など
	担当	松尾 洋史

第2回	教員	呼吸器疾患② 各論 1
	内容	閉塞性肺疾患：気管支喘息、COPD、DPB／気管支拡張症 間質性肺疾患：特発性肺繊維症、じん肺 アレルギー性肺疾患：好酸球性肺炎、過敏性肺炎、アレルギー性気管支肺アスペルギルス症、サルコイドーシス、Good pasture症候群など
第3回	担当教員	松尾 洋史 呼吸器疾患③ 各論 2
	内容	肺腫瘍 LAM 睡眠時無呼吸症候群 過換気症候群 など
第4回	担当教員	松尾 洋史 呼吸器疾患④ 各論 3
	内容	ARDS 肺高血圧症 肺動静脈瘻 肺胞蛋白症 肺分画症 縦隔腫瘍 急性縦隔炎・縦隔気腫 胸水 胸膜炎 膿胸 悪性胸膜中皮腫 など
第5回	担当教員	消化器疾患 食道、胃・十二指腸、小腸、大腸①
	内容	消化管の解剖学・組織学、消化器症状、消化器の検査、食道疾患（逆流性食道炎など）、胃・十二指腸の疾患（胃・十二指腸潰瘍など）、ヘリコバクター・ピロリ、アニサキス症など
第6回	担当教員	消化器疾患 食道、胃・十二指腸、小腸、大腸②
	内容	小腸・大腸の解剖学、機能性消化管障害、腸閉塞・イレウス、炎症性腸疾患（クローン病、潰瘍性大腸炎、急性虫垂炎、腹膜炎など）、虚血性腸疾患など
第7回	担当教員	消化器疾患 食道、胃・十二指腸、小腸、大腸③
	内容	腫瘍性消化器疾患（口腔・咽頭の癌、食道癌、胃癌、大腸癌）、その他の大腸疾患など
第8回	担当教員	消化器 肝・胆・膵①

	内容	肝臓の解剖学・組織学、肝臓の働き、肝臓による症候、肝臓の検査、ウイルス性肝炎、肝硬変、肝障害（アルコール性/非アルコール性）、薬剤性肝炎、自己免疫性肝炎、門脈圧亢進症・食道静脈瘤など
第9回	担当教員	消化器 肝・胆・膵②
	内容	胆嚢・胆道の解剖学、膵臓の解剖学、胆嚢・胆汁の働き、胆道・膵臓の検査、胆道の疾患（胆嚢炎、胆石など）、膵臓の疾患（膵炎など）、肝・胆・膵の腫瘍性疾患（肝細胞癌、膵癌など）
第10回	担当教員	造血器①
	内容	血液学総論（血球の分化と各血球の役割）、血液学検査、血液型、輸血療法（輸血の種類、有害事象）、貧血総論、貧血各論（鉄血欠乏性貧血、再生不良性貧血など）、止血機構、止血機構の異常（特発性血小板減少性紫斑病、血栓性血小板減少性紫斑病、血友病など）
第11回	担当教員	造血器②
	内容	白血球総論、白血球の異常、造血器腫瘍（急性白血病、慢性骨髄性白血病など）、リンパ系腫瘍（悪性リンパ腫、多発性骨髄腫など）
第12回	担当教員	腎・泌尿器①
	内容	腎・泌尿器系の解剖学と役割、腎・泌尿器系の検査（腎機能検査、蛋白尿・血尿など）、腎・泌尿器系の症状、急性腎障害、腎不全と腎代替療法、糸球体疾患（ネフローゼ症候群、IgA腎症）、尿細管・間質性疾患、腎血管系疾患、全身疾患に伴う腎疾患など
第13回	担当教員	腎・泌尿器②
	内容	尿路結石、尿路感染症、尿路の腫瘍、下部尿路障害など
第14回	担当教員	感染症・中毒①
	内容	感染症総論、感染経路、医療関連感染症、予防方法（スタンダードプリコーションとは）、感染症の用語（日和見感染、敗血症、性感染症、母子感染症）、感染症法とその取扱い、検査方法、感染症の薬剤、細菌感染、ウイルス感染、真菌症など
第15回	担当教員	感染症・中毒②
	内容	中毒症総論、医薬品中毒（睡眠薬、抗うつ薬、アスピリン、アセトアミノフェンなど）、工業用品による中毒（有機溶剤中毒、金属中毒）、有毒ガス中毒、農薬中毒（有機リン系、パラコート系など）、薬物中毒・依存、食中毒、松本サリン事件・地下鉄サリン事件など

評価方法

授業への出席（3分の2以下は「不可」とする）

定期試験は行わない

① 成績は、各講義後の小テスト（前期・後期それぞれ全15回）で評価します。

② 提出期限を過ぎての提出は80点満点で採点します。

③ 最終成績は、全15回小テストの合計の平均点で評価されます。

④ 追試は行いません

※各小テストで60点以下の場合でも、再テストは行いません。

※実習等で欠席の場合も、classroomに格納されているスライドを参照し小テストを受験してください。

受講環境の不備・トラブルなどといったやむを得ない事情があるものは適宜個別に対応する。

参考書

参考書：

なるほどなっとく！内科学改訂3版 西南女学院大学 教授 浅野嘉延 編 南山堂

内科学 第4版 標準理学療法学・作業療法学

病気が見えるシリーズ(Medic Media)、Year note(Medic Media)、朝倉内科学(朝倉書店)をもとに資料作成は行っている。

図表等は可能な限り出典を明示し紹介する。授業前後に授業で使用したスライドを添付する。

その他

質問はClassroomを介して、ないしはメールアドレス（h-matsuo@ryotokuji-u.ac.jp）で受け付ける。

講義コード	5103201
講義名	神経内科学I
(副題)	
講義開講時期	前期
講義区分	講義
基準単位数	2
時間	30.00
対象学年	3
必修/選択	必修

担当教員

氏名
栗原 照幸

総合学習目標

理学療法士として必要な神経内科の知識を身につける。神経内科Iでは神経総論を理解する。

DP1-1に該当する。

個別学習目標

神経疾患が、神経系のどこにあるのか、又その病態は何かを推定できるように学ぶ。

準備学修

神経疾患は、大脳、脳幹、脊髄、末梢神経、筋肉のどこに病気があるかによって、それぞれ独特な症状がでるので、神経解剖、神経系の各部位の機能についての基礎的な知識が疾患の理解のために大切である。

教科書の19ページから23ページにかけて、神経解剖の基本的な図が5つあり、わかりやすい解説がついているので、ここをまずよく読んで理解するとよい。

授業計画

第1回	担当教員	栗原 照幸 病変の部位
	内容	神経解剖を基礎として、神経症状から、神経系のどこに病変があるかを理解する。
第2回	担当教員	栗原 照幸 神経系の部位による特徴的な症状
	内容	大脳、脳幹、脊髄、末梢神経、神経筋接合部、筋肉の各疾患で、夫々特徴ある症状が出ることを理解する。
第3回	担当教員	栗原 照幸 発症のスピード
	内容	神経疾患は発症の仕方が、急性のもの、慢性のものがあることを理解する。
第4回	担当教員	栗原 照幸 神経所見の記載
	内容	問診と神経学的診察から80%方の神経疾患は診断でき、所見の記載が重要であることを学ぶ。
第5回	担当教員	栗原 照幸 頭痛とめまいの診察
	内容	頭痛とめまいの疾患について、DVDを見て、問診と神経学的診察の実際を理解する。

第6回	担当 教員	栗原 照幸 脳神経
	内容	1 2 の脳神経について、解剖と機能を理解する。
第7回	担当 教員	栗原 照幸 認知機能
	内容	認知機能と検査の仕方を理解し、実際に友人と2人で組んで検査を試みる。
第8回	担当 教員	栗原 照幸 運動系と感覚系
	内容	運動系と感覚系について、神経解剖と関連付けて学び理解する。
第9回	担当 教員	栗原 照幸 反射
	内容	反射について、腱反射、反射の中心、病的反射、レベル診断に有用なことを理解する。
第10回	担当 教員	栗原 照幸 言語障害
	内容	言語について失語症、構音障害等、神経解剖との関連をつかんで、理解する。
第11回	担当 教員	栗原 照幸 自律神経
	内容	自律神経障害の症状を理解し、その対処法を学ぶ。
第12回	担当 教員	栗原 照幸 意識障害
	内容	意識障害の発症機序を理解する。
第13回	担当 教員	栗原 照幸 発作性疾患
	内容	発作性疾患（片頭痛、てんかん、メニエール病、ナルコレプシー）と脳波検査を理解する。
第14回	担当 教員	栗原 照幸 末梢神経、および筋疾患
	内容	末梢神経障害、筋疾患と筋電図、末梢神経伝導検査の実際を理解する。
第15回	担当 教員	栗原 照幸 まとめ、解説
	内容	重要項目の解説

評価方法

定期試験 80点（80%） およびレポートは20点（20%）の総合で評価します。

後期実施する神経内科学IIの試験には、関連する神経内科学Iの分野も出題します。

教科書

テキスト 栗原照幸著：神経内科プラクティカルガイド，医学書院，4，300円＋税

参考書

参考文献 水野美邦監修，栗原照幸・中野今治編集：標準神経病学 第2版，医学書院，

7,000円

DVD, VHS : 栗原照幸, 山本昌昭: 30分でわかる頭痛とめまいの診かた,
日経Medical Video, Vol 49, 日経BP社, 本体 19,000円+税
(問診, 神経学的診察の実際を動画で示す。)

オフィスアワー

授業のある水曜の午前10時から午後3時まで質問を受けることができます。
e-mailでは、teruyuki-kurihara@ryotokuji-u.ac.jpに質問等をしてください。

実務経験の有無

医学部の神経内科の授業は20年以上おこない、神経内科外来での診療の経験もあります。
了徳寺大学では、5年間理学療法に学生に神経内科学の講義をしています。

その他

講義の内容を着実に理解できるように積極的な学習姿勢を望みます。

質問等は授業中または授業の前後で受け付けます。

担当教員実務経験の有無, 有

講義コード	5103301
講義名	神経内科学II
(副題)	
講義開講時期	後期
講義区分	講義
基準単位数	2
時間	30.00
対象学年	3
必修/選択	必修

担当教員

氏名
栗原 照幸

総合学習目標

神経内科の重要な疾患を理解する。

DP1-1に該当する。

個別学習目標

神経内科の各疾患について理解して、国家試験問題にも解答できる能力を身に付ける。

準備学修

神経系の多数ある疾患について理解するために基礎となる神経解剖、神経系の機能についてまず下記の教科書19-23ページの5つの図と説明は、全体を把握するために、重要なので、よく読んで理解の手始めとしてください。

授業計画

第1回	担当教員	栗原 照幸 意識障害
	内容	意識障害、昏睡をきたす病態を理解し、救命しながら診断を進めることを学ぶ。
第2回	担当教員	栗原 照幸 頭痛
	内容	頭痛：緊張型頭痛、片頭痛、群発頭痛、三叉神経痛などの症状、診断、治療法を学ぶ。
第3回	担当教員	栗原 照幸 頭蓋内圧亢進
	内容	頭蓋内圧亢進をきたす疾患について診断、鑑別診断、救命治療について学ぶ。
第4回	担当教員	栗原 照幸 てんかん
	内容	てんかん：分類、鑑別のための脳波所見、治療法について学ぶ。
第5回	担当教員	栗原 照幸 めまい
	内容	めまいを来す疾患のDVDを見て、症例報告を通じて診断、鑑別診断、治療法を学ぶ。
第6回	担当教員	栗原 照幸 認知症
	内容	治療しうる認知症、治療困難な認知症につき、DVDで実際の症例診察を見

		て学ぶ。
第7回	担当教員	栗原 照幸 不随意運動
	内容	不随意運動: 不随意運動の種類、発症機序、よくある疾患についてDVDを見て学ぶ。
第8回	担当教員	栗原 照幸 脳血管障害
	内容	脳血管障害の分類、主な症状（片麻痺、失語症など）、画像診断、治療法を学ぶ。
第9回	担当教員	栗原 照幸 神経感染症
	内容	神経感染症: 脳炎、髄膜炎、プリオン病などについて髄液所見を含めて学ぶ。
第10回	担当教員	栗原 照幸 脳腫瘍
	内容	脳腫瘍: 分類、診断、治療法について学ぶ。
第11回	担当教員	栗原 照幸 脊髄障害
	内容	脊髄障害の独特な症候を理解して、臨床診断、画像所見、治療について学ぶ。
第12回	担当教員	栗原 照幸 神経筋疾患
	内容	神経筋疾患: 重症筋無力症、筋疾患について症状、筋電図検査、治療について学ぶ。
第13回	担当教員	栗原 照幸 末梢神経障害
	内容	末梢神経疾患: 運動、感覚、自律神経障害の症状、鑑別診断、治療法について学ぶ。
第14回	担当教員	栗原 照幸 神経難病
	内容	神経難病: パーキンソン病の頻度が高いので重症度、鑑別診断を含め、詳細に学ぶ。
第15回	担当教員	栗原 照幸 神経疾患の総復習
	内容	神経疾患の総論・各論の総復習をして、教科書中の重要点をよく理解する。

評価方法

定期試験 80点（80%）および小テスト・レポート等 20点（20%）の総合で評価します。

後期実施する神経内科学IIの試験には、関連する神経内科学Iの分野も出題します。

教科書

テキスト 栗原照幸著：神経内科プラクティカルガイド，医学書院，4，300円＋税

参考書

参考文献 水野美邦監修，栗原照幸・中野今治編集：標準神経病学 第2版，医学書院，

7, 000 円 + 税

オフィスアワー

授業のある水曜日の午前10時から午後午後3時まで、質問をうけることができます。
e-mailでの質問は、teruyuki-kurihara@ryotokuji-u.ac.jpに質問を送ってくだされば、お答えします。

実務経験の有無

医学部での神経内科の授業の経験は20年以上あり、了徳寺の理学療法科での授業の経験は5年あります。
神経内科外来での診療経験は、現在もあります。

その他

講義の内容を着実に理解できるように積極的な学習姿勢を望みます。

担当教員実務経験の有無， 有

学生の質問については、授業の前後に受付ける。 また授業の途中でも質問の時間を設ける。

講義コード	5105001
講義名	神経解剖学
(副題)	
講義開講時期	後期
講義区分	講義
基準単位数	2
時間	30.00
対象学年	2
必修/選択	必修

担当教員

氏名
寺島 俊雄

総合学習目標

- ①「神経解剖学」では、脳や脊髄の構造と神経ネットワークの学習を通じて、運動・感覚・高次脳機能（記憶、情動など）がどのような仕組みで制御されているかを知り、さらにその破綻により生じる病態について理解できることを目標とする。
- ②理学療法学科DP2-①に該当する。

個別学習目標

- 目標
- ①脳を構成しているニューロンとグリアの形態と機能について説明できる。
 - ②複雑な脳の構造や区画の形成を発生学の観点から説明できる。
 - ③脳のある領域の入・出力と機能を説明できる。
 - ④反射の神経回路の求心部と出力部を説明できる。
 - ⑤上行路（感覚路）と運動路（下行路）について説明できる

準備学修

毎回の講義資料（神経解剖学講義ノートPDF、パワーポイントスライドPDF）は講義1週間前にクラスルームにアップするから、各自のスマホ、タブレット、パソコンなどにダウンロードするか、紙媒体に出力してください。講義ノートPDFを一読しておくと思いが進みます。講義ノートの章末には「日々の演習」として問題集がありますので、講義修了後にそれを解くとさらに理解が進むと思いが。

授業計画

第1回	担当教員	寺島 俊雄 神経組織学
	内容	神経系の区分（中枢神経系と末梢神経系）について学ぶ。ニューロンとグリア（アストロサイト、オリゴデンドロサイト、ミクログリア、上衣細胞）について学ぶ。
第2回	担当教員	寺島 俊雄 神経系の発生・変性・再生
	内容	外胚葉から神経管と神経堤が生じ、前者から脳と脊髄、後者から末梢神経系ができる。神経の軸索が損傷を受けると障害部位より末梢側に軸索が変性する。これをワラー変性（あるいは順行性変性）という。神経系は変性を免れると再生する。

第3回	担当教員	寺島 俊雄 脊髄
	内容	神経管の境界溝より腹側を基板といい、その背側を翼板という。基板は遠心性（運動）ニューロンとなり、翼板は求心性（感覚）ニューロンとなる。
第4回	担当教員	寺島 俊雄 延髄
	内容	延髄は脊髄の延長としての構造に加えて後索核、下オリーブ核やさまざまな自律神経系の中樞が存在する。
第5回	担当教員	寺島 俊雄 橋
	内容	橋は中脳と延髄を連結する部分であり、橋核を介して大脳と小脳を結合する。
第6回	担当教員	寺島 俊雄 中脳
	内容	中脳は中脳水道の背側の中脳蓋と腹側の大脳脚（広義）からなる。中脳蓋は上丘と下丘からなる。大脳脚は、さらに中脳被蓋と大脳脚（狭義）に分けられる。中脳被蓋は赤核と黒質からなる。狭義の大脳脚は皮質脊髄路線維と皮質橋核路線維からなる。
第7回	担当教員	寺島 俊雄 小脳
	内容	小脳は解剖学的には中心部の虫部と外側の小脳半球からなる。小脳は発生的には原小脳、古小脳、新小脳に分けられる。小脳は組織学的には小脳皮質と髄質に分けられる。髄質の中に小脳核がある。
第8回	担当教員	寺島 俊雄 間脳
	内容	間脳は腹側の視床下部、背側の視床に分かれる。視床下部は内分泌や自律神経系の最高中枢がある。視床は運動情報や感覚情報を中継する。
第9回	担当教員	寺島 俊雄 大脳基底核
	内容	大脳基底核は大脳半球の深部にある灰白質で、尾状核、被殻、淡蒼球などからなる。尾状核と被殻を合わせて線条体といい、被殻と淡蒼球を合わせてレンズ核という。大脳基底核が障害されると振戦、アテトーシス、ヒョレア、バリスムスなどの不随意運動が生じる。
第10回	担当教員	寺島 俊雄 大脳皮質（1）新しい皮質（新皮質）
	内容	大脳皮質は発生的に新しい皮質と古い皮質からなる。新しい皮質を新皮質とい

	容	い、6層構造からなる。
第11回	担当 教員	寺島 俊雄 大脳皮質（2）古い皮質
	内容	発生的に古い大脳皮質は、古皮質と原皮質からなり、6層構造をもたない。古皮質は嗅球や梨状葉からなる。原皮質は海馬からなる。
第12回	担当 教員	寺島 俊雄 運動路（下行路）
	内容	運動路（下行路）は皮質脊髓路（錐体路）、皮質核路、視蓋脊髓路、赤核脊髓路、前庭脊髓路、網様体脊髓路などからなる。
第13回	担当 教員	寺島 俊雄 感覚路（上行路）
	内容	感覚路（上行路）は視覚路、聴覚路、体性感覚路（脊髓毛帯、後索内側毛帯系）などからなる。
第14回	担当 教員	寺島 俊雄 脳室・髄膜・血管
	内容	脳室、脳脊髄液の産生と吸収、髄膜（軟膜、クモ膜、硬膜）、脳や脊髄を栄養する血管系を概観する。
第15回	担当 教員	寺島 俊雄 脳神経
	内容	脳神経12対についてその構成と機能について概説する。

評価方法

原則として定期試験にて合否を決めるが、出席状況、講義中の質疑応答、ミニテスト（不定期）の結果などを総合的に勘案して、最終的な合否とする。

教科書

教科書は使用しない。毎回の講義資料（講義ノートPDF、パワーポイントPDF）は講義前にクラスルームにアップロードするから、携帯、パソコン、タブレットなどにダウンロードしてください。講義修了後は、2週間をめぐりにクラスルームから削除します。

参考書

私の講義資料は下記のテキストを種本としている。
寺島俊雄著 神経解剖学講義ノート（金芳堂）5060円
ただし、講義資料の方が内容が改善されていると思うので、購入する必要は全くない。

オフィスアワー

非常勤講師なので専用オフィスは持たないが、講義の前、あるいは後に講堂で質問を受け付ける。もちろん講義中にもどしどし質問して欲しい。メールで質問も歓迎する。ただしG-mailアドレスは私はあまり閲覧しない。ヤフーメールアドレスであればすぐにレスポンスする（ttera_laplace_26@yahoo.ne.jp）。

実務経験の有無

あり

その他

皆さんのスマホやPC、タブレットにダウンロードした講義資料を講義中に閲覧しながら、講義を聴講すると理解が進むと思う。

講義コード	5105102
講義名	衛生学・公衆衛生学 [理]
(副題)	(2020年度以降カリキュラム)
講義開講時期	前期
講義区分	講義
基準単位数	2
時間	30.00
対象学年	2
必修/選択	選択

担当教員

氏名
木谷 誠一
清水 菜穂

総合学習目標

医療や保健の専門職は、まずは自らの専門分野のエキスパートでなければならないが、同時に社会に対して広い視野を持ち現前の患者に対応することも大事である。本講座前半では、公衆衛生の立場から社会医学的な知識やセンスを身につけてもらうことを、後半では理学療法・リハビリ医療を中心に、チーム医療スタッフとして必要な実践知の会得を目差している。理学療法学科DP1と3に相当

個別学習目標

- ① 衛生学・公衆衛生の概要を理解する。
- ② 感染および消毒に関する基本的事項を理解する。
- ③ 保健医療行政の概要について理解する。
- ④ チーム医療の一員として働く意義を会得する。
- ⑤ 社会医学の領域における多様なテーマについての基本的な事項を理解する。

準備学修

できるだけ教科書に沿って講義を行う。各回の講義の主題（トピック）に相当する部分を教科書で事前に読み込んでおくこと。また、トピックに関する近年のニュース（話題）を、具体的に調べて、学習効率を高めてほしい。

授業計画

第1回	担当教員	木谷 誠一 公衆衛生学オリエンテーション【木谷】
	内容	社会と健康 疾病予防
第2回	担当教員	木谷 誠一 生活習慣(ライフスタイル)の現状と対策、生活習慣病の疫学【木谷】
	内容	ストレス・喫煙・飲酒の現状と対策・健康増進活動・生活習慣病の疫学
第3回	担当教員	木谷 誠一 生活習慣病の疫学(続き)と予防対策および保健医療制度【木谷】
	内容	成人保健、保健・医療・福祉のしくみ
第4回	担当教員	木谷 誠一 保健統計
	内容	人口動態統計、人口静態統計

第5回	担当教員	木谷 誠一 感染症対策について【木谷】
	内容	感染症法 予防接種法
第6回	担当教員	木谷 誠一 精神保健福祉【木谷】
	内容	精神保健対策、精神保健福祉法および不慮の事故
第7回	担当教員	木谷 誠一 産業保健【木谷】
	内容	労働安全衛生法 職業病
第8回	担当教員	木谷 誠一 授業中間まとめ【木谷】
	内容	詳細な解説と公衆衛生活動の今後の展望について述べる
第9回	担当教員	清水 菜穂 理学療法士が知っておくべき世界と日本の統計【清水】
	内容	疾病、死因統計、世界と日本の比較
第10回	担当教員	清水 菜穂 理学療法に関わる医療倫理と関連法規【清水】
	内容	生命倫理、患者の人権、診療情報
第11回	担当教員	清水 菜穂 理学療法士に関する医療制度、医療従事者の現状【清水】
	内容	救急医療、災害医療、チーム医療、終末期医療
第12回	担当教員	清水 菜穂 母子保健、栄養・食生活施策【清水】
	内容	出産、育児施策、食と健康に関する施策と法規
第13回	担当教員	清水 菜穂 地域保健【清水】
	内容	地域包括ケアシステム、ケアマネジメント、地域医療、予防施策
第14回	担当教員	清水 菜穂 理学療法士が関わる社会保障制度【清水】
	内容	介護保険、障害者福祉
第15回	担当教員	清水 菜穂 授業まとめ【清水】
	内容	解説と展望

評価方法

前半に実施される筆記試験（50点）および後半に実施される筆記試験（50点）を総計し、評価の基礎点とする

教科書

社会・環境と健康 公衆衛生学 2023年版(医歯薬出版) 2,970円(税込)

参考書

コンパクト公衆衛生学 第7版 朝倉書店 2,900円+税

オフィスアワー

(木谷) 木曜日午前 1 時限 2 時限
(清水) 火曜 2 限、木曜 1 限

実務経験の有無

講義コード	5200201
講義名	運動学実習
(副題)	
講義開講時期	後期
講義区分	実習
基準単位数	1
時間	45.00
対象学年	2
必修/選択	必修

担当教員

氏名
加藤 宗規
山田 洋一
平野 正広
一色 員子

総合学習目標

運動学で学習した人体の構造と運動について実習を通じてさらに一層理解を深め、理学療法における専門科目の基本的知識とする。

理学療法学科DP2④：健康を回復する手助けとして、健康レベルに応じて必要な知識・技術を補い、的確な医療の実践ができ、医療専門職として社会で貢献できる。

個別学習目標

- ①筋の起始・停止を骨格標本上でも示すことができ、運動を三次元的に説明できる。
- ②筋の支配神経、髄節、その他その筋についての必要知識を理解し説明できる。
- ③人の姿勢と動作を筋電図のデータから力学的、生理学的、運動学的に説明できる。
- ④機器を用いた等尺性筋力や等速性筋力評価について実施できるとともに、生理学的解釈ができる。
- ⑤人の立位などの姿勢、歩行などの動作を観察および三次元動作解析装置による解析により力学的、生理学的、運動学的に説明できる。
- ⑥肢節の質量により関節に生じるモーメント、筋の作用により生じるモーメントなど、重心や筋によるモーメントを推測、説明できる。

準備学修

実験前には実験に必要な基礎の講義資料を再度見直して、スムーズに実験が進められるように準備する。筋の機能解剖の授業回には指定されている筋の起始・停止、支配神経・髄節、作用を覚えたいうで参加できるように事前学習をしておく。

授業計画

第1回	担当教員	加藤 宗規 オリエンテーション, 実験に必要な知識①
		1-6班合同：運動治療実習室

	内容	授業、実験と課題の進め方 1. (実験①) 筋の機能解剖の進め方 2. エクセルでの表とグラフの作り方、基本的な統計の仕方 3. 関節にかかる力と筋の作用 (力学の基礎)
第2回	担当教員	山田 洋一 実験に必要な知識②
	内容	第1回と連続・1-6班合同：運動治療実習室 (実験②) 姿勢や動作観察に必要な基礎知識
第3回	担当教員	一色 員子 実験に必要な知識③
	内容	1-6班合同：運動治療実習室 (実験③) 筋電図・神経伝達速度の測定と解釈に必要な基礎知識
第4回	担当教員	平野 正広 実験に必要な知識④
	内容	第3回と連続・1-4班合同：運動治療実習室 (実験④) 筋と筋力測定の基礎知識
第5回	担当教員	加藤 宗規 山田 洋一 一色 員子 平野 正広 実験 1 日目① AL:B
	内容	1-3班：実験①筋の機能解剖，治療実習室 [加藤宗規]、4班：実験②姿勢や歩行観察と分析，評価室 [山田洋一]、5班：実験③筋電図，動作解析室 [一色員子]、6班：実験④筋力測定，ADL室 [平野正広]
第6回	担当教員	加藤 宗規 山田 洋一 一色 員子 平野 正広 実験 1 日目② AL:B
	内容	第5回と連続
第7回	担当教員	加藤 宗規 実験 2 日目① AL:B
	内容	1-6班：実験①筋の機能解剖，治療実習室
第8回	担当教員	加藤 宗規 山田 洋一 一色 員子 平野 正広 実験 3 日目② AL:B
	内容	4-6班：実験①筋の機能解剖，治療実習室 [加藤宗規]、1班：実験②姿勢や歩行

	容	観察と分析, 評価室 [山田洋一]、2班: 実験③筋電図, 動作解析室 [一色員子]、3班: 実験④筋力測定, ADL室 [平野正広]
第9回	担当教員	加藤 宗規 山田 洋一 平野 正広 一色 員子 実験 3 日目② AL:B
	内容	第8回と連続
第10回	担当教員	加藤 宗規 実験 4 日目 ①筋の機能解剖 AL:B
	内容	1-6班合同: 実験①筋の機能解剖、運動治療実習室
第11回	担当教員	加藤 宗規 山田 洋一 一色 員子 平野 正広 実験 5 日目① AL:B
	内容	1-3班: 実験①筋の機能解剖, 治療実習室 [加藤宗規]、6班: 実験②姿勢や歩行観察と分析, 評価室 [山田洋一]、4班: 実験③筋電図, 動作解析室 [一色員子]、5班: 実験④筋力測定, ADL室 [平野正広]
第12回	担当教員	加藤 宗規 山田 洋一 一色 員子 平野 正広 実験 5 日目② AL:B
	内容	第11回と連続
第13回	担当教員	加藤 宗規 実験 6 日目 AL:B
	内容	1-6班: 実験①筋の機能解剖, 治療実習室
第14回	担当教員	加藤 宗規 山田 洋一 一色 員子 平野 正広 実験 7 日目① AL:B
	内容	4-6班: 実験①筋の機能解剖, 治療実習室 [加藤宗規]、3班: 実験②姿勢や歩行観察と分析, 評価室 [山田洋一]、1班: 実験③筋電図, 動作解析室 [一色員子]、2班: 実験④筋力測定, ADL室 [平野正広]
第15回	担当教員	加藤 宗規 山田 洋一 平野 正広 一色 員子 実験 7 日目② AL:B
	内容	第14回目と連続
	担当	加藤 宗規

第16回	教員	実験 8 日目 AL:B
	内容	1-6班合同：実験①筋の機能解剖、運動治療実習室
第17回	担当教員	加藤 宗規 山田 洋一 一色 員子 平野 正広 実験 9 日目① AL:B
	内容	1-3班：実験①筋の機能解剖，治療実習室 [加藤宗規]、5班：実験②姿勢や歩行観察と分析，評価室 [山田洋一]、6班：実験③筋電図，動作解析室 [一色員子]、4班：実験④筋力測定，ADL室 [平野正広]
第18回	担当教員	加藤 宗規 山田 洋一 一色 員子 平野 正広 実 9 日目② AL:B
	内容	第17回目と連続
第19回	担当教員	加藤 宗規 実験 1 0 日目 AL:B
	内容	1-6班：実験①筋の機能解剖，治療実習室
第20回	担当教員	加藤 宗規 山田 洋一 一色 員子 平野 正広 実験 1 1 日目① AL:B
	内容	4-6班：実験①筋の機能解剖，治療実習室 [加藤宗規]、2班：実験②姿勢や歩行観察と分析，評価室 [山田洋一]、3班：実験③筋電図，動作解析室 [一色員子]、1班：実験④筋力測定，ADL室 [平野正広]
第21回	担当教員	加藤 宗規 山田 洋一 平野 正広 一色 員子 実験 1 1 日目② AL:B
	内容	第20回目と連続
第22回	担当教員	加藤 宗規 筋の機能解剖 AL:B
	内容	1-6班合同：実験①筋の機能解剖、運動治療実習室 [加藤宗規]
第23回	担当教員	加藤 宗規 山田 洋一 平野 正広 一色 員子 実験のまとめ
	内容	1-6班合同，治療実習室：実験①筋の機能解剖 [加藤宗規]、実験②姿勢や歩行観察と分析 [山田洋一]、実験③筋電図 [一色員子]、実験④筋力測定 [平野正

広]

評価方法

実験①-④課題20%、定期試験（筆記）80%

教科書

1年次「運動学I」・「解剖学」のテキスト

参考書

臨床運動学 石川朗ほか 中山書店 2, 400円+税

オフィスアワー

加藤宗規：水曜日1限目，そのほかメールにて随時受付 mu-kato@ryotokuji-u.ac.jp
他の教員のオフィスアワーは一覧表を参照

実務経験の有無

実務経験あり

その他

【注意事項】

実験項目②～④に公認欠席をした場合は、別グループの実習時に参加することを認める（第20-21回目の授業での実験は困難であるため3/5点とする）。受講登録者を6班に分ける（男女別にして、学籍番号順に1-6班・1-6班.....）

講義コード	5200202
講義名	運動学実習
(副題)	(2020年度入学生用)
講義開講時期	前期
講義区分	実習
基準単位数	1
時間	45.00
対象学年	2
必修/選択	必修

担当教員

氏名
加藤 宗規
山田 洋一
平野 正広
一色 員子

総合学習目標

運動学で学習した人体の構造と運動について実習を通じてさらに一層理解を深め、理学療法における専門科目の基本的知識とする。

理学療法学科DP2④：健康を回復する手助けとして、健康レベルに応じて必要な知識・技術を補い、的確な医療の実践ができ、医療専門職として社会で貢献できる。

個別学習目標

- ①筋の起始・停止を骨格標本上でも示すことができ、運動を三次元的に説明できる。
- ②筋の支配神経、髄節、その他その筋についての必要知識を理解し説明できる。
- ③人の姿勢と動作を筋電図のデータから力学的、生理学的、運動学的に説明できる。
- ④機器を用いた等尺性筋力や等速性筋力評価について実施できるとともに、生理学的解釈ができる。
- ⑤人の立位などの姿勢、歩行などの動作を観察および三次元動作解析装置による解析により力学的、生理学的、運動学的に説明できる。
- ⑥肢節の質量により関節に生じるモーメント、筋の作用により生じるモーメントなど、重心や筋によるモーメントを推測、説明できる。

準備学修

実験前には実験に必要な基礎の講義資料を再度見直して、スムーズに実験が進められるように準備する。筋の機能解剖の授業回には指定されている筋の起始・停止、支配神経・髄節、作用を覚えようとして参加できるように事前学習をしておく。

授業計画

第1回	担当教員	加藤 宗規 オリエンテーション, 実験に必要な知識①
		1-6班合同：運動治療実習室

	内容	授業、実験と課題の進め方 1. (実験①) 筋の機能解剖の進め方 2. エクセルでの表とグラフの作り方、基本的な統計の仕方 3. 関節にかかる力と筋の作用 (力学の基礎)
第2回	担当教員	山田 洋一 実験に必要な知識②
	内容	第1回と連続・1-6班合同：運動治療実習室 (実験②) 姿勢や動作観察に必要な基礎知識
第3回	担当教員	一色 員子 実験に必要な知識③
	内容	1-6班合同：運動治療実習室 (実験③) 筋電図・神経伝達速度の測定と解釈に必要な基礎知識
第4回	担当教員	平野 正広 実験に必要な知識④
	内容	第3回と連続・1-4班合同：運動治療実習室 (実験④) 筋と筋力測定の基礎知識
第5回	担当教員	加藤 宗規 山田 洋一 一色 員子 平野 正広 実験 1 日目① AL:B
	内容	1-3班：実験①筋の機能解剖，治療実習室 [加藤宗規]、4班：実験②姿勢や歩行観察と分析，評価室 [山田洋一]、5班：実験③筋電図，動作解析室 [一色員子]、6班：実験④筋力測定，ADL室 [平野正広]
第6回	担当教員	加藤 宗規 山田 洋一 一色 員子 平野 正広 実験 1 日目② AL:B
	内容	第5回と連続
第7回	担当教員	加藤 宗規 実験 2 日目① AL:B
	内容	1-6班：実験①筋の機能解剖，治療実習室
第8回	担当教員	加藤 宗規 山田 洋一 一色 員子 平野 正広 実験 3 日目② AL:B
	内容	4-6班：実験①筋の機能解剖，治療実習室 [加藤宗規]、1班：実験②姿勢や歩行

	容	観察と分析, 評価室 [山田洋一]、2班: 実験③筋電図, 動作解析室 [一色員子]、3班: 実験④筋力測定, ADL室 [平野正広]
第9回	担当教員	加藤 宗規 山田 洋一 平野 正広 一色 員子 実験 3 日目② AL:B
	内容	第8回と連続
第10回	担当教員	加藤 宗規 実験 4 日目 ①筋の機能解剖 AL:B
	内容	1-6班合同: 実験①筋の機能解剖、運動治療実習室
第11回	担当教員	加藤 宗規 山田 洋一 一色 員子 平野 正広 実験 5 日目① AL:B
	内容	1-3班: 実験①筋の機能解剖, 治療実習室 [加藤宗規]、6班: 実験②姿勢や歩行観察と分析, 評価室 [山田洋一]、4班: 実験③筋電図, 動作解析室 [一色員子]、5班: 実験④筋力測定, ADL室 [平野正広]
第12回	担当教員	加藤 宗規 山田 洋一 一色 員子 平野 正広 実験 5 日目② AL:B
	内容	第11回と連続
第13回	担当教員	加藤 宗規 実験 6 日目 AL:B
	内容	1-6班: 実験①筋の機能解剖, 治療実習室
第14回	担当教員	加藤 宗規 山田 洋一 一色 員子 平野 正広 実験 7 日目① AL:B
	内容	4-6班: 実験①筋の機能解剖, 治療実習室 [加藤宗規]、3班: 実験②姿勢や歩行観察と分析, 評価室 [山田洋一]、1班: 実験③筋電図, 動作解析室 [一色員子]、2班: 実験④筋力測定, ADL室 [平野正広]
第15回	担当教員	加藤 宗規 山田 洋一 平野 正広 一色 員子 実験 7 日目② AL:B
	内容	第14回目と連続
	担当	加藤 宗規

第16回	教員	実験 8 日目 AL:B
	内容	1-6班合同：実験①筋の機能解剖、運動治療実習室
第17回	担当教員	加藤 宗規 山田 洋一 一色 員子 平野 正広 実験 9 日目① AL:B
	内容	1-3班：実験①筋の機能解剖，治療実習室 [加藤宗規]、5班：実験②姿勢や歩行観察と分析，評価室 [山田洋一]、6班：実験③筋電図，動作解析室 [一色員子]、4班：実験④筋力測定，ADL室 [平野正広]
第18回	担当教員	加藤 宗規 山田 洋一 一色 員子 平野 正広 実 9 日目② AL:B
	内容	第17回目と連続
第19回	担当教員	加藤 宗規 実験 1 0 日目 AL:B
	内容	1-6班：実験①筋の機能解剖，治療実習室
第20回	担当教員	加藤 宗規 山田 洋一 一色 員子 平野 正広 実験 1 1 日目① AL:B
	内容	4-6班：実験①筋の機能解剖，治療実習室 [加藤宗規]、2班：実験②姿勢や歩行観察と分析，評価室 [山田洋一]、3班：実験③筋電図，動作解析室 [一色員子]、1班：実験④筋力測定，ADL室 [平野正広]
第21回	担当教員	加藤 宗規 山田 洋一 平野 正広 一色 員子 実験 1 1 日目② AL:B
	内容	第20回目と連続
第22回	担当教員	加藤 宗規 筋の機能解剖 AL:B
	内容	1-6班合同：実験①筋の機能解剖、運動治療実習室 [加藤宗規]
第23回	担当教員	加藤 宗規 山田 洋一 平野 正広 一色 員子 実験のまとめ
	内容	1-6班合同，治療実習室：実験①筋の機能解剖 [加藤宗規]、実験②姿勢や歩行観察と分析 [山田洋一]、実験③筋電図 [一色員子]、実験④筋力測定 [平野正

広]

評価方法

実験①-④課題20%、定期試験（筆記）80%

教科書

1年次「運動学I」・「解剖学」のテキスト

参考書

臨床運動学 石川朗ほか 中山書店 2, 400円+税

オフィスアワー

加藤宗規：水曜日1限目，そのほかメールにて随時受付 mu-kato@ryotokuji-u.ac.jp
他の教員のオフィスアワーは一覧表を参照

実務経験の有無

実務経験あり

その他

【注意事項】

実験項目②～④に公認欠席をした場合は、別グループの実習時に参加することを認める（第20-21回目の授業での実験は困難であるため3/5点とする）。受講登録者を6班に分ける（男女別にして、学籍番号順に1-6班・1-6班.....）

講義コード	5200301
講義名	臨床運動学実習
(副題)	
講義開講時期	前期
講義区分	実習
基準単位数	1
時間	45.00
対象学年	3
必修/選択	必修

担当教員

氏名
盆子原 秀三
清水 菜穂

総合学習目標

DP2
 病院施設での臨床実習に備え運動学、運動学実習で学んだ知識を基に、臨床での主要疾患における諸動作を理解することを目的とする。観察による分析を主体とし統合的な解釈ができる能力を養う。

個別学習目標

- 1) 動作分析において運動学的用語で表すことができる。
- 2) ビデオによる障害像を観察することにより健常からの逸脱動作を識別することが出来る、またその動作を模倣し筋活動や力学的な作用を用いて説明できる。また主原因による動作と代償動作を分けることができる。
- 3) 観察による歩行分析の推論的過程を行い、それを文章化して表すことが出来る。
- 4) グループワークによる課題の遂行と結果のプレゼンテーションを通して発表能力を身に付ける。

授業計画

第1回	担当 教員	盆子原 秀三 オリエンテーション
	内容	授業内容を説明する 課題(グループワーク)の説明
第2回	担当 教員	盆子原 秀三 動作分析について
	内容	レディネス①
第3回	担当 教員	盆子原 秀三 床上動作
	内容	寝返りから起き上がり、立ち上がり動作の分析の仕方
第4回	担当 教員	盆子原 秀三 ビデオ観察
	内容	各疾患における典型的な動作における観察の仕方 レディネス②
第5回	担当 教員	盆子原 秀三 床上動作の観察から分析へ (1)

	内容	課題：片麻痺症例A 起き上がり動作の解釈；筋活動・力学的
第6回	担当 教員	盆子原 秀三 床上動作の観察から分析へ（2）
	内容	課題：片麻痺症例B レディネス③ 逸脱動作の解釈
第7回	担当 教員	盆子原 秀三 床上動作の観察から分析へ（3）
	内容	課題：片麻痺症例C
第8回	担当 教員	盆子原 秀三 逸脱動作の解釈のしかた：床上動作
	内容	各課題の共通点と特徴について
第9回	担当 教員	盆子原 秀三 課題発表会
	内容	グループで発表会をおこなう
第10回	担当 教員	盆子原 秀三 ポートフォリオ評価（自己評価）
	内容	発表において自己評価をおこなう
第11回	担当 教員	盆子原 秀三 観察による歩行分析について
	内容	動きの印象とその印象を決定する歩行のメカニズム（テキスト第1～2章）
第12回	担当 教員	盆子原 秀三 分析に必要な観察の視点
	内容	各歩行相でのクリティカルイベントについて（テキスト第3章）
第13回	担当 教員	盆子原 秀三 清水 菜穂 歩行の力学的な解釈
	内容	床反力の波形は何を意味しているのか 筋電図の波形は何を意味しているのか
第14回	担当 教員	盆子原 秀三 清水 菜穂 印象に影響を与える逸脱した動き
	内容	典型的な異常歩行の特徴（テキスト第4章）
第15回	担当 教員	盆子原 秀三 清水 菜穂 データ・フォームによる分析
	内容	O G I G歩行分析シートを活用した分析のしかた（テキスト5章）
第16回	担当 教員	盆子原 秀三 清水 菜穂 観察カードによる歩行分析（1）
	内容	課題：整形外科疾患症例A 歩行での相分けの作業（テキスト6章）
第17回	担当 教員	盆子原 秀三 観察カードによる歩行分析（2）
	内容	課題：整形外科疾患症例B KJ法による分析手順（テキスト6章）
第18回	担当 教員	盆子原 秀三 観察カードによる歩行分析（3）
	内容	課題：片麻痺症例A KJ法による関連付け（テキスト6章）
第19回	担当 教員	盆子原 秀三 観察カードによる歩行分析（4）
	内容	課題：片麻痺症例B

第20回	担当 教員	盆子原 秀三 逸脱動作の解釈のしかた：歩行動作
	内容	各課題の共通点と特徴について
第21回	担当 教員	盆子原 秀三 課題発表会
	内容	グループで課題についてプレゼンをおこなう。質疑応答により観察のポイント、解釈のしかたについて伝える。
第22回	担当 教員	盆子原 秀三 ポートフォリオ評価（自己評価）
	内容	プレゼンを行う、また聞くことで、今回の実習の到達目標に対する自己評価をおこなう。
第23回	担当 教員	盆子原 秀三 実際の臨床場面での評価 総括
	内容	総括をおこなう。
第24回	担当 教員	
	内容	

評価方法

本試験（80%）小テスト（10%）、課題発表（10%）により評価する。

教科書

印象から始める歩行分析 盆子原秀三・山本澄子 医学書院 4, 400円

参考書

観察による歩行分析 キルステンゲッツ・ノイマン 医学書院 5, 500円

その他

課題発表があります。ゼミでのプレゼン資料の作成 等において準備してください。

担当教員実務経験の有無, 有

講義コード	5200401
講義名	理学療法学概論
(副題)	
講義開講時期	前期前半
講義区分	講義
基準単位数	1
時間	15.00
対象学年	1
必修/選択	必修

担当教員

氏名
武内 朗

総合学習目標

- ①理学療法の成り立ちや法律制度、障がいや対象となる疾患の概略を学修し、医療における理学療法の位置づけ、個々の理学療法士像を構成できるようにする。また理学療法士に必要な資質（適性）を理解し、医療人としての自覚を高め、社会人としての人格形成に努める。さらに理学療法の対象や方法の概略などを学修し、専門分野学修の基礎とする。
- ②理学療法学科DP1-①②、DP3-②に相当

個別学習目標

- ①医学および理学療法の歴史の概略、理学療法の定義を理解する。
- ②理学療法士の基本となる法律制度、関連法規、および社会的な位置づけを理解する。
- ③理学療法士として必要な資質（適性）を理解する。
- ④理学療法の対象と治療手段を理解する。
- ⑤理学療法士の現状と将来の展望について理解する。
- ⑥理学療法に必要な基本的用語を理解する。

準備学修

公益社団法人 日本理学療法士協会 資料動画

- ・理学療法って何だろう
- ・笑顔をあきらめない

授業計画

第1回	担当教員	武内 朗 授業ガイダンス 医学・理学療法の歴史 リハビリテーションと理学療法の概要
	内容	授業の進行および成績評価方法の説明。 医学の歴史から理学療法の歩みと発展を学修する。 リハビリテーションの定義を理解した上で、理学療法の位置づけを学修する。 リハビリテーションチームの構成を理解する。 対象疾患を知る：脳血管疾患による片麻痺の概要を学修する。
第2回	担当教員	武内 朗 理学療法（士）の定義 理学療法士への道、教育制度
	内容	理学療法の定義を学修する。 理学療法士を目指す方法を学修する。

		教育制度における諸外国との違いを学修する。 対象疾患を知る：神経筋疾患についての概要を学修する。
第3回	担当教員	武内 朗 理学療法士に求められる倫理 適性と資質
	内容	医療職として必要とされる倫理、職業倫理を学修する。 理学療法士に求められる適性と資質について学修し、医療人としての意識を向上させる。 対象疾患を知る：小児疾患の概要について学習する。
第4回	担当教員	武内 朗 障害の概念
	内容	障害に関わる国際分類を学修し、臨床的思考の基礎とする。 理学療法の基盤について学修する。 対象疾患を知る：整形外科疾患の概要について学習する。
第5回	担当教員	武内 朗 理学療法の対象 役割
	内容	理学療法の対象を学修し、実際の理学療法の概略を学修する。 理学療法の役割を学修する。 対象疾患を知る：脊髄損傷による四肢麻痺、対麻痺の概要を学修する。
第6回	担当教員	武内 朗 理学療法の方法
	内容	理学療法と作業療法の違いを理解する。 運動療法、物理療法等について概略を学修する。 チーム医療について学修する。 対象疾患を知る：循環器疾患・呼吸器疾患についての概要を学修する。
第7回	担当教員	武内 朗 理学療法士の組織、職域 関連法規
	内容	理学療法士の組織を理解する。 理学療法士の職域、関連法規を学修する。 対象疾患を知る：糖尿病についての概要を学修する。
第8回	担当教員	武内 朗 基本用語の説明 第7回目までの学修ポイント解説
	内容	理学療法の基本用語を学修し、今後の専門分野の理解力向上を図る。 第1回から第7回の授業のポイントを理解する。 対象疾患を知る：老年症候群の概要について学習する。

評価方法

前半3回分の内容について小テストを2回行い、残りの5回分を定期試験として実施する。小テスト点数配分30点（30%）、定期試験70点（70%）合計100点で評価する。

小テストは授業の進行具合によって適宜実施する。欠席の場合は原則0点とする。

教科書

テキスト
特に定めず、授業資料を配布。

参考書

参考文献
PTスタートガイド基礎理学療法概論 網本和 監修 メジカルビュー社 4, 320円（税込）
理学療法概論 第1版 庄本康治 編集 羊土社 3, 200円+税
理学療法学概論 第4版 千住秀明 監修 神陵文庫 4, 860円（税込）

オフィスアワー

火曜日3, 4限 水曜日4限 金曜日3, 4限 学生部長室

実務経験の有無

有

その他

授業中、適宜専門用語の説明を行うが、授業内容の理解のため、不明な点等あれば気軽に質問するようにしてもらいたい。
授業に関する諸注意は別途説明する。

講義コード	5200601
講義名	理学療法学研究法特論
(副題)	
講義開講時期	後期後半
講義区分	講義
基準単位数	1
時間	15.00
対象学年	3
必修/選択	選択

担当教員

氏名
加藤 宗規

総合学習目標

- ①理学療法分野における、シングルケーススタディ、および群間比較のデザインを用いた研究を立案、実施できる。
- ②卒業課題研究に向けて研究計画を作成する。
- ③理学療法分野における先行研究を読んで、その内容を理解する。

理学療法学科DP-2

個別学習目標

- ①研究デザインとして、シングルケース、群間比較研究を理解する。
- ②研究に必要な統計を理解、実施する。
- ③卒業課題研究を行うと仮定して、実際に実行が可能である研究を立案する。
- ④先行研究を読んでまとめる。

準備学修

研究計画や論文抄読の指示があった場合には自宅で作成する。

授業計画

第1回	担当教員	加藤 宗規 理学療法と研究法
	内容	①臨床において用いられる研究デザイン（シングルケーススタディ、群間比較のデザイン） ②先行研究の検索（英文、和文）AL:B含む
第2回	担当教員	加藤 宗規 シングルケーススタディ
	内容	①シングルケーススタディについて、その各種デザインを理解する。 ②先行研究を読もう（1）AL:B含む
第3回	担当教員	加藤 宗規 群間比較
	内容	①群間比較について、その各種デザインを理解する。 ②基本統計量：平均値・中央値、標準偏差・四分位範囲 AL:B含む
	担当教員	加藤 宗規

第4回	員	統計（1）
	内容	①統計の必要性といろいろな統計方法：パラメトリックとノンパラメトリック、差の検定 ②統計ソフトを使った統計 AL:B含む ③先行研究を読もう（2） AL:B含む
第5回	担当教員	加藤 宗規 統計（2）
	内容	①いろいろな統計方法：相関、回帰分析、割合 ②統計ソフトを使った統計：相関係数、t検定 AL:B含む
第6回	担当教員	加藤 宗規 論文の形式
	内容	①グラフの作り方 AL:B含む ②先行研究を読もう（3） AL:B含む
第7回	担当教員	加藤 宗規 卒業課題研究（仮）の立案
	内容	①表の作り方 AL:B含む ②卒業課題研究のテーマ探し AL:B含む
第8回	担当教員	加藤 宗規 卒業課題研究のテーマ探し
	内容	①基本的な学会発表抄録、投稿論文の形式を理解する。 ②卒業課題研究の立案（対象、方法、統計、結果）の立案 AL:B含む

評価方法

授業内で行う課題（40%）、筆記試験（60%）

教科書

テキスト 特に指定しない。資料を適宜配布

参考書

参考書籍

- ①標準理学療法学 専門分野「理学療法研究法 第3版」：内山靖・島田裕之編集，医学書院，定価5,170円，ISBN 978-4-260-01547-9
②最新理学療法学講座「理学療法研究法」：対馬栄輝編著，医歯薬出版株式会社，定価4,620円，ISBN 978-4-263-26735-6

オフィスアワー

水曜日1限目。その他メールにて随時受け付けるmu-kato@ryotokuji-u.ac.jp。

実務経験の有無

あり

その他

コロナ感染予防あるいは臨床実習の兼ね合いで、本講義は遠隔授業で行う場合がある。4年次の卒業課題研究の履修には本教科か理学療法カウンセリングの単位取得が先修条件となる。

担当教員実務経験の有無，有

講義コード	5200701
講義名	日常生活活動学
(副題)	
講義開講時期	後期前半
講義区分	講義
基準単位数	1
時間	15.00
対象学年	1
必修/選択	必修

担当教員

氏名
一色 員子

総合学習目標

疾患や障害、理学療法を提供する場所に関わらず、日常生活活動（activities of daily living; ADL）の評価は必須である。
ADLの概念と範囲、生活の質（quality of life; QOL）との関係、評価の目的や方法、ADLを支援する機器について理解する。

理学療法学科 DP1-①に該当する。

個別学習目標

- ①ADLの概念と範囲、国際生活機能分類について理解する。
- ②ADLとQOLの関係を理解し、代表的なQOLの評価を理解する。
- ③ADLの評価の位置づけ、目的、活用方法、評価法の概略を理解する。
- ④ADLを支援する自助具、日常生活用具、歩行補助具、車椅子の名称、機能、適応、チェックアウトを理解する。

準備学修

講義後は授業の内容を振り返り、略語や専門用語の意味をまとめておくこと（60分）。

授業計画

第1回	担当教員	一色 員子
	内容	ADLの概念と範囲、国際生活機能分類とADL
第2回	担当教員	一色 員子
	内容	基本的ADL、手段的ADL、ADLとQOL
第3回	担当教員	一色 員子
	内容	ADLの評価
第4回	担当教員	一色 員子
	内容	代表的なADLの評価指標
	担当教員	一色 員子
	内容	Barthel Indexと機能的自立度評価法（functional independence measure; FIM)について評価項目や特徴を理解する。
	担当教員	一色 員子
	内容	手段的ADL、基本動作、バランスの評価

第5回	内容	手段的ADL、基本動作、バランスの評価方法について評価項目や特徴、対象を理解する。
第6回	担当 教員	一色 員子 小テスト、ADLを支援する機器①歩行補助具
	内容	第1-5回の範囲の小テストを実施する。 ADLにおける歩行の重要性、歩行補助具の機能と応用、歩行の目的と歩行補助具の役割を理解する。
第7回	担当 教員	一色 員子 ADLを支援する機器②車椅子
	内容	車椅子の種類とそれぞれの機能、採寸とチェックアウト項目、介助方法を理解する。
第8回	担当 教員	一色 員子 ADLを支援する機器③日常生活用具・自助具 AL:B
	内容	自助具、日常生活用具が果たす役割、処方・作成上で基本的な留意事項、代表的な自助具・日常生活用具の具体的な使用（役割）を理解する。

評価方法

定期試験80点（80%）、小テスト20点（20%）、合計100点（100%）で評価する。

教科書

『Crosslink 理学療法学テキスト 日常生活活動学』編集：臼田滋、出版社：株式会社メジカルビュー社、定価：4,800円+税

参考書

適宜紹介する。

オフィスアワー

月曜日・3限、水曜日・2限、533教員研究室

実務経験の有無

有

その他

授業に関する諸注意は初回授業時に説明する。

講義コード	5200801
講義名	日常生活活動学実習
(副題)	
講義開講時期	前期
講義区分	実習
基準単位数	1
時間	45.00
対象学年	2
必修/選択	必修

担当教員

氏名
山田 洋一
武内 朗
兔澤 良輔
荒井 沙織

総合学習目標

- ① 疾患に伴う日常生活活動（ADL）の障害を理解し，身体機能に応じた適切なADL指導・介助などの支援ができる
- ② 疾患や外科的侵襲後のリスク管理を踏まえ，ADL支援ができる
- ③ 理学療法学科DP3-①およびDP4-②

個別学習目標

- ① 実習を通し，グループ内で問題点を共有できる
- ② グループディスカッションで指定課題の解決ができる
- ③ 障害の特性を踏まえたADL動作の再現ができる
- ④ 障害に合わせ，適切な援助と立ち位置に立つことができる
- ⑤ 障害とそれに関連する疾患を理解することができる
- ⑥ 授業ノートをまとめ，期限内に提出できる

授業計画

第1回	担当教員	山田 洋一 武内 朗 兔澤 良輔 荒井 沙織 オリエンテーション
	内容	① 授業ノート配布 ② オリエンテーション：授業の進め方，授業ノートの使い方，課題，グループ編成 ③ 評価（定期試験，実技評価，授業ノート）内容 ④ 評価用実技動画の提出方法と内容，提出期限，評価内容 ⑤ 前半実習（第1クール）の内容説明
	担当教	山田 洋一 武内 朗 兔澤 良輔

第2回	員	荒井 沙織 実習で経験する障害について講義と演習
	内容	① 講義：実習で経験する片側上下肢障害，両下肢障害，片側下肢障害について特性を解説する ② 演習：各障害により支障をきたす日常生活には何があるか考える ③ 講義：演習のフィードバック
第3回	担当教員	山田 洋一 武内 朗 兔澤 良輔 荒井 沙織 第2回と連続 グループディスカッション「身近に障害者がいた場合の対応」
	内容	① テーマ：同じ大学の親しい友人が，ある日事故で利き手をケガをしてしまい，3カ月ほど使えなくなってしまう。授業に出席しなければ，留年になってしまうため，通学を希望している。友人はあなたやクラスメートにサポートを希望している。 検討（60分）：（1）大学で困ることは何があるか （2）友人，クラスメートとして何ができるか 発表（30分）：4グループを選出発表。その後フィードバック
第4回	担当教員	山田 洋一 武内 朗 兔澤 良輔 荒井 沙織 ① 実習 ② 演習課題 ③ グループディスカッション
	内容	1G：車いすの取り扱いと操作と各種杖の調整と使用法（部分免荷・完全免荷歩行，階段昇降，段差越え）担当；兔澤 2G：片側上下肢障害による車いす使用者の排泄動作 担当；荒井 3G：片側上下肢障害者の浴槽出入り 担当；山田 4G：片側上下肢障害者の床上動作（立ちしゃがみ，移動）と杖歩行（平地，階段など） 担当；武内 5G～8G：課題（内容は第1回オリエンテーションで提示する）
第5回	担当教員	山田 洋一 武内 朗 兔澤 良輔 荒井 沙織 第4回と連続 ① 実習 ② 演習課題 ③ グループディスカッション
	内容	5G：車いすの取り扱いと操作と各種杖の調整と使用法（部分免荷・完全免荷歩行，階段昇降，段差越え）担当；兔澤 6G：片側上下肢障害による車いす使用者の排泄動作 担当；荒井 7G：片側上下肢障害者の浴槽出入り 担当；山田 8G：片側上下肢障害者の床上動作（立ちしゃがみ，移動）と杖歩行（平地，階段など） 担当；武内 1G～4G：課題（内容は第1回オリエンテーションで提示する）
	担当教員	山田 洋一 武内 朗 兔澤 良輔 荒井 沙織 ① 実習 ② 演習課題 ③ グループディスカッション

第6回	<p>内容</p> <p>2G：車いすの取り扱いと操作と各種杖の調整と使用法（部分免荷・完全免荷歩行、階段昇降、段差越え）担当;兔澤 3G：片側上下肢障害による車いす使用者の排泄動作 担当；荒井 4G：片側上下肢障害者の浴槽出入り 担当；山田 5G：片側上下肢障害者の床上動作（立ちしゃがみ、移動）と杖歩行（平地、階段など） 担当；武内 1G, 6G～8G：課題（内容は第1回オリエンテーションで提示する）</p>
第7回	<p>担当教員</p> <p>山田 洋一 武内 朗 兔澤 良輔 荒井 沙織 第6回と連続 ① 実習 ② 演習課題 ③ グループディスカッション</p>
	<p>内容</p> <p>6G：車いすの取り扱いと操作と各種杖の調整と使用法（部分免荷・完全免荷歩行、階段昇降、段差越え）担当;兔澤 7G：片側上下肢障害による車いす使用者の排泄動作 担当；荒井 8G：片側上下肢障害者の浴槽出入り 担当；山田 1G：片側上下肢障害者の床上動作（立ちしゃがみ、移動）と杖歩行（平地、階段など） 担当；武内 2G～5G：課題（内容は第1回オリエンテーションで提示する）</p>
第8回	<p>担当教員</p> <p>山田 洋一 武内 朗 兔澤 良輔 荒井 沙織 ① 実習 ② 演習課題 ③ グループディスカッション</p>
	<p>内容</p> <p>3G：車いすの取り扱いと操作と各種杖の調整と使用法（部分免荷・完全免荷歩行、階段昇降、段差越え）担当;兔澤 4G：片側上下肢障害による車いす使用者の排泄動作 担当；荒井 5G：片側上下肢障害者の浴槽出入り 担当；山田 6G：片側上下肢障害者の床上動作（立ちしゃがみ、移動）と杖歩行（平地、階段など） 担当；武内 1G, 2G, 7G, 8G：課題（内容は第1回オリエンテーションで提示する）</p>
第9回	<p>担当教員</p> <p>山田 洋一 武内 朗 兔澤 良輔 荒井 沙織 第8回と連続 ① 実習 ② 演習課題 ③ グループディスカッション</p>
	<p>内容</p> <p>7G：車いすの取り扱いと操作と各種杖の調整と使用法（部分免荷・完全免荷歩行、階段昇降、段差越え）担当;兔澤 8G：片側上下肢障害による車いす使用者の排泄動作 担当；荒井 1G：片側上下肢障害者の浴槽出入り 担当；山田 2G：片側上下肢障害者の床上動作（立ちしゃがみ、移動）と杖歩行（平地、階段など） 担当；武内 3G～6G：課題（内容は第1回オリエンテーションで提示する）</p>
	<p>担当</p> <p>山田 洋一 武内 朗 兔澤 良輔 荒井 沙織</p>

第10回	教員	① 実習 ② 演習課題 ③ グループディスカッション
	内容	4G：車いすの取り扱いと操作と各種杖の調整と使用法（部分免荷・完全免荷歩行、階段昇降、段差越え）担当;兔澤 5G：片側上下肢障害による車いす使用者の排泄動作 担当；荒井 6G：片側上下肢障害者の浴槽出入り 担当；山田 7G：片側上下肢障害者の床上動作（立ちしゃがみ、移動）と杖歩行（平地、階段など） 担当；武内 1G～3G, 8G：課題（内容は第1回オリエンテーションで提示する）
第11回	担当教員	山田 洋一 武内 朗 兔澤 良輔 荒井 沙織 第10回と連続 ① 実習 ② 演習課題 ③ グループディスカッション
	内容	8G：車いすの取り扱いと操作と各種杖の調整と使用法（部分免荷・完全免荷歩行、階段昇降、段差越え）担当;兔澤 1G：片側上下肢障害による車いす使用者の排泄動作 担当；荒井 2G：片側上下肢障害者の浴槽出入り 担当；山田 3G：片側上下肢障害者の床上動作（立ちしゃがみ、移動）と杖歩行（平地、階段など） 担当；武内 4G～7G：課題（内容は第1回オリエンテーションで提示する）
第12回	担当教員	山田 洋一 武内 朗 兔澤 良輔 荒井 沙織 ① 前半実習の振り返り、質疑応答 ② 前半実習ノート完成させ提出
	内容	① 前半実習の振り返り A：車いすの取り扱いと操作と各種杖の調整と使用法（部分免荷・完全免荷歩行、階段昇降、段差越え） B：片側上下肢障害による車いす使用者の排泄動作 C：片側上下肢障害者の浴槽出入り D：片側上下肢障害者の床上動作（立ちしゃがみ、移動）と杖歩行（平地、階段など） 各実習について質疑応答、ポイント説明 ② 授業ノート 前半授業のノートを完成させ提出
第13回	担当教員	山田 洋一 武内 朗 兔澤 良輔 荒井 沙織 第12回と連続 ① 障害と関連疾患について講義 ② 第2クールの内容説明
	内容	障害と関連疾患について講義 ① 脳血管障害：武内 ② 脊髄損傷：荒井 ③ 下肢骨折と変形性股関節症術後（人工関節置換術） ④ 高次脳機能障害 後半実習（第2クール）の内容説明

第14回	担当教員 山田 洋一 武内 朗 兎澤 良輔 荒井 沙織 ① 実習 ② 演習課題 ③ グループディスカッション
	内容 5G：両下半身障害者の床上動作（プッシュアップ，車いす移乗）担当；武内 6G：両下半身障害による車いす使用者の排泄動作 担当；山田 7G：片側下肢骨折者の床上動作（完全免荷下での立ちしゃがみ）と片側THA（後方侵入）術後の床上動作（立ちしゃがみ）担当；兎澤 8G：片側上下肢障害者の立位，車いす使用下での洗面行為と更衣 1G～4G：課題（内容は授業内に提示する）
第15回	担当教員 山田 洋一 武内 朗 兎澤 良輔 荒井 沙織 第14回と連続 ① 実習 ② 演習課題 ③ グループディスカッション
	内容 1G：両下半身障害者の床上動作（プッシュアップ，車いす移乗）担当；武内 2G：両下半身障害による車いす使用者の排泄動作 担当；山田 3G：片側下肢骨折者の床上動作（完全免荷下での立ちしゃがみ）と片側THA（後方侵入）術後の床上動作（立ちしゃがみ）担当；兎澤 4G：片側上下肢障害者の立位，車いす使用下での洗面行為と更衣 5G～8G：課題（内容は授業内に提示する）
第16回	担当教員 山田 洋一 武内 朗 兎澤 良輔 荒井 沙織 ① 実習 ② 演習課題 ③ グループディスカッション
	内容 6G：両下半身障害者の床上動作（プッシュアップ，車いす移乗）担当；武内 7G：両下半身障害による車いす使用者の排泄動作 担当；山田 8G：片側下肢骨折者の床上動作（完全免荷下での立ちしゃがみ）と片側THA（後方侵入）術後の床上動作（立ちしゃがみ）担当；兎澤 1G：片側上下肢障害者の立位，車いす使用下での洗面行為と更衣 2G～5G：課題（内容は授業内に提示する）
第17回	担当教員 山田 洋一 武内 朗 兎澤 良輔 荒井 沙織 第16回と連続 ① 実習 ② 演習課題 ③ グループディスカッション
	内容 2G：両下半身障害者の床上動作（プッシュアップ，車いす移乗）担当；武内 3G：両下半身障害による車いす使用者の排泄動作 担当；山田 4G：片側下肢骨折者の床上動作（完全免荷下での立ちしゃがみ）と片側THA（後方侵入）術後の床上動作（立ちしゃがみ）担当；兎澤 5G：片側上下肢障害者の立位，車いす使用下での洗面行為と更衣 1G，6G～8G：課題（内容は授業内に提示する）
	山田 洋一

第18回	担当教員	武内 朗 兔澤 良輔 荒井 沙織 ① 実習 ② 演習課題 ③ グループディスカッション
	内容	7G：両下半身障害者の床上動作（プッシュアップ，車いす移乗）担当；武内 8G：両下半身障害による車いす使用者の排泄動作 担当；山田 1G：片側下肢骨折者の床上動作（完全免荷下での立ちしゃがみ）と片側THA（後方侵入）術後の床上動作（立ちしゃがみ）担当；兔澤 2G：片側上下肢障害者の立位，車いす使用下での洗面行為と更衣 3G～6G：課題（内容は授業内に提示する）
第19回	担当教員	山田 洋一 武内 朗 兔澤 良輔 荒井 沙織 第18回と連続 ① 実習 ② 演習課題 ③ グループディスカッション
	内容	3G：両下半身障害者の床上動作（プッシュアップ，車いす移乗）担当；武内 4G：両下半身障害による車いす使用者の排泄動作 担当；山田 5G：片側下肢骨折者の床上動作（完全免荷下での立ちしゃがみ）と片側THA（後方侵入）術後の床上動作（立ちしゃがみ）担当；兔澤 6G：片側上下肢障害者の立位，車いす使用下での洗面行為と更衣 1G，2G，7G，8G：課題（内容は授業内に提示する）
第20回	担当教員	山田 洋一 武内 朗 兔澤 良輔 荒井 沙織 ① 実習 ② 演習課題 ③ グループディスカッション
	内容	8G：両下半身障害者の床上動作（プッシュアップ，車いす移乗）担当；武内 1G：両下半身障害による車いす使用者の排泄動作 担当；山田 2G：片側下肢骨折者の床上動作（完全免荷下での立ちしゃがみ）と片側THA（後方侵入）術後の床上動作（立ちしゃがみ）担当；兔澤 3G：片側上下肢障害者の立位，車いす使用下での洗面行為と更衣 4G～7G：課題（内容は授業内に提示する）
第21回	担当教員	山田 洋一 武内 朗 兔澤 良輔 荒井 沙織 第20回と連続 ① 実習 ② 演習課題 ③ グループディスカッション
	内容	4G：両下半身障害者の床上動作（プッシュアップ，車いす移乗）担当；武内 5G：両下半身障害による車いす使用者の排泄動作 担当；山田 6G：片側下肢骨折者の床上動作（完全免荷下での立ちしゃがみ）と片側THA（後方侵入）術後の床上動作（立ちしゃがみ）担当；兔澤 7G：片側上下肢障害者の立位，車いす使用下での洗面行為と更衣 1G～3G，8G：課題（内容は授業内に提示する）
	担	山田 洋一 武内 朗

第22回	当 教 員	兎澤 良輔 荒井 沙織 ① 後半実習の振り返り，質疑応答 ② 後半実習ノート完成させ提出 ③ 小テスト
	内 容	① 後半実習の振り返り E：両下半身障害者の床上動作（プッシュアップ，車いす移乗） F：両下半身障害による車いす使用者の排泄動作 G：片側下肢骨折者の床上動作（完全免荷下での立ちしゃがみ）と片側THA（後方侵入）術後の床上動作（立ちしゃがみ） H：片側上下肢障害者の立位，車いす使用下での洗面行為と更衣 ② 授業ノート 後半授業のノートを完成させ提出 ③ 小テスト 授業関連の国家試験過去問から小テストを行った後解説する
第23回	担 当 教 員	山田 洋一 武内 朗 兎澤 良輔 荒井 沙織 第22回と連続 ① 教員の臨床経験から事例紹介 ② 授業の振り返り，質疑応答 ③ 総括 ④ 定期テスト
	内 容	① 授業に関連した疾患，障害について教員の臨床経験から事例を紹介する ② 実習全般の振り返りと，質疑応答 ③ 授業総括 ④ 試験形式と試験範囲

評価方法

- 全授業の1/3（8回）以上の欠席は科目未履修となる
- 評価は以下の内容で行う
 - ① 定期試験：60%
 - ② 実技試験：30%（提出された2つの実技動画をループリック評価する）
 - ③ 授業ノート：10%（前後半提出各5%）
- この授業はグループ行動が多いため，個々の協調性，積極性，公平性，リーダーシップなど社会人として必要な資質が求められる。再三の注意にも関わらず改善が認められない場合には評価に影響することもある

教科書

Cross Link 日常生活活動学 臼田滋 メジカルビュー出版 5,280円（税込み）1年次「日常生活活動学」で使用していたもの

参考書

- ① 新版 日常生活活動（ADL）－評価と支援の実際－ 伊藤利之・他 医歯薬出版 6,800+税
- ② 介助にいかすバイオメカニクス 勝平純司・他 医学書院 3,900+税

オフィスアワー

火曜日1, 2限 515研究室

実務経験の有無

有り

その他

- ① 授業のグループ分け(1G～8G) は履修登録後行い第1回授業及びクラスルームで発表する
- ② 授業に関する掲示はクラスルームを使用するので確認を忘れないこと
- ③ スライドなど配布資料の無断複製，SNS公開などを禁ずる（著作権に抵触する）
- ④ 授業ノートをバインダーとともに第1回授業で配布するので，この授業の資料はすべてバインダーに綴じること

担当教員実務経験の有無，有

講義コード	5201001
講義名	機能能力診断学実習
(副題)	
講義開講時期	後期
講義区分	実習
基準単位数	1
時間	45.00
対象学年	2
必修/選択	必修

担当教員

氏名
荒巻 英文
平野 正広
荒井 沙織

総合学習目標

機能能力診断学実習では、理学療法評価学に引き続き理学療法における評価の意義と目的を理解し、一般的に実施される基本的な検査・測定の基本手技を、実習を中心として習得する。理学療法学科DP4-②に該当する。

個別学習目標

- ①徒手筋力検査の意義と目的を理解し、検査を実施することができる。
- ②整形外科的検査の意義と目的を理解し、検査を実施することができる。

授業計画

第1回	担当教員	荒巻 英文 徒手筋力検査1
	内容	総論
第2回	担当教員	荒巻 英文 平野 正広 荒井 沙織 徒手筋力検査2【荒巻：グループA、平野：B、荒井：C】
	内容	股関節1 AL：D
第3回	担当教員	荒巻 英文 平野 正広 荒井 沙織 徒手筋力検査3【荒巻：グループA、平野：B、荒井：C】
	内容	股関節2 AL：D
第4回	担当教員	荒巻 英文 平野 正広 荒井 沙織 徒手筋力検査4【荒巻：グループA、平野：B、荒井：C】
	内容	膝・足関節 AL：D
第5回	担当教員	荒巻 英文 平野 正広 荒井 沙織 徒手筋力検査5【荒巻：グループA、平野：B、荒井：C】
	内容	足部、足趾 AL：D

第6回	担当教員	荒巻 英文 平野 正広 荒井 沙織 徒手筋力検査6【荒巻：グループA、平野：B、荒井：C】
	内容	肩甲帯1 AL：D
第7回	担当教員	荒巻 英文 平野 正広 荒井 沙織 徒手筋力検査7【荒巻：グループA、平野：B、荒井：C】
	内容	肩甲帯2 AL：D
第8回	担当教員	荒巻 英文 平野 正広 荒井 沙織 徒手筋力検査8【荒巻：グループA、平野：B、荒井：C】
	内容	肩関節1 AL：D
第9回	担当教員	荒巻 英文 平野 正広 荒井 沙織 徒手筋力検査9【荒巻：グループA、平野：B、荒井：C】
	内容	肩関節2 AL：D
第10回	担当教員	荒巻 英文 平野 正広 荒井 沙織 徒手筋力検査10【荒巻：グループA、平野：B、荒井：C】
	内容	肘関節、前腕、手関節 AL：D
第11回	担当教員	荒巻 英文 平野 正広 荒井 沙織 徒手筋力検査11【荒巻：グループA、平野：B、荒井：C】
	内容	手指 AL：D
第12回	担当教員	荒巻 英文 平野 正広 荒井 沙織 徒手筋力検査12【荒巻：グループA、平野：B、荒井：C】
	内容	母指 AL：D
第13回	担当教員	荒巻 英文 平野 正広 荒井 沙織 徒手筋力検査13【荒巻：グループA、平野：B、荒井：C】
	内容	頸部 AL：D
第14回	担当教員	荒巻 英文 平野 正広 荒井 沙織 徒手筋力検査14【荒巻：グループA、平野：B、荒井：C】
	内容	体幹 AL：D
第15回	担当教員	平野 正広 荒巻 英文 整形外科的検査1【平野：グループA、荒巻：B】
	内容	実技・筆記試験概要 肩・肘関節疾患 AL：D
	担当教員	平野 正広 荒巻 英文

第16回		整形外科的検査2【平野：グループA、荒巻：B】
	内容	手・指関節疾患 AL：D
第17回	担当教員	平野 正広 荒巻 英文 整形外科的検査3【平野：グループA、荒巻：B】
	内容	股・膝関節疾患 AL：D
第18回	担当教員	平野 正広 荒巻 英文 整形外科的検査4【平野：グループA、荒巻：B】
	内容	膝・足関節疾患 AL：D
第19回	担当教員	荒井 沙織 荒巻 英文 整形外科的検査5【荒井：グループA、荒巻：B】
	内容	頸部疾患 AL：D
第20回	担当教員	荒井 沙織 荒巻 英文 整形外科的検査6【荒井：グループA、荒巻：B】
	内容	胸郭出口症候群および胸椎部疾患 AL：D
第21回	担当教員	荒井 沙織 荒巻 英文 整形外科的検査7【荒井：グループA、荒巻：B】
	内容	腰部疾患 AL：D
第22回	担当教員	荒井 沙織 荒巻 英文 整形外科的検査8【荒井：グループA、荒巻：B】
	内容	仙腸関節、その他の疾患 AL：D
第23回	担当教員	荒巻 英文 機能能力診断における要点
	内容	各検査法の要点、国家試験問題の紹介と解説

評価方法

定期試験80点（80%）、実技試験20点（20%）、合計100点（100%）で評価する。

教科書

- ①『新・徒手筋力検査法 原著第10版』 津山直一・中村耕三 訳 協同医書出版 8,580円
- ②『理学療法評価学 第6版補訂版』 松澤正 金原出版 6,820円

参考書

PT・OTのための測定評価DVD Series6『整形外科的検査』 伊藤俊一 監 三輪書店 4,180円

オフィスアワー

月・火・金曜昼休憩、水・木曜2限、518教員研究室

実務経験の有無

有

その他

- ①実習の授業においては、肌を裸出可能な服装（ジャージ、Tシャツ、短パンなど）を着用のこと。
- ②徒手筋力検査では、3グループに分かれ進行する。学籍番号1～30：グループA、31～60：B、61～：Cとする。
- ③整形外科的検査では、2グループに分かれ進行する。学籍番号1～50：グループA、51～：Bとする。担当教員は必要に応じてローテーションする。
- ④適宜プリント資料を配付するが、授業は主に教科書の範囲である。

⑤学修量が非常に多い科目である。集中して受講し、毎回の復習を欠かさないことが肝要である。

⑥授業に関する諸注意については別途説明する。

講義コード	5201101
講義名	神経診断学
(副題)	
講義開講時期	後期
講義区分	講義
基準単位数	1
時間	30.00
対象学年	3
必修/選択	必修

担当教員

氏名
栗原 照幸

総合学習目標

神経疾患の診断には、問診、神経学的診察、臨床検査があることを理解する。

DP1-1に該当する。

個別学習目標

神経解剖、神経系の機能を基礎に、部位診断を進める能力をつける。

準備学修

神経内科疾患の診断にあたっては、大脳、脳幹、小脳、脊髄、末梢神経、筋肉の各部位の疾患で、特徴的な症状があり、神経解剖と機能についての理解が重要なので、下記の教科書でまず19-23ページの5つの図と説明をよみ、神経系全体の把握をすることを手始めとしてください。

授業計画

第1回	担当 教員	栗原 照幸 問診の取り方
	内容	問診のとり方と記載法について学ぶ。
第2回	担当 教員	栗原 照幸 神経学的診察法
	内容	神経学的診察の進め方を学ぶ。診察の実際をDVDで見て、動画から学ぶ。
第3回	担当 教員	栗原 照幸 神経診察と神経解剖
	内容	神経系の診察について、神経解剖の知識と結びつける。
第4回	担当 教員	栗原 照幸 診察器具
	内容	神経学的診察に用いる道具とその使い方を学ぶ。
第5回	担当 教員	栗原 照幸 意識障害の診方
	内容	意識障害・昏睡の症例では、救急処置をしながら診察を進めることを学ぶ。
第6回	担当 教員	栗原 照幸 認知症の評価
	内容	記憶障害、認知症については、評価表があり、評価の仕方を学ぶ。認知症には、治療できる疾患と、治療困難な疾患があり、その鑑別診断を学ぶ。
第7回	担当 教員	栗原 照幸 診察の記録用紙
		神経学的診察を行う時に用いる記載用紙があると、とりのこしのない診察に有

	内容	用であることを学ぶ。記載用紙の例を提示して理解する。
第8回	担当 教員	栗原 照幸 診察の進め方
	内容	意識、脳神経、運動系、感覚系、反射、歩行・姿勢、協調運動について順を追って診察することを学ぶ。
第9回	担当 教員	栗原 照幸 てんかんと脳波
	内容	てんかんの分類と脳波の実際を関連付けて学ぶ。
第10回	担当 教員	栗原 照幸 脳波の読み方
	内容	脳波の読み方の実際を学ぶ。その記載方法を身に付ける。
第11回	担当 教員	栗原 照幸 筋電図検査
	内容	末梢神経障害や筋疾患では、血液検査のほか、筋電図検査が有用であることを学ぶ。筋電図、末梢神経伝導検査について学ぶ。
第12回	担当 教員	栗原 照幸 髄液検査
	内容	神経感染症では、髄液検査が重要で、検査所見の読み方を学ぶ。
第13回	担当 教員	栗原 照幸 神経疾患の画像検査
	内容	頭蓋単純レントゲン検査、頸椎や腰椎のレントゲン検査、CT, MRI 検査について学ぶ。
第14回	担当 教員	栗原 照幸 検査計画
	内容	神経学的な問診と診察に加え、臨床検査を行って総合的に診断する経過を学ぶ。病歴にまとめとしてどのように記載するとよいかを学ぶ。
第15回	担当 教員	栗原 照幸 まとめ、解説、試験
	内容	まとめ、重要項目の解説、試験

評価方法

定期試験 80点 (80%) およびレポート等 20点 (20%) の総合で評価します。

教科書

テキスト 栗原照幸著：神経内科プラクティカルガイド，医学書院，4，300円＋税

参考書

参考文献 水野美邦監修，栗原照幸・中野今治編集：標準神経病学 第2版，医学書院，7，000円＋税

オフィスアワー

授業のある水曜日の午前10時から午後3時には質問をうけることができます。
e-mailでの質問は、teruyuki-kurihara@ryotokuji-u.ac.jpにしてください、お答えします。

実務経験の有無

医学部の神経内科の講義は20年以上経験があり、理学療法科の神経内科講義は5年間あります。また神経内科外来での診療の経験は現在もあります。

その他

講義の内容を着実に理解できるように積極的な学習姿勢を望みます。

担当教員実務経験の有無，有

学生の質問は授業の前後に受け付ける。授業中にも質問の時間をとりながら授業を進める。学生との討論を授業中に入れて、学生の発表能力を高め、内容の理解を確認する。

講義コード	5201301
講義名	基礎運動療法学
(副題)	
講義開講時期	後期前半
講義区分	講義
基準単位数	1
時間	15.00
対象学年	1
必修/選択	必修

担当教員

氏名
石井 成美

総合学習目標

- 1) 運動療法は理学療法の中核的治療手技であり、解剖学、生理学、運動学に基づいた応用科学である。本講義においては、運動療法の歴史、概念を学修し、適切な運動療法の実施に必要な基礎理論を学修する。
- 2) 理学療法学科DP1-①

個別学習目標

- ① 運動療法の歴史、定義、概要について理解することができる。
- ② 運動療法に必要な基礎を理解し、説明できる。
- ③ 運動療法の定義、目的、種類、対象について説明できる。
- ④ 基本的な運動療法を理解し、説明できる。

準備学修

解剖学Iで学んだ内容を骨や筋の名称中心に復習しておくこと（60分）

授業計画

第1回	担当 教員	石井 成美 運動療法の概念
	内容	運動療法の歴史、定義、目的、種類について学習する。
第2回	担当 教員	石井 成美 運動療法の基礎
	内容	関節構造と運動、筋収縮について学習する。また小テストを実施する。
第3回	担当 教員	石井 成美 関節の機能の基礎
	内容	運動の種類、関節運動の種類・目的、制限因子、関節の遊び、凹凸の法則について学習する。
第4回	担当 教員	石井 成美 基本的な運動療法（関節可動域運動）
	内容	関節可動域運動、種類と適応・方法、ストレッチングについて学習する。また小テストを実施する。
第5回	担当 教員	石井 成美 基本的な運動療法（筋力増強運動）
	内容	筋力増強運動、骨格筋の萎縮と肥大、運動の強度・期間について学習する。

第6回	担当 教員	石井 成美 基本的な運動療法（筋持久力増強運動）
	内容	筋力増強運動の方法、筋持久力・全身持久力の評価と運動について学習する。 また、小テストを実施する。
第7回	担当 教員	石井 成美 基本的な運動療法（協調性運動）
	内容	協調性運動、筋弛緩運動について学習する。また、小テストを実施する。
第8回	担当 教員	石井 成美 基本的な運動療法（神経生理学的アプローチ）
	内容	神経生理学的アプローチ、痛みに対する運動療法について学習する。
第9回	担当 教員	
	内容	

評価方法

定期試験（90%）と適宜行う小テスト（10%）によって評価を行う。

教科書

テキスト

1) シンプル理学療法シリーズ 運動療法学テキスト 改訂第3版 細田多穂 監修 南江堂
5, 500円(税込)

参考書

参考文献

1) 標準理学療法学 運動療法学総論 第4版 吉尾雅春 編集 医学書院 5, 170円（税込）

オフィスアワー

月曜日：1限、4限
火曜日：2限
水曜日：4限
木曜日：2限、3限
金曜日：2限
土曜日：週休

実務経験の有無

有

その他

授業の進行状況に応じて小テストの内容、実施時間等に変更あり。

講義コード	5201401
講義名	基礎運動療法学実習
(副題)	
講義開講時期	後期後半
講義区分	実習
基準単位数	1
時間	45.00
対象学年	1
必修/選択	必修

担当教員

氏名
武内 朗
兔澤 良輔
一色 員子

総合学習目標

- ①後期前半で学修した基礎運動療法学の知識を基に、運動療法を実施するうえで基本となる各種治療技術を理解し、実施できるようになる。
- ②移乗動作が状況に合わせ実施することができる。

理学療法学科DP1-②、DP2-②、DP4-②に相当

個別学習目標

- ①関節構造を理解したうえで、体幹、四肢に対する関節可動域運動を実施できる。
- ②筋の走行を理解した上で、体幹および上下肢のストレッチングを実施できる。
- ③筋の走行を理解した上で、体幹および上下肢の等尺性収縮による筋力増強を実施できる。
- ④運動失調の障害像を理解したうえで、運動失調に対する運動療法を理解し、一部を実施できる。
- ⑤様々な状態の対象者に対するトランスファーができる。
- ⑥基本動作を理解し実施できる。
- ⑦臨床で用いられる各種治療体操を理解する。

準備学修

当科目では解剖学、運動学の知識が基本となるため、前期に実施される解剖学を理解しておくことが重要。また1年後期に実施される運動学Iに用いる教科書に目を通しておくことを推奨する。

授業計画

第1回	担当教員	武内 朗 授業ガイダンス 運動療法の基本概念
	内容	授業の進め方、注意事項、試験方法について説明する。 基本的運動療法の概略について学修する。 関節可動域制限、最終域感、関節運動学の概略を学修する。
第2回	担当教員	武内 朗 一色 員子 兔澤 良輔 関節可動域運動 1 頸部、肩甲帯、肩関節の関節可動域運動（以下ROMex.） 【武内：Aグループ（以下A）・一色：Bグループ（以下B）、兔澤：Cグループ（以下C）】

	内容	頸部、肩甲帯、肩関節の関節可動域運動（以下ROMex.）を教員によるデモンストレーション後、担当教員の指導の下、学生同士で実技練習を行う。
第3回	担当教員	武内 朗 一色 員子 兎澤 良輔 関節可動域運動2 肘関節、前腕、手関節、手指のROMex.【武内：B・一色：C一色・兎澤：A】
	内容	肘関節、前腕、手関節、手指のROMex.を教員によるデモンストレーション後、担当教員の指導の下、学生同士で実技練習を行う。
第4回	担当教員	武内 朗 一色 員子 兎澤 良輔 関節可動域運動3 胸腰部、股関節のROMex.【武内：C・一色：A・兎澤：B】
	内容	胸腰部、股関節のROMex.を教員によるデモンストレーション後、担当教員の指導の下、学生同士で実技練習を行う。
第5回	担当教員	武内 朗 一色 員子 兎澤 良輔 関節可動域運動4 膝関節、足関節、足部のROMex.【武内：A・一色：B・兎澤：C】
	内容	膝関節、足関節、足部のROMex.を教員によるデモンストレーション後、担当教員の指導の下、学生同士で実技練習を行う。 これまで学修した各部位のROMex.が理解できているか、テスト形式で確認する。
第6回	担当教員	一色 員子 武内 朗 兎澤 良輔 ストレッチングの概略 ストレッチング1 頸部、体幹【一色：C・武内：B・兎澤：A】
	内容	IDストレッチング実施にあたり、筋の起始・停止、骨標本を用い筋の走行について学修する。 頸部、体幹の主要筋に対するストレッチングを教員によるデモンストレーション後、担当教員の指導の下、学生同士で実技練習を行う。
第7回	担当教員	一色 員子 武内 朗 兎澤 良輔 ストレッチング2 上肢（肩・肘・手周囲）のストレッチング【一色：A・武内：C・兎澤：B】
	内容	上肢（肩・肘・手周囲）の主要筋に対するストレッチングを教員によるデモンストレーション後、担当教員の指導の下、学生同士で実技練習を行う。
第8回	担当教員	一色 員子 武内 朗 兎澤 良輔 ストレッチング3 下肢（股・膝周囲）のストレッチング【一色：B・武内：A・兎澤：C】
	内容	下肢（股・膝周囲）の主要筋に対するストレッチングを教員によるデモンストレーション後、担当教員の指導の下、学生同士で実技練習を行う。
第9回	担当教員	一色 員子 武内 朗 兎澤 良輔 ストレッチング4 下肢（膝・足周囲）のストレッチング【一色：C・武内：B・兎澤：A】
	内	下肢（膝・足周囲）の主要筋に対するストレッチングを教員によるデモンストレ

	容	ーション後、担当教員の指導の下、学生同士で実技練習を行う。
第10回	担当教員	兎澤 良輔 武内 朗 一色 員子 筋力増強運動1 頸部、体幹、上肢（肩周囲）の筋力増強【兎澤：B・武内：C・一色：A】
	内容	頸部、体幹、上肢（肩周囲）の主要筋に対する筋力増強を教員によるデモンストレーション後、担当教員の指導の下、学生同士で実技練習を行う。
第11回	担当教員	兎澤 良輔 武内 朗 一色 員子 筋力増強運動2 上肢（肘、手周囲）の筋力増強【兎澤：C・武内：A・一色：B】
	内容	上肢（肘、手周囲）の主要筋に対する筋力増強を教員によるデモンストレーション後、担当教員の指導の下、学生同士で実技練習を行う。
第12回	担当教員	兎澤 良輔 武内 朗 一色 員子 筋力増強運動3 下肢（股周囲）の筋力増強【兎澤：A・武内：B・一色：C】
	内容	下肢（股周囲）の主要筋に対する筋力増強運動を教員によるデモンストレーション後、担当教員の指導の下、学生同士で実技練習を行う。
第13回	担当教員	兎澤 良輔 武内 朗 一色 員子 筋力増強運動4 下肢（膝・足周囲）の筋力増強【兎澤：B・武内：C・一色：A】
	内容	下肢（膝・足周囲）の主要筋に対する筋力増強運動を教員によるデモンストレーション後、担当教員の指導の下、学生同士で実技練習を行う。
第14回	担当教員	武内 朗 一色 員子 兎澤 良輔 基本動作の概略 基本動作1 寝返り、臥位から立位までの姿勢変換【武内：A・一色：B・兎澤：C】
	内容	基本動作についての基礎知識を学修する。臨床で用いられている治療方法について学修する。 寝返り、臥位から立位に至る姿勢変換を教員によるデモンストレーション後、担当教員の指導の下、学生同士で実技練習を行う。
第15回	担当教員	武内 朗 一色 員子 兎澤 良輔 基本動作2 寝返り動作、起き上がり動作のハンドリング【武内：B・一色：C・兎澤：A】
	内容	寝返り、臥位からの起き上がり方法を教員によるデモンストレーション後、担当教員の指導の下、学生同士で実技練習を行う。 ハンドリングを対象者に実施できるよう学修する。
第16回	担当教員	武内 朗 一色 員子 兎澤 良輔 基本動作3 長座位から立位へのハンドリング【武内：C・一色：A・兎澤：B】
	内容	長座位（横座り）から立位までの姿勢変換を教員によるデモンストレーション後、担当教員の指導の下、学生同士で実技練習を行う。 ハンドリングを対象者に実施できるよう学修する。

第17回	担当教員	武内 朗 一色 員子 兔澤 良輔 基本動作4 片麻痺者の床上での立ちしゃがみ方法・指導【武内：A・一色：B・兔澤：C】
	内容	片麻痺者の床上での立ちしゃがみの姿勢変換を理解し、対象者に実施できるように教員によるデモンストレーション後、担当教員の指導の下、学生同士で実技練習を行う。 基本動作の姿勢変換について理解できているか、テスト形式で確認する。
第18回	担当教員	武内 朗 一色 員子 兔澤 良輔 トランスファーの理論的背景 トランスファー1 ベッド上での上下左右への移動【武内：B・一色：C・兔澤：A】
	内容	トランスファーの概要について学修する。 ベッド上での頭側方向への移動、ブリッジを利用した移動を教員によるデモンストレーション後、担当教員の指導の下、学生同士で実技練習を行う。
第19回	担当教員	武内 朗 一色 員子 兔澤 良輔 トランスファー2 下肢の支持性別によるトランスファー、片麻痺患者のトランスファー【武内：C・一色：A・兔澤：B】
	内容	車椅子⇄ベッドのトランスファーを基本動作を教員によるデモンストレーション後、担当教員の指導の下、学生同士で実技練習を行う。
第20回	担当教員	武内 朗 協調性運動障害に対する運動療法
	内容	運動失調について学修する。 協調性運動障害に対する運動療法の理論的背景を学修する。 協調性運動障害に対する運動療法を学修する。 リズムミックスタビリゼーションについて学修し、体験する。
第21回	担当教員	武内 朗 治療体操 運動療法のポイント解説【武内】
	内容	代表的な治療体操を学修し、一部体験する。 これまで学修した運動療法についてそれぞれのポイントについて学修する。
第22回	担当教員	武内 朗 一色 員子 兔澤 良輔 実技内容の理解度確認 前半
	内容	3人の教員で分担し、実技内容の理解度を確認する。 確認後、個別に学修すべきポイントについてフィードバックを行う。
第23回	担当教員	武内 朗 一色 員子 兔澤 良輔 実技内容の理解度確認 後半
	内容	前の授業に引き続き、3人の教員で分担し、実技内容の理解度を確認する。 確認後、個別に学修すべきポイントについてフィードバックを行う。

評価方法

定期試験筆記70点（70%）実技試験30点（30%）によって評価を行う。
成績判定は筆記、実技の合計が60%以上を合格とするが、筆記あるいは実技の得点が50%未満の時は、合計が60%以上であっても不合格とする。

教科書

特に定めず
授業資料を配布

参考書

参考文献
理学療法学ゴールドマスターテキスト2 運動療法学 柳澤健編 メジカルビュー社
5, 292円（税込）
標準理学療法学 総論 第4版 吉尾雅春 編集 医学書院 5, 076円（税込）
運動療法学 改定第2版 柳澤健 編集 金原出版 6, 696円（税込）

オフィスアワー

月曜日3, 4限 水曜日1, 2限 学生部長室

実務経験の有無

有

その他

- 1) クラスはA, B, C 3グループに分け、3人の教員が持ち回り、少人数、個別対応を増やすことで理解力の向上を図る。
- 2) 各運動療法の実技にあたっては、事前に運動学および基礎運動療法学を復習しておくこと。

講義コード	5201499
講義名	基礎運動療法学実習（2021年度以前入学生用）
(副題)	
講義開講時期	通年
講義区分	実習
基準単位数	1
時間	0.00
対象学年	
必修/選択	

担当教員

氏名
武内 朗
兔澤 良輔
一色 員子

講義コード	5201501
講義名	応用運動療法学
(副題)	
講義開講時期	後期前半
講義区分	講義
基準単位数	1
時間	15.00
対象学年	3
必修/選択	選択

担当教員

氏名
盆子原 秀三
中村 浩

総合学習目標

DP2
運動療法に関するエビデンスの重要性について認識すると共に、運動学習の段階を理解する。

個別学習目標

1. 運動療法におけるエビデンスの重要性を説明できる。
2. スポーツから高齢者における特徴的疾患に対する運動療法の特徴を説明できる。
3. 運動学習の段階について理解し、指導に対して工夫ができる。
4. 運動療法に関するエビデンスを検索、引用できる。

授業計画

第1回	担当教員	盆子原 秀三 運動療法におけるエビデンスの重要性
第2回	担当教員	盆子原 秀三 スポーツ障害における運動療法
第3回	担当教員	中村 浩 下肢の整形外科的評価について
第4回	担当教員	中村 浩 下肢の理学療法アプローチ
第5回	担当教員	盆子原 秀三 神経系障害における運動療法
第6回	担当教員	盆子原 秀三 ロコモティブシンドロームに関する介入戦略
第7回	担当教員	盆子原 秀三 高齢者の姿勢制御に関する介入戦略
第8回	担当教員	盆子原 秀三 運動学習の段階と指導の仕方

評価方法

定期試験80点 レポート課題10点 出欠カードの回答10点

教科書
資料を配布します
参考書
参考文献 リハビリテーション 評価と治療計画 S.B オサリバン 西村書店 20, 651円
実務経験の有無
有
その他
各疾患の基礎的知識を復習しておくこと 出欠カードに授業に関する問題を記載しています。回答することで出欠の確認をします。 評価実習の対策をおこなうので積極的に授業に参加されることを望みます。

講義コード	5201901
講義名	義肢装具学実習
(副題)	
講義開講時期	前期
講義区分	実習
基準単位数	1
時間	45.00
対象学年	3
必修/選択	必修

担当教員

氏名
澤 広太
清水 菜穂

総合学習目標

- ・義肢装具学についての基本的な知識・理解をもとに考察を交え、臨床実習および国家試験における総合的な力を身につける。
- ・疾患に関する知識・理解をし、「異常と正常」における基本事項が説明できる力を身につける。
- ・異常歩行および異常動作について学習し、実演できる力を身につける。

理学療法学科DP1-①

個別学習目標

- ①機能評価および治療に必要な知識と理解ができるようになる。
- ②義肢装具の種類と特徴を理解・口述することができ、処方・適合・チェックアウトの実演ができるようになる。
- ③義肢装具の修正過程（静的、動的）を理解し、基本的な修正および実演ができるようになる。

準備学修

「義肢装具学」、「バイオメカニクス理論」を復習しておくこと。
総論、各論のそれぞれにおいて学習（復習・予習）をして授業に臨むこと。

授業計画

第1回	担当教員	澤 広太 オリエンテーション
	内容	義肢装具を理解するための知識を確認する。
第2回	担当教員	澤 広太 義肢総論
	内容	義肢の基本的事項と仕組み、特徴について理解する。
第3回	担当教員	澤 広太 義肢装具を理解するための運動学
	内容	義肢装具のチェックアウト時に運動学的な視点での考察ができるようになるための基礎知識を理解する。
第4回	担当教員	澤 広太 切断総論
	内容	切断の概要・統計について理解する。 切断と離断について理解する。

第5回	担当 教員	澤 広太 切断術、術後管理、術後リスク管理
	内容	ソフトドレッシング法などの断端管理、断端長と義足、断端評価について理解する。
第6回	担当 教員	澤 広太 大腿切断・下腿切断①
	内容	【大腿切断】 切断部位と変形・拘縮、義足に関する基礎知識について理解する。 ソケットの種類と特徴、膝継手の種類と特徴について理解する。 義足の種類と特徴、切断者の能力と義足の適応、大腿義足のコントロールについて理解する。 【下腿切断】 切断部位と変形・拘縮、義足に関する基礎知識について理解する。 ソケットの種類と特徴、足継手の種類と特徴について理解する。 義足の種類と特徴、切断者の能力と義足の適応、下腿義足のコントロールについて理解する。
第7回	担当 教員	澤 広太 大腿切断・下腿切断②
	内容	【大腿切断】 切断部位と変形・拘縮、義足に関する基礎知識について理解する。 ソケットの種類と特徴、膝継手の種類と特徴について理解する。 義足の種類と特徴、切断者の能力と義足の適応、大腿義足のコントロールについて理解する。 【下腿切断】 切断部位と変形・拘縮、義足に関する基礎知識について理解する。 ソケットの種類と特徴、足継手の種類と特徴について理解する。 義足の種類と特徴、切断者の能力と義足の適応、下腿義足のコントロールについて理解する。
第8回	担当 教員	澤 広太 清水 菜穂 義足体験①
	内容	大腿義足経験を通して、大腿義足の評価・フィッティング・理学療法を学び、考案していく。 【課題】 大腿義足の経験レポートの作成をする。（レポート課題：20%）
第9回	担当 教員	澤 広太 清水 菜穂 義足体験②
	内容	大腿義足経験を通して、大腿義足の評価・フィッティング・理学療法を学び、考案していく。 【課題】 大腿義足の経験レポートの作成をする。（レポート課題：20%）
第10回	担当 教員	澤 広太 清水 菜穂 義足体験③
	内容	大腿義足経験を通して、大腿義足の評価・フィッティング・理学療法を学び、考案していく。 【課題】

		大腿義足の経験レポートの作成をする。(レポート課題：20%)
第11回	担当 教員	澤 広太 義足歩行①
	内容	正常動作と異常動作分析に必要な知識の確認をする。 理解と分析方法の具体的な実演を行い、理解する。
第12回	担当 教員	澤 広太 義足歩行②
	内容	理学療法評価の理解と分析方法について実習を行う。 評価－修正－分析の手順を踏み、動作分析の質を高める。
第13回	担当 教員	澤 広太 義足歩行③
	内容	理学療法評価－修正－分析の手順から、治療ポイントを理解する。 疾患固有の評価、治療の立案を行い、歩行学習理論を学ぶ。
第14回	担当 教員	澤 広太 義足の適合判定と修正手続き
	内容	大腿義足・股義足・膝義足におけるベンチアライメント、スタティックアライメント、ダイナミックアライメントについて理解する。 修正や調整の方法を理解し実演する。
第15回	担当 教員	澤 広太 足部切断と離断 サイム義足、足部の義足
	内容	基本的な足部における義足（スタティックアライメント、ダイナミックアライメント）について理解する。 切断部位と変形・拘縮、サイム切断の特徴について理解する。
第16回	担当 教員	澤 広太 清水 菜穂 装具療法①AFO、KAFO
	内容	【基礎】 理学療法評価・治療立案を行う。 ・ Ankle Foot Arthosis (AFO) ・ Knee Ankle Foot Arthosis (KAFO) ①基本的な名称、備品調整、バイオメカニクス理論、運動学概論を行う。
第17回	担当 教員	澤 広太 清水 菜穂 装具療法②KAFO
	内容	【応用】 理学療法評価・治療立案を行う。 ・ Knee Ankle Foot Arthosis (KAFO) ②装具療法について、知識を理解し、実演する。 装具の調整およびフィッティングのチェックを学ぶ。
第18回	担当 教員	澤 広太 清水 菜穂 装具療法③KAFO
	内容	装具療法を理解し、さらにフィッティング調整～実演までの手順を学ぶ。 歩行動作分析を行い、知識面での理解が出来るようになる。
第19回	担当 教員	澤 広太 ADLとQOL (満足度)
	内容	義足使用者および装具装着者におけるADLとQOLの理学療法評価が実施できる ようになる。

第20回	担当 教員	澤 広太 義手・上肢装具①
	内容	肩義手、上腕義手、前腕義手の特徴と構成部品について理解する。 義手のチェックアウトを理解する。 上肢装具の基本的なアライメント・フィッティング調整を理解し、実演する。
第21回	担当 教員	澤 広太 義手・上肢装具②
	内容	ADL・満足度を考慮し、義手・上肢装具の調整等を行い理解する。
第22回	担当 教員	澤 広太 義足・装具の症例①
	内容	総合的な義足・装具を理解し、症例の動作分析を行う。 定期試験を想定した調整方法や練習も行う。
第23回	担当 教員	澤 広太 義肢装具学における要点（授業のまとめ）
	内容	総合的な義足・装具を理解する。 定期試験を想定した知識の確認と国家試験対策を行う。

評価方法

定期試験80点（70%）、課題レポート20点（20%）、小テスト10点（10%）の合計100点（100%）により評価する。

教科書

高田治実：監修，『PT・OTビジュアルテキスト 義肢・装具学』，羊土社，6，800円＋税

参考書

細田多穂：監修，『シンプル理学療法学シリーズ 義肢装具学テキスト 改訂第3版』，南江堂，5，200円＋税

日本整形外科学会，公益社団法人日本リハビリテーション医学会：監修，『義肢装具のチェックポイント 第9版』，7,800円＋税

オフィスアワー

質問等は随時受け付けます。

研究室来訪は公開しているオフィスアワーを参考にしてください。

実務経験の有無

経験あり

その他

- ・必要に応じ、資料を配付する。
- ・義肢装具学・バイオメカニクス理論の予習・復習を欠かさないこと。（60分程度）
- ・担当教員実務経験の有無：有
- ・オフィスアワー：月～金・2または3限・助教室

講義コード	5202301
講義名	神経系障害理学療法学
(副題)	
講義開講時期	後期前半
講義区分	講義
基準単位数	1
時間	15.00
対象学年	2
必修/選択	必修

担当教員

氏名
荒井 沙織

総合学習目標

①中枢神経の解剖と機能を理解し、脳血管障害、運動失調などの神経疾患の病態を学ぶ。脳血管障害を中心とした種々の機能評価（神経系評価、理学療法評価、高次脳機能障害評価、嚥下障害評価）の意義や方法を学ぶ。また、脳血管障害の理学療法の実践を体験し、病態の理解と理学療法評価を立案できるようになることを目標とする。

②理学療法学科DP1-①に該当する。

個別学習目標

- 1) 中枢神経とその機能解剖を理解することができる。
- 2) 脳血管障害とその他神経疾患の病態・神経診断を理解することができる。
- 3) 脳血管障害とその他神経疾患の機能評価や理学療法を理解し実践できる。
- 4) 脳血管障害の合併症、高次脳機能障害、嚥下障害を理解することができる。
- 5) 脳血管障害症例に対し、理学療法評価を立案することができる。

準備学修

授業最後に次回の予習について説明する。中枢神経疾患の病態・症状・評価に関して、教科書を使用し事前に予習しておくこと。（60分）

授業計画

第1回	担当教員	荒井 沙織 中枢神経とその障害の概略
	内容	1章：神経系の機能と構造（機能解剖） 2章：中枢神経障害とは（概要）
第2回	担当教員	荒井 沙織 脳血管障害の診断と急性期治療
	内容	3章：脳血管障害の診断（画像の見方など）、急性期治療
第3回	担当教員	荒井 沙織 脳血管障害の評価
	内容	4章：評価項目とその方法
第4回	担当教員	荒井 沙織 高次脳機能障害と理学療法
	内容	5章：高次脳機能障害とは（概要から症状、理学療法士の関わり方）

		6章：評価と理学療法（評価方法から実際の介入まで）
第5回	担当教員	荒井 沙織 脳血管障害の理学療法の実際とADL①
	内容	7章：脳血管障害の合併症、嚥下障害
第6回	担当教員	荒井 沙織 脳血管障害の理学療法の実際とADL②
	内容	8章：理学療法の実際とADL（回復期） 9章：理学療法の実際とADL（維持期）
第7回	担当教員	荒井 沙織 パーキンソン病と理学療法
	内容	10章：パーキンソン病とは（概要から治療まで） 11章：パーキンソン病の理学療法の実際
第8回	担当教員	荒井 沙織 運動失調と理学療法
	内容	12章：運動失調とは（概要から治療まで） 13章：小脳性運動失調の理学療法の実際

評価方法

授業課題30%、筆記試験80%の合計100%で評価する。

※授業課題の内容は初回講義で説明する。

※課題は提出期限を設け、提出期限が過ぎた場合はその課題は一切受け付けない（やむを得ない理由は除く）。

※再試験は筆記試験100%で評価する。

教科書

テキスト

①PT・OTビジュアルテキスト 神経障害理学療法学 第1版 潮見 泰藏 羊土社 5,000円+税

参考書

参考文献

①病気がみえる7脳・神経 医療情報科学研究所編 メディックメディア 3,800円+税

②PT・OTのための高次脳機能障害ABC 網本和編 文光堂 5,500円+税

③ここがポイント！脳卒中の理学療法 河村廣幸編 金原出版株式会社 5,000円+税

※その他、適宜紹介する

オフィスアワー

授業前後に随時質問を受け付ける。また、メールでの質問も受け付ける。

s-arai@ryotokuji-u.ac.jp

実務経験の有無

有

その他

- ・学修範囲が広いため、毎時間の予習・復習を行うこと。
- ・授業課題の内容は初回講義で説明する。

講義コード	5202401
講義名	神経系障害理学療法学実習
(副題)	
講義開講時期	後期後半
講義区分	実習
基準単位数	1
時間	45.00
対象学年	2
必修/選択	必修
担当教員	

氏名

武内 朗

中村 浩

荒井 沙織

総合学習目標

①脳卒中片麻痺をはじめパーキンソン病(症候群含む)を中心に、多系統萎縮症、筋萎縮性側索硬化症、多発性硬化症、ギランバレー症候群等について評価から治療の流れを学ぶ。脳卒中片麻痺では各評価の意義とデータの捉え方、評価と治療の関連、治療手技への展開を学ぶ。また片麻痺の急性期、回復期、維持期での理学療法に関わりを学び、特に回復期の治療について、基本的な治療手技を理解し、目的に応じた治療手技を紹介し、実技練習を通して実践できるようになることを目標とする。

②理学療法学科DP1-①②、DP2-②、DP4-②に相当

個別学習目標

- 1) 各種神経系疾患の病態像を理解する。
- 2) 脳卒中片麻痺とパーキンソン病の特徴を理解し、障害像をイメージできるようになる。
- 3) 脳卒中片麻痺とパーキンソン病に対する基本的な治療手技を実施できる。
- 4) 治療とADL改善との関わりを理解し、ADL面での対応方法を理解する。

授業計画

第1回	担当教員	武内 朗 授業ガイダンス、脳卒中の障害像 1
	内容	授業の進行、試験方法について説明する。 片麻痺者の動画を視聴し、障害像のイメージを形成する。 脳卒中の疫学、陽性徴候と陰性徴候、痙縮について学修する。
第2回	担当教員	武内 朗 脳卒中の障害像 2
	内容	共同運動、連合反応、連合反応の影響について学修する。 片麻痺者の示す共同運動や連合反応の一部について模倣することにより理解を深める
第3回	担当教員	武内 朗 脳卒中の障害像 3
	内	脳卒中片麻痺にみられる諸症状について学修する。

	容	クローヌスなどイメージしにくい現象について動画を視聴し理解を深める。
第4回	担当 教員	武内 朗 脳卒中の障害像4
	内容	押す人症候群、肩の痛みについて学修する。
第5回	担当 教員	武内 朗 脳卒中片麻痺の評価の目的、流れ、リスク管理
	内容	片麻痺の評価の流れを学修する。 質的評価と量的評価について学修する。 理学療法の中止基準等、リスク管理を学修する。
第6回	担当 教員	武内 朗 急性期から維持期における理学療法
	内容	急性期、回復期、維持期における理学療法の目的を理解し、各段階でのかかわりを学修する。
第7回	担当 教員	中村 浩 各神経系疾患の症候を理解する。
	内容	上位運動ニューロン障害と下位運動ニューロン障害の違いを理解する。 各神経系疾患の特徴を理解する。
第8回	担当 教員	中村 浩 荒井 沙織 Brunnstrom Recovery Stage:BRS①
	内容	Brunnstrom Recovery Stageの基本的概念を理解する。 上肢検査を教員指導の下、学生同士で実技を行い、対象者に実施できるようにする。
第9回	担当 教員	中村 浩 荒井 沙織 Brunnstrom Recovery Stage:BRS②
	内容	下肢検査を教員指導の下、学生同士で実技を行い、対象者に実施できるようにする。
第10回	担当 教員	中村 浩 荒井 沙織 Brunnstrom Recovery Stage:BRS③
	内容	手指検査を教員指導の下、学生同士で実技を行い、対象者に実施できるようにする。
第11回	担当 教員	武内 朗 荒井 沙織 脳卒中片麻痺患者の背臥位での特徴と対策 【武内：Aグループ（以下A）・荒井Bグループ（以下B）】
	内	脳卒中の背臥位での特徴を学修し、実際に模倣することで、普段行っている動作への影響について考える。

	容	健康時の状態に近づけるための方法を教員指導の下、学生同士で実技を行い、対象者に実施できるようにする。
第12回	担当教員	武内 朗 荒井 沙織 背臥位での治療手技 体幹と上肢 【武内：B・荒井：A】
	内容	主に腹側筋群の強化および体幹の協調された活動の運動を教員指導の下、学生同士で実技を行い、対象者に実施できるようにする。 上肢の屈筋痙性に対する治療方法を教員指導の下、学生同士で実技を行い、対象者に実施できるようにする。
第13回	担当教員	武内 朗 荒井 沙織 背臥位での治療手技 下肢 寝返り・起き上がり動作 【武内：A・荒井：B】
	内容	下肢の選択的活動を目的とした治療手技、寝返りや起き上がりの治療手技を教員指導の下、学生同士で実技を行い、対象者に実施できるようにする。
第14回	担当教員	武内 朗 荒井 沙織 端坐位での治療手技 起き上がり動作 端坐位評価、体幹 【武内：B・荒井：A】
	内容	端坐位での正しい姿勢の働きかけやバランス運動などを教員指導の下、学生同士で実技を行い、対象者に実施できるようにする。
第15回	担当教員	武内 朗 荒井 沙織 端坐位での治療手技 上肢、下肢 【武内：A・荒井：B】
	内容	端坐位での上肢、下肢に対する治療手技を教員指導の下、学生同士で実技を行い、対象者に実施できるようにする。
第16回	担当教員	武内 朗 荒井 沙織 立ち上がり動作と立位での治療手技 正常動作 立位バランス運動 【武内：B・荒井：A】
	内容	歩行につながる立ち上がり動作、左右の対称性を保った立位に対する治療手技を教員指導の下、学生同士で実技を行い、対象者に実施できるようにする。
第17回	担当教員	武内 朗 荒井 沙織 立位での治療手技 体幹、上肢、ボールを利用した治療手技 【武内：A・荒井：B】
	内容	立位での体幹、上肢、バランス改善のための治療手技を教員指導の下、学生同士で実技を行い、対象者に実施できるようにする。
第18回	担当教員	武内 朗 荒井 沙織 歩行練習 【武内：B・荒井：A】
	内容	片麻痺の特徴的な歩行に対し、立脚期、遊脚期での治療手技を教員指導の下、学生同士で実技を行い、対象者に実施できるようにする。
第19回	担当教員	武内 朗 片麻痺治療運動のポイント解説
	内容	これまで学修した内容で治療のポイントとなる点を説明し、学生からの質問に答える形で理解度を深めていく。

第20回	担当教員	中村 浩 荒井 沙織 パーキンソン病障害像と運動療法
	内容	パーキンソン病の臨床症状の特徴を学修し、理学療法の視点からの介入方法を学修する。 寝返りの特徴をつかみ運動治療を教員指導の下、学生同士で実技を行い、対象者に実施できるようにする。
第21回	担当教員	中村 浩 荒井 沙織 パーキンソン病に対する理学療法
	内容	パーキンソン病に対する運動療法として、起き上がり動作、立ち上がり動作、歩行について教員指導の下、学生同士で実技を行い、対象者に実施できるようにする。
第22回	担当教員	中村 浩 多系統萎縮症、筋萎縮性側索硬化症、多発性硬化症、ギランバレー症候群の疾患特徴、障害像
	内容	多系統萎縮症、筋萎縮性側索硬化症、多発性硬化症、ギランバレー症候群の臨床症状の特徴を学修する。
第23回	担当教員	中村 浩 多系統萎縮症、筋萎縮性側索硬化症、多発性硬化症、ギランバレー症候群に対する理学療法
	内容	多系統萎縮症、筋萎縮性側索硬化症、多発性硬化症、ギランバレー症候群に対する具体的な治療方法、禁忌事項などを学修する。

評価方法

評価方法は武内配点60点（60%）、中村配点40点（40%）で、合計100点とする。
武内配点60点のうち20点は小テスト、定期試験40点で判定する。小テストは授業中に2回実施する。
中村配点40点のうち30%は授業内課題で判定する。

教科書

テキスト
特に定めず、授業資料を配布する。

参考書

- 参考文献
1. ビジュアル実践リハ脳・神経系リハビリテーション 潮見泰蔵編 羊土社 5, 700円（税別）
 2. ステップス・トゥ・フォロー改定第2版 パトリシア・M.デーヴィス 富田昌夫 監訳 シュプリンガー・ジャパン 4, 800円（税別）
 3. クロスリンク 理学療法学テキスト 神経系障害理学療法学I 鈴木俊明編 メジカルビュー社 4, 320円（税込）

オフィスアワー

武内 月曜日3, 4限 水曜日1, 2限 学生部長室

実務経験の有無

有

その他

- 1) 第11回～18回の実技ではクラスを2グループに分け、2人の教員が持ち回り、少人数、個別

対応を増やすことで、各人の理解力の向上を図る。

Aグループ：学籍番号18000台、19000台、20000台下2桁1～40、Bグループ：20000台下2桁41～末尾

2) 各疾患についての病態像を事前に予習しておくことが望ましい。

3) 実技の場合、原則として指定の白衣を着用すること。またアクセサリー等の着用は一切禁じる。

4) オフィスアワー：月曜日4限 514研究室

5) 担当教員実務経験の有無：有

講義コード	5202501
講義名	神経系障害理学療法学演習
(副題)	
講義開講時期	前期
講義区分	演習
基準単位数	1
時間	30.00
対象学年	3
必修/選択	必修

担当教員

氏名
加藤 宗規

総合学習目標

中枢神経系の解剖と機能、疾患の病態を理解したうえで、脳卒中をはじめとした中枢神経障害、パーキンソン病をはじめとした神経筋疾患、末梢神経損傷の病態、評価と介入について演習により理解する。

理学療法学科DP1-①

個別学習目標

- ①中枢神経系の解剖と機能を説明できる。
- ②脳血管障害の分類、その原因と症状を説明できる。
- ③脳血管障害患者の標準的評価を説明できるとともに学生同士で実施できる。
- ④脳血管障害患者の評価結果について、事例を通して説明できる。
- ⑤脳血管障害患者の標準的介入を説明できるとともに学生同士で実施できる。
- ⑥その他の神経・筋疾患について基本的な病態と症状を説明できる。
- ⑦脳血管障害、神経・筋疾患について、国家試験の過去問題を解くことができる。

準備学修

授業前・後の課題を指定する場合がある。

授業計画

第1回	担当教員	加藤 宗規 ①第1章 総論 1 神経障害と理学療法
	内容	(AL:B含む) 1 神経系の機能と構造 2 神経障害の定義 3 神経障害に対する理学療法介入 4 神経障害に対する理学療法の考え方 5 神経障害に共通する理学療法アプローチの進め方
第2回	担当教員	加藤 宗規 第2章 中枢神経障害と理学療法
		(AL:B含む)

	内容	1 脳卒中 急性期 <症状・障害の理解> ①疾患の概要、②疫学、③病態生理、④症状、⑤治療 <理学療法の理論と実際> ①一般的な理学療法介入の考え方（方針）、②症例紹介、③理学療法の実践、④リスク
第3回	担当 教員	加藤 宗規 第2章 中枢神経障害と理学療法 2 脳卒中 回復期①
	内容	(AL:B含む) 2 脳卒中 回復期 <症状・障害の理解> ①疾患の概要、②疫学、③病態生理、④症状
第4回	担当 教員	加藤 宗規 第2章 中枢神経障害と理学療法 2 脳卒中 回復期②
	内容	(AL:B含む) <症状・障害の理解> ⑤治療 <理学療法の理論と実際> ①一般的な理学療法介入の考え方（方針）、②症例紹介、③理学療法の実践、④リスク
第5回	担当 教員	加藤 宗規 第2章 中枢神経障害と理学療法 3 脳卒中 維持期
	内容	(AL:B含む) 3 脳卒中 維持期 <症状・障害の理解> ①疾患の概要、②疫学、③病態生理、④症状、⑤治療 <理学療法の理論と実際> ①一般的な理学療法介入の考え方（方針）、②症例紹介、③理学療法の実践、④リスク
第6回	担当 教員	加藤 宗規 第2章 中枢神経障害と理学療法 1-3 脳卒中
	内容	(AL:B含む) 脳卒中 1 急性期、2 回復期、3 維持期のまとめ
第7回	担当 教員	加藤 宗規 第2章 中枢神経障害と理学療法 4 頭部外傷 5 脳腫瘍
	内容	(AL:B含む) 4 頭部外傷 <症状・障害の理解> ①疾患の概要、②疫学、③病態生理、④症状、⑤治療 <理学療法の理論と実際> ①一般的な理学療法介入の考え方（方針）、②症例紹介、③理学療法の実践、④リスク 5 脳腫瘍 <症状・障害の理解> ①疾患の概要、②疫学、③病態生理、④症状、⑤治療 <理学療法の理論と実際> ①一般的な理学療法介入の考え方（方針）、②症例紹介、③理学療法の実践、④リスク
第8回	担当 教員	加藤 宗規 第3章 神経筋疾患と理学療法 1 パーキンソン病
	内容	(AL:B含む) 1 パーキンソン病 <症状・障害の理解> ①疾患の概要、②疫学、③病態生理、④症状、⑤治療 <理学療法の理論と実際> ①一般的な理学療法介入の考え方（方針）、②症例紹介、③理学療法の実践、④リスク
	担当	加藤 宗規 第3章 神経筋疾患と理学療法

第9回	教員	2 脊髄小脳変性症
	内容	(AL:B含む) 2 脊髄小脳変性症 <症状・障害の理解> ①疾患の概要、②疫学、③病態生理、④症状、⑤治療 <理学療法の理論と実際> ①一般的な理学療法介入の考え方(方針)、②症例紹介、③理学療法の実践、④リスク
第10回	担当教員	加藤 宗規 第3章 神経筋疾患と理学療法 3 筋萎縮性側索硬化症 4 多発性硬化症
	内容	(AL:B含む) 3 筋萎縮性側索硬化症 <症状・障害の理解> ①疾患の概要、②疫学、③病態生理、④症状、⑤治療 <理学療法の理論と実際> ①一般的な理学療法介入の考え方(方針)、②症例紹介、③理学療法の実践、④リスク 4 多発性硬化症 <症状・障害の理解> ①疾患の概要、②疫学、③病態生理、④症状、⑤治療 <理学療法の理論と実際> ①一般的な理学療法介入の考え方(方針)、②症例紹介、③理学療法の実践、④リスク
第11回	担当教員	加藤 宗規 第3章 神経筋疾患と理学療法 5 進行性筋ジストロフィー 6 多発性筋炎・皮膚筋炎
	内容	(AL:B含む) 5 進行性筋ジストロフィー <症状・障害の理解> ①疾患の概要、②疫学、③病態生理、④症状、⑤治療 <理学療法の理論と実際> ①一般的な理学療法介入の考え方(方針)、②症例紹介、③理学療法の実践、④リスク 6 多発性筋炎・皮膚筋炎 <症状・障害の理解> ①疾患の概要、②疫学、③病態生理、④症状、⑤治療 <理学療法の理論と実際> ①一般的な理学療法介入の考え方(方針)、②症例紹介、③理学療法の実践、④リスク
第12回	担当教員	加藤 宗規 第4章 末梢神経障害と理学療法 1 絞扼性末梢神経障害(胸郭出口症候群)
	内容	(AL:B含む) 1 絞扼性末梢神経障害(胸郭出口症候群) <症状・障害の理解> ①疾患の概要、②疫学、③病態生理、④症状、⑤治療 <理学療法の理論と実際> ①一般的な理学療法介入の考え方(方針)、②症例紹介、③理学療法の実践、④リスク
第13回	担当教員	加藤 宗規 第4章 末梢神経障害と理学療法 2 ギラン・バレー症候群 第5章 その他の神経疾患と理学療法 1 脊髄疾患
	内容	(AL:B含む) 2 ギラン・バレー症候群 <症状・障害の理解> ①疾患の概要、②疫学、③病態生理、④症状、⑤治療 <理学療法の理論と実際> ①一般的な理学療法介入の考え方(方針)、②症例紹介、③理学療法の実践、④リスク 1 脊髄疾患 <症状・障害の理解> ①疾患の概要、②疫学、③病態生理、④症状
	担当	加藤 宗規

第14回	教員	第5章 その他の神経疾患と理学療法 1 脊髄疾患
	内容	(AL:B含む) 1 脊髄疾患 <症状・障害の理解> ④症状、⑤治療 <理学療法の理論と実際> ①一般的な理学療法介入の考え方(方針)、②症例紹介、③理学療法の実践、④リスク
第15回	担当教員	加藤 宗規 第5章 その他の神経疾患と理学療法 2 脳血管障害患者の精神症状 3 認知症
	内容	(AL:B含む) 2 脳血管障害患者の精神症状 <症状・障害の理解> ①疾患の概要、②疫学、③病態生理、④症状、⑤治療 <理学療法の理論と実際> ①一般的な理学療法介入の考え方(方針)、②症例紹介、③理学療法の実践、④リスク 3 認知症 <症状・障害の理解> ①疾患の概要、②疫学、③病態生理、④症状、⑤治療 <理学療法の理論と実際> ①一般的な理学療法介入の考え方(方針)、②症例紹介、③理学療法の実践、④リスク

評価方法

授業前の課題：15%、授業中の課題：15%、筆記試験：70%（再試験は筆記試験100%）

教科書

テキスト

①PT・OTビジュアルテキスト「神経障害理学療法学」 潮見泰藏 羊土社 5,000円+税

⇒2年次「神経系障害理学療法学」のテキストとして購入済み

②理学療法士・作業療法士のためのできる！ADL練習 山崎裕司 南江堂 3,800円+税

参考文献

①病気がみえる7脳・神経 医療情報科学研究所編 メディックメディア 3,800円+税

②リハビリテーション効果を最大限に引き出すコツ 山崎裕司 三輪書店 3,400円+税

参考書

①理学療法士・作業療法士のためのできる！ADL練習 山崎裕司 南江堂 3,800円+税

②病気がみえる7脳・神経 医療情報科学研究所編 メディックメディア 3,800円+税

オフィスアワー

水曜日1限目。そのほかメールにて随時受け付けるmu-kato@ryotokuji-u.ac.jp。

実務経験の有無

あり

その他

コロナ感染予防や臨床実習との兼ね合いで『本講義は遠隔授業で行う場合がある』。

担当教員のオフィスアワー：水曜日1限目

担当教員実務経験の有無，有

講義コード	5202601
講義名	内部障害理学療法学
(副題)	
講義開講時期	前期前半
講義区分	講義
基準単位数	1
時間	15.00
対象学年	3
必修/選択	必修

担当教員

氏名
中村 浩
平野 正広

総合学習目標

1. 酸素運搬系障害（循環器障害、呼吸器障害、代謝障害）に対する適切な評価および理学療法が展開できるように基本的な知識や病態生理を理解する。また、それらの障害特性に対する理学療法の役割について学ぶ。
2. 理学療法学科DP1,3,4に該当する。

個別学習目標

1. 酸素運搬系障害の機序について、その解剖・生理・病態より理解できる。
2. 循環器系障害の理学療法評価、理学療法の役割、リスク管理について理解できる。
3. 呼吸器系障害の理学療法評価、理学療法の役割、リスク管理について理解できる。
4. 代謝系障害の理学療法評価、理学療法の役割、リスク管理について理解できる。

準備学修

1. 呼吸器、循環器系の解剖学および生理学については、心臓の解剖、体循環と肺循環、刺激伝導系の働き、肺区域、肺活量と1秒率、エネルギー代謝を復習する（60分）。
2. 代謝系障害については、糖尿病の病態生理および理学療法評価より糖代謝のメカニズムについて復習する（30分）。

授業計画

第1回	担当教員	中村 浩 オリエンテーション、内部障害理学療法学総論
	内容	酸素運搬系障害と生活習慣病の概念
第2回	担当教員	平野 正広 循環器障害（1）
	内容	循環器系障害の解剖学、生理学、病態生理、理学療法評価
第3回	担当教員	平野 正広 循環器障害（2）
	内容	循環器系障害の理学療法（総論）、リスク管理、理学療法の役割
第4回	担当教員	中村 浩 呼吸器系障害（1）
	内容	呼吸器系障害の解剖学、生理学、病態生理、理学療法評価
第5回	担当教員	中村 浩 呼吸器系障害（2）
	内容	呼吸器系障害の理学療法（総論）、リスク管理、理学療法の役割
	担当教員	平野 正広

第6回		代謝系障害（1）
	内容	糖尿病の生理学、病態生理、理学療法評価
第7回	担当教員	平野 正広 代謝系障害（2）
	内容	糖尿病の理学療法（総論）、リスク管理、理学療法の役割
第8回	担当教員	中村 浩 まとめ（振り返り）
	内容	循環器系障害、呼吸器系障害、代謝系障害のまとめ、症例検討他

評価方法

定期試験70点（70%）、授業内課題30点（30%）、合計100点（100%）で評価する。

教科書

1. 理学療法テキスト、「内部障害理学療法学 循環・代謝 第2版」、石川朗編、中山書店、2, 600円
2. 理学療法テキスト、「内部障害理学療法学 呼吸 第3版」、石川朗編、中山書店、2, 600円

参考書

1. シンプル理学療法学シリーズ「内部障害理学療法学テキスト 改訂第3版」、山崎祐司、川俣幹雄、丸岡弘著、南山堂、4, 800円
2. 病気がみえる「循環器」第3版、メディックメディア編、医療情報研究所、3, 500円
3. 病気がみえる「呼吸器」第2版、メディックメディア編、医療情報研究所、3, 500円
4. 病気がみえる「糖尿病・代謝・内分泌」第3版、メディックメディア編、医療情報研究所、3, 500円

オフィスアワー

月曜日3, 4限、512研究室、その他質問や相談がある場合は、メールアドレス：
h-nakamura@ryotokuji-u.ac.jp に連絡する。

実務経験の有無

有

その他

授業内容と評価方法他の詳細は、第1回オリエンテーションにて説明する。

講義コード	5203101
講義名	老年期障害理学療法学演習
(副題)	
講義開講時期	後期
講義区分	演習
基準単位数	1
時間	30.00
対象学年	3
必修/選択	選択

担当教員

氏名
澤 広太

総合学習目標

リハビリテーションプロセスでの老年期障害に対しての位置付けを明確に表し、老年期障害の成因、病態（疾患）、予後に関する知識から、機能障害の回復促進及び健康維持と障害予防等に対応する理学療法を総合的に学習する。

理学療法学科DP1－①

個別学習目標

- ①リハプロセスのなかでの老年期障害（維持期リハ）に対しての位置付けを説明できる。
- ②加齢による機能低下と疾患に関する評価ができる。
- ③体力の維持・向上のための具体的な対策を考案し、説明できる。
- ④理学療法実施時のリスク管理の意義を理解し、適切なリスク管理の項目が説明できる。
- ⑤高齢者の加齢的变化を考慮した理学療法プログラムが作成できる。

準備学修

授業時に次回の予習について説明する。その内容について教科書や資料を用いて予習しておくこと。（60分）

授業計画

第1回	担当教員	澤 広太 ライフステージと高齢者像
	内容	高齢者とはいかなるものかを理解する。
第2回	担当教員	澤 広太 加齢に伴う心身機能の変化
	内容	高齢者に理学療法を行うために必要な加齢に伴う心身機能の変化について理解する。
第3回	担当教員	澤 広太 老年症候群
	内容	老年症候群が理学療法を行う際の治療プログラムの立案、およびその進行に及ぼす影響を理解する。

第4回	担当教員	澤 広太 高齢者の生活機能評価
	内容	高齢者の生活機能を評価する方法について理解し、その技術を習得する。AL : B
第5回	担当教員	澤 広太 高齢者の健康寿命の延伸
	内容	介護予防現場で適切な指導が行えるように、運動介入の効果について理解する。高齢者の転倒や骨折の現状と課題を理解し、予防法について考察する。
第6回	担当教員	澤 広太 高齢者の理学療法を行ううえでの留意事項
	内容	高齢者の理学療法を行ううえでの留意事項として、一般的特徴や理学療法におけるリスク管理について理解する。
第7回	担当教員	澤 広太 高齢者の骨・関節障害と理学療法① 大腿骨頸部骨折
	内容	高齢の大腿骨頸部骨折患者の生活機能の改善のため、障害像や治療法についての理解を深め、最適な理学療法プログラムの立案・遂行能力を習得する。AL : B
第8回	担当教員	澤 広太 高齢者の骨・関節障害と理学療法② 変形性膝関節症
	内容	高齢の変形性膝関節症患者の生活機能の改善のため、障害像や治療法についての理解を深め、最適な理学療法プログラムの立案・遂行能力を習得する。AL : B
第9回	担当教員	澤 広太 高齢者の中枢神経障害と理学療法① 脳血管障害（脳卒中）
	内容	高齢の脳血管障害（脳卒中）患者の生活機能の改善のため、障害像や治療法についての理解を深め、最適な理学療法プログラムの立案・遂行能力を習得する。AL : B
第10回	担当教員	澤 広太 高齢者の中枢神経障害と理学療法② Parkinson病
	内容	高齢のParkinson病患者の生活機能の改善のため、障害像や治療法についての理解を深め、最適な理学療法プログラムの立案・遂行能力を習得する。AL : B
第11回	担当教員	澤 広太 高齢者の代謝障害と理学療法（糖尿病）
	内容	高齢の糖尿病患者の生活機能の改善のため、障害像や治療法についての理解を深め、最適な理学療法プログラムの立案・遂行能力を習得する。AL : B
第12回	担当教員	澤 広太 高齢者の循環障害と理学療法（心疾患）

	内容	高齢の心疾患患者の生活機能の改善のため、障害像や治療法についての理解を深め、最適な理学療法プログラムの立案・遂行能力を習得する。AL：B
第13回	担当教員	澤 広太 高齢者の呼吸器障害と理学療法（呼吸器疾患）
	内容	高齢の呼吸器疾患患者の生活機能の改善のため、障害像や治療法についての理解を深め、最適な理学療法プログラムの立案・遂行能力を習得する。AL：B
第14回	担当教員	澤 広太 地域高齢者と理学療法士
	内容	介護保険3施設で行われる入所リハビリテーションの違いを理解する。
第15回	担当教員	澤 広太 高齢社会の課題と展望
	内容	わが国の高齢化の実態を理解する。地域包括ケアシステム概念を理解する。

評価方法

定期試験80点（80%）、課題レポート20点（20%）、合計100点（100%）によって評価する。

教科書

テキスト

『シンプル理学療法学シリーズ 高齢者理学療法学テキスト』監修：細田多穂 出版社：南江堂
定価：3800円＋税

参考書

参考テキスト

『運動療法学各論 高齢者の機能障害に対する運動療法』編集：市橋則明 出版社：文光堂 定価：5,500円＋税

『理学療法学テキスト 高齢者理学療法学』編集：池添冬芽 出版社：メジカルビュー社 定価：4,800円＋税

『標準PT/OT 老年学 第5版』シリーズ監修：奈良 勲 / 鎌倉 矩子 編集：大内 尉義 医学書院 定価：4,600円＋税

オフィスアワー

授業前後や休み時間等に質問を受け付ける。
（理学療法学科 助教室）

実務経験の有無

有

その他

・学修範囲が多岐にわたるので、毎回の復習を欠かさないこと。（指定教科書を読み、授業内容に該当する箇所をまとめておくこと：60分）

講義コード	5203201
講義名	地域リハビリテーション概論
(副題)	[理学]
講義開講時期	前期前半
講義区分	講義
基準単位数	1
時間	15.00
対象学年	3
必修/選択	必修

担当教員

氏名
一色 員子

総合学習目標

理学療法士が関わる地域リハビリテーション領域を中心に、地域リハビリテーションの考え方、多職種連携、関連する制度、代表的な疾患と障害・生活を理解する。

理学療法学科 DP1-①に該当する。

個別学習目標

- ①地域リハビリテーションの定義について理解できる。
- ②地域リハビリテーションに関わる職種、多職種連携の目的と方法について理解できる。
- ③医療保険、介護保険、障害者総合支援法、地域包括ケアシステムの仕組みを理解できる。
- ④代表的な疾患の病態を理解し、必要な環境整備、生活指導、リスクを理解できる。

準備学修

教科書（範囲は初回講義時に資料を配布する）を読み、制度、疾患の概要の理解をするとともに、各疾患の病態や障害像をまとめておくこと（60分）

授業計画

第1回	担当教員	一色 員子 オリエンテーション、地域リハビリテーションの定義、地域・対象のとらえ方
	内容	講義の進め方、評価方法・基準について説明する。 地域リハビリテーションの定義を理解する。 地域のとらえ方、対象のとらえ方を理解する。
第2回	担当教員	一色 員子 多職種連携の理解、理学療法士の役割
	内容	多職種連携の方法、目的を理解する。 地域における理学療法士の役割、地域との関わり方を理解する。
第3回	担当教員	一色 員子 制度の理解①医療保険、介護保険AL:C
	内容	医療保険制度の特徴を理解する。 介護保険制度の仕組み、サービスを理解する。
	担当教	一色 員子

第4回	員	制度の理解②障害者総合支援法、地域包括ケアシステムAL:C
	内容	障害者総合支援法の目的、仕組み、サービスを理解する。 地域包括ケアシステムの概要を理解する。
第5回	担当教員	一色 員子 小テスト、疾患と障害、生活の理解①小児期AL:C
	内容	1-4回の範囲の小テストを実施する。 脳性麻痺、重症心身障害、二分脊椎、筋ジストロフィー、発達障害の病態を理解する。 生活上の配慮、衛生・健康管理、環境整備を理解する。
第6回	担当教員	一色 員子 疾患と障害、生活の理解②成人期（脳血管障害）AL:C
	内容	脳血管障害における社会復帰上の特徴を理解する。 復職、福祉的就労、介護の各ゴールについて理解する。
第7回	担当教員	一色 員子 疾患と障害、生活の理解③成人期（難病）AL:C
	内容	難病について理解する。 パーキンソン病、脊髄小脳変性症、多系統萎縮症、筋萎縮性側索硬化症の病態を理解する。 リスク、環境整備、生活指導を理解する。
第8回	担当教員	一色 員子 疾患と障害の理解、生活の理解④老年期（高齢期）AL:C
	内容	老年症候群を理解する。 高齢者の生活、生活支援のポイントを理解する。

評価方法

定期試験80点（80%）、小テスト20点（20%）、合計100点（100%）で評価する。

教科書

『Crosslink 理学療法学テキスト 地域理学療法学』編集：浅川康吉、出版社：株式会社メジカルビュー社、定価：4500円+税

参考書

適宜紹介する。

オフィスアワー

月曜日・3限、木曜日・2限 533教員研究室

実務経験の有無

有

その他

その他諸注意は、初回授業時に説明する。

講義コード	5203301
講義名	地域リハビリテーション理学療法学
(副題)	
講義開講時期	後期後半
講義区分	講義
基準単位数	1
時間	15.00
対象学年	3
必修/選択	必修

担当教員

氏名
荒巻 英文

総合学習目標

地域リハビリテーション概論の知識を基に、介護保険をはじめとする諸制度や関わり、地域理学療法の評価・プログラムの立案・実践課程、様々な施設での実際について学習する。理学療法学科DP2-②に該当する。

個別学習目標

- ①地域理学療法の目的や具体的内容について理解できる。
- ②地域における理学療法士の役割と活動内容について理解できる。
- ③地域におけるアセスメントから援助目標の設定までの枠組みについて理解できる。
- ④介護予防の具体的内容について理解できる。

授業計画

第1回	担当教員	荒巻 英文 地域理学療法
	内容	高齢者のリハビリテーション
第2回	担当教員	荒巻 英文 地域理学療法ガイドライン
	内容	理学療法アルゴリズム OSCE課題1 (問診、高次脳機能障害の推測) AL : D
第3回	担当教員	荒巻 英文 ケーススタディ1 (脳卒中)
	内容	プレゼン系グループワーク (問題点、介入) AL: B
第4回	担当教員	荒巻 英文 脳卒中の訪問リハビリテーション
	内容	理学療法アルゴリズム OSCE課題2 (反射検査、片麻痺機能検査) AL : D
第5回	担当教員	荒巻 英文 ケーススタディ2 (神経難病)
	内容	プレゼン系グループワーク (問題点、介入) AL: B
第6回	担当教員	荒巻 英文 神経難病の訪問リハビリテーション
	内容	理学療法アルゴリズム OSCE課題3 (運動失調検査、立位バランスの評価) AL : D
第7回	担当教員	荒巻 英文 ケーススタディ3 (認知症)

	内容	プレゼン系グループワーク（問題点、介入） AL: B
第8回	担当教員	荒巻 英文 認知症の訪問リハビリテーション
	内容	理学療法アルゴリズム OSCE課題4（運動覚検査、視野検査） AL: D 地域理学療法における要点

評価方法

定期試験90点（90%）、グループ課題10点（10%）、合計100点（100%）で評価する。

教科書

指定なし。
配付資料を用いる。

参考書

- ① シンプル理学療法学シリーズ『地域リハビリテーション学テキスト 改訂第3版』
備酒信彦・樋口由美・対馬栄輝 編 南江堂 4,840円
- ② 『PT・OTのための臨床技能とOSCE コミュニケーションと介助・検査測定編 第2版』
才藤 栄一 監 金原出版 5,950円

オフィスアワー

月・火・金曜昼休憩、水・木曜2限、518教員研究室

実務経験の有無

有

その他

- ① ケーススタディでは12グループ（ゼミ）に分かれ進行する。
- ② 適宜プリント資料を配付する。
- ③ 授業に関する諸注意については別途説明する。

講義コード	5203601
講義名	理学療法治療学演習
(副題)	
講義開講時期	後期
講義区分	演習
基準単位数	1
時間	30.00
対象学年	3
必修/選択	必修

担当教員

氏名
盆子原 秀三
山之口 美喜生
中村 浩

総合学習目標

DP4

- 1) 理学療法における治療理論と原理を理解する
- 2) 理学療法での評価における問題点と運動療法との関連性を理解する
- 3) クリニカルリーズニングの方法をおおまかに理解する
- 4) 臨床教育実習での学習プロセスを理解する

個別学習目標

- 1) 理学療法における治療理論の概略を説明できる
- 2) 評価での問題点から適切な運動療法の組み立てを作成できる
- 3) 典型的な疾患・障害においてクリニカルリーズニングをおおまかにこなうことができる
- 4) 臨床教育実習での学習の手引きを活用できる

授業計画

第1回	担当教員	盆子原 秀三 理学療法における治療理論の実際 [盆子原]
	内容	臨床教育実習での学習の手引きの説明：疾患と症状の把握の仕方
第2回	担当教員	盆子原 秀三 運動器障害におけるクリニカルリーズニング[盆子原]
	内容	
第3回	担当教員	盆子原 秀三 運動器障害における問題点抽出のしかた[盆子原]
	内容	臨床教育実習での学習の手引きの説明：評価項目の列挙
第4回	担当教員	盆子原 秀三 運動器障害における運動療法の組み立て方の演習[盆子原]
	内容	

第5回	担当 教員	盆子原 秀三 運動器障害における問題点抽出と運動療法との関連性[盆子原]
	内容	臨床教育実習での学習の手引きの説明：問題点と運動療法
第6回	担当 教員	盆子原 秀三 症例（運動器障害）における統合的な解釈[盆子原]
	内容	
第7回	担当 教員	中村 浩 中枢神経障害におけるクリニカルリーズニング[中村]
	内容	
第8回	担当 教員	中村 浩 中枢神経障害における問題点抽出のしかた[中村]
	内容	
第9回	担当 教員	中村 浩 中枢神経障害における運動療法の組み立て方の演習[中村]
	内容	
第10回	担当 教員	中村 浩 中枢神経障害における問題点抽出と運動療法との関連性[中村]
	内容	
第11回	担当 教員	中村 浩 症例（中枢神経障害）における統合的な解釈[中村]
	内容	
第12回	担当 教員	山之口 美喜生 パーキンソン病関連疾患における問題点抽出のしかた[山之口]
	内容	
第13回	担当 教員	山之口 美喜生 パーキンソン病関連疾患における運動療法の組み立て方の演習[山之口]
	内容	
第14回	担当 教員	山之口 美喜生 パーキンソン病関連疾患における問題点抽出と運動療法との関連性[山之口]
	内容	
第15回	担当 教員	山之口 美喜生 具体的症例（パーキンソン病）の観察と評価を通じた統合的な動作の解析に 基づく介入の考察[山之口]
	内容	

評価方法

定期試験（盆子原50%）およびレポート課題（中村30%、山之口20%）により評価する。

教科書

ハンドアウト：実習の手引き

参考書

整形外科理学療法の理論と技術 山崎勉 メヂイカルビュー 9500円

筋骨格系のキネシオロジー原著第3版 Donald A. Neuman 医歯薬出版 13500円

マニュアルセラピーに対するクリニカル・リーズニングのすべて Mark A. Jones 協同出版
10000円

参考文献

整形外科理学療法理論と技術 山崎勉 メヂカルビュー 9500円

筋骨格系のキネシオロジー原著第3版 Donald A. Neuman 医歯薬出版 13500円

マニュアルセラピーに対するクリニカル・リーズニングのすべて Mark A. Jones 協同出版
10000円

実務経験の有無

有

その他

準備としては、特に各疾患の病態像、評価バッテリーについて復習をおこなうこと。
演習においては実技をおこなうので測定に必要な用具を準備すること。

講義コード	5203801
講義名	理学療法特講II
(副題)	
講義開講時期	通年
講義区分	演習
基準単位数	2
時間	60.00
対象学年	4
必修/選択	必修

担当教員

氏名

盆子原 秀三

増田 敦子

加藤 宗規

山之口 美喜生

中村 浩

武内 朗

山田 洋一

平野 正広

荒巻 英文

兔澤 良輔

清水 菜穂

町田 志樹

荒井 沙織

一色 員子

石井 成美

澤 広太

上岡 尚代

総合学習目標

- ①国家試験の出題範囲において、合格ラインを意識し、それに達していない分野に対して学習を積み上げる。
- ②国家試験の出題傾向を意識する。
- ③特に前半においては、解剖・生理・運動学での基礎知識に重点をおく。
- ④実施問題において座学のみならず実技演習を通して理解を深める。
- ⑤理学療法学科DP1-①、DP2-②に相当

個別学習目標

- ①基礎・臨床医学分野（解剖学、生理学、運動学、人間発達学、病理学、精神医学、臨床心理学、内科学、整形外科、神経内科学、小児科学、老年医学、リハビリテーション概論他）における出題ポイントを理解することが出来る。
- ②理学療法分野（理学療法概論、理学療法評価学（実技を含む）、理学療法治療学（運動療法総論・各論、物理療法、義肢・装具療法）日常生活活動学、リスク管理、地域リハビリテーション他）における出題ポイントを理解することが出来る。
- ③合格基準を超えることが出来る。

準備学修

予め、出題範囲、その傾向について、国家試験対策本にて調べておくこと。

授業計画

第1回	担当教員	盆子原 秀三 荒巻 英文 清水 菜穂 荒井 沙織 実地問題対策
	内容	血圧測定・肢長・周径・関節可動域検査・徒手筋力検査・感覚検査・腱反射・病的反射・BSR・SIAS-M・整形外科的検査の復習をおこない、臨床場面に則した実施問題に対して対策をおこなう。
第2回	担当教員	加藤 宗規 一色 員子 兔澤 良輔 荒井 沙織 実地問題対策
	内容	血圧測定・肢長・周径・関節可動域検査・徒手筋力検査・感覚検査・腱反射・病的反射・BSR・SIAS-M・整形外科的検査の復習をおこない、臨床場面に則した実施問題に対して対策をおこなう。
第3回	担当教員	中村 浩 加藤 宗規 平野 正広 一色 員子 実地問題対策
	内容	血圧測定・肢長・周径・関節可動域検査・徒手筋力検査・感覚検査・腱反射・病的反射・BSR・SIAS-M・整形外科的検査の復習をおこない、臨床場面に則した実施問題に対して対策をおこなう。
第4回	担当教員	武内 朗 中村 浩 荒巻 英文 石井 成美 実地問題対策
	内容	血圧測定・肢長・周径・関節可動域検査・徒手筋力検査・感覚検査・腱反射・病的反射・BSR・SIAS-M・整形外科的検査の復習をおこない、臨床場面に則した実施問題に対して対策をおこなう。
第5回	担当教員	武内 朗 山田 洋一 兔澤 良輔 澤 広太 実地問題対策
	内容	血圧測定・肢長・周径・関節可動域検査・徒手筋力検査・感覚検査・腱反射・病的反射・BSR・SIAS-M・整形外科的検査の復習をおこない、臨床場面に則した実施問題に対して対策をおこなう。
第6回	担当教員	盆子原 秀三 山田 洋一 平野 正広 清水 菜穂 実地問題対策
	内容	血圧測定・肢長・周径・関節可動域検査・徒手筋力検査・感覚検査・腱反射・病的反射・BSR・SIAS-M・整形外科的検査の復習をおこない、臨床場面に則した実施問題に対して対策をおこなう。
第7回	担当教員	加藤 宗規 武内 朗 荒巻 英文 石井 成美

		実地問題対策
	内容	血圧測定・肢長・周径・関節可動域検査・徒手筋力検査・感覚検査・腱反射・病的反射・BSR・SIAS-M・整形外科的検査の復習をおこない、臨床場面に則した実施問題に対して対策をおこなう。
第8回	担当教員	中村 浩 山田 洋一 兔澤 良輔 澤 広太 実地問題対策
	内容	血圧測定・肢長・周径・関節可動域検査・徒手筋力検査・感覚検査・腱反射・病的反射・BSR・SIAS-M・整形外科的検査の復習をおこない、臨床場面に則した実施問題に対して対策をおこなう。
第9回	担当教員	町田 志樹 解剖学
	内容	解剖学：骨格系、筋系、神経系、脈管系、内臓系、感覚器系、体表解剖、細胞の構造と機能、その他 過去問から学習ポイントや必修ポイントを示し、各自の不足点を理解できるようにする。
第10回	担当教員	町田 志樹 解剖学
	内容	解剖学：骨格系、筋系、神経系、脈管系、内臓系、感覚器系、体表解剖、細胞の構造と機能、その他 過去問から学習ポイントや必修ポイントを示し、各自の不足点を理解できるようにする。
第11回	担当教員	増田 敦子 生理学
	内容	生理学：筋、神経、感覚、言語機能、運動、自律神経、呼吸、循環、血液、免疫、その他 過去問から学習ポイントや必修ポイントを示し、各自の不足点を理解できるようにする。
第12回	担当教員	増田 敦子 生理学
	内容	生理学：筋、神経、感覚、言語機能、運動、自律神経、呼吸、循環、血液、免疫、その他 過去問から学習ポイントや必修ポイントを示し、各自の不足点を理解できるようにする。
第13回	担当教員	加藤 宗規 リハビリテーション概論、リハビリテーション医学・地域リハビリテーション、理学療法学概論、病理学、研究法
	内容	・リハビリテーション概論：障害の評価（ICIDH、ICF）、リハ概念、ノーマライゼーション、PT・OT法、関連法規、感染予防 ・リハビリテーション医学・地域リハビリテーション：健康と疾病、クリニカルパス、廃用症候群、地域リハシステム、バリアフリー、その他 ・理学療法学総論：理論的背景、基本的運動療法、エネルギー消費、運動強度、てこ、モーメント、その他

	容	<ul style="list-style-type: none"> ・病理学：創傷、組織の病理変化、奇形、循環障害、変性疾患、進行性疾患、炎症、腫瘍、感染症、標準予防策 ・研究法：統計学・コミュニケーション方法 過去問から学習ポイントや必修ポイントを示し、各自の不足点を理解できるようにする。
第14回	担当教員	中村 浩 運動学
	内容	運動学：力学基礎、運動、四肢・体幹の運動、姿勢、歩行、運動学習、その他 過去問から学習ポイントや必修ポイントを示し、各自の不足点を理解できるようにする。
第15回	担当教員	上岡 尚代 運動学
	内容	運動学：力学基礎、運動、四肢・体幹の運動、姿勢、歩行、運動学習、その他 過去問から学習ポイントや必修ポイントを示し、各自の不足点を理解できるようにする。
第16回	担当教員	石井 成美 運動療法基礎
	内容	運動療法基礎：運動療法学：運動生理、運動の種類、筋力、筋持久力、筋力増強、ROM運動、ストレッチング、治療体操、その他 過去問から学習ポイントや必修ポイントを示し、各自の不足点を理解できるようにする。
第17回	担当教員	荒巻 英文 物理療法学
	内容	物理療法学：温熱・寒冷療法、電気刺激療法、電磁波療法、光線療法、超音波療法、水治療法、牽引療法、その他 過去問から学習ポイントや必修ポイントを示し、各自の不足点を理解できるようにする。
第18回	担当教員	盆子原 秀三 整形外科学
	内容	整形外科学：骨折・脱臼、脊髄損傷、RA、関節症、脊柱、上肢、下肢傷害・疾患、小児整形、骨粗鬆証症、切断、その他 過去問から学習ポイントや必修ポイントを示し、各自の不足点を理解できるようにする。
第19回	担当教員	盆子原 秀三 整形外科系障害理学療法
	内容	整形外科系障害理学療法：骨折・脱臼、脊髄損傷、RA、関節症、脊柱、上肢、下肢傷害・疾患、小児整形、骨粗鬆証症、切断、その他 過去問から学習ポイントや必修ポイントを示し、各自の不足点を理解できるようにする。
	担当	清水 菜穂

第20回	教員	人間発達学、小児科学、発達障害理学療法
	内容	・人間発達：発達段階、身体発達、運動発達、発達障害、原始姿勢反射 ・小児科学：小児疾患、脳性まひ、先天性疾患 過去問から学習ポイントや必修ポイントを示し、各自の不足点を理解できるようにする。
第21回	担当教員	荒井 沙織 神経内科学
	内容	神経内科学：脳血管疾患、変性疾患、脱髄疾患、末梢神経疾患、神経筋接合部、筋疾患、その他 過去問から学習ポイントや必修ポイントを示し、各自の不足点を理解できるようにする。
第22回	担当教員	武内 朗 中枢神経系障害理学療法（脳血管疾患）
	内容	中枢神経疾患：脳血管疾患 疾患と理学療法、その他 過去問から学習ポイントや必修ポイントを示し、各自の不足点を理解できるようにする。
第23回	担当教員	兎澤 良輔 中枢神経系障害理学療法（脊髄損傷）
	内容	中枢神経疾患：脊髄損傷 疾患と理学療法、その他 過去問から学習ポイントや必修ポイントを示し、各自の不足点を理解できるようにする。
第24回	担当教員	山田 洋一 日常生活活動学
	内容	日常生活活動学：概念と分類、疾患別ADL指導、その他 生活環境整備、リスク管理：リハビリテーション関連機器、車椅子、歩行器、その他 疾患別リスク管理 過去問から学習ポイントや必修ポイントを示し、各自の不足点を理解できるようにする。
第25回	担当教員	澤 広太 義肢・装具学
	内容	義肢・装具学：断端管理、股・大腿・下腿義足、体幹装具、上・下肢装具、その他 過去問から学習ポイントや必修ポイントを示し、各自の不足点を理解できるようにする。
第26回	担当教員	一色 員子 内科学
	内容	内科学：呼吸器疾患、循環器疾患、代謝疾患、血液疾患、消化器疾患、泌尿器疾患、膠原病、その他 過去問から学習ポイントや必修ポイントを示し、各自の不足点を理解できるようにする。
	担	

第27回	当 教 員	平野 正広 内部障害理学療法
	内 容	内部障害理学療法：呼吸器疾患：間質性肺疾患、慢性閉塞性肺疾患、呼吸理学療法、その他 循環器疾患：心筋梗塞、狭心症、術後の理学療法、心不全、その他 過去問から学習ポイントや必修ポイントを示し、各自の不足点を理解できるようにする。
第28回	担 当 教 員	平野 正広 内部障害理学療法、高齢者
	内 容	内部障害理学療法、高齢者：代謝疾患：糖尿病、その他 高齢者障害：その他 過去問から学習ポイントや必修ポイントを示し、各自の不足点を理解できるようにする。
第29回	担 当 教 員	山之口 美喜生 臨床心理学
	内 容	臨床心理学：防衛機制、心理発達、心理検査、心理療法、性格、障害受容、記憶、転移、学習、その他 過去問から学習ポイントや必修ポイントを示し、各自の不足点を理解できるようにする。
第30回	担 当 教 員	山之口 美喜生 精神医学
	内 容	精神医学：精神障害、症候と診断、薬物療法、精神療法、感情障害、躁うつ病、統合失調症、感情障害、てんかん、神経症、認知症、知的障害、行動障害、中毒、その他 過去問から学習ポイントや必修ポイントを示し、各自の不足点を理解できるようにする。

評価方法

筆記試験 100%

基礎・臨床医学分野、理学療法専門分野から合わせて200問出題し、60%以上の得点を合格とする。

出題傾向、難易度は国家試験レベルとする。

試験は理学療法特講IIの全講義が終了した後に実施する予定。

教科書

テキスト
特に定めず

参考書

参考文献

- ・クエスチョン・バンク 理学療法士・作業療法士 国家試験問題解説 医療情報科学研究所編
メディックメディア株式会社発行「共通問題」4, 500円+税「専門問題」4, 500円+税
- ・理学療法士・作業療法士国家試験必修ポイント 医歯薬出版編 医歯薬出版株式会社
「基礎PT学」4, 700円+税「障害別PT治療学」4, 700円+税「専門基礎分野臨床医学」4400円+税
「専門基礎分野基礎医学」4, 200円+税
- ・国試の達人 PT・OTシリーズ 理学療法科学学会編 アイペック

オフィスアワー

担当教員が複数なので、質問などは該当教員のオフィスアワーを確認すること。

実務経験の有無

全員有

その他

- ・担当する教員の授業スケジュール等により講義の順が変更されるため、シラバスに記載されている項目の順番通りには開講はできない。予定が決まり次第クラスルームで周知する。
- ・開講時期は総合臨床実習I・II期のそれぞれの期に該当しない学生を対象に開始する。総合臨床実習I・II終了後において全体での集中授業として行なう。

講義コード	5203901
講義名	理学療法管理経営学
(副題)	
講義開講時期	後期後半
講義区分	講義
基準単位数	1
時間	15.00
対象学年	3
必修/選択	必修

担当教員

氏名
山之口 美喜生

総合学習目標

1. 理学療法士の【キャリアアップ・プログラム】として開講する必修科目である。

医療組織において、かつては医師が医療方針と管理経営(運営)の両方の決定者であり、コメディカルの医療行為者は経営管理には関わらない職種であるとされてきた。患者との関係においても医療パターンリズム(医療父権主義)と呼ばれ医師の治療方針に患者は従うものとされていた。しかし、1940年代以降、米国を中心に病院管理と経営が体系化され、近年は日本においても厳しい医療経営環境の中で病院の管理運営の方法が注目され病院管理学や病院経営学が確立されてきた。

このような背景の中で、病院組織内の「各部門の管理運営」についてもその必要性和重要性が認識され、昨今は理学療法(リハビリテーション)部門においても収支管理や人事管理を要求されるようになってきている。

本講義は、将来理学療法士としてそのような環境の現場で働くことになる学生が、この経営管理の考え方を理解しその運営能力としての法律を含む様々な基礎的知識を習得することを目的とする。

2. 理学療法学科DP3-①

個別学習目標

- ①医療における経営と管理について基本的理解を深める。
- ②病院の全体的な医事管理・人事管理・物品管理を理解し、原価や人件費等のコストを理解する。
- ③我が国の医療保険制度と診療報酬制度を理解し、理学療法部門としての経営管理を理解する。

準備学修

特に予習の必要はないが、授業を受講した後は資料と講義内容を復習し、次回の授業の基礎となるよう理解を深めておくこと。

授業計画

第1回	担当教員	山之口 美喜生 管理経営学で何を学ぶのか。管理、運営、経営について。
	内容	○将来のキャリアアップにつながる知識や考え方を理解する
第2回	担当教員	山之口 美喜生 実際の例を使って「経営」を理解する。
	内容	○実際の損益管理表を使った経営者としてのリアルな疑似体験を通して学習する
	担当教員	山之口 美喜生

第3回	員	病院の「組織」について。
	内容	○治療を目的とした業務組織体と管理運営で統率された企業体としての二面性を学習する
第4回	担当教員	山之口 美喜生 病院の「医事管理」について。
	内容	○企業体としての「おカネ」の流れの学習する
第5回	担当教員	山之口 美喜生 「病院会計」「経営分析」「人事管理」「物品管理」の初歩的理解について。
	内容	○企業体として重要な構成要件である「ヒト」と「モノ」について学習する
第6回	担当教員	山之口 美喜生 基礎的法規の理解について
	内容	○医療行為の関係法規を学習する
第7回	担当教員	山之口 美喜生 基礎的法規の理解について
	内容	○健康増進について関係法規を学習する
第8回	担当教員	山之口 美喜生 損益管理表の読み方と演習
	内容	○部門管理者として経営提言の思考ができるように演習を行う

評価方法

定期試験80点（80%）と課題20点（20%）の計100点満点で評価します。
課題内容は初回授業において提示します。

教科書

テキスト指定はありません。配布資料を用います。

参考書

特に指定はありません。興味のある分野を学習してください。

オフィスアワー

質問等は随時受け付けます。研究室来訪時には公開しているオフィスアワーを参考の事。

実務経験の有無

実務経験有

その他

考察課題を予定している回の講義はゼミ単位で着席してもらうことがあります。その場合は事前に指示をします。

8回の講義なのでやむを得ない場合を除いて出席してください、皆出席かつ全授業参加者は内容理解がある程度出来ていると評価します。

なお、状況により遠隔授業で講義を行うこともあります。

講義コード	5204001
講義名	卒業課題研究
(副題)	
講義開講時期	通年
講義区分	演習
基準単位数	2
時間	60.00
対象学年	4
必修/選択	選択

担当教員

氏名
加藤 宗規

総合学習目標

- ①これまで学習してきた基礎・臨床医学、理学療法専門科目に関する知識と技術をもとに、学生が希望するテーマについて、研究テーマの発見から解決までを経験することにより、論理的な思考と行動について理解する。
- ②論文にまとめ、発表まで行うことにより、論理的文章作成とプレゼンテーションを経験することにより、卒業後の学会発表や論文作成などの研究活動を行うための基礎とする。

理学療法学科DP2-②

個別学習目標

- ①自ら研究テーマを発見し、仮説を立てることができる。
- ②仮説を証明するための調査対象と方法を立案できる。
- ③関連する先行研究を検索することができる。
- ④対象に対するリスクに配慮し、測定を行うことができる。
- ⑤測定結果の集計と解析ができる。
- ⑥結果について、先行研究とも比較しながら理論的な考察ができる。
- ⑦一連の過程について文章化して論文を作成できる。
- ⑧論文を要約して資料を作成し、プレゼンテーションができる。

準備学修

研究計画など、指定がある場合は自宅で準備する。

授業計画

第1回	担当教員	加藤 宗規 卒業論文テーマの考案説明
	内容	卒業試験のテーマの探し方から決定するまでの流れを解説する
第2回	担当教員	加藤 宗規 テーマ考案のための文献検索
	内容	卒業論文のテーマを決めるにあたり、先行研究検索をして参考になる研究を探

		す。(AL:B)
第3回	担当 教員	加藤 宗規 テーマ決定のための文献①
	内容	卒業論文のテーマを決めるにあたり、先行研究を読み概要をまとめる。 (AL:B)
第4回	担当 教員	加藤 宗規 テーマ決定のための文献②
	内容	第3回で扱った先行研究以外の先行研究を読み概要をまとめる。(AL:B)
第5回	担当 教員	加藤 宗規 テーマ話し合い
	内容	先行研究テーマについて、グループ内でディスカッションする。(AL:A)
第6回	担当 教員	加藤 宗規 テーマ決定
	内容	グループごとにテーマを決定する。
第7回	担当 教員	加藤 宗規 研究計画の立案説明
	内容	研究計画の立て方について解説する。
第8回	担当 教員	加藤 宗規 研究計画の立案
	内容	決まったテーマについて、対象や方法をグループ内で検討する。(AL:A)
第9回	担当 教員	加藤 宗規 被験者への説明書と承諾書の説明と立案
	内容	被験者への説明書と承諾書の作成方法を解説するとともに、使用するそれらをグループ内で検討して作成する。(AL:A)
第10回	担当 教員	加藤 宗規 被験者の募集
	内容	立案された研究計画に基づき、被験者を募集する。(AL:B)
第11回	担当 教員	加藤 宗規 被験者への説明と承諾
	内容	被験者に研究の概要を説明するとともに、承諾を得る。(AL:B)
第12回	担当 教員	加藤 宗規 被験者の測定①
	内容	被験者no.1-5測定。(AL:B)
第13回	担当 教員	加藤 宗規 被験者の測定②
	内容	被験者no.6-10測定。(AL:B)
第14回	担当 教員	加藤 宗規 被験者の測定③
	内容	被験者no.11-15測定。(AL:B)
第15回	担当 教員	加藤 宗規 被験者の測定④
	内容	被験者no.16-20測定。(AL:B)
第16回	担当 教員	加藤 宗規 被験者の測定⑤
	内容	被験者no.21-25測定。(AL:B)
第17回	担当 教員	加藤 宗規 被験者の測定⑥
	内容	被験者no.26-30測定。(AL:B)
	担当	加藤 宗規

第18回	教員	データ入力
	内容	被験者no.1-30のデータをエクセルファイルに入力。(AL:B)
第19回	担当 教員	加藤 宗規 データ統計解析方法の検討
	内容	得られたデータをソフトを用いて統計解析するさいに用いる適切な統計手法を講義により理解する。
第20回	担当 教員	加藤 宗規 統計
	内容	検討された統計手法をソフトを用いて実行する。(AL:B)
第21回	担当 教員	加藤 宗規 論文骨子の検討
	内容	論文の骨子となる構成を検討する。また、担当教員からフィードバックを受ける。(AL:B)
第22回	担当 教員	加藤 宗規 論文作成①
	内容	研究の背景について先行研究内容を引用しながらまとめる。また、担当教員からフィードバックを受ける。(AL:B)
第23回	担当 教員	加藤 宗規 論文作成②
	内容	研究の背景とリンクした形となるように研究目的をまとめる。また、担当教員からフィードバックを受ける。(AL:B)
第24回	担当 教員	加藤 宗規 論文作成③
	内容	対象と方法をまとめる。また、担当教員からフィードバックを受ける。(AL:B)
第25回	担当 教員	加藤 宗規 論文作成④
	内容	統計も含めた結果をまとめる。また、担当教員からフィードバックを受ける。(AL:B)
第26回	担当 教員	加藤 宗規 論文作成⑤
	内容	考察の骨子を補足する文献を探索する。また、担当教員からフィードバックを受ける。(AL:B)
第27回	担当 教員	加藤 宗規 論文作成⑥
	内容	考察をまとめる。また、担当教員からフィードバックを受ける。(AL:B)
第28回	担当 教員	加藤 宗規 論文作成⑦
	内容	全体の文章つながり、誤字脱字など全体の再確認をする。また、担当教員からフィードバックを受ける。(AL:B)
第29回	担当 教員	加藤 宗規 論文作成⑧
	内容	授業の2日前までに提出した修正論文について、担当教員からフィードバックを受け再修正をする。(AL:B)
第30回	担当 教員	加藤 宗規 論文完成・提出
	内容	指定したフォームに図表も組み込み、論文を完成させて提出する。(AL:B)

評価方法

課題遂行と提出 % (研究は個人で行い論文を作成すること)

教科書

テキスト 特に指定しない

参考文献 特に指定しない

- ① 保健・医療・福祉のための論文のまとめ方と書き方 鈴木庄亮／川田智之 南江堂 1, 900円＋税
- ② SPSSで学ぶ医療系データ解析 対馬栄輝 東京図書 3, 200円＋税

参考書

テキスト 特に指定しない。研究内容に応じて、統計等の書籍や資料を提示する。

参考文献 特に指定しない

- ① 保健・医療・福祉のための論文のまとめ方と書き方 鈴木庄亮／川田智之 南江堂 1, 900円＋税
- ② SPSSで学ぶ医療系データ解析 対馬栄輝 東京図書 3, 200円＋税

オフィスアワー

水曜日1限目、その他随時mu-kato@ryotokuji-u.ac.jpにて受け付ける。

実務経験の有無

あり

その他

先修条件として、「理学療法研究法特論」あるいは「理学療法カウンセリング」の単位を取得していること。なお、コロナ感染症対策のために『遠隔授業で行う』場合がある。

講義コード	5204101
講義名	運動学I
(副題)	
講義開講時期	後期
講義区分	演習
基準単位数	1
時間	30.00
対象学年	1
必修/選択	必修

担当教員

氏名
盆子原 秀三

総合学習目標

運動学とは生体の構造と機能の関係を理解することを目的とした学問であり、解剖学、生理学、物理学の応用学としての側面も持つ。本講では運動学II、運動学実習、臨床運動学実習を履修する上で必要となる運動器の機能を中心に学習する。（理学療法学科DP1-①に該当する）

個別学習目標

1. 運動器の構造と関節の形態、機能を理解することができる。
2. 運動器の作用を、自分の身体で模倣し説明することができる。
3. 運動学・運動力学の基礎について理解することができる。
4. 立ち上がり動作と正常歩行について理解することができる。

準備学修

筋骨格系の解剖学の知識が必須となる。この知識がなければ授業内容の理解が困難となってしまうため、前期の解剖学Iの復習を求める。

授業計画

第1回	担当教員	オリエンテーション、運動学概論（1章）：
	内容	運動学で何を学ぶか 身体の構造と機能について
第2回	担当教員	力学の基礎（2章）：
	内容	身体運動と力、並進運動と回転運動、身体運動とテコの働き
第3回	担当教員	からだの構造と機能（1）（3章）：
	内容	骨、関節、筋の仕組みと働き 小テスト①てこ
第4回	担当教員	からだの構造と機能（2）（3章）：
	内容	神経系の構造と働き、反射
第5回	担当教員	からだの構造と機能（3）（3章）：
	内容	呼吸・循環の仕組みと働き 小テスト②関節
第6回	担当教員	からだの構造と機能（4）（3, 6章）：
	内容	体力と運動処方、栄養素とエネルギー代謝
第7回	担当教員	四肢と体幹の運動（1）（4章）：
	内容	肩甲帯と肩関節の運動、小テスト③
第8回	担当教員	四肢と体幹の運動（2）（4章）：
	内容	肘関節、手関節、手指の運動
第9回	担当教員	四肢と体幹の運動（3）（4章）：
	内容	

	内容	骨盤帯と股関節の運動 小テスト④肩肘手
第10回	担当教員	四肢と体幹の運動（4）（4章）：
	内容	膝関節の運動
第11回	担当教員	四肢と体幹の運動（5）（4章）：
	内容	足関節、足部の運動
第12回	担当教員	四肢と体幹の運動（6）（4章）：
	内容	体幹（頸椎、胸椎、腰椎）と胸郭の運動 小テスト⑤骨盤・股膝足
第13回	担当教員	運動・動作の分析（5章）、運動学習（10章）：
	内容	運動・動作分析の方法、運動学習とパフォーマンス
第14回	担当教員	姿勢（7章）：
	内容	立位姿勢アライメントと重心の関係、主要姿勢筋の働き
第15回	担当教員	歩行（8章）：
	内容	正常歩行と歩行周期（時間および空間パラメータ、ケイデンス）

評価方法

定期試験（学期末テスト70%・小テスト30%）によって行う。

教科書

筋学ハンドブック 飯島治之・益子原秀三 著 医歯薬出版 2,530円

参考書

- ・筋骨格系のキネシオロジー（原著第3版）、Donald A. Neumann 著、医歯薬出版、12, 500円
- ・エッセンシャル・キネシオロジー（原書第2版）、Paul Jackson Mansfield、Donald A. Neumann 著、南江堂、5, 200円
- ・基礎運動学（第6版補訂）、中村隆一、斎藤宏、長崎浩著、医歯薬出版、6, 800円

実務経験の有無

有り

その他

授業内容、授業構成についてはオリエンテーション時に説明する。
毎回の出席カードの問題を解いて提出してください。この出席カードの提出をもって出席扱いとします。

講義コード	5204201
講義名	運動学II
(副題)	
講義開講時期	前期
講義区分	演習
基準単位数	1
時間	30.00
対象学年	2
必修/選択	必修

担当教員

氏名
中村 浩
兔澤 良輔
石井 成美

総合学習目標

1. 身体運動をどのように分析するか、観察（視察と触察）から計測に至る基本的方法を以下の課題より系統的に学習する。課題1は骨筋の触診と関節運動の計測、課題2は姿勢アライメントと動作分析、課題3は正常歩行における歩行周期と歩容の関係について学習する。
2. 理学療法学科DP1～3に該当する。

個別学習目標

1. 骨格系（骨・筋）の触診と関節運動の特徴を理解することができる。
2. 立位姿勢アライメントと重心の関係を学習し、立ち上がり動作の分析について理解することができる。
3. 正常歩行の時間・空間的パラメータから歩行周期の概念を理解することができる。
4. 学習課題について基本的な形式よりレポートを作成し発表することができる。

準備学修

1. 運動学Iで履修した内容より、四肢と体幹の運動、立位姿勢アライメント、重心と支持基底面の関係、正常歩行周期について復習する（60分）。

授業計画

第1回	担当教員	中村 浩 兔澤 良輔 石井 成美 オリエンテーション、運動学IIで学ぶこと：
	内容	【授業内課題①：運動学Iの復習】、実習グループA：【中村】、B：【兔澤】、C：【石井】
第2回	担当教員	石井 成美 中村 浩 兔澤 良輔 課題1：上肢の触診
	内容	骨ランドマークと筋の触診（上肢）、実習グループA：【中村】、B：【兔澤】、C：【石井】
第3回	担当教員	石井 成美 中村 浩 兔澤 良輔 課題1：下肢の触診、課題レポートの作成方法
	内容	骨ランドマークと筋の触診（下肢）、実習グループA：【中村】、B：【兔澤】

	容	澤】、C：【石井】
第4回	担当教員	石井 成美 中村 浩 兔澤 良輔 課題1：上肢の関節運動
	内容	上肢の関節運動（関節可動域の計測）、実習グループA：【中村】、B：【兔澤】、C：【石井】
第5回	担当教員	石井 成美 中村 浩 兔澤 良輔 課題1：下肢の関節運動
	内容	下肢の関節運動（関節可動域の計測）、【授業内課題②上下肢の触診と関節運動】、実習グループA：【中村】、B：【兔澤】、C：【石井】
第6回	担当教員	中村 浩 兔澤 良輔 石井 成美 課題2：立位姿勢アライメント
	内容	姿勢をどうみるか、立位姿勢アライメントのみかた、実習グループA：【石井】、B：【中村】、C：【兔澤】
第7回	担当教員	中村 浩 兔澤 良輔 石井 成美 課題2：姿勢と重心の関係
	内容	姿勢と重心動揺のみかた、バランス反応の影響、実習グループA：【石井】、B：【中村】、C：【兔澤】
第8回	担当教員	中村 浩 兔澤 良輔 石井 成美 課題2：姿勢と動作分析①
	内容	立ち上がり動作の分析、重心と支持基底面の関係、実習グループA：【石井】、B：【中村】、C：【兔澤】
第9回	担当教員	中村 浩 兔澤 良輔 石井 成美 課題2：姿勢と動作分析②
	内容	立ち上がり動作の関節運動変化と筋活動、【授業内課題③：姿勢アライメントと動作分析】、実習グループA：【石井】、B：【中村】、C：【兔澤】
第10回	担当教員	兔澤 良輔 中村 浩 石井 成美 課題3：正常歩行と歩行周期
	内容	正常歩行をどうみるか、正常歩行における歩行周期と歩容の関係、実習グループA：【兔澤】、B：【中村】、C：【石井】
第11回	担当教員	兔澤 良輔 中村 浩 石井 成美 課題3：正常歩行の計測①
	内容	歩行速度と歩幅の関係、ケイデンス、実習グループA：【兔澤】、B：【中村】、C：【石井】
第12回	担当教員	兔澤 良輔 中村 浩 石井 成美 課題3：正常歩行の計測②

	内容	正常歩行における各関節運動の変化、実習グループA：【兔澤】、B：【中村】、C：【石井】
第13回	担当教員	兔澤 良輔 中村 浩 石井 成美 課題3：正常歩行と重心変化、筋活動
	内容	正常歩行における重心変化、筋活動、【授業内課題④：正常歩行周期】、実習グループA：【兔澤】、B：【中村】、C：【石井】
第14回	担当教員	中村 浩 兔澤 良輔 石井 成美 課題1～3のチェックアウト（振り返り）：
	内容	課題1～3の総括、課題レポートの作成、発表準備、実習グループA：【中村】、B：【兔澤】、C：【石井】
第15回	担当教員	中村 浩 兔澤 良輔 石井 成美 課題発表会：
	内容	課題発表 課題1：触診と関節運動【石井】、課題2：姿勢と動作分析【中村】、課題3：正常歩行の計測【兔澤】

評価方法

定期試験40点（40%）、課題レポート作成40点（40%）、授業内課題20点（20%）、合計100点（100%）で評価する。

教科書

適宜プリント資料を配布する。

参考書

1. 運動学 15レクチャシリーズ 理学療法・作業療法テキスト、小島悟編、中山書店、2, 400円
2. 運動学実習 15レクチャシリーズ 理学療法・作業療法テキスト、小島悟編、中山書店、2, 400円

オフィスアワー

月曜日3, 4限、512研究室、その他の質問や相談がある場合は、メールアドレス：h-nakamura@ryotokuji-u.ac.jp に連絡する。

実務経験の有無

有

その他

1. 授業に関する特記事項：実習グループの編成は、学籍番号末尾において、グループA：01～33、グループB：34～67、グループC：68～101とする。
2. 授業内容と評価方法の詳細は第1回オリエンテーションにて説明する。

講義コード	5204301
講義名	医療情報学
(副題)	
講義開講時期	後期前半
講義区分	講義
基準単位数	1
時間	15.00
対象学年	3
必修/選択	選択

担当教員

氏名
山之口 美喜生

総合学習目標

1. IT 世代である学生たちにとって情報の取り扱いとは日常でもあるが重要な問題である。医療界においても情報化デジタル化の進歩発展は目覚ましいものがある。それは診療受付のコンピュータ化にはじまり、電子カルテの導入普及が進み、遠隔地における医師同士の情報交換が普通となり、検査や処方システムでペーパーレスかつリアルタイムとなり、診療費の保険請求いわゆるレセプトも電子請求が可能となった。数年後には医療に従事することになる学生たちにとって、臨床現場で必要となる「情報技術(IT)」の知識・スキルの基礎を学ぶだけでなく、何よりそこにおける「個人情報の取り扱い」を法的かつ倫理的に理解することは極めて重要である。本講義はこれらを「情報」としてとらえ、その基本的な情報取扱いのスキル獲得とあわせて、その取り扱いに際しての情報保護の意識を身に付けることを目的とする。

2. 理学療法学科DP3-②

個別学習目標

- ①医療情報システムについて理解する。
- ②情報処理を担うコンピュータやネットワーク、データベースに基礎を理解する。
- ③電子カルテに関する基本的知識を習得する。
- ④各医療関係法律による守秘義務と問題点について理解する。
- ⑤個人情報保護法による個人情報の保護について理解する。

準備学修

特に事前準備学習等の必要はないが、授業が始まったら受講後は必ず資料と講義内容を復習し理解を深めておくこと。

授業計画

第1回	担当教員	山之口 美喜生 医療情報学をなぜ学ぶか
	内容	医療における情報処理技術 (IT) 利用の意義と情報保護の重要性について理解を深める。
第2回	担当教員	山之口 美喜生 医療システムと情報処理の基礎を学ぶ
	内容	コンピュータの基礎・ネットワークの基礎・データベースの基礎を学び、医療における情報処理技術 (IT) の基本的概念を理解する。
第3回	担当教員	山之口 美喜生 医療における情報処理技術 (IT) の活用を理解する
	内容	IT技術が病院情報システム等でどのように使われているかを学び、コミュニケーションのツールとしての活用を理解する。
	担当	山之口 美喜生

第4回	教員	電子カルテの実際
	内容	実際に使用されるソフトの全体像を知り将来扱うことになるその理解を深める。
第5回	担当教員	山之口 美喜生 医療情報システム管理と情報セキュリティ管理
	内容	ハードとソフト・ネットワーク・ユーザ・障害等のIT技術の問題点にも目を向け情報管理の大切さを学ぶ。
第6回	担当教員	山之口 美喜生 医療法と個人情報保護法について－歴史と背景－
	内容	個人情報に対する保護的価値観の変遷と変化を知ってその意味を考察する。
第7回	担当教員	山之口 美喜生 個人情報保護法について－その理念と実際－
	内容	個人情報の扱いの実際を知り更に問題点を考察する。
第8回	担当教員	山之口 美喜生 個人情報保護法について－新ガイドライン－
	内容	【まとめ】新ガイドラインと医療の現場での個人情報保護について考察する。

評価方法

筆記試験（80点）＋レポート（20点）で評価する。

教科書

プリントで資料を配布します。

参考書

Word.Excel.PowerPoint等の基本的スキルやネットワークの入門編程度の解説書に目を通しておくと授業が理解しやすい。、

オフィスアワー

質問等は随時受け付けます。研究室来訪時には公開しているオフィスアワーを参考の事。

実務経験の有無

実務経験有

その他

考察課題を予定している回の講義はゼミ単位で着席してもらうことがあります。その場合は事前に指示をします。

8回の講義なのでやむを得ない場合を除いて出席してください、皆出席かつ全授業参加者は内容理解がある程度出来ていると評価します。

なお、状況により遠隔授業で講義を行うこともあります。

講義コード	5204401
講義名	理学療法評価学I
(副題)	
講義開講時期	前期
講義区分	演習
基準単位数	2
時間	60.00
対象学年	2
必修/選択	必修

担当教員

氏名
武内 朗
荒巻 英文
一色 員子

総合学習目標

- ①理学療法は“評価に始まり評価に終わる”と言われる。それほど評価は一連の理学療法過程の中において重要であり、理学療法の根幹をなすものである。理学療法評価学Iでは、理学療法における評価の意義と目的を理解し、基礎となる検査・測定の基本手技が実施できるよう、実技を通して習得することを目標とする。実技は3グループに分け、学生が自主的に学習できるように、細部にわたる指導を行っていく。
- ②理学療法学科DP1-①②、DP2-②、DP4-②に相当

個別学習目標

- ① 理学療法評価の意義と目的、構成要素、進め方を理解する。
 ② バイタルサイン測定の意義と目的を理解し、正確に測定することができる。
 ③ 形態測定の意義と目的を理解し、正確に測定することができる。
 ④ 関節可動域測定の意義と目的を理解し、正確に測定することができる。
 ⑤ 感覚検査および痛みの評価の意義と目的を理解し、正確に測定することができる。
 ⑥ 反射検査の意義と目的を理解し、正確に測定することができる。
 ⑦ 筋緊張検査、協調性検査の意義と目的を理解し、正確に測定することができる。

準備学修

1年次に学修した解剖学、生理学の理解。

授業計画

第1回	担当教員	武内 朗 授業ガイダンス。理学療法評価の意義と目的、評価過程 【武内】
	内容	授業概要、試験方法、授業中の注意等の説明。 理学療法評価の意義と目的について学修する。 評価の過程-構成要素について学修する。
第2回	担当教員	武内 朗 理学療法評価の進め方 【武内】
	内容	統合と解釈について学修する。 評価手順・問題解決プロセスについて学修する。
第3回	担当教員	武内 朗 理学療法評価の時期と目的、記録方法 【武内】
	内容	評価の時期とそれぞれの目的について学修する。 記録方法について学修する。
	担当	武内 朗

第4回	教員	問題点の整理、治療プログラム立案【武内】
	内容	国際障害分類による問題点の整理を学修する。 治療プログラムの立案方法を学修する。
第5回	担当教員	武内 朗 荒巻 英文 一色 員子 バイタルサイン1 脈拍、呼吸測定【武内：Aグループ(以下A)・荒巻：Bグループ(以下B)・一色：Cグループ(以下C)】
	内容	バイタルサインの基本概念を学修する。 脈拍、呼吸の基礎知識を学修する。 デモンストレーション後、担当教員の指導の下、学生同士で脈拍の触診可能な部位を確認し測定する。
第6回	担当教員	武内 朗 荒巻 英文 一色 員子 バイタルサイン2 血圧測定【武内：B・荒巻：C・一色：A】
	内容	血圧についての基礎知識を学修する。 デモンストレーション後、担当教員の指導の下、学生同士で血圧を測定する。
第7回	担当教員	武内 朗 荒巻 英文 一色 員子 形態測定1 意義と目的、ランドマーク 上肢・下肢長の測定方法【武内：C・荒巻：A・一色：B】
	内容	形態測定の意義と目的について学修する。 測定に必要なランドマークを確認する。 上肢長・下肢長、周径の測定方法について基本的な知識を学修する。 デモンストレーション後、担当教員の指導の下、学生同士で上肢長を測定する。
第8回	担当教員	武内 朗 荒巻 英文 一色 員子 形態測定2 上肢長・下肢長の測定【武内：A・荒巻：B・一色：C】
	内容	デモンストレーション後、担当教員の指導の下、学生同士で上肢長、下肢長を測定する。
第9回	担当教員	武内 朗 荒巻 英文 一色 員子 形態測定3 上肢・下肢周径測定 胸囲、腹囲測定【武内：B・荒巻：C・一色：A】
	内容	デモンストレーション後、担当教員の指導の下、学生同士で胸囲、腹囲および上肢周径、下肢周径を測定する。
第10回	担当教員	武内 朗 荒巻 英文 一色 員子 形態測定4 形態測定演習D【武内：C・荒巻：A・一色：B】
	内容	教員が提示した課題に対し、学生同士で肢長・周径の測定を行う。 課題遂行により各自の不十分な点を見出し、形態測定をより正確に行えるようにする。
第11回	担当教員	武内 朗 荒巻 英文 一色 員子 関節可動域測定1 目的 制限因子、測定器具、方法 肩甲帯の可動域測定【武内：A・荒巻：B・一色：C】

	内容	関節可動域テストの目的や制限因子について学修する。 肩甲帯の測定肢位、基本軸、移動軸について学修する。 デモンストレーション後、担当教員の指導の下、学生同士で肩甲帯の可動域を測定する。
第12回	担当教員	武内 朗 荒巻 英文 一色 員子 関節可動域測定 2 肩関節、肘関節の可動域測定 【武内：B・荒巻：C・一色：A】
	内容	肩関節、肘関節の測定肢位、基本軸、移動軸について学修する。 デモンストレーション後、担当教員の指導の下、学生同士で肩関節の可動域を測定する。
第13回	担当教員	武内 朗 荒巻 英文 一色 員子 関節可動域測定 3 前腕、手関節、手指の可動域測定 【武内：C・荒巻：A・一色：B】
	内容	前腕、手関節、手指の測定肢位、基本軸、移動軸について学修する。 デモンストレーション後、担当教員の指導の下、学生同士で頸部、体幹の可動域を測定する。
第14回	担当教員	武内 朗 荒巻 英文 一色 員子 関節可動域測定 4 肩甲帯、上肢の可動域測定演習D 【武内：A・荒巻：B・一色：C】
	内容	教員が提示した課題に対し、学生同士で可動域測定を行う。 課題遂行により各自の不十分な点を見出し、可動域測定をより正確に行えるようにする。
第15回	担当教員	武内 朗 荒巻 英文 一色 員子 関節可動域測定 5 股関節、膝関節の可動域測定 【武内：B・荒巻：C・一色：A】
	内容	股関節、膝関節の測定肢位、基本軸、移動軸について学修する。 デモンストレーション後、担当教員の指導の下、学生同士で肩関節の可動域を測定する。
第16回	担当教員	武内 朗 荒巻 英文 一色 員子 関節可動域測定 6 足関節、足指の可動域測定 【武内：C・荒巻：A・一色：B】
	内容	足関節、足指の測定肢位、基本軸、移動軸について学修する。 デモンストレーション後、担当教員の指導の下、学生同士で体幹の可動域を測定する。
第17回	担当教員	武内 朗 荒巻 英文 一色 員子 関節可動域測定 7 頸部、体幹の可動域測定 【武内：A・荒巻：B・一色：C】
	内容	頸部、体幹の測定肢位、基本軸、移動軸について学修する。 デモンストレーション後、担当教員の指導の下、学生同士で体幹の可動域を測定する。
	担当	武内 朗 荒巻 英文 一色 員子

第18回	教員	関節可動域測定 8 体幹、下肢の可動域測定演習D 【武内：B・荒巻：C・一色：A】
	内容	教員が提示した課題に対し、学生同士で可動域測定を行う。 課題遂行により各自の不十分な点を見出し、可動域測定をより正確に行えるようにする。
第19回	担当教員	武内 朗 荒巻 英文 一色 員子 感覚検査 1 感覚の分類 伝導路 目的 方法【武内】
	内容	感覚の分類、役割、伝導路等基礎的な知識を学修する。 感覚検査方法、記載方法を学修する。
第20回	担当教員	武内 朗 荒巻 英文 一色 員子 感覚検査 2 表在感覚、深部感覚測定 【武内：C・荒巻：A・一色：B】
	内容	デモンストレーション後、担当教員の指導の下、学生同士で表在感覚、深部感覚の検査を実施する。
第21回	担当教員	武内 朗 荒巻 英文 一色 員子 感覚検査 3 複合感覚、記録 【武内：A・荒巻：B・一色：C】
	内容	デモンストレーション後、担当教員の指導の下、学生同士で複合感覚の検査を実施する。 検査の記録について学修する。
第22回	担当教員	武内 朗 感覚検査 痛みの評価 【武内】
	内容	痛みの定義、分類、症状などを学修する。 痛みの評価法を学修する。
第23回	担当教員	武内 朗 荒巻 英文 一色 員子 反射検査 1 反射の概要、意味 【武内】 表在反射
	内容	反射についての基礎知識を学修する。 反射弓の中枢を学修する。 検査器具や使用方法を理解する。 デモンストレーション後、担当教員の指導の下、学生同士で表在反射の検査を実施する。
第24回	担当教員	武内 朗 荒巻 英文 一色 員子 反射検査2 表在反射、深部反射、病的反射 【武内：B・荒巻：C・一色：A】
	内容	デモンストレーション後、担当教員の指導の下、学生同士で表在反射、深部反射、表在反射、病的反射の代表的な検査を実施する。
第25回	担当教員	武内 朗 協調性検査 1 協調運動障害、運動失調の分類【武内】
	内容	動画により失調者の動作を確認する。 協調性運動障害に関する基礎知識を学修する。
第26回	担当教員	武内 朗 荒巻 英文 一色 員子 協調性検査 2 各種検査方法の実践 【武内：C・荒巻：A・一色：B】

	内容	デモンストレーション後、担当教員の指導の下、学生同士で失調検査を実施する。 バランステストを理解する。
第27回	担当教員	武内 朗 筋緊張検査 筋緊張亢進・低下 痙縮・固縮 【武内】
	内容	筋緊張について基礎知識を学修する。 デモンストレーション後、学生同士で筋緊張検査を実施する。
第28回	担当教員	武内 朗 荒巻 英文 一色 員子 感覚検査、反射検査、協調性検査演習D
	内容	教員が提示した課題に対し、学生同士で感覚検査、反射検査、協調性検査を行う。 課題遂行により各自の不十分な点を見出し、可動域測定をより正確に行えるようにする。
第29回	担当教員	武内 朗 荒巻 英文 一色 員子 実技試験 【武内・荒巻・一色】
	内容	指定した学生の実技試験を実施し、各学生の不足点を指摘、指導を行う。
第30回	担当教員	武内 朗 荒巻 英文 一色 員子 実技試験 【武内・荒巻・一色】
	内容	指定した学生の実技試験を実施し、各学生の不足点を指摘、指導を行う。

評価方法

定期試験筆記70点（70%）実技試験30点（30%）によって評価を行う。
成績判定は筆記、実技の合計が60%以上を合格とするが、筆記あるいは実技の得点が50%未満の時は、合計が60%以上であっても不合格とする。

教科書

テキスト
理学療法評価学 第6版補訂版 松澤正・江口勝彦 著 金原出版 6, 200円+税

参考書

参考文献
リハビリテーション基礎評価学 第1版 潮見泰蔵・下田信明 編集 羊土社 5, 900円（税別）
改定第2版 神経診察クローズアップ 正しい病巣診断のコツ 鈴木則宏編 メジカルビュー社
ハットサイドの神経の診かた 改訂18版 田崎義昭・斉藤佳雄 著 南山堂 7, 200円（税別）
理学療法評価法 第3版 千住秀明 監修 神陵文庫 4, 860円（税込）
PT・OTビジュアルテキスト リハビリテーション基礎評価学 潮見泰蔵・下田信明編羊土社 5, 900円（税別）

オフィスアワー

火曜日3, 4限 水曜日1, 2限 金曜日3, 4限 学生部長室

実務経験の有無

有

その他

- 1) 実技ではA、B、Cの3グループに分け、3人の教員が各グループを担当し、細かな指導により学生の理解力及び能力の向上を図る。
- 2) 評価器具として、メジャー、角度計、ハンマー等を使用する。評価器具の購入希望者は各

自で購入

- 3) 実習の授業においては、肌を露出可能な服装（ジャージ、Tシャツ、短パンなど）を着用すること。短パンに関しては、スパッツのような肌に密着したものが望ましい。
- 3) 必要に応じて資料を配付するが、予習をして授業に臨むと理解が深まる。
- 4) 学修量が非常に多い科目である。授業を集中して受講し、毎回の復習を欠かさないことが肝要である。
- 5) 授業に関する諸注意については別途説明する。

講義コード	5204701
講義名	物理療法学総論
(副題)	(実習を含む)
講義開講時期	前期
講義区分	実習
基準単位数	1
時間	45.00
対象学年	3
必修/選択	必修

担当教員

氏名
荒巻 英文
兎澤 良輔
澤 広太

総合学習目標

物理療法の各療法による物理的刺激手段で、生体の働きを変化させることを学習する。各論として、各種物理療法の理論を学ぶ。実技では物理療法の手技や生体の反応を確認し、治療における必要な基礎知識を習得する。
理学療法学科DP4-②に該当する。

個別学習目標

- ①物理療法の定義・原理方法を説明できる。
- ②温熱・寒冷・光線・水治・電気・牽引療法の生理作用と臨床効果、基本的実施方法とリスクについて説明し、実施できる。
- ③実習では学生主導型のグループ学習方式で行うので、各グループで協力体制を取り授業に臨める。

授業計画

第1回	担当教員	荒巻 英文 物理療法学総論
	内容	物理療法の定義、分類 温熱療法概論
第2回	担当教員	荒巻 英文 兎澤 良輔 澤 広太 温熱療法実習 【荒巻：グループA、兎澤：B、澤：C】
	内容	ホットパック（湿熱法・乾熱法） AL：D
第3回	担当教員	荒巻 英文 温熱療法
	内容	概論
第4回	担当教員	荒巻 英文 兎澤 良輔 澤 広太 温熱療法実習 【荒巻：グループA、兎澤：B、澤：C】
	内容	パラフィン浴 AL：D
第5回	担当教員	荒巻 英文 極超短波療法
	内容	概論

第6回	担当教員	荒巻 英文 兎澤 良輔 澤 広太 極超短波療法実習 【荒巻：グループA、兎澤：B、澤：C】
	内容	極超短波 AL：D
第7回	担当教員	荒巻 英文 超音波療法
	内容	概論
第8回	担当教員	荒巻 英文 兎澤 良輔 澤 広太 超音波療法実習 【荒巻：グループA、兎澤：B、澤：C】
	内容	超音波 AL：D
第9回	担当教員	荒巻 英文 寒冷療法
	内容	概論
第10回	担当教員	荒巻 英文 兎澤 良輔 澤 広太 寒冷療法実習 【荒巻：グループA、兎澤：B、澤：C】
	内容	クリッカー、コールドパック、持続的冷却装置、極低温療法 AL：D
第11回	担当教員	荒巻 英文 光線療法
	内容	概論
第12回	担当教員	荒巻 英文 兎澤 良輔 澤 広太 光線療法実習 【荒巻：グループA、兎澤：B、澤：C】
	内容	赤外線、レーザー AL：D
第13回	担当教員	荒巻 英文 水治療法
	内容	概論
第14回	担当教員	荒巻 英文 兎澤 良輔 澤 広太 水治療法実習 【荒巻：グループA、兎澤：B、澤：C】
	内容	渦流浴、気泡浴、交代浴 AL：D
第15回	担当教員	荒巻 英文 電気刺激療法1
	内容	概論
第16回	担当教員	荒巻 英文 兎澤 良輔 澤 広太 電気刺激療法実習1 【荒巻：グループA、兎澤：B、澤：C】
	内容	神経・筋電気刺激療法 AL：D
第17回	担当教員	荒巻 英文 電気刺激療法2
	内容	概論
	担当教員	荒巻 英文 兎澤 良輔 澤 広太

第18回		電気刺激療法実習2 【荒巻：グループA、兎澤：B、澤：C】
	内容	経皮的末梢神経電気刺激療法、干渉波電気刺激療法 AL：D
第19回	担当教員	荒巻 英文 電気刺激療法3
	内容	概論
第20回	担当教員	荒巻 英文 兎澤 良輔 澤 広太 電気刺激療法実習3 【荒巻：グループA、兎澤：B、澤：C】
	内容	機能的電気刺激療法、筋電図バイオフィードバック療法 AL：D
第21回	担当教員	荒巻 英文 牽引療法
	内容	概論
第22回	担当教員	荒巻 英文 兎澤 良輔 澤 広太 牽引療法実習 【荒巻：グループA、兎澤：B、澤：C】
	内容	頸椎・腰椎牽引 AL：D
第23回	担当教員	荒巻 英文 物理療法における要点
	内容	国家試験問題の紹介と解説 レポート課題

評価方法

定期試験90点（90%）、課題レポート10点（10%）合計100点（100%）で評価する。

教科書

『理学療法学テキストIX 物理療法 第2版』 千住秀明 監 神陵文庫 4,950円

参考書

PT・OTビジュアルテキスト『エビデンスから身につける物理療法 第1版』
庄本康治 編 羊土社 5,720円

オフィスアワー

月・火・金曜昼休憩、水・木曜2限、518教員研究室

実務経験の有無

有

その他

- ①実習の授業においては、肌を裸出可能な服装（ジャージ、Tシャツ、短パンなど）を着用のこと。
- ②実習では3グループに分かれ進行する。学籍番号1～30：グループA、31～60：B、61～：Cとする。
- ③使用教室はグループA：義肢装具実習室、B：水治療法実習室、C：理学療法評価実習室とする。各グループは約30分毎にローテーションし、国家試験対策および実習を行う。
- ④適宜プリント資料を配付するが、授業は主に教科書の範囲である。
- ⑤授業に関する諸注意については別途説明する。

講義コード	5204801
講義名	整形外科系障害理学療法学
(副題)	
講義開講時期	後期前半
講義区分	講義
基準単位数	1
時間	15.00
対象学年	2
必修/選択	必修

担当教員

氏名
山田 洋一

総合学習目標

- ① 代表的な整形外科疾患の病態像と障害を理解し、各疾患に対する整形外科的治療と理学療法検査から介入計画の立案ができるようになる。
- ② 理学療法学科DP1-①

個別学習目標

- ① 代表的な整形外科疾患の画像特定や病態像を説明できる
- ② 代表的な整形外科疾患の整形外科的治療内容を説明できる
- ③ 代表的な整形外科疾患に対する理学療法介入（必要な検査と介入）を説明できる

準備学修

整形外科系（運動器系）疾患は理学療法で関わることが多い領域です。この授業では疾患の病態像から理学療法まで幅広く学修します。特に疾患理解は重要であり、予習復習を必ず行い授業に臨むようにしてください。

授業計画

第1回	担当教員	山田 洋一 ① オリエンテーション ② 組織の再生・修復（テキスト「運動器障害理学療法学I」 p1～10）
	内容	① 授業の進め方と授業内容、成績評価の説明 ② 組織の再生・修復 ③ 整形外科系領域の一般的理学療法について
第2回	担当教員	山田 洋一 講義：骨折と脱臼（テキスト「運動器障害理学療法学I」 p21～72 抜粋）
	内容	① 骨折と脱臼の総論 ② 高齢者と骨折 ③ 骨折の理学療法
	担当教員	山田 洋一 講義：変形性関節症と人工股・膝関節置換術（テキスト「運動器障害理学療法学I」 p63～118 抜粋）

第3回	内容	① 変形性関節症の総論 ② 変形性関節症の理学療法 ③ 人工股・膝関節置換術の総論 ④ 人工股・膝関節置換術後の理学療法
第4回	担当 教員	山田 洋一 講義：関節リウマチ（テキスト「運動器障害理学療法学I」 p119～140 抜粋）
	内容	① 関節リウマチの総論 ② 関節リウマチの理学療法
第5回	担当 教員	山田 洋一 講義：頸・腰部疾患，脊椎手術（テキスト「運動器障害理学療法学II」 p1～66 抜粋）
	内容	① 頸・腰部疾患の総論 ② 頸・腰部疾患の理学療法 ③ 脊椎手術の総論 ④ 脊椎手術後の理学療法
第6回	担当 教員	山田 洋一 講義：肩関節疾患（肩関節周囲炎，その他外傷）（テキスト「運動器障害理学療法学II」 p67～106 抜粋）
	内容	① 肩関節疾患の総論 ② 肩関節疾患に対する整形外科的治療 ③ 肩関節疾患の理学療法（保存療法と術後）
第7回	担当 教員	山田 洋一 講義：膝靭帯損傷と半月板損傷 足関節捻挫，アキレス腱損傷，ハムストリングスの肉離れ（テキスト「運動器障害理学療法学II」 p107～160 抜粋）
	内容	① 膝靭帯損傷と半月板損傷の総論 ② 膝靭帯損傷と半月板損傷の理学療法（保存療法と術後） ③ 足関節捻挫，アキレス腱損傷，ハムストリングスの肉離れ総論 ④ 足関節捻挫，アキレス腱損傷，ハムストリングスの肉離れの理学療法
第8回	担当 教員	山田 洋一 演習：グループに分かれ，第1～7回までの授業内容の作問（事前課題）を解答，解説
	内容	国家試験過去問題を参考にして，授業内容の範囲から作問（グループワーク）したものを，授業内に解答 その後採点し，解説を行う 詳細はオリエンテーションで説明する
第9回	担当 教員	
	内容	

評価方法

- ・ 定期テスト（70%）, 課題（20%）, 授業内確認テスト（10%）で評価する

教科書

- ① 15レクチャーシリーズ 理学療法テキスト「運動器障害理学療法学I 第2版」総編集：石川朗
責任編集：川村廣幸 出版社：中山書店 定価：2,400円（税抜）
- ② 15レクチャーシリーズ 理学療法テキスト「運動器障害理学療法学II 第2版」総編集：石川朗
責任編集：川村廣幸 出版社：中山書店 定価：2,400円（税抜）
- ③ 授業の補足資料はGoogle classroomに投稿するので、必要な場合は各自で印刷

参考書

- 標準整形外科学 第14版 井桶栄二 医学書院 10,340円
- 整形外科理学療法の理論と技術 山崎勉 編集 メジカルビュー 10,260円
- 結果の出せる整形外科理学療法 山口光圀 編集 メジカルビュー 8,100円
- 今日の理学療法指針 内山靖 総編集 医学書院 5,832円
- リハビリテーションビジュアルブック第2版 落合慈之 監修 学研メディカル秀潤社 3,672円
- 身体運動学 市橋則明 編集 メジカルビュー 7,344円

オフィスアワー

火曜日 1限 515研究室

実務経験の有無

有り

その他

再三の注意にも関わらず授業態度不良、授業中の迷惑行為を行う者は退室を命ずることもある

講義コード	5204901
講義名	整形外科系障害理学療法学実習
(副題)	
講義開講時期	後期後半
講義区分	実習
基準単位数	1
時間	45.00
対象学年	2
必修/選択	必修

担当教員

氏名
平野 正広
荒巻 英文
清水 菜穂

総合学習目標

整形外科系の疾患による障害について理解し、具体的な理学療法についての知識、理解を深め、その技術について実習を通して基本的事項を身につける。

理学療法学科DP1-①、②に該当する。

理学療法学科DP2-②に該当する。

理学療法学科DP3-②に該当する。

理学療法学科DP4-②に該当する。

個別学習目標

- ① 医療職を目指すにあたり、感性豊かな人間性と倫理観を備え、人間の尊厳を考える。
- ② 整形外科系疾患の病態、障害、理学療法について理解する。
- ③ 整形外科系疾患による障害に対する理学療法の評価および治療の基本的技術を身につける。

準備学修

教科書を用いて予習（15分）をし、講義後は教科書、配布資料を用いて復習（30分）をすること。

授業計画

第1回	担当教員	平野 正広 急性期・生活期理学療法におけるリスク管理
	内容	オリエンテーション、医療職を目指すにあたり、取り巻く状況とリスク管理 AL：B、E
第2回	担当教員	平野 正広 組織再生・修復
	内容	皮膚、靭帯、腱、骨、関節軟骨、筋、末梢神経、炎症のみかた AL：D
第3回	担当教員	清水 菜穂 整形外科疾患における急性期理学療法
	内容	急性期の基礎知識、リスク管理
第4回	担当教員	清水 菜穂 平野 正広 荒巻 英文 大腿骨頸部骨折の理学療法

	内容	基礎知識、理学療法評価、治療の実技 グループ A：清水、B：平野、C：荒巻 AL：D
第5回	担当教員	清水 菜穂 脊椎椎体骨折の理学療法
	内容	基礎知識、理学療法評価、治療の実技
第6回	担当教員	清水 菜穂 平野 正広 荒巻 英文 下腿骨折、足関節骨折の理学療法
	内容	基礎知識、理学療法評価、治療の実技 AL：D
第7回	担当教員	清水 菜穂 上腕骨骨折の理学療法
	内容	基礎知識、理学療法評価、治療の実技
第8回	担当教員	清水 菜穂 平野 正広 荒巻 英文 前腕骨折の理学療法
	内容	基礎知識、理学療法評価、治療の実技 グループ A：清水、B：平野、C：荒巻 AL：D
第9回	担当教員	荒巻 英文 変形性骨関節疾患と理学療法 (1)
	内容	病態、評価、理学療法
第10回	担当教員	荒巻 英文 変形性骨関節疾患と理学療法 (2)
	内容	関節モビライゼーション (概要)
第11回	担当教員	荒巻 英文 平野 正広 清水 菜穂 変形性骨関節疾患と理学療法 (3)
	内容	関節モビライゼーション (上肢) グループ A：荒巻、B：平野、C：清水 AL：D
第12回	担当教員	荒巻 英文 平野 正広 清水 菜穂 変形性骨関節疾患と理学療法 (4)
	内容	関節モビライゼーション (下肢) グループ A：荒巻、B：平野、C：清水 AL：D
第13回	担当教員	平野 正広 熱傷の理学療法
	内容	病態、評価、理学療法
第14回	担当教員	平野 正広 関節リウマチの理学療法
	内容	病態、評価、理学療法 AL：B、D
第15回	担当教員	平野 正広 頸部疾患の理学療法(1)

	内容	病態、評価、理学療法
第16回	担当教員	平野 正広 荒巻 英文 清水 菜穂 頸部疾患の理学療法(2)
	内容	病態、評価、理学療法 グループ A：平野、B：荒巻、C：清水 AL：D
第17回	担当教員	平野 正広 腰部疾患の理学療法(1)
	内容	病態、評価、理学療法
第18回	担当教員	平野 正広 荒巻 英文 清水 菜穂 腰部疾患の理学療法(2)
	内容	病態、評価、理学療法 グループ A：平野、B：荒巻、C：清水 AL：D
第19回	担当教員	平野 正広 肩関節周囲炎、肩の外傷の理学療法
	内容	病態、評価、理学療法 AL：D
第20回	担当教員	平野 正広 膝靭帯損傷と半月板損傷の理学療法
	内容	病態、評価、理学療法 AL：D
第21回	担当教員	平野 正広 脊髄損傷の理学療法
	内容	病態、評価、理学療法 AL：B、D
第22回	担当教員	平野 正広 末梢神経障害の理学療法
	内容	病態、評価、理学療法 AL：D
第23回	担当教員	平野 正広 荒巻 英文 清水 菜穂 実技の確認
	内容	関節モビライゼーション、整形外科的検査、免荷歩行指導、各種運動・ADL指導 グループ A：平野、B：荒巻、C：清水 AL：D

評価方法

筆記試験60点（60％）、実技試験20点（20％）、課題20点（20％）、合計100点（100％）で評価する。

教科書

『標準整形外科学』第14版、編集者：井樋栄二・吉川秀樹・津村弘・田中栄・高木理彰、出版社：医学書院、10340円（税込）

参考書

- 1.15レクチャーシリーズ 理学療法テキスト 『運動器障害 理学療法学I』、総編集：石川朗 責任編集：河村廣幸、出版社：中山書店、2640円
- 2.15レクチャーシリーズ 理学療法テキスト 『運動器障害 理学療法学II』、総編集：石川朗 責任編集：河村廣幸、出版社：中山書店、2640円
3. 『骨折の機能解剖学的運動療法 その基礎から臨床まで 総論・上肢』、監修：青木隆明、林典雄、著者：松本正和、出版社：中外医学社、6160円
4. 『骨折の機能解剖学的運動療法 その基礎から臨床まで 体幹・下肢』、監修：青木隆明、林典雄、著者：松本正和、出版社中外医学社、7040円
5. 『整形外科疾患の理学療法 改訂第2版』、監修：富士武史、出版社：金原出版、7150円
6. 理学療法学テキスト III 『運動療法I』 第2版、監修：千住秀明、編集：河元岩男、溝田勝彦、出版社：神陵文庫、4950円
7. 『理学療法ハンドブック 第3巻』 第4版、編集者：細田多穂、柳沢健、出版社：協同医書出版社、7560円
8. 『脊髄損傷リハビリテーションマニュアル』 第3版、編集：神奈川県リハビリテーション病院 脊髄損傷リハビリテーションマニュアル編集委員会、出版社：医学書院、5720円

オフィスアワー

質問等は授業の前後で受け付ける。また、メールで受け付ける(m-hirano@ryotokuji-u.ac.jp)。

実務経験の有無

有

その他

授業に関する特記事項など：

1. 服装は実習着を着用すること。
2. 教員名が複数記載されている回は、グループ分けをして授業を行います。学籍番号末尾において、グループA：001～30、グループB：031～60、グループC：061以降

講義コード	5205001
講義名	整形外科系障害理学療法学演習
(副題)	
講義開講時期	後期
講義区分	演習
基準単位数	1
時間	30.00
対象学年	3
必修/選択	必修

担当教員

氏名
兔澤 良輔
荒巻 英文
石井 成美

総合学習目標

1. 本科目ではこれまで学習した整形外科に関する講義内容を整理・統合しながら、実技演習形式により知識・技術を高めることを目標とする。
2. 理学療法学科DP2-②に該当する。

個別学習目標

- ① 整形外科系疾患に関する病態、機能・能力障害の特性などが理解できる。
- ② 整形外科系疾患に関する問題点を整理し、基本的な理学療法プログラムを立案できる。
- ③ 触診技術・評価技術・治療技術を習得する。

準備学修

各疾患について整形外科系理学療法学、整形外科系理学療法学実習で使用した資料や教科書を用いて予習（20分）を行い、講義後は復習（30分）を行い次の講義に備えること。

授業計画

第1回	担当教員	兔澤 良輔 オリエンテーション, 運動器領域の理学療法総論
	内容	授業の進め方や評点方法についての説明, 運動器領域の理学療法の現状や求められるスキルについての講義
第2回	担当教員	兔澤 良輔 荒巻 英文 石井 成美 上肢の疾患に対する評価・運動療法①:
	内容	肩関節周囲炎の基礎知識、理学療法評価、治療の実技を行う 【実技指導】A: 兔澤 B: 荒巻 C: 石井
第3回	担当教員	兔澤 良輔 荒巻 英文 石井 成美 上肢の疾患に対する評価・運動療法②:
	内容	腱板損傷の基礎知識、理学療法評価、治療の実技を行う 【実技指導】A: 兔澤 B: 荒巻 C: 石井
		兔澤 良輔

第4回	担当 教員	荒巻 英文 石井 成美 上肢の疾患に対する評価・運動療法③：
	内容	胸郭出口症候群の基礎知識、理学療法評価、治療の実技を行う 【実技指導】 A：兎澤 B：荒巻 C：石井
第5回	担当 教員	兎澤 良輔 荒巻 英文 石井 成美 腰部に対する評価・運動療法①：
	内容	非特異的腰痛の基礎知識、理学療法評価、治療の実技を行う 【実技指導】 A：荒巻 B：石井 C：兎澤
第6回	担当 教員	兎澤 良輔 荒巻 英文 石井 成美 腰部に対する評価・運動療法②：
	内容	腰部脊柱管狭窄症の基礎知識、理学療法評価、治療の実技を行う 【実技指導】 A：荒巻 B：石井 C：兎澤
第7回	担当 教員	兎澤 良輔 荒巻 英文 石井 成美 腰部に対する評価・運動療法③：
	内容	腰椎椎間板ヘルニアの基礎知識、理学療法評価、治療の実技を行う 【実技指導】 A：荒巻 B：石井 C：兎澤
第8回	担当 教員	兎澤 良輔 荒巻 英文 石井 成美 下肢の疾患に対する評価・運動療法①：
	内容	変形性股関節症の基礎知識、理学療法評価の実技を行う 【実技指導】 A：石井 B：兎澤 C：荒巻
第9回	担当 教員	兎澤 良輔 荒巻 英文 石井 成美 下肢の疾患に対する評価・運動療法②：
	内容	変形性股関節症の理学療法評価、治療の実技を行う 【実技指導】 A：石井 B：兎澤 C：荒巻
第10回	担当 教員	兎澤 良輔 荒巻 英文 石井 成美 下肢の疾患に対する評価・運動療法③：
	内容	変形性膝関節症の基礎知識、理学療法評価の実技を行う 【実技指導】 A：石井 B：兎澤 C：荒巻
第11回	担当 教員	兎澤 良輔 荒巻 英文 石井 成美 下肢の疾患に対する評価・運動療法④：
	内容	変形性膝関節症の理学療法評価、治療の実技を行う 【実技指導】 A：石井 B：兎澤 C：荒巻
第12回	担当 教員	兎澤 良輔 荒巻 英文 石井 成美 下肢の疾患に対する評価・運動療法⑤：
	内容	足関節捻挫の基礎知識、理学療法評価の実技を行う 【実技指導】 A：石井 B：兎澤 C：荒巻

第13回	担当 教員	兔澤 良輔 荒巻 英文 石井 成美 下肢の疾患に対する評価・運動療法⑥：
	内容	足関節捻挫の理学療法評価、治療の実技を行う 【実技指導】 A：石井 B：兔澤 C：荒巻
第14回	担当 教員	兔澤 良輔 荒巻 英文 石井 成美 下肢の疾患に対する評価・運動療法⑦：
	内容	足関節疾患を含めた画像評価を実施する 【実技指導】 A：石井 B：兔澤 C：荒巻
第15回	担当 教員	兔澤 良輔 荒巻 英文 石井 成美 整形外科系障害理学療法学演習の要点の総括
	内容	上肢・腰部・下肢疾患の講義の各要点を総括し、これまでに実施した実技の総復習を行う 【実技指導】 A：兔澤 B：荒巻 C：石井

評価方法

定期試験（70%）、実技試験（30%）により評価する。定期試験は授業内の内容から出題する。実技試験は、授業中に紹介した実技をいくつか選択して実施してもらう。

教科書

『運動器疾患の「なぜ？」がわかる臨床解剖学』 編著：工藤慎太郎 医学書院 4,600円（税抜）

参考書

『15レクチャーシリーズ 理学療法テキスト 運動器障害理学療法学I』 第2版 総編集：石川朗 責任編集：川村廣幸 中山書店 定価：2,400円（税抜）

『15レクチャーシリーズ 理学療法テキスト 運動器障害理学療法学II』 第2版 総編集：石川朗 責任編集：川村廣幸 出版社：中山書店 定価：2,400円（税抜）

『標準整形外科学』 第14版 編集者：井樋栄二・吉川秀樹・津村弘・田中栄・高木理彰、出版社：医学書院、10340円（税込）

『関節機能解剖学に基づく整形外科運動療法ナビゲーション 上肢・体幹』 整形外科リハビリテーション学会、メジカルビュー 6800円（税抜）

『関節機能解剖学に基づく整形外科運動療法ナビゲーション 下肢』 整形外科リハビリテーション学会、メジカルビュー 6800円（税抜）

オフィスアワー

火曜日・2限・503研究室

実務経験の有無

有

その他

① 実技の際は、実習着または運動ができる服装で参加すること（基本は半袖・短パン、寒い日はジャージなどが好ましい）

② 学籍番号下3桁 001-033：A班 034-066：B班 067-101：C班とする（再履修者がいた場合はA班とする）

③ 実技は班内でペアを交代しながら実施する

④ エコーは各班で3～4台使用して実施する

⑤ 指定教科書は授業内で使用するため毎回持参すること

講義コード	5205101
講義名	発達障害理学療法学総論
(副題)	(実習を含む)
講義開講時期	前期
講義区分	実習
基準単位数	1
時間	45.00
対象学年	3
必修/選択	必修

担当教員

氏名
山田 洋一
清水 菜穂

総合学習目標

発達障害を伴う小児疾患の理学療法は重要な領域である。脳性麻痺や二分脊椎など従来から対象としていた疾患に加え、医学の進歩は乳児死亡率の減少に貢献しているが、未熟児などハイリスク児が増加し理学療法の対象となっている。

発達障害児を診る場合、発達評価は必須であり、そのための各種検査を理解しなければならない。

授業では、正常発達を復習した後、代表的な小児疾患について、演習も踏まえ病態像の理解と問題解決に即した理学療法について理解できる事を目標にしている。

DP1-①およびDP2-②に該当する

個別学習目標

1. 正常人間発達（運動、上肢、摂食、反射・反応、認知など）が理解できる。
2. 代表的な発達検査について、目的と方法を説明し、実施できる。
3. 姿勢・原始反射について、出現と統合、中枢、運動発達との関係について理解し説明できる。
4. 脳性麻痺の病態像と理学療法について説明できる。
5. ダウン症、広汎性発達障害の病態像と理学療法について説明できる。
6. デュシャンヌ型筋ジストロフィーを代表とする遺伝性疾患の病態像と理学療法について説明できる。
7. 小児整形疾患（二分脊椎、ペルテス病など）の病態像と理学療法について説明できる。
8. 低出生体重児・ハイリスク児の病態像と理学療法について説明できる。

授業計画

第1回	担当教員	山田 洋一 ① オリエンテーション ② 小児理学療法
		1. 授業の進め方、内容、ルールについて説明する

	内容	2. 小児理学療法の特徴
第2回	担当 教員	清水 菜穂 定型発達 (1) 運動発達：テキスト「小児理学療法学」 p1～10, 「運動発達と反射」
	内容	① 正常運動発達 ② 原始反射, 姿勢反射・反応 ③ 上肢機能の発達 ④ Key months ⑤ 筋緊張
第3回	担当 教員	清水 菜穂 定型発達 (2) 精神発達：テキスト「小児理学療法学」 p11～22
	内容	① 精神発達 ② 言葉の発達 ③ 摂食嚥下機能
第4回	担当 教員	清水 菜穂 発達検査 ①
	内容	① 検査の意義 ② 発達検査とは ③ 各発達検査の目的, 特徴, 対象
第5回	担当 教員	清水 菜穂 第4回と連続 発達検査 ②
	内容	① 各発達検査の目的, 特徴, 対象
第6回	担当 教員	清水 菜穂 二分脊椎：テキスト「小児理学療法学」 p93～101
	内容	① 二分脊椎の病態像 ② 理学療法評価 ③ 理学療法介入 ④ ICFに基づいた二分脊椎の介入方法
第7回	担当 教員	清水 菜穂 第6回と連続 二分脊椎：テキスト「小児理学療法学」 p93～101
	内容	① 二分脊椎の病態像 ② 理学療法評価 ③ 理学療法介入 ④ ICFに基づいた二分脊椎の介入方法
	担当 教員	清水 菜穂 小児整形外科疾患 (骨形成不全症, 先天性多発性関節拘縮症, 骨形成不全, その他)：テキスト「小児理学療法学」 p107～116

第8回	内容	① 代表的な小児整形外科疾患の病態像 ② 理学療法評価 ③ 理学療法介入 ④ ICFに基づいた介入の考え方
第9回	担当 教員	清水 菜穂 第8回と連続 小児整形外科疾患（骨形成不全症，先天性多発性関節拘縮症，骨形成不全，その他）：テキスト「小児理学療法学」 p107～116
	内容	① 代表的な小児整形外科疾患の病態像 ② 理学療法評価 ③ 理学療法介入 ④ ICFに基づいた介入の考え方
第10回	担当 教員	山田 洋一 発達障害概論：テキスト「小児理学療法学」 p23～34
	内容	① 小児疾患と発達への影響 ② 発達障害 ③ 脳性麻痺 ④ 発達障害児関連の社会福祉制度 ⑤ ライフステージの変化に応じた理学療法の目的と介入
第11回	担当 教員	山田 洋一 第10回と連続 発達障害概論：テキスト「小児理学療法学」 p23～34
	内容	① 小児疾患と発達への影響 ② 発達障害 ③ 脳性麻痺 ④ 発達障害児関連の社会福祉制度 ⑤ ライフステージの変化に応じた理学療法の目的と介入
第12回	担当 教員	山田 洋一 痙直型脳性麻痺（1）：テキスト「小児理学療法学」 p35～48
	内容	① 脳性麻痺の基礎知識 ② 痙直型脳性麻痺の基礎知識 ③ 理学療法評価と介入 ④ 痙直型脳性麻痺の補装具
	担当 教員	山田 洋一 第12回と連続 痙直型脳性麻痺（1）：テキスト「小児理学療法学」 p35～48
		① 脳性麻痺の基礎知識

第13回	内容	② 痙直型脳性麻痺の基礎知識 ③ 理学療法評価と介入 ④ 痙直型脳性麻痺の補装具
第14回	担当 教員	山田 洋一 痙直型脳性麻痺（2）：テキスト「小児理学療法学」 p49～60
	内容	① 痙直型脳性麻痺の乳児期から幼児期の発達 ② 理学療法評価と介入 ③ ICFモデルに基づいた考え方
第15回	担当 教員	山田 洋一 痙直型脳性麻痺（3）：テキスト「小児理学療法学」 p61～70
	内容	① 痙直型脳性麻痺の学童期以降の発達 ② 痙直型脳性麻痺の二次障害 ③ 学童期以降の評価と介入の考え方 ④ ICFモデルに基づいた考え方
第16回	担当 教員	山田 洋一 アテトーゼ型脳性麻痺：テキスト「小児理学療法学」 p71～82
	内容	① アテトーゼ型脳性麻痺の基礎知識 ② 理学療法評価 ③ 理学療法介入 ④ ICFに基づいた考え方
第17回	担当 教員	山田 洋一 第16回と連続 アテトーゼ型脳性麻痺：テキスト「小児理学療法学」 p71～82
	内容	① アテトーゼ型脳性麻痺の基礎知識 ② 理学療法評価 ③ 理学療法介入 ④ ICFに基づいた考え方
第18回	担当 教員	山田 洋一 低出生体重児・ハイリスク児：テキスト「小児理学療法学」 p139～150
	内容	① 低出生体重児・ハイリスク児の基礎知識 ② リスク管理と理学療法評価，かいにゆ ③ ICFモデルに基づいた考え方
第19回	担当 教員	山田 洋一 重症心身障害：テキスト「小児理学療法学」 p83～92
	内容	① 重症心身障害の基礎知識 ② 理学療法評価と介入

		③ ICFに基づいた考え方
第20回	担当 教員	山田 洋一 デュシャンヌ型筋ジストロフィー：テキスト「小児理学療法学」 p117～128
	内容	① 筋ジストロフィーの定義と分類 ② 筋ジストロフィーの病態像 ③ 筋ジストロフィー以外の神経筋疾患 ④ デュシャンヌ型筋ジストロフィー ・ 病態像 ・ 理学療法評価と介入 ⑤ ICFモデルに基づいた考え方
第21回	担当 教員	山田 洋一 ダウン症候群：テキスト「小児理学療法学」 p129～138
	内容	① ダウン症候群の病態像 ② 理学療法評価と介入 ③ ICFに基づいた考え方
第22回	担当 教員	山田 洋一 発達障害（狭義）：テキスト「小児理学療法学」 p151～162
	内容	① 発達障害の基礎知識 ② 発達障害の評価 ③ 理学療法介入 ④ ICFに基づいた考え方
第23回	担当 教員	山田 洋一 就学支援：テキスト「小児理学療法学」 p163～176
	内容	① インクルーシブ教育システムの理念と特別な学びの場 ② 肢体不自由児の教育的対応 ③ 自立活動 ④ 個別の教育支援計画と指導計画 ⑤ 就学支援・学校教育における理学療法士のかかわり

評価方法

- ① 全授業の1/3以上の欠席は科目未履修となる
- ② 定期（筆記）試験（80%）及び課題（20%）で評価する

教科書

- ① 15レクチャーシリーズ 小児理学療法学 石川朗・他 中山書店 ￥2,600（税別）
- ② イラストでわかる小児理学療法学演習 上杉雅之・他 医歯薬出版 ￥3,600（税別）
- ③ イラストでわかる人間発達学 上杉雅之・他 医歯薬出版 ￥4,200（税別）1年次科目「人間発達学」で購入済み

参考書

① 小児リハ評価ガイド 楠本泰士 メジカルビュー ¥5,400 (税別)

オフィスアワー

月曜日 3限 515研究室

実務経験の有無

有り

その他

① 授業態度の不良, 他者への迷惑行為など授業進行を阻害する者は, 出席を認めないことがある.

② 授業の補足資料はクラスルームに投稿, または配布する

③ 演習, 実習では積極的に授業に参加すること.

④ 授業用資料等の学外への公表, 無断複製を禁ずる (著作権に抵触する)

講義コード	5205201
講義名	理学療法特講I
(副題)	
講義開講時期	通年
講義区分	演習
基準単位数	2
時間	60.00
対象学年	3
必修/選択	必修

担当教員

氏名
清水 菜穂
一色 員子
澤 広太
上岡 尚代

総合学習目標

基礎的医学、臨床医学、基礎理学療法知識・技術の習得および基礎的評価の習得を行う。
(理学療法学科 DP3-①②に該当する)。

個別学習目標

1. 解剖学、生理学、運動学の知識の向上
2. 主要疾患とその理解に必要な知識の向上
3. 主要疾患に関する必要な評価項目が列挙できる
4. 主要疾患に関するデータから問題点の列挙、統合と解釈を述べることができる
5. 必要な評価項目を正しく実施することができる

授業計画

第1回	担当教員	清水 菜穂 一色 員子 澤 広太 上岡 尚代 オリエンテーション 【A 座学】体幹に関する基礎知識の復習【清水】 【B 実技】体幹に関する実技の復習【一色、上岡、澤】
	内容	・授業のオリエンテーション 【A 座学】骨、筋の基礎、体幹の解剖学、運動学、疾患について 【B 実技】体幹に関するROM、MMT、整形外科疾患検査、触診等
第2回	担当教員	清水 菜穂 一色 員子 澤 広太 上岡 尚代 【A 座学 → 実技】体幹に関する基礎知識の復習【清水】体幹に関する実技の復習【一色、上岡、澤】 【B 実技 → 座学】体幹に関する基礎知識の復習【清水】体幹に関する実技の復習【一色、上岡、澤】
	内容	【A 座学 → 実技】骨、筋の基礎、体幹の解剖学、運動学、疾患について、体幹に関するROM、MMT、整形外科疾患検査、触診等 【B 実技 → 座学】骨、筋の基礎、体幹の解剖学、運動学、疾患について、体幹に関するROM、MMT、整形外科疾患検査、触診等

第3回	担当 教員	清水 菜穂 一色 員子 澤 広太 上岡 尚代 【A 実技】 体幹に関する実技の復習【一色、上岡、澤】 【B 座学】 体幹に関する基礎知識の復習【清水】
	内容	【A 実技】 体幹に関するROM、MMT、整形外科疾患検査、触診 等 【B 座学】 骨、筋の基礎、体幹の解剖学、運動学、疾患について
第4回	担当 教員	一色 員子 清水 菜穂 澤 広太 上岡 尚代 【A 座学】 肩関節に関する基礎知識の復習【一色】 【B 実技】 肩関節に関する実技の復習【清水、上岡、澤】
	内容	【A 座学】 神経の伝導、肩関節の解剖学、運動学、疾患について 【B 実技】 肩関節に関するROM、MMT、整形外科疾患検査、触診 等
第5回	担当 教員	一色 員子 清水 菜穂 澤 広太 上岡 尚代 【A 座学 → 実技】 【B 実技 → 座学】 肩関節に関する基礎知識の復習【一色】 肩関節に関する実技の復習【清水、上岡、澤】
	内容	【A 座学 → 実技】 神経の伝導、肩関節の解剖学、運動学、疾患について、肩関節に関するROM、MMT、整形外科疾患検査、触診 等 【B 実技 → 座学】 神経の伝導、肩関節の解剖学、運動学、疾患について、肩関節に関するROM、MMT、整形外科疾患検査、触診 等
第6回	担当 教員	一色 員子 清水 菜穂 澤 広太 上岡 尚代 【A 実技】 肩関節に関する実技の復習【清水、上岡、澤】 【B 座学】 肩関節に関する基礎知識の復習【一色】
	内容	【A 実技】 肩関節に関するROM、MMT、整形外科疾患検査、触診 等 【B 座学】 神経の伝導、肩関節の解剖学、運動学、疾患について
第7回	担当 教員	一色 員子 清水 菜穂 澤 広太 上岡 尚代 【A 座学】 股関節に関する基礎知識の復習【一色】 【B 実技】 股関節に関する実技の復習【清水、上岡、澤】
	内容	【A 座学】 反射、バイオメカニクス、股関節の解剖学、運動学、疾患について 【B 実技】 股関節に関するROM、MMT、整形外科疾患検査、触診 等
第8回	担当 教員	一色 員子 清水 菜穂 澤 広太 上岡 尚代 【A 座学 → 実技】 【B 実技 → 座学】 股関節に関する基礎知識の復習【一色】 股関節に関する実技の復習【清水、上岡、澤】
	内容	【A 座学 → 実技】 反射、バイオメカニクス、股関節の解剖学、運動学、疾患について、股関節に関するROM、MMT、整形外科疾患検査、触診 等 【B 実技 → 座学】 反射、バイオメカニクス、股関節の解剖学、運動学、疾患について、股関節に関するROM、MMT、整形外科疾患検査、触診 等
		一色 員子

第9回	担当 教員	清水 菜穂 澤 広太 上岡 尚代 【A 実技】 股関節に関する実技の復習【清水、上岡、澤】 【B 座学】 股関節に関する基礎知識の復習【一色】
	内容	【A 実技】 股関節に関するROM、MMT、整形外科疾患検査、触診 等 【B 座学】 反射、バイオメカニクス、股関節の解剖学、運動学、疾患について
第10回	担当 教員	清水 菜穂 一色 員子 澤 広太 上岡 尚代 【A 座学】 膝関節に関する基礎知識の復習【清水】 【B 実技】 膝関節に関する実技の復習【一色、上岡、澤】
	内容	【A 座学】 歩行、膝関節の解剖学、運動学、疾患について 【B 実技】 膝関節に関するROM、MMT、整形外科疾患検査、触診 等
第11回	担当 教員	清水 菜穂 一色 員子 澤 広太 上岡 尚代 【A 座学 → 実技】 【B 実技 → 座学】 膝関節に関する基礎知識の復習【清水】 膝関節に関する実技の復習【一色、上岡、澤】
	内容	【A 座学 → 実技】 歩行、膝関節の解剖学、運動学、疾患について、膝関節に関するROM、MMT、整形外科疾患検査、触診 等 【B 実技 → 座学】 歩行、膝関節の解剖学、運動学、疾患について、膝関節に関するROM、MMT、整形外科疾患検査、触診 等
第12回	担当 教員	清水 菜穂 一色 員子 澤 広太 上岡 尚代 【A 実技】 膝関節に関する実技の復習【一色、上岡、澤】 【B 座学】 膝関節に関する基礎知識の復習【清水】
	内容	【A 実技】 膝関節に関するROM、MMT、整形外科疾患検査、触診 等 【B 座学】 歩行、膝関節の解剖学、運動学、疾患について
第13回	担当 教員	清水 菜穂 一色 員子 澤 広太 上岡 尚代 【A 座学】 足関節に関する基礎知識の復習【清水】 【B 実技】 足関節に関する実技の復習【一色、上岡、澤】
	内容	【A 座学】 末梢神経、足関節の解剖学、運動学、疾患について 【B 実技】 足関節に関するROM、MMT、整形外科疾患検査、触診 等
第14回	担当 教員	清水 菜穂 一色 員子 澤 広太 上岡 尚代 【A 座学 → 実技】 【B 実技 → 座学】 足関節に関する基礎知識の復習【清水】 足関節に関する実技の復習【一色、上岡、澤】
	内容	【A 座学 → 実技】 末梢神経、足関節の解剖学、運動学、疾患について、足関節に関するROM、MMT、整形外科疾患検査、触診 等 【B 実技 → 座学】 末梢神経、足関節の解剖学、運動学、疾患について、足関節に関するROM、MMT、整形外科疾患検査、触診 等
		清水 菜穂 一色 員子

第15回	担当 教員	澤 広太 上岡 尚代 【A 実技】 足関節に関する実技の復習【一色、上岡、澤】 【B 座学】 足関節に関する基礎知識の復習【清水】
	内容	【A 実技】 足関節に関するROM、MMT、整形外科疾患検査、触診 等 【B 座学】 末梢神経、足関節の解剖学、運動学、疾患について
第16回	担当 教員	清水 菜穂 一色 員子 澤 広太 上岡 尚代 【A 座学】 解剖学・生理学復習【清水】 【B 座学/実技】 解剖学・生理学・運動学復習、評価復習【一色、上岡、澤】
	内容	【A 座学】 呼吸器、循環器について 【B 座学/実技】 呼吸器、循環器について、上肢・体幹の解剖学、運動学、ROM、MMT等評価について
第17回	担当 教員	清水 菜穂 一色 員子 澤 広太 上岡 尚代 【A 座学】 解剖学・生理学復習【清水】、症例検討【清水、澤】 【B 座学/実技】 解剖学・生理学・運動学復習、評価復習【一色、上岡】
	内容	【A 座学】 呼吸器、循環器について、内部障害疾患のGroup Work 【B 座学/実技】 呼吸器、循環器について、上肢・体幹の解剖学、運動学、ROM、MMT等評価について
第18回	担当 教員	清水 菜穂 一色 員子 澤 広太 上岡 尚代 【A 座学】 症例検討【清水、澤】 【B 座学/実技】 解剖学・生理学・運動学復習、評価復習【一色、上岡】
	内容	【A 座学】 内部障害疾患のGroup Work 【B 座学/実技】 呼吸器、循環器について、上肢・体幹の解剖学、運動学、ROM、MMT等評価について
第19回	担当 教員	清水 菜穂 一色 員子 澤 広太 上岡 尚代 【A 実技】 症例検討【清水、澤】 【B 座学/実技】 解剖学・生理学・運動学復習、評価復習【一色、上岡】
	内容	【A 実技】 内部障害疾患に対する評価の復習 【B 座学/実技】 呼吸器、循環器について、上肢・体幹の解剖学、運動学、ROM、MMT等評価について
第20回	担当 教員	一色 員子 上岡 尚代 清水 菜穂 澤 広太 【A】 【B】 実技確認、指導
	内容	【A 実技確認】 内部疾患に対するOSCE 【B 実技確認】 上肢、体幹の評価
第21回	担当 教員	清水 菜穂 一色 員子 澤 広太 上岡 尚代 【A 座学】 解剖学・生理学復習【澤】

		【B 座学/実技】解剖学・生理学・運動学復習、評価復習【一色、上岡、清水】
	内容	【A 座学】中枢神経、感覚、排泄について 【B 座学/実技】中枢神経、感覚、排泄について、下肢の解剖学、運動学、ROM、MMT等評価について
第22回	担当 教員	清水 菜穂 一色 員子 澤 広太 上岡 尚代 【A 座学】解剖学・生理学復習【澤】 【B 座学/実技】解剖学・生理学・運動学復習、評価復習【一色、上岡、清水】
	内容	【A 座学】中枢神経、感覚、排泄について 【B 座学/実技】中枢神経、感覚、排泄について、下肢の解剖学、運動学、ROM、MMT等評価について
第23回	担当 教員	清水 菜穂 一色 員子 澤 広太 上岡 尚代 【A 座学】症例検討【澤、上岡】 【B 座学/実技】解剖学・生理学・運動学復習、評価復習【一色、清水】
	内容	【A 実技】中枢疾患に対する評価の復習 【B 座学/実技】中枢神経、感覚、排泄について、下肢の解剖学、運動学、ROM、MMT等評価について
第24回	担当 教員	清水 菜穂 一色 員子 澤 広太 上岡 尚代 【A 座学】症例検討【澤、上岡】 【B 座学/実技】解剖学・生理学・運動学復習、評価復習【一色、清水】
	内容	【A 座学】中枢疾患に対する評価の復習 【B 座学/実技】中枢神経、感覚、排泄について、下肢の解剖学、運動学、ROM、MMT等評価について
第25回	担当 教員	清水 菜穂 一色 員子 澤 広太 上岡 尚代 【A 実技】症例検討【澤、上岡】 【B 座学/実技】解剖学・生理学・運動学復習、評価復習【一色、清水】
	内容	【A 実技】中枢疾患に対する評価の復習 【B 座学/実技】中枢神経、感覚、排泄について、下肢の解剖学、運動学、ROM、MMT等評価について
第26回	担当 教員	一色 員子 上岡 尚代 清水 菜穂 澤 広太 【A】 【B】 実技確認、指導
	内容	【A 実技確認】中枢疾患に対するOSCE 【B 実技確認】下肢の評価
第27回	担当 教員	清水 菜穂 上岡 尚代 【A 座学】解剖学・生理学復習【上岡】 【B 座学】解剖学・生理学復習【清水】
	内容	【AB 座学】消化器、代謝
		清水 菜穂

第28回	担当 教員	一色 員子 澤 広太 上岡 尚代 【A 座学】 解剖学・生理学復習【上岡】、症例検討【上岡、一色】 【B 座学】 解剖学・生理学復習【清水】、症例検討【清水、澤】
	内容	【A 座学】 消化器、代謝について、整形疾患のGroup Work 【B 座学】 消化器、代謝について、整形疾患のGroup Work
第29回	担当 教員	清水 菜穂 一色 員子 澤 広太 上岡 尚代 【A 実技】 症例検討【上岡、一色】 【B 実技】 症例検討【清水、澤】
	内容	【A 実技】 整形疾患の評価の復習 【B 実技】 整形障害疾患の評価の復習
第30回	担当 教員	一色 員子 上岡 尚代 清水 菜穂 澤 広太 【A】 【B】 実技試験
	内容	【AB 実技試験】 整形疾患に対するOSCE

評価方法

・前期・後期定期試験（筆記40%、実技40%）と小テスト20%によって判定する。

教科書

・PT・OT基礎固め ヒント式トレーニング 基礎医学編 改訂第2版、ヒントレ研究所、4,180円

参考書

【解剖学】

・PT・OT解剖学（第4版） 奈良勲・鎌倉矩子監修 医学書院 6,000円

【生理学】

・人体の構造と機能（第4版）、エレインNマリーブ著、林正健二訳、医学書院、5,200円

【運動学】

・エッセンシャル・キネシオロジー（原書第2版）、Paul Jackson Mansfield、Donald A. Neumann 著、南江堂、5,200円

【評価学】

・理学療法評価学 改訂第6版 松澤 正 著 金原出版 6,200円

【神経系理学療法】

・PT・OTビジュアルテキスト 神経障害理学療法学 第1版 潮見 泰藏 羊土社 5,000円

・理学療法士・作業療法士のためのできる！ADL練習 山崎裕司 南江堂 3,800円

【整形外科系理学療法】

・15レクチャーシリーズ 理学療法テキスト 「運動器障害理学療法学I」 石川朗・川村廣幸、中山書店、2,400円

・15レクチャーシリーズ 理学療法テキスト 「運動器障害理学療法学II」 石川朗・川村廣幸、中山書店、2,400円

・『標準整形外科学』 第14版、井樋栄二・吉川秀樹・津村弘・田中栄・高木理彰、医学書院、10,340円

・『運動器疾患の機能解剖学に基づく評価と解釈 上肢編』 林典雄、運動と医学の出版社、5,000円

『運動器疾患の機能解剖学に基づく評価と解釈 下肢編』 林典雄、運動と医学の出版社、5,000円

【内部障害系理学療法】

・理学療法テキスト、「内部障害理学療法学 循環・代謝」、石川朗編、中山書店、2,600円

・理学療法テキスト、「内部障害理学療法学 呼吸」、石川朗編、中山書店、2,600円

・シンプル理学療法学シリーズ『内部障害理学療法学テキスト』 山崎裕司、川俣幹雄、丸岡

弘、南江堂、5,000円

- ・『リハビリテーションのためのぱっとみてわかる心電図』丸岡弘、中山書店、2,800円

オフィスアワー

- ・月曜日3限、木曜日1限

実務経験の有無

- ・有

その他

A : 20000台、21001～21050

B : 21050～21101

- ・基本的に教科書、参考書を中心に実施する。必要に応じて配布資料にて行う。

講義コード	5205301
講義名	スポーツ障害理学療法学演習
(副題)	
講義開講時期	後期
講義区分	演習
基準単位数	1
時間	30.00
対象学年	3
必修/選択	選択

担当教員

氏名
桑井 太陽
上岡 尚代

総合学習目標

スポーツ外傷・障害を抱えるアスリートに対し、その外傷・障害を克服させて最終的にパフォーマンスアップを図っていく中で、理学療法士を始めアスレティックトレーナーや鍼灸師、柔道整復師など様々な職種の者が関与していることが現状である。その中で、我々理学療法士がその知識と技術を生かしてどのようにアスリート達と関わっていくか、その役割を理解することが本授業の目標となる。(理学療法学科DP2-②に該当する)

個別学習目標

- 1) スポーツ外傷・障害を抱えるアスリートに対して、理学療法士がどのように関わっていくか？その役割と評価、介入についてを学習する。
- 2) 各部位ごとの代表的なスポーツ外傷・障害を紹介し、具体的にどのように評価をして治療を実施していくかを学習する。
- 3) テーピングやインソール、トレーニング方法などの紹介も適宜行い、様々アプローチ方法があることを学習する。

準備学修

メディカルリハビリテーション・アスレティックリハビリテーションの違いを予習しておく。
肩・腰・膝で多いスポーツ外傷・障害を予習しておく。
前期で履修した整形外科系障害理学療法学演習がベースとなるので、授業内容を復習しておく。

授業計画

第1回	担当教員	桑井 太陽 上岡 尚代 Introduction :
	内容	スポーツ傷害・障害とは何かを理解する。 メディカルリハビリテーションとアスレティックリハビリテーションとはどのような違いがあるのかを理解する。 理学療法士としてアスリートに対しどのような関わり方をするのが最適かを考える。 実技を行う際のペア・グループを作る。グループはA～F班(計6班)を作る。
	担当	桑井 太陽 上岡 尚代

第2回	教員	反復収縮とストレッチングについて（実技）：
	内容	理学療法士のコンディショニングでは反復収縮とストレッチングを多用する。そのため、これらの理論を紹介するとともに実際に実技にて体験をし、次回以降の各論における治療実技に繋げる。 【実技指導担当】 A~C班：桑井 D~F班：上岡
第3回	担当教員	桑井 太陽 上岡 尚代 肩関節周囲のスポーツ外傷と障害①（講義・実技）：
	内容	オーバーヘッドスポーツにおける外傷・障害について、その発生メカニズムと病態を理解する。 【実技指導担当】 A~C班：桑井 D~F班：上岡
第4回	担当教員	桑井 太陽 上岡 尚代 肩関節周囲のスポーツ外傷と障害②（実技）：
	内容	オーバーヘッドスポーツにおける外傷・障害に対する評価および治療を紹介し、実技にてその方法を学習する。 【実技指導担当】 A~C班：桑井 D~F班：上岡
第5回	担当教員	桑井 太陽 上岡 尚代 肩関節周囲のスポーツ外傷と障害③（実技）：
	内容	Quadrilateral Spaceをエコーにて観察する。（小円筋・上腕三頭筋長頭・大円筋） 【実技指導担当】 A~C班：桑井 D~F班：上岡
第6回	担当教員	桑井 太陽 上岡 尚代 腰部周囲のスポーツ外傷と障害①（講義・実技）：
	内容	アスリートが多く抱える腰痛の種類を紹介し、その発生メカニズムと病態を理解する。 【実技指導担当】 A~C班：桑井 D~F班：上岡
第7回	担当教員	桑井 太陽 上岡 尚代 腰部周囲のスポーツ外傷と障害②（実技）：
	内容	アスリートが多く抱える腰痛に対する評価および治療を紹介し、実技にてその方法を学習する。 【実技指導担当】 A~C班：桑井 D~F班：上岡
第8回	担当教員	桑井 太陽 上岡 尚代 膝関節周囲のスポーツ外傷と障害①（講義・実技）：
	内容	ACL損傷や半月板損傷、ジャンパー膝などの膝関節疾患を紹介し、その発生メカニズムと病態を理解する。 【実技指導担当】 A~C班：上岡 D~F班：桑井

第9回	担当教員	桑井 太陽 上岡 尚代 膝関節周囲のスポーツ外傷と障害②（実技）：
	内容	ACL損傷や半月板損傷、ジャンパー膝などの膝関節疾患に対する評価および治療を紹介し、実技にてその方法を学習する。 【実技指導担当】 A~C班：上岡 D~F班：桑井
第10回	担当教員	桑井 太陽 上岡 尚代 膝関節周囲のスポーツ外傷と障害③（実技）：
	内容	ジャンパー膝・鷲足炎・腸脛靭帯炎・肉ばなれで損傷する部位をエコーにて観察する。 【実技指導担当】 A~C班：上岡 D~F班：桑井
第11回	担当教員	桑井 太陽 上岡 尚代 足関節周囲のスポーツ外傷と障害①（講義・実技）：
	内容	足関節捻挫や足根洞症候群、足関節インピンジメントなどの足関節疾患を紹介し、その発生メカニズムと病態を理解する。 【実技指導担当】 A~C班：上岡 D~F班：桑井
第12回	担当教員	桑井 太陽 上岡 尚代 足関節周囲のスポーツ外傷と障害②（実技）：
	内容	足関節捻挫や足根洞症候群、足関節インピンジメントなどの足関節疾患に対する評価および治療を紹介し、実技にてその方法を学習する。 【実技指導担当】 A~C班：上岡 D~F班：桑井
第13回	担当教員	桑井 太陽 上岡 尚代 足関節周囲のスポーツ外傷と障害③（実技）：
	内容	足関節捻挫で損傷が好発する前距腓靭帯や炎症が起きやすいアキレス腱付着部をエコーにて観察する。 【実技指導担当】 A~C班：上岡 D~F班：桑井
第14回	担当教員	桑井 太陽 上岡 尚代 足関節周囲のスポーツ外傷と障害④（実技）：
	内容	足関節捻挫に対するテーピングの練習 【実技指導担当】 A~C班：上岡 D~F班：桑井
第15回	担当教員	桑井 太陽 上岡 尚代 足関節周囲のスポーツ外傷と障害⑤（実技）：
	内容	足関節捻挫に対するテーピングの練習 【実技指導担当】 A~C班：上岡 D~F班：桑井

評価方法

定期試験70%、実技試験30%で評価する。

定期試験は授業内容から出題する。

実技試験はテーピングを実施する。各項目ごとに採点をし、合計30点満点となるよう評価する。

- ・アンダーラップ
- ・アンカーテープ
- ・ホースシュー
- ・過回内制動テープ
- ・スターアップ
- ・フィギュアエイト
- ・ヒールロック
- ・サーキュラー
- ・かかった時間
- ・シワ・ほつれの有無
- ・固定性

教科書

指定無し

参考書

『スポーツ外傷・障害に対する術後のリハビリテーション改訂第3版』 園部俊晴・他、運動と医学の出版社 定価 7,150円

『結果の出せる整形外科理学療法-運動連鎖から全身をみる』 山口光圀・他、メジカルビュー 定価 8,250円

『評価から治療手技の選択』 丸山仁司・他、文光堂 定価 5,500円

『公益財団法人日本体育協会 公認スポーツ指導者養成関係テキスト 第7巻アスレティックリハビリテーション』 公益財団法人日本スポーツ協会 定価 3,200円

オフィスアワー

後期・火曜日・2限目

実務経験の有無

有り

その他

・選択科目のため、スポーツ理学療法分野に興味があり、運動器分野に就職を考えている学生に履修が好ましい。(専門的な授業となるため、より高い知識・技術を要する。)

・実技の際は、運動ができる服装で参加すること

(基本は半袖・短パン、寒い日はジャージなどが好ましい)

・グループは履修者及び人数が確認できしだい学籍番号順にA~F班(計6班)を作成する

・実技はグループ内でペアを交代しながら実施する

・テーピングの練習の際には事前にテーピングを購入する。

(目安はホワイトテープ8本(1箱)・アンダーラップ2本)

講義コード	5205401
講義名	生活環境学
(副題)	
講義開講時期	前期後半
講義区分	講義
基準単位数	1
時間	15.00
対象学年	3
必修/選択	必修

担当教員

氏名
中村 浩

総合学習目標

1. 障害を生活機能低下（生活障害）として考える能力を養う。
2. 障害者が自立して生活する場面で、彼らを取り巻く生活環境がどのようなバリアとして現れるか、多角的な見方ができる能力を養う。
3. 生活環境に関する社会的制度や施策の現状を理解する。
4. 理学療法学科DP1～3に該当する。

個別学習目標

1. ICFの概念より生活障害者のADL状況とそのアプローチを説明できる。
2. 生活環境と福祉施策の概要を説明できる。
3. 福祉住環境整備の基本事項について説明し、その実践について理解できる。
4. 在宅生活における福祉用具の活用について説明できる。

準備学修

1. 国際障害分類（ICIDH）と国際機能分類（ICF）、高齢者の整形外科疾患（大腿骨頸部骨折、変形性ひざ関節症他）や脳卒中片麻痺のADL状況（トイレ、入浴、移動、外出他）について復習する（60分）。

授業計画

第1回	担当教員	中村 浩 オリエンテーション、生活環境学の考え方（1章）、日本における生活環境の特徴と課題（2章）
	内容	障害の捉え方（ICIDHとICFの概念）、リハビリシーンと生活支援、高齢者・障害者を取り巻く社会状況と住環境
第2回	担当教員	中村 浩 生活環境整備に関する法的制度（3章）、生活環境整備の進め方（4章）
	内容	介護保険制度の概要と改正、障害者福祉施策の概要、生活環境整備のプロセス
第3回	担当教員	中村 浩 生活環境整備の基礎①（5章）、生活環境整備の基礎②（6章）、生活環境整備
	内容	生活環境整備における段差、スペース、床材、手すり、建具の環境整備
	担	

第4回	当 教 員	中村 浩 生活環境整備の実際（7～12章）
	内 容	生活環境整備における、玄関・アプローチ、廊下・階段、トイレ、浴室・脱衣室、台所・食堂、居間・寝室の環境整備、生活環境整備の調査（グループワーク）
第5回	担 当 教 員	中村 浩 生活環境整備の実際（14章、運動器障害）
	内 容	仮想THAの生活環境を考える（トイレ、入浴、移動動作）【課題1】（ディスカッション）
第6回	担 当 教 員	中村 浩 在宅生活における福祉用具の活用（15章）
	内 容	福祉用具の意味と適用、ADLと福祉用具の活用、【課題2】（ディスカッション）
第7回	担 当 教 員	中村 浩 生活環境整備の実際（13章、中枢神経障害）
	内 容	住宅図面の作成、CVA（二世帯同居）の生活環境、【課題3】（ディスカッション）
第8回	担 当 教 員	中村 浩 生活環境整備の総括
	内 容	家屋改修の実際、トイレ・入浴動作、移動動作、外出【発表と総評】

評価方法

定期試験60点（60%）、授業内課題および発表40点（40%）、合計100点（100%）で評価する。

教科書

1. 生活環境学テキスト（改訂第2版）、細田多穂監修、南江堂、3, 800円

参考書

1. 福祉住環境コーディネーター検定試験2級公式テキスト（改訂5版）、東京商工会議所編、4, 500円
2. 生活環境論、木村哲彦監修、医歯薬出版、7, 140円

オフィスアワー

月曜日3, 4限、512研究室、その他質問や相談がある場合は、メールアドレス：h-nakamura@ryotokuji-u.ac.jp に連絡する。

実務経験の有無

有

その他

授業内容と評価方法他の詳細は、第1回オリエンテーションで説明する。

講義コード	5205501
講義名	医学論文（英文）
(副題)	
講義開講時期	後期
講義区分	演習
基準単位数	1
時間	30.00
対象学年	3
必修/選択	選択

担当教員

氏名
中村 浩

総合学習目標

1. リハビリテーション医学・医療に関連する情報および論文より広く開かれた世界のリハビリテーション、特に理学療法状況を把握し、医学・医療関係論文（邦文・英文）の抄読と発表を通して理学療法介入に対する考察を深める。
2. 理学療法学科DP1～4に該当する。

個別学習目標

1. リハビリテーション医学・医療に関連する用語（略語、疾患名、筋名他）を活用することができる。
2. 医学論文のインターネット活用による情報検索を行うことができる。
3. EBPTにおけるPICOの概念を理解が理解できる。
4. 理学療法ガイドライン（肩関節周囲炎、変形性膝関節症、身体的虚弱・高齢者）の概要を理解できる。

準備学修

1. 医療情報および医学用語についてインターネット情報検索サイトより情報を収集する（30分）。
2. 学習ツール（Word、Excel、PowerPoint他）およびインターネット操作活用能力（Google Classroom他）について復習する（30分）。

授業計画

第1回	担当教員	中村 浩 オリエンテーション：
	内容	医療情報学の捉えた、医学英語とのかかわり方
第2回	担当教員	中村 浩 世界の理学療法：
	内容	世界の理学療法の臨床と教育制度、WCPT、理学療法士の社会貢献
第3回	担当教員	中村 浩 リハビリテーション医学用語（1）：
	内容	整形外科系、中枢神経系、運動生理系の医学用語、略語の活用
第4回	担当教員	中村 浩 リハビリテーション医学用語（2）：
	内容	運動の英語表現、臨床で使われる医学英語の活用
第5回	担当教員	中村 浩 リハビリテーション医学用語（3）：
	内容	関節名、筋名、靭帯名の活用

第6回	担当教員	中村 浩 医療情報および医学論文の検索と収集：
	内容	インターネットによる医学論文の収集と医療情報他ツール（Google翻訳他）の活用
第7回	担当教員	中村 浩 理学療法ガイドライン論文の抄読 # 1（1）：
	内容	# 1 肩関節周囲炎の論文（評価および介入）の収集と抄読
第8回	担当教員	中村 浩 理学療法ガイドライン論文の抄読 # 1（2）：
	内容	# 1 肩関節周囲炎の論文（評価および介入）の抄読と発表資料の作成
第9回	担当教員	中村 浩 理学療法ガイドライン論文の抄読 # 2（1）：
	内容	# 2 変形性膝関節症の論文（評価および介入）の収集と抄読
第10回	担当教員	中村 浩 理学療法ガイドライン論文の抄読 # 2（2）：
	内容	# 2 変形性膝関節症の論文（評価および介入）の抄読と発表資料の作成
第11回	担当教員	中村 浩 理学療法ガイドライン論文の抄読 # 3（1）：
	内容	# 3 身体的虚弱（高齢者）論文（評価および介入）の収集と抄読
第12回	担当教員	中村 浩 理学療法ガイドライン論文の抄読 # 3（2）：
	内容	# 3 身体的虚弱（高齢者）論文（評価および介入）の抄読と発表資料の作成
第13回	担当教員	中村 浩 抄読論文の発表（1）：
	内容	# 1 肩関節周囲炎論文の抄読発表と質疑応答
第14回	担当教員	中村 浩 抄読論文の発表（2）：
	内容	# 2 変形性膝関節症論文の抄読発表と質疑応答
第15回	担当教員	中村 浩 抄読論文の発表（3）：
	内容	# 3 身体的虚弱（高齢者）論文の抄読発表と質疑応答

評価方法

定期試験50点（50%）、論文抄読および発表50点（50%）、合計100点（100%）で評価する。

教科書

1. 適宜資料（プリント、PDF）を配布する。

参考書

1. リハビリテーション医学用語集、リハビリテーション医学会編、文光堂、3、240円

オフィスアワー

月曜日3,4限、512研究室、その他質問や相談がある場合は、メールアドレス：
h-nakamura@ryotokuji-u.ac.jp に連絡する。

実務経験の有無

有

その他

授業内容と評価方法他の詳細は、第1回オリエンテーションで説明する。

講義コード	5208301
講義名	義肢装具学
(副題)	
講義開講時期	後期
講義区分	講義
基準単位数	1
時間	30.00
対象学年	2
必修/選択	必修

担当教員

氏名
清水 菜穂

総合学習目標

1. 義肢装具の基本となる理論・力学特性などを理解し、義肢装具の名称・定義・機能について知るとともに疾患に対する装具適応とその処方を理解できる。
2. 理学療法学科DP1-①

個別学習目標

- ① 義肢・装具の対象疾患と適応症状について説明できる。
- ② 義肢装具の種類と特徴（理論・力学的特性など）について理解できる。
- ③ 義肢装具療法の目的・効果が説明できる。

授業計画

第1回	担当教員	清水 菜穂 オリエンテーション・義肢装具学習に必要な基礎知識【清水】
	内容	<ul style="list-style-type: none"> ・装具の基礎知識 ・装具療法の目的 ・装具の分類 復習予習10分、授業まとめ10分、本講義70分
第2回	担当教員	清水 菜穂 上肢装具①、バイオメカニクス【清水】
	内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ベクトルの基礎 ・上肢の解剖学、運動学 ・上肢装具の目的、指、肘、肩関節装具（疾患別） 復習予習10分、授業まとめ10分、本講義70分
第3回	担当教員	清水 菜穂 上肢装具②【清水】
	内容	<ul style="list-style-type: none"> ・末梢神経損傷の病態 ・手（末梢神経損傷）装具について 復習予習10分、授業まとめ10分、本講義70分
第4回	担当教員	清水 菜穂 下肢装具総論①、バイオメカニクス【清水】
	内容	<ul style="list-style-type: none"> ・モーメントの基礎 ・長下肢装具の構成要素

		復習予習10分、授業まとめ10分、本講義70分
第5回	担当教員	清水 菜穂 下肢装具総論②【清水】
	内容	・立位・歩行のバイオメカニクス（復習） ・足継手の種類と特徴 復習予習10分、授業まとめ10分、本講義70分
第6回	担当教員	清水 菜穂 股・膝装具、バイオメカニクス【清水】
	内容	・床反力の基礎 ・股・膝装具（疾患別） 復習予習10分、授業まとめ10分、本講義70分
第7回	担当教員	清水 菜穂 長下肢装具【清水】
	内容	・対麻痺の病態 ・長下肢装具の目的、種類（疾患別） 復習予習10分、授業まとめ10分、本講義70分
第8回	担当教員	清水 菜穂 短下肢装具【清水】
	内容	・片麻痺、膝折れ、反張膝の病態 ・短下肢装具の目的、種類（疾患別） 復習予習10分、授業まとめ10分、本講義70分
第9回	担当教員	清水 菜穂 小テスト・解説【清水】
	内容	・1-8回までの小テスト、解説
第10回	担当教員	清水 菜穂 足部（靴型）装具【清水】
	内容	・足関節、足部疾患の病態 ・靴型装具（疾患別） 復習予習10分、授業まとめ10分、本講義70分
第11回	担当教員	清水 菜穂 体幹装具①【清水】
	内容	・腰部疾患の病態 ・体幹装具の目的 ・腰仙椎装具（疾患別） 復習予習10分、授業まとめ10分、本講義70分
第12回	担当教員	清水 菜穂 体幹装具②【清水】
	内容	・頸部～胸部疾患の病態 ・頸椎～胸腰椎装具（疾患別） 復習予習10分、授業まとめ10分、本講義70分
第13回	担当教員	清水 菜穂 疾患別装具＜整形外科疾患＞【清水】
	内容	・鎖骨骨折、腱板断裂・損傷、膝関節靭帯損傷、側弯症の病態 ・整形外科疾患適応装具（疾患別）

		復習予習10分、授業まとめ10分、本講義70分
第14回	担当教員	清水 菜穂 疾患別装具<小児疾患>【清水】
	内容	・先天性股関節脱臼、ペルテス病、先天性内反足、脳性麻痺の病態 ・小児用装具（疾患別） 復習予習10分、授業まとめ10分、本講義70分
第15回	担当教員	清水 菜穂 総まとめ、復習【清水】
	内容	総まとめ、復習

評価方法

小テスト（20%）、筆記試験（80%）により評価する。
再試験：筆記試験（100%）により評価する。

出欠席に関しては、開始時の点呼および終了時の小テストの双方をもって出席とする。

教科書

高田治実 監修：『PT・OTビジュアルテキスト 義肢・装具学』第1版，羊土社，6，800円

必要によりテキスト以外の講義資料を配付する。

参考書

日本義肢装具学会 監修：『装具学』，医歯薬出版，6，200円

オフィスアワー

- ・月曜日3限
- ・木曜日1限

実務経験の有無

担当教員実務経験の有無，有

講義コード	5208401
講義名	理学療法カウンセリング
(副題)	
講義開講時期	前期
講義区分	演習
基準単位数	2
時間	30.00
対象学年	2
必修/選択	選択

担当教員

氏名
加藤 宗規

総合学習目標

1. 理学療法の実施にあたり、動機付けや、効率的な動作学習をするための理論と実践方法としての「応用行動分析学」を理解する。
2. 理学療法の実施にあたり、適切な接遇を実施するための知識と基本技術を理解する。

理学療法学科DP-2

個別学習目標

1. 理学療法を実施するうえで、プログラムを最適なプログラムを考案すれば最高の効果を得ることができるわけではなく、理学療法の特性上、「いかに運動を（続けて）やってもらうか」、「いかに動作を覚えてできるように教えるか」という別の視点が必要であることを理解する。
2. 「やってもらう」、「できるように教えるか」について現状を分析し、介入を計画していくひとつの手法としての、応用行動分析学の基礎的な原理を理解するとともに、演習によって理解を深める。
3. 応用行動分析学に基づいて、さまざまな状況の事例に対する分析と介入を理解するとともに、演習によって実践的理解を深める。
4. リハビリテーション、理学療法を実践する以前に、基本的な接遇について、演習によって理解する。
5. リハビリテーション、理学療法場面を想定した接遇について、演習によって理解する。

準備学修

適宜、課題を含め、必要な予習や復習を提示する。

授業計画

第1回	担当教員	加藤 宗規 リハビリテーションと医学モデルの限界 ～なぜ行動モデルが必要なのか～
	内容	実践してもらえない運動療法、ADL訓練の現状、行動分析学の導入 [テキスト1～9] AL:B 理学療法効果を挙げるために苦慮することは？
第2回	担当教員	加藤 宗規 行動モデルとしての応用行動分析学①
	内容	応用行動分析学の特徴① 応用行動分析とは [テキスト10～16] AL:B 身の回りの行動を先行刺激・行動・後続刺激に分けて分析してみる
3	担当教員	加藤 宗規 行動モデルとしての応用行動分析学②
		応用行動分析学の基礎②

第 回	内容	行動の法則性を学ぶ [テキスト17~23] AL:B 例に挙げた説明について、後続刺激の機能は強化・弱化・消去のいずれにあたるか？
第4回	担当 教員	加藤 宗規 行動モデルとしての応用行動分析学③
	内容	行動に働きかける(1) 行動に焦点を絞る AL:B 行動を課題分析して、さらにチェイニング・チェイニングを企画する
第5回	担当 教員	加藤 宗規 行動モデルとしての応用行動分析学③
	内容	行動に働きかける(2) [テキスト30~40] 先行刺激の整備・後続刺激の整備 AL:B 先行刺激と後続刺激の例を挙げる
第6回	担当 教員	加藤 宗規 行動モデルとしての応用行動分析学③
	内容	行動に働きかける(3) 感情的反応への対応、不適切な行動への対応 [テキスト41~48] AL:B 理学療法における見通しがある・ない状況を想定する。
第7回	担当 教員	加藤 宗規 理学療法における応用行動分析の活用①
	内容	うまくいかない場合の原因分析（先行刺激・技術・後続刺激の問題、身体機能の問題か行動の問題か） [テキスト50~57] AL:B 失敗が与える影響
第8回	担当 教員	加藤 宗規 理学療法における応用行動分析の活用② 運動療法の効果を最大限に引き出す方法①
	内容	事例における行動問題の分析 [テキスト58~62] 運動療法場面の行動分析 [テキスト63~67] AL:B 運動療法効果を挙げるうえでの問題点
第9回	担当 教員	加藤 宗規 運動療法効果を最大限に引き出す方法②
	内容	運動療法への介入・介入効果 [テキスト68~87] AL:B 片麻痺患者の理学療法に必要な標準値
第10回	担当 教員	加藤 宗規 ADL訓練の効果を最大限に引き出す方法①
	内容	ADL訓練場面の行動分析、ADL訓練の原則、ADL訓練への介入 [テキスト88~109] AL:B 移乗動作への介入を考案する
第11回	担当 教員	加藤 宗規 ADL訓練の効果を最大限に引き出す方法①
	内容	ADL訓練場面の行動分析、ADL訓練の原則、ADL訓練への介入 [テキスト88~109] AL:B 移乗動作への介入を考案する
第12回	担当 教員	加藤 宗規 リハビリテーションと接遇①
	内容	リハビリテーションサービスを提供するにあたり、基本となる接遇の原則（身だしなみ、挨拶など）
第13回	担当 教員	加藤 宗規 リハビリテーションと接遇②
	内容	尊敬語と謙譲語
	担当	加藤 宗規

第14回	教員	リハビリテーションと接遇③
	内容	リハビリテーション場面での接遇
第15回	担当 教員	加藤 宗規 授業のまとめ
	内容	リハビリテーションと応用行動分析学、接遇

評価方法

授業中の課題30%、筆記試験70%

教科書

リハビリテーション効果を最大限に引き出すコツ（第3版） 山崎裕司、山本淳一編集 三輪書店(加藤宗規担当分では必ず持参)

そのほかは、講義毎に資料を配布予定

参考書

必要に応じて講義毎に資料を配布予定

オフィスアワー

加藤宗規 [水曜日1限目：メールは随時mu-kato@ryotokuji-u.ac.jp]

実務経験の有無

あり

その他

授業中の演習では教科書に書き込みを行うため、新しい書籍を準備すること。

講義コード	5290199
講義名	臨床教育実習I
(副題)	(2019年度入学生用)
講義開講時期	後期
講義区分	実習
基準単位数	3
時間	135.00
対象学年	3
必修/選択	必修

担当教員

氏名
中村 浩
加藤 宗規
山之口 美喜生
盆子原 秀三
武内 朗
山田 洋一
平野 正広
荒巻 英文
兔澤 良輔
清水 菜穂
荒井 沙織
一色 員子
石井 成美
澤 広太
上岡 尚代

総合学習目標

DP 1～4

臨床教育指導者の指導・監督のもとで、画像診断など医療的な情報を基に関節疾患や運動麻痺などの臨床症状を観察すること。さらに基本的な理学療法評価の手順を組み立て、問題点の抽出を行うことで理学療法評価を理解すること。学内で習得した検査測定技術だけでは困難を有する場面での工夫や対象者と接することでの気づきを通しての医療人としての適性を高める一助とすること。

個別学習目標

医療現場にふさわしい身だしなみや接遇、および対象者、指導者や他の職員との適切なコミュニケーションについて指導者を手本として理解し、基本的態度が実施できることを目標とする。

指導者が行う理学療法過程について、見学と指導者による説明・指導により理解する。また、基本的態度以外に関しては、状況が許すならば体験することによって身につけることを目標とする。

- ①理学療法評価に必要な他部門情報の収集について理解する。
- ②必要な理学療法評価項目、検査・測定方法の選択を理解する。
- ③評価を実施するにあたってのオリエンテーションの実施を理解する。
- ④可能であるならば選択した評価の模倣と実施を体験する。
- ⑤評価結果からの問題点を抽出、抽出した問題点の統合と解釈について理解する。

- ⑥学生として必要な記録と報告ができる。
- ⑦医療専門職として責任ある言動ができる。

授業計画

第1回	担当 教員	中村 浩
	内容	<p>3週間の学外での臨床教育実習を実施する。 実習期間中は臨床教育実習指導者の指導・監督の下で実習を行う。</p> <p><内容> 3週間の実習期間によって、上記の個別学習目標が達成できるような実習を行う。</p> <p>担当者：盆子原 秀三、加藤 宗規、山之口 美喜生、武内 朗、中村 浩、山田 洋一、上岡 尚代、荒巻 英文、平野 正広、一色 員子、兎澤 良輔、清水 菜穂、荒井 沙織、石井 成美、澤 広太</p>

評価方法

- ①上記の「個別学習目標」に従って実習前及び終了後に行う筆記試験とレポートによって評価する。必要に応じて実習前の講義をおこなうので出席すること。
- ②筆記試験（70%）と実技試験（30%）の両方において6割以上の得点をした者を合格とする。
- ③自己都合による実習の欠席は原則認めない。特に正当な理由のない無断欠席等に対しては実習を途中で中止させ出欠日数のいかにかわらず当該実習の評価は行わないことがある。病気等やむを得ない理由でも5分の1以上の欠席がある場合は評価の対象とはならない（大学の公欠規程に準ずる）。
- ④実習前オリエンテーションを無断欠席した者は実習を始めることができない。
- ⑤学外実習より帰校しラップアップミーティングへの出席をもって学外実習修了とし評価対象とする。
- ⑥その他、適宜配布資料他で連絡した内容によって変更する場合がありますので注意すること。

教科書

- ・特に定めない

参考書

- ・作業療法士・理学療法士臨床実習ガイドブック 京極真、鈴木 憲雄(編著) 誠信書房 978-4414802030
- ・運動療法のための機能解剖学的触診技術 『上肢』 『下肢・体幹』 林 典雄(著) メジカルビュー社 978-4758311366
- ・カパンジー機能解剖学 『I 上肢』 『II 下肢』 『III 椎・体幹・頭部』 A.I.Kapandji(著) 医歯薬出版 978-4263211816

実務経験の有無

担当者全員が有

その他

- ・「基礎臨床医学科目」の卒業必修単位を全て取得していることが履修条件である。
- ・オリエンテーション・ラップアップミーティングは、3年次学年担当である中村、平野、荒井が担当する。
- ・実習施設訪問ならびに実技試験は、盆子原、加藤、武内、中村、山田、荒巻、平野、一色、源、兎澤、町田、清水、荒井、石井、澤が担当する。
- ・実習調整担当者は、盆子原、加藤、中村が担当する。

講義コード	5290201
講義名	臨床教育実習II（前期）
(副題)	
講義開講時期	通年
講義区分	実習
基準単位数	10
時間	450.00
対象学年	4
必修/選択	必修

担当教員

氏名

盆子原 秀三

加藤 宗規

山之口 美喜生

中村 浩

武内 朗

山田 洋一

平野 正広

荒巻 英文

兔澤 良輔

清水 菜穂

荒井 沙織

一色 員子

上岡 尚代

総合学習目標

DP 1～4

学内で学んだ医学基礎・臨床科目、理学療法専門科目の知識・技術と臨床教育実習Iで理解・経験した内容を基盤に、実習施設における理学療法の目的と過程を理解し学ぶことである。基本的な理学療法評価、問題点の抽出、目標設定、治療計画の設定、治療について臨床教育実習指導者の実践を見学し、説明を受けて理解する。それに加え、臨床教育実習指導者とディスカッションすることによって臨床的思考を体験し、理解する。また、医療専門職としての適性を高めることも目標の一つである。

個別学習目標

臨床教育実習Iの到達目標に加えて、以下の項目について見学・模倣・実施を経験することを目標とする。

- ①対象者に理学療法の方針と方法を説明し、同意を得ることができるよう理解を深める。
- ②理学療法を正しく実施できるよう理解を深める。
- ③理学療法の実施に伴うリスク管理ができるよう理解を深める。

授業計画

第1回	担当 教員	盆子原 秀三 加藤 宗規 山之口 美喜生 中村 浩 武内 朗
	内容	10週間の学外での臨床教育実習を実施する。 実習期間中は臨床教育実習指導者の指導・監督の下で実習を行う。 <内容> 10週間の実習期間によって、前述の個別学習目標が達成できるような実習を行う。 担当者：盆子原 秀三,加藤 宗規,山之口 美喜生,中村 浩,武内 朗,山田 洋一,上岡 尚代,一色 員子,平野 正広,荒巻 英文,清水 菜穂,荒井 沙織,兎澤 良輔

評価方法

- ①「個別学習目標」に従って実習終了後に行う筆記試験と実技試験によって評価する。
- ②評価は筆記系と実技系の2種行い、筆記系70%、実技系30%とする。
- ③提出物の内容の不足、提出期限切れ等の場合は減点とする。
- ④実技試験と筆記試験の両方において6割以上の得点をした者を合格とし、合計点を採用する。
- ⑤実習（演習）前にオリエンテーション、終了後にラップアップミーティングを行う。なお、オリエンテーションを無断欠席した者は実習を始めることができない。
- ⑥自己都合による実習の欠席は原則認めない。特に正当な理由のない無断欠席等に対しては実習を途中で中止させ、出欠日数のいかにかわらず当該実習の評価は行わないことがある。
- ⑦医療従事者としての適切な身だしなみなどの接遇、責任ある適切な言動については評価の前提条件となる。
- ⑧病気等やむを得ない理由でも5分の4以上の出席をもって評価の対象となる（臨床教育実習の規程に準ずる）。この際の総数は1週40時間あるいは施設の指定時間（たとえば土曜も半日ありの場合は44時間など）の大きい方を基準とする。

教科書

テキスト

・解剖学・生理学・運動学・理学療法評価学・機能能力診断学実習のテキスト

参考書

参考文献

・運動療法のための機能解剖学的触診技術 改訂第2版 『上肢』 『下肢・体幹』 林 典雄 (著)

メジカルビュー社 978-4758311366 978-4758311373

・カパンジー機能解剖学 原著第7版 『I 上肢』 『II 下肢』 『III 脊椎・体幹・頭部』

A.I.Kapandji (著) 医歯薬出版 978-4263265956

オフィスアワー

外部実習のため、質問や相談などがある場合、4年SAあるいはゼミ担当教員に直接確認してください。

実務経験の有無

全員有

その他

臨床教育実習Ⅱ前期においては、施設での感染予防を十分に認識するとともに日々の自己管理を徹底して実施することが重要である。またコロナ感染状況により学内演習に振り替える可能性がある。

感染対策として「新型コロナウイルス感染症に対応した総合実習ガイドライン」に従う。

「基礎臨床医学科目」の卒業必修単位を全て取得していることが履修条件である。

オリエンテーション・ラップアップミーティングについては、4年SAが担当する。実技試験は担当教員全員で行う。

講義コード	5290301
講義名	臨床教育実習II（後期）
(副題)	
講義開講時期	通年
講義区分	実習
基準単位数	5
時間	225.00
対象学年	4
必修/選択	必修

担当教員

氏名
盆子原 秀三
加藤 宗規
山之口 美喜生
中村 浩
武内 朗
山田 洋一
平野 正広
荒巻 英文
兔澤 良輔
清水 菜穂
荒井 沙織
一色 員子
上岡 尚代

総合学習目標

DP 1～4

これまでに学内で学修した知識・技術をもとに基本的な理学療法評価（検査・測定）および治療技術において、対象者が持つ諸問題を導き出す過程を、実習を通じて理解し、可能であるならば模倣と実施を体験する。また、医療専門職としての態度を習得する。

個別学習目標

以下の①～④の項目について模倣・実施を経験し、⑤⑥の項目については習得することを目標とする。

- ①理学療法評価・治療に必要な他部門情報（画像等）について理解する。
- ②評価・治療を実施するにあたってのオリエンテーションの実施を理解する。
- ③評価・治療の模倣と実施を体験する。
- ④評価結果からの治療へのプロセスについて理解する。
- ⑤学生として必要な記録と報告ができる。
- ⑥医療専門職として適切な接遇および責任ある言動ができる。

授業計画

	担当教員	盆子原 秀三 加藤 宗規 山之口 美喜生 中村 浩
--	-------------	------------------------------------

	武内 朗
第1回	5週間の学外での実習を実施する。 実習期間中は臨床教育実習指導者の指導・監督の下で実習を行う。
	<p><内容> 5週間の実習期間によって、上述の個別学習目標が達成できるような実習を行う。</p> <p>担当者：盆子原 秀三,加藤 宗規,山之口 美喜生,中村 浩,武内 朗,山田 洋一,上岡 尚代,一色 員子,平野 正広,荒巻 英文,清水 菜穂,荒井 沙織,兎澤 良輔</p>

評価方法

- ①「個別学習目標」に従って実習終了後に行う筆記試験（70%）と実技試験（30%）によって評価する。
- ②筆記試験と実技試験の両方において6割以上の得点をした者を合格とし、合計点を採用する。
- ③提出物の内容の不足、提出期限切れ等の場合は減点する。
- ④実習前にオリエンテーション、終了後にラップアップミーティングを行う。尚オリエンテーションを無断欠席した者は実習を始めることができない。
- ⑤自己都合による実習の欠席は原則認めない。特に正当な理由のない無断欠席等に対しては実習を途中で中止させ出欠日数のいかににかかわらず当該実習の評価は行わないことがある。
- ⑥臨床教育実習であることから、評価の対象は患者であることを想定している。そのため、適切な身だしなみなどの接遇、責任ある適切な言動が求められ、それが前提条件となる。
- ⑦病気等やむを得ない理由でも5分の4以上の出席をもって評価の対象となる（臨床教育実習の規程に準ずる）。この際の総数は1週40時間あるいは施設の指定時間（たとえば土曜も半日ありの場合は44時間など）の大きい方を基準とする。

教科書

テキスト

・解剖学・生理学・運動学・理学療法評価学・機能能力診断学実習のテキスト

参考書

参考文献

- ・運動療法のための機能解剖学的触診技術 改訂第2版 『上肢』 『下肢・体幹』 林 典雄 (著) メジカルビュー社 978-4758311366 978-4758311373
- ・カパンジー機能解剖学 原著第7版 『I 上肢』 『II 下肢』 『III 脊椎・体幹・頭部』 A.I.Kapandji (著) 医歯薬出版 978-4263265956

オフィスアワー

外部実習のため、質問や相談がある場合は4年SAやゼミ担当教員に直接連絡を取るようになしてください。

実務経験の有無

全員有

その他

- ①感染対策として「新型コロナウイルス感染症に対応した総合実習ガイドライン」に従う。またコロナ感染状況により学内演習に切り替える可能性がある。
- ②「基礎臨床医学科目」の卒業必修単位を全て取得していることが履修条件である。
- ③オリエンテーション・ラップアップミーティングについては、4年SAが担当する。実技試験には、担当教員全員でおこなう。

講義コード	5290401
講義名	リハビリテーション概論
(副題)	(栄養学・予防の基礎を含む) [2020年度以降カリキュラム]
講義開講時期	後期
講義区分	講義
基準単位数	2
時間	30.00
対象学年	2
必修/選択	必修

担当教員

氏名
平野 正広
作田 雅子

総合学習目標

リハビリテーションについて理念や障害の評価、治療について基本的な知識を身につける。
理学療法学科DP1-①に該当する。

個別学習目標

- ①リハビリテーションの理念や歴史、特徴について説明できる。
- ②栄養・代謝障害について理解し、栄養管理について説明できる。
- ③予防の概念について理解し、説明できる。

準備学修

教科書を用いて予習（15分）をし、講義後は教科書、配布資料を用いて復習（30分）をすること。

授業計画

第1回	担当教員	平野 正広 リハビリテーション医学・医療の理念と歴史、対象者の捉え方 ICIDH、ICF、チーム医療
	内容	リハビリテーションの概要を学習する。 AL：B
第2回	担当教員	平野 正広 理学療法、作業療法、言語療法
	内容	リハビリテーション職種について学習する。 AL：B
第3回	担当教員	平野 正広 装具、補装具、義肢、住環境整備 切断
	内容	装具とは何かを学習する。 住宅環境整備について考える。 AL：B
第4回	担当教員	平野 正広 地域および職業リハビリテーション 授業内課題①
		地域リハビリテーションについて知る。

	内容	職業リハビリテーションについて知る。 授業内課題①を実施する。
第5回	担当教員	平野 正広 リスク管理、画像・生理・臨床検査
	内容	リスク管理の基本について知る。 画像・生理・臨床検査の特徴について知る。
第6回	担当教員	平野 正広 制度、法律 廃用症候群、神経筋疾患
	内容	制度、法律について知る。 廃用症候群を知る必要性を学習する。 神経筋疾患について学習する。 AL：B
第7回	担当教員	平野 正広 障害各論1
	内容	意識、運動、内部、視覚、排泄機能について学習する。
第8回	担当教員	平野 正広 障害各論2
	内容	高次脳機能、心理社会的、摂食嚥下、言語機能について学習する。
第9回	担当教員	平野 正広 予防の基礎、リハビリテーション栄養 授業内課題②
	内容	一次・二次・三次予防について学習する。 ソーシャルキャピタル、society5.0、SDGs、DXについて知る。 リハビリテーションと栄養療法の重要性について知る。 授業内課題②を実施する。
第10回	担当教員	平野 正広 疾患各論1
	内容	脳血管障害（脳卒中）、脳外傷・低酸素脳症・脳腫瘍・水頭症、認知症について学習する。
第11回	担当教員	平野 正広 疾患各論2
	内容	生活習慣病、循環器疾患、呼吸器疾患、腎疾患、がんについて学習する。
第12回	担当教員	平野 正広 疾患各論3
	内容	骨・関節疾患、スポーツ疾患、脊髄損傷、腕神経叢に関わる疾患、末梢神経障害について学習する。
第13回	担当教員	平野 正広 疾患各論4
	内容	高齢者、精神疾患、主な感染症、前庭機能障害について学習する。
第14回	担当教員	平野 正広 疾患各論5
	内容	ポストポリオ症候群、小児疾患、熱傷、障害者スポーツについて学習する。
第15回	担当教員	作田 雅子 平野 正広 栄養学
	内容	スポーツ・運動と栄養について学習する。

評価方法

筆記試験80点（80％）、課題20点（20％）、合計100点（100％）で評価する。

教科書

PT・OTビジュアルテキスト専門基礎『リハビリテーション医学』監修：安保雅博 編集：渡邊修、松田雅弘 出版社：羊土社 定価：5,500円+税

参考書

1. メディカルスタッフ専門基礎科目シリーズ『リハビリテーション概論』 編著者：真柄彰、鴨下博 出版社：理工図書株式会社 定価：4,700円+税
2. 『リハビリテーション医学テキスト（改定第4版）』 監修者：三上真弘 編集者：出江紳一、加賀谷斉 出版社：南江堂 定価：5,300円+税
3. リハビリテーション医学・医療コアテキスト準拠『リハビリテーション医学・医療 Q&A』 監修：公益社団法人 日本リハビリテーション医学会 総編集：久保俊一 出版社：医学書院 定価：6,000円+税
4. 『PT・OT・STのためのリハビリテーション栄養 第3版』 著者：若林秀隆 出版社：医歯薬出版 定価：3,630円（税込）
5. 『リハビリテーションに役立つ 栄養学の基礎 第3版』 編著：柏下敦、若林秀隆 出版社：医歯薬出版 定価：3,800円+税
6. 『リハスタッフのための イチからわかる臨床検査値活用術』 監修：美津島隆、山内克哉 編集：鈴木啓介、加茂智彦 出版社：メジカルビュー社 定価：3,400円+税
7. 『リハビリテーションに役立つ骨関節X線像のみかた』 編集：白倉賢二 出版社：医歯薬出版 定価：3,200円+税
8. 『内部障害リハのための 胸部・腹部画像 読影のすすめ』 監修：美津島隆、山内克哉 編集：鈴木啓介、櫻田隆悟 出版社：メジカルビュー社 定価：4,200円+税

オフィスアワー

質問等は授業の前後で受け付ける。また、メールで受け付ける(m-hirano@ryotokuji-u.ac.jp)。

実務経験の有無

有

その他

授業に関する特記事項など：服装は実習着の着用を指定することがある。

講義コード	5290501
講義名	理学療法評価学II
(副題)	(画像評価を含む) [2020年度以降カリキュラム]
講義開講時期	前期
講義区分	演習
基準単位数	1
時間	30.00
対象学年	3
必修/選択	必修

担当教員

氏名
兔澤 良輔
山田 洋一
石井 成美

総合学習目標

1. 理学療法評価学I, 機能能力診断学で学んだ基本的な検査測定 of 知識と技術の復習と、それを基に実症例の検査測定を想定して、理学療法評価の知識と技術を高めることを目標とする。
2. 理学療法学科DP2-②に該当する。

個別学習目標

- ① 臨床的で使用されている評価から問題点抽出までの流れを理解できる。
- ② 画像評価について学習し、画像から問題点を考察できる。
- ③ 症例情報から必要な評価項目を選択できる。
- ④ 評価方法だけでなく評価結果に対する理解できる。
- ⑤ 複数の評価結果を照らし合わせて問題点を考察できる。

準備学修

理学療法評価学I, 機能能力診断学で学んだ評価方法 (ROMやMMT, 他) を復習しておくこと (60分)

授業計画

第1回	担当教員	兔澤 良輔 オリエンテーション, 臨床における評価の役割, 問診について
	内容	授業の進め方についての説明, 臨床での評価の役割に関する講義, 問診に関する講義
第2回	担当教員	石井 成美 運動器疾患における画像評価
	内容	運動器疾患で用いられる画像評価についての総論
第3回	担当教員	石井 成美 山田 洋一 兔澤 良輔 超音波診断装置の使用法
	内容	超音波診断装置を用いて使用方法などを学ぶ (A: 石井, B: 山田, C: 兔澤)

第4回	担当教員	石井 成美 山田 洋一 兎澤 良輔 超音波診断装置を用いた画像評価
	内容	超音波診断装置を用いて筋、骨、神経、血管の撮影を行う（A：石井、B：山田、C：兎澤）
第5回	担当教員	山田 洋一 脳血管疾患等における画像評価
	内容	脳血管疾患等で用いられる画像評価についての総論
第6回	担当教員	山田 洋一 兎澤 良輔 石井 成美 脳血管疾患模擬症例についての評価の立案
	内容	模擬症例について評価の立案を各グループで行う（A：山田、B：兎澤、C：石井）
第7回	担当教員	山田 洋一 兎澤 良輔 石井 成美 脳血管疾患模擬症例についての評価の実施
	内容	立案した評価を各グループ実施する（A：山田、B：兎澤、C：石井）
第8回	担当教員	山田 洋一 兎澤 良輔 石井 成美 脳血管疾患模擬症例についての評価結果の解釈
	内容	実施して得られた複数の評価結果を考察する（A：山田、B：兎澤、C：石井）
第9回	担当教員	兎澤 良輔 姿勢・バランス評価についての総論
	内容	臨床で用いられる姿勢・バランス評価についての総論
第10回	担当教員	兎澤 良輔 山田 洋一 石井 成美 姿勢評価の実技
	内容	姿勢の実施および結果の解釈を行う（A：兎澤、B：石井、C：山田）
第11回	担当教員	兎澤 良輔 山田 洋一 石井 成美 バランス評価の実技
	内容	バランスの実施および結果の解釈を行う（A：兎澤、B：石井、C：山田）
第12回	担当教員	兎澤 良輔 山田 洋一 石井 成美 運動器疾患模擬症例についての評価の立案
	内容	模擬症例について評価項目を立案する（A：兎澤、B：山田、C：石井）
第13回	担当教員	兎澤 良輔 山田 洋一 石井 成美 運動器疾患模擬症例についての評価の実施
	内容	立案した評価を実際に実施する（A：兎澤、B：山田、C：石井）
	担当教員	兎澤 良輔 山田 洋一 石井 成美

第14回		運動器疾患模擬症例についての評価結果の解釈
	内容	実施して得られた複数の評価結果を考察する (A : 兎澤, B : 山田, C : 石井)
第15回	担当教員	兎澤 良輔 理学療法評価学IIの要点
	内容	本講義の総復習および要点の解説および学習到達度の確認

評価方法

- ① 評価方法は筆記試験80点 (80%) ・課題20点 (20%) で行う。
- ② 課題の内容については講義内にて説明を行う。

教科書

PT臨床評価ガイド, 田屋雅信・松田雅弘・藤野雄次・畠昌史 編集, 医学書院, 6,820円 (税込)

参考書

理学療法評価学 改訂第6版, 松澤 正 著, 金原出版, 6,200円 + 税

オフィスアワー

月曜日・2限・503研究室

実務経験の有無

有

その他

- ① 実習の授業については動きやすい服装を着用すること。その他の詳細は1回目のオリエンテーションにて説明する
- ② グループ分けについては履修状況を確認してオリエンテーション時に発表する
- ③ グループ分けの方法は該当学年を学籍番号順に3分割し, 学籍番号の早い方から順にA, B, Cグループとする。各講義におけるグループの担当教員は上記に示した通りとする
- ④ 講義内で評価の立案をするなど評価を自ら調べることも多くなるため指定教科書は毎回持参すること

講義コード	5290601
講義名	内部障害理学療法学実習
(副題)	(喀痰・吸引を含む) [2020年度以降カリキュラム]
講義開講時期	前期後半
講義区分	実習
基準単位数	1
時間	45.00
対象学年	3
必修/選択	必修

担当教員

氏名
平野 正広
中村 浩
清水 菜穂
荒井 沙織

総合学習目標

- ・内部障害、酸素運搬系障害（循環、呼吸、代謝障害等）を理解し、理学療法の理論と技術を理解する。
 - ・めまい、摂食嚥下、ウィメンズ・メンズヘルス、がんのリハビリテーションについて理論と技術を知る。
 - ・実技(吸引を含む)を通して基本的事項を身につける。
- 理学療法学科DP1-①、②に該当する。
 理学療法学科DP2-②に該当する。
 理学療法学科DP3-②に該当する。
 理学療法学科DP4-②に該当する。

個別学習目標

1. 理論：呼吸・循環・代謝などの解剖・生理・病態生理・理学療法評価および治療について理解する。
2. 技術：バイタルサインやフィジカルアセスメント、心電図や肺機能検査、運動負荷試験やカロリー計算から運動療法プログラムの立案をし、コンディショニングや運動療法を経験する。
3. 標準予防策が実施でき、吸引方法を理解する。

準備学修

1. 教科書を用いて予習（15分）をし、講義後は教科書、配布資料を用いて復習（30分）をすること。
2. 解剖学や生理学を復習（予習）することが肝要である。

授業計画

第1回	担当教員	平野 正広 呼吸に関する理学療法
	内容	呼吸器系の解剖、生理、病態生理、理学療法評価
第2回	担当教員	平野 正広 中村 浩 清水 菜穂 荒井 沙織 呼吸に関する理学療法実技
	内容	気管支体操、体表から見た肺の解剖 グループ A：平野、B：中村、C：清水、D：荒井

		AL : D
第3回	担当教員	平野 正広 呼吸に関する理学療法
	内容	呼吸生理、呼吸運動、フィジカルアセスメント、肺機能検査グループ
第4回	担当教員	平野 正広 中村 浩 清水 菜穂 荒井 沙織 呼吸に関する理学療法実技
	内容	呼吸の診かた、呼吸介助 グループ A : 平野、B : 中村、C : 清水、D : 荒井 AL : D
第5回	担当教員	平野 正広 呼吸に関する理学療法
	内容	呼吸リハビリテーション : 概念・定義、理学療法評価・治療
第6回	担当教員	平野 正広 中村 浩 清水 菜穂 荒井 沙織 呼吸に関する理学療法実技
	内容	リラクゼーション、呼吸練習、咳嗽法、排痰法、スパイロメータ グループ A : 平野、B : 中村、C : 清水、D : 荒井 AL : D
第7回	担当教員	平野 正広 循環に関する理学療法
	内容	心臓リハビリテーション
第8回	担当教員	平野 正広 中村 浩 清水 菜穂 荒井 沙織 循環に関する理学療法実技
	内容	バイタルサイン グループ A : 平野、B : 中村、C : 清水、D : 荒井 AL : D
第9回	担当教員	平野 正広 中村 浩 清水 菜穂 荒井 沙織 循環に関する理学療法実技
	内容	末梢循環障害 (動脈系、静脈・リンパ系) ・実技 末梢循環不全の診かた グループ A : 平野、B : 中村、C : 清水、D : 荒井 AL : D
第10回	担当教員	平野 正広 循環に関する理学療法
	内容	フィジカルアセスメント 心臓・頸部血管の診かた
第11回	担当教員	平野 正広 中村 浩 清水 菜穂 荒井 沙織 循環に関する理学療法実技
	内容	心臓・頸部血管の診かた グループ A : 平野、B : 中村、C : 清水、D : 荒井

		AL : D
第12回	担当教員	平野 正広 循環に関する理学療法
	内容	心電図の診かた
第13回	担当教員	平野 正広 中村 浩 清水 菜穂 荒井 沙織 循環に関する理学療法実技
	内容	モニター心電図、12誘導心電図 グループ A : 平野、B : 中村、C : 清水、D : 荒井 AL : D
第14回	担当教員	中村 浩 その他障害別理学療法
	内容	自律神経機能の診かた（心拍変動）、前庭性めまい
第15回	担当教員	清水 菜穂 ウィメンズ・メンズヘルスに関する理学療法
	内容	ウィメンズヘルス・メンズヘルス
第16回	担当教員	清水 菜穂 平野 正広 中村 浩 荒井 沙織 ウィメンズヘルス・メンズヘルスに関する理学療法実技
	内容	妊婦体験、乳がん触診シュミレータ グループ A : 清水、B : 平野、C : 中村、D : 荒井 AL : D
第17回	担当教員	荒井 沙織 その他障害別理学療法
	内容	摂食嚥下障害
第18回	担当教員	荒井 沙織 平野 正広 中村 浩 清水 菜穂 その他障害別理学療法実技
	内容	摂食・嚥下訓練 グループ A : 荒井、B : 平野、C : 中村、D : 清水 AL : D
第19回	担当教員	平野 正広 代謝などに関する理学療法
	内容	がんのリハビリテーション、腎臓リハビリテーション、人工呼吸療法、口腔ケア AL : E
第20回	担当教員	平野 正広 中村 浩 清水 菜穂 荒井 沙織 呼吸・循環・代謝理学療法実技
	内容	運動負荷試験（運動と循環・呼吸、最大酸素摂取量） 運動負荷試験：グループA : 中村、B : 清水 標準予防策・吸引：グループC : 平野、D : 荒井 AL : B、D、E
		平野 正広

第21回	担当教員	中村 浩 清水 菜穂 荒井 沙織 呼吸・循環・代謝理学療法実技
	内容	第20回と連続 運動負荷試験：グループA：中村、B：清水 標準予防策・吸引：グループC：平野、D：荒井 AL：B、D、E
第22回	担当教員	平野 正広 中村 浩 清水 菜穂 荒井 沙織 標準予防策および吸引実技
	内容	標準予防策・吸引：グループA：平野、B：荒井 運動負荷試験：グループC：中村、D：清水 AL：B、D、E
第23回	担当教員	平野 正広 中村 浩 清水 菜穂 荒井 沙織 標準予防策および吸引実技
	内容	第22回と連続 標準予防策・吸引：グループA：平野、B：荒井 運動負荷試験：グループC：中村、D：浅田 AL：B、D、E

評価方法

筆記試験70点（学期末テスト70%）、実技試験30点（30%）、合計100点（30%）で評価する。

教科書

1. シンプル理学療法学シリーズ『内部障害理学療法学テキスト』編集者：山崎祐司、川俣幹雄、丸岡弘 出版社：南江堂 定価：5,000円+税
2. 『リハビリテーションのためのぱっとみてわかる心電図』著者：丸岡弘 出版社：中山書店 定価：2,800円+税

参考書

1. 理学療法テキスト『内部障害理学療法学 呼吸』編集者：石川朗 出版社：中山書店 定価：2,600円+税
2. 理学療法テキスト『内部障害理学療法学 循環・代謝』編集者：石川朗 出版社：中山書店 定価：2,600円+税
3. 『診察と手技がみえる vol.1』編集者：古谷伸之 出版社：メディックメディア 定価：6,000円+税
4. 『摂食・嚥下リハビリテーション 動画でわかる』監修：藤島一郎、柴本勇 出版社：中山書店 定価：3,600円+税
5. 理学療法MOOK 21『がんの理学療法』編集：井上順一郎、神津玲 出版社：三輪書店 定価：4,200円+税

オフィスアワー

質問等は授業の前後で受け付ける。また、メールで受け付ける(m-hirano@ryotokuji-u.ac.jp)。

実務経験の有無

有

その他

授業に関する特記事項など：

1. 20・21回と22・23回はクラスを2つに分けて、運動負荷試験と標準予防策・吸引を各1日（2コマ）行う。

2. 服装は実習着を着用すること。上衣の下に1枚になっても可能なものを着てくること（Tシャツ等）。
3. グループは、学籍番号末尾において、グループA：001～20、グループB：021～040、グループC：041～060、グループD：061以降
4. 自ら目的意識を持ち、能動的に取り組むことを望む。

講義コード	5290701
講義名	見学実習
(副題)	(通所リハビリテーション又は訪問リハビリテーション) [2020年度以降カリキュラム]
講義開講時期	通年
講義区分	実習
基準単位数	1
時間	45.00
対象学年	3
必修/選択	必修

担当教員

氏名
山田 洋一
加藤 宗規
山之口 美喜生
中村 浩
盆子原 秀三
武内 朗
平野 正広
荒巻 英文
兔澤 良輔
清水 菜穂
荒井 沙織
一色 員子
石井 成美
澤 広太
上岡 尚代

総合学習目標

DP 1～3

学内で学修した知識・技術を基礎に、臨床教育実習指導者が理学療法士として、通所リハビリテーション又は訪問リハビリテーションにおいて利用者（患者）に介入する場面を見学し、その対象者が持つ問題を導き出す過程を見学を通じて理解することである。特に、様々な対象者が持つ生活能力や生活環境と機能障害を関連付けて理解することで、個々の対象者の特徴を捉え、全体像を把握することを目的とする。また、態度、話し方などをはじめとする情意領域の実践を学習する。

個別学習目標

医療現場にふさわしい身だしなみや接遇、および対象者、指導者や他の職員との適切なコミュニケーションについて指導者を見本として理解し、基本的態度が実施できることを目標とする。

指導者が行う理学療法過程について、見学と指導者による説明・指導により理解する。また、基本的態度以外に関しては、状況が許すならば体験することによって身につけることを目標とする。

①利用者の介入場面を見学し、必要な情報について理解できる。

②理学療法の対象者が有する諸問題を導き出す過程について、指導者の助言により理解できる。

- ③対象者がもつ日常生活能力や生活環境と機能障害を関連付けて理解できる。
- ④個々の対象者が有する疾患の特徴を捉え、全体像を把握できる。
- ⑤実習における態度や理学療法士およびその対象者に対する話し方を適切に実践できる。

説明できる

- 1) 対象者（およびご家族）の生活特性について
- 2) 各事業所で提供しているサービス内容の特徴について
- 3) 理学療法士および他の医療従事者の業務内容と役割について
- 4) 地域における他職種との連携について

実施できる

- 1) ケアプランの作成から実施に至るまでの過程について見学する。
- 2) 関係する保険制度（医療保険、介護保険など）について調べ示す。

授業計画

第1回	担当教員	中村 浩 加藤 宗規 山之口 美喜生 盆子原 秀三 武内 朗
	内容	1週間の学外での評価実習を実施する。 実習期間中は臨床教育実習指導者の指導・監督の下で通所リハビリテーション又は訪問リハビリテーションの見学実習を行う。 <内容> 1週間の実習期間によって、上記の個別学習目標が達成できるような実習を行う。 担当者：盆子原 秀三、加藤 宗規、山之口 美喜生、武内 朗、中村 浩、山田 洋一、上岡 尚代、荒巻 英文、平野 正広、一色 員子、兔澤 良輔、清水 菜穂、荒井 沙織、石井 成美、澤 広太

評価方法

- ①上記の「個別学習目標」に従って実習終了後の臨床実習指導者報告書（見学実習）を参考に、筆記試験（80%）とレポート（感想文）（20%）によって評価する。
- ②自己都合による実習の欠席は原則認めない。特に正当な理由のない無断欠席等に対しては実習を途中で中止させ出欠日数のいかにかわらず当該実習の評価は行わないことがある。病気等やむを得ない理由でも5分の1以上の欠席がある場合は評価の対象とはならない（大学の公欠規程に準ずる）。
- ③実習前オリエンテーションを無断欠席した者は実習を始めることができない。
- ④学外実習より帰校しラップアップミーティングへの出席をもって学外実習修了とし評価対象とする。
- ⑤その他、適宜配布資料他で連絡した内容によって変更する場合があるので注意すること。

教科書

- ・特に定めない

参考書

- ・作業療法士・理学療法士臨床実習ガイドブック 京極真、鈴木 憲雄(編著) 誠信書房 978-4414802030
- ・カパンジー機能解剖学『I 上肢』『II 下肢』『III 椎・体幹・頭部』 A.I.Kapandji (著) 医歯薬出版 978-4263211816

実務経験の有無

担当全員が有

その他

- ・オリエンテーション・ラップアップミーティングは、3年次学年担当である中村、平野、荒井が担当する。

・実習調整担当者は、盆子原、加藤、中村が担当する。

講義コード	5290801
講義名	評価実習
(副題)	[2020年度以降カリキュラム]
講義開講時期	通年
講義区分	実習
基準単位数	3
時間	135.00
対象学年	3
必修/選択	必修

担当教員

氏名

山田 洋一

加藤 宗規

山之口 美喜生

中村 浩

盆子原 秀三

武内 朗

平野 正広

荒巻 英文

兔澤 良輔

清水 菜穂

荒井 沙織

一色 員子

石井 成美

澤 広太

上岡 尚代

総合学習目標

DP 1～4

臨床教育実習指導者の指導・監督のもとで、画像診断など医療的な情報を基に関節疾患や運動麻痺などの臨床症状を観察すること。さらに基本的な理学療法評価の手順を組み立て、問題点の抽出を行うことで理学療法評価を理解すること。学内で習得した検査測定などの理学療法技術のみならず、臨床場面での工夫や患者と接することでの気づきを通して医療人としての適性を高める一助とすること。

個別学習目標

医療現場にふさわしい身だしなみや接遇、および対象者、指導者や他の職員との適切なコミュニケーションについて指導者を見本として理解し、基本的態度が実施できることを目標とする。指導者が行う理学療法過程について、見学と指導者による説明・指導により理解する。また、基本的態度以外に関しては、状況が許すならば体験することによって身につけることを目標とする。

- ①理学療法評価に必要な他部門情報の収集について理解する。
- ②必要な理学療法評価項目、検査・測定方法の選択を理解する。
- ③評価を実施するにあたってのオリエンテーションの実施を理解する。
- ④可能であるならば選択した評価の模倣と実施を体験する。
- ⑤評価結果からの問題点を抽出、抽出した問題点の統合と解釈について理解する。
- ⑥学生として必要な記録と報告ができる。

⑦医療専門職として責任ある言動ができる。

授業計画

第1回	担当教員	中村 浩 加藤 宗規 山之口 美喜生 盆子原 秀三 武内 朗
	内容	3週間の学外での評価実習を実施する。 実習期間中は臨床教育実習指導者の指導・監督の下で実習を行う。 <内容> 3週間の実習期間によって、上記の個別学習目標が達成できるような実習を行う。 担当者：盆子原 秀三、加藤 宗規、山之口 美喜生、武内 朗、中村 浩、山田 洋一、上岡 尚代、荒巻 英文、平野 正広、一色 員子、兔澤 良輔、清水 菜穂、荒井 沙織、石井 成美、澤 広太

評価方法

- ①上記の「個別学習目標」に従って実習後に行う筆記試験と実技試験によって評価する。必要に応じて実習前の講義をおこなうので出席すること。
- ②筆記試験（70%）と実技試験（30%）の両方において6割以上の得点をした者を合格とする。
- ③自己都合による実習の欠席は原則認めない。特に正当な理由のない無断欠席等に対しては実習を途中で中止させ出欠日数のいかににかかわらず当該実習の評価は行わないことがある。病気等やむを得ない理由でも5分の1以上の欠席がある場合は評価の対象とはならない（大学の公欠規程に準ずる）。
- ④実習前オリエンテーションを無断欠席した者は実習を始めることができない。
- ⑤学外実習より帰校しラップアップミーティングへの出席をもって学外実習修了とし評価対象とする。
- ⑥その他、適宜配布資料他で連絡した内容によって変更する場合があるので注意すること。

教科書

- ・特に定めなし

参考書

- ・作業療法士・理学療法士臨床実習ガイドブック 京極真、鈴木 憲雄(編著) 誠信書房 978-4414802030
- ・運動療法のための 機能解剖学的触診技術 『上肢』 『下肢・体幹』 林 典雄(著) メジカルビュー社 978-4758311366
- ・カパンジー機能解剖学 『I 上肢』 『II 下肢』 『III 椎・体幹・頭部』 A.I.Kapandji (著) 医歯薬出版 978-4263211816

実務経験の有無

担当全員が有

その他

- ・「基礎臨床医学科目」の卒業必修単位を全て取得していることが履修条件である。
- ・オリエンテーション・ラップアップミーティングは、3年次学年担当である中村、平野、荒井が担当する。
- ・実習施設訪問ならびに実技試験は、盆子原、加藤、武内、中村、山田、荒巻、平野、一色、源、兔澤、町田、清水、荒井、石井、澤が担当する。
- ・実習調整担当者は、盆子原、加藤、中村が担当する。

講義コード	5290901
講義名	総合臨床実習
(副題)	[2020年度以降カリキュラム]
講義開講時期	通年
講義区分	実習
基準単位数	16
時間	0.00
対象学年	4
必修/選択	必修

担当教員

氏名

中村 浩

加藤 宗規

山之口 美喜生

盆子原 秀三

武内 朗

山田 洋一

平野 正広

荒巻 英文

兔澤 良輔

清水 菜穂

町田 志樹

荒井 沙織

一色 員子

石井 成美

澤 広太

総合学習目標

DP 1～4

学内で学んだ医学基礎・臨床科目、理学療法専門科目の知識・技術と見学実習および評価実習で理解・経験した内容を基盤に、実習施設における理学療法の目的と過程を理解し学ぶことである。基本的な理学療法評価、問題点の抽出、目標設定、治療計画の設定、治療について臨床教育実習指導者の実践を見学し、説明を受けて理解する。それに加え、臨床教育実習指導者とディスカッションすることによって臨床的思考を体験し理解する。また、医療専門職としての適性を高めることも目標の一つである。

個別学習目標

見学実習および評価実習の学習目標に加えて、以下の項目について見学・模倣・実施を経験することを目標とする。

- ①対象者に理学療法の方針と方法を説明し、同意を得ることができるよう理解を深める。
- ②理学療法を正しく実施できるよう理解を深める。
- ③理学療法の実施に伴うリスク管理ができるよう理解を深める。

授業計画

第1回	担当 教員	盆子原 秀三 加藤 宗規 山之口 美喜生 中村 浩 武内 朗
	内容	14週間の学外での臨床教育実習を実施する。 実習期間中は臨床教育実習指導者の指導・監督の下で実習を行う。 <内容> 14週間の実習期間によって、前述の個別学習目標が達成できるような実習を行う。 担当者：盆子原 秀三,加藤 宗規,山之口 美喜生,中村 浩,武内 朗,山田 洋一,町田 志樹,一色 員子,平野 正広,荒巻 英文,清水 菜穂,荒井 沙織,兔澤 良輔

評価方法

- ①「個別学習目標」に従って実習終了後に行う筆記試験と実技試験によって評価する。
- ②評価は筆記系と実技系の2種行い、筆記系70%、実技系30%とする。
- ③提出物の内容の不足、提出期限切れ等の場合は減点とする。
- ④実技試験と筆記試験の両方において6割以上の得点をした者を合格とし、合計点を採用する。
- ⑤実習（演習）前にオリエンテーション、終了後にラップアップミーティングを行う。なお、オリエンテーションを無断欠席した者は実習を始めることができない。
- ⑥自己都合による実習の欠席は原則認めない。特に正当な理由のない無断欠席等に対しては実習を途中で中止させ、出欠日数のいかにかわらず当該実習の評価は行わないことがある。
- ⑦医療従事者としての適切な身だしなみなどの接遇、責任ある適切な言動については評価の前提条件となる。
- ⑧病気等やむを得ない理由でも5分の4以上の出席をもって評価の対象となる（臨床教育実習の規程に準ずる）。この際の総数は1週40時間あるいは施設の指定時間（たとえば土曜も半日ありの場合は44時間など）の大きい方を基準とする。

教科書

テキスト

・解剖学・生理学・運動学・理学療法評価学・機能能力診断学実習のテキスト

参考書

参考文献

- ・運動療法のための機能解剖学的触診技術 改訂第2版 『上肢』 『下肢・体幹』 林 典雄 (著) メジカルビュー社 978-4758311366 978-4758311373
- ・カパンジー機能解剖学 原著第7版 『I 上肢』 『II 下肢』 『III 脊椎・体幹・頭部』 A.I.Kapandji (著) 医歯薬出版 978-4263265956

オフィスアワー

外部実習のため、質問や相談などがある場合、4年SAあるいはゼミ担当教員に直接確認してください。

実務経験の有無

全員有

その他

臨床教育実習Ⅱ前期においては、施設での感染予防を十分に認識するとともに日々の自己管理を徹底して実施することが重要である。またコロナ感染状況により学内演習に振り替える可能性がある。

感染対策として「新型コロナウイルス感染症に対応した総合実習ガイドライン」に従う。

「基礎臨床医学科目」の卒業必修単位を全て取得していることが履修条件である。

オリエンテーション・ラップアップミーティングについては、4年SAが担当する。実技試験は担当教員全員で行う。

講義コード	5302901
講義名	スポーツトレーニング特論
(副題)	(実習を含む)
講義開講時期	後期
講義区分	実習
基準単位数	3
時間	15.00
対象学年	3
必修/選択	自由

担当教員

氏名
上岡 尚代
田辺 達磨
長谷川 龍成

総合学習目標

スポーツトレーニング指導者に必要な知識と技術を身に付け、スポーツトレーニングの指導現場で遭遇する種々の問題を自ら解決する能力を養成することを目標とする。

理学療法学科DP2-②に該当する。

個別学習目標

各種体カトレーニングの理論を理解する。

各種体カトレーニングの実技ができるようになる。

各種体カトレーニングの実技が指導できるようになる。

各種体カトレーニングのプログラミングができるようになる。

各種体力測定を実施し、分析、フィードバックができるようになる。

授業計画

	担当教員	上岡 尚代 田辺 達磨 長谷川 龍成 体力学総論 (A班 ; 上岡尚代、B班 ; 田辺達磨、C班 ; 長谷川龍成)
第1回	内容	1. 体力の概念 (身体的要素と精神的要素、行動体力と防衛体力) 2. 体力の要素と体力モデル 3. 体力の個人特性 4. 一般的体力と専門的体力 5. 体カトレーニングとは
	担当教員	上岡 尚代 田辺 達磨 長谷川 龍成 運動指導の科学 (A班 ; 上岡尚代、B班 ; 田辺達磨、C班 ; 長谷川龍成)

第2回	内容	1. 動作の成り立ち 2. 神経系の発達 3. 指導の対象 4. 動作の習得 5. 練習の方法と内容
第3回	担当教員	上岡 尚代 田辺 達磨 長谷川 龍成 トレーニング指導者の役割（A班；上岡尚代、B班；田辺達磨、C班；長谷川龍成）
	内容	1. トレーニング指導者の役割と業務 2. 競技スポーツにおける状況に応じた活動 3. トレーニング指導者が身につけるべき能力 4. トレーニング指導者の行動と倫理
第4回	担当教員	上岡 尚代 田辺 達磨 長谷川 龍成 トレーニング計画の立案（総論）（A班；上岡尚代、B班；田辺達磨、C班；長谷川龍成）
	内容	1. トレーニングとは 2. トレーニングの原理と原則 3. トレーニング計画の立案 4. ピリオダイゼーション
第5回	担当教員	上岡 尚代 田辺 達磨 長谷川 龍成 筋力トレーニングのプログラム作成（A班；上岡尚代、B班；田辺達磨、C班；長谷川龍成）
	内容	1. 筋力トレーニングの効果 2. 筋力トレーニングのプログラムの条件設定
第6回	担当教員	上岡 尚代 田辺 達磨 長谷川 龍成 パワー向上トレーニングの理論とプログラム作成（A班；上岡尚代、B班；田辺達磨、C班；長谷川龍成）
	内容	1. パワーの基本概念 2. パワーの測定と評価 3. パワー向上トレーニングの条件 4. プライオメトリクス
		上岡 尚代 田辺 達磨

第7回	担当 教員	長谷川 龍成 有酸素性及び無酸素性持久力向上トレーニングの理論とプログラム作成 (A班；上岡尚代、B班；田辺達磨、C班；長谷川龍成)
	内容	1. 持久力に関する基礎理論 2. 有酸素性持久力向上トレーニング 3. 無酸素性持久力
第8回	担当 教員	上岡 尚代 田辺 達磨 長谷川 龍成 スピード向上トレーニングの理論とプログラム作成 (A班；上岡尚代、B班； 田辺達磨、C班；長谷川龍成)
	内容	1. スピード、アジリティ向上の基礎知識 2. スピードにおける動作テクニックの獲得 3. アジリティの強化
第9回	担当 教員	上岡 尚代 田辺 達磨 長谷川 龍成 ウォームアップとクールダウン・柔軟性向上トレーニングの理論とプログラム 作成 (A班；上岡尚代、B班；田辺達磨、C班；長谷川龍成)
	内容	1. 柔軟性向上のトレーニング 2. ストレッチングの基礎理論 3. ウォームアップとクールダウン
第10回	担当 教員	上岡 尚代 田辺 達磨 長谷川 龍成 特別な対象のためのトレーニングとプログラム (A班；上岡尚代、B班；田辺 達磨、C班；長谷川龍成)
	内容	1. メタボリックシンドロームに対するトレーニングプログラム 2. 高齢者に対するトレーニングプログラム 3. 妊婦に対するトレーニングプログラム 4. 子供に対するトレーニングプログラム
第11回	担当 教員	上岡 尚代 田辺 達磨 長谷川 龍成 傷害の受傷から復帰までのトレーニングとプログラム (A班；上岡尚 代、B班；田辺達磨、C班；長谷川龍成)
	内容	1. アスレティックリハビリテーション概論 2. アスリハにおける評価の流れ 3. アスリハプログラム作成
	担当 教員	上岡 尚代 田辺 達磨 長谷川 龍成 筋力トレーニングの実際 (A班；上岡尚代、B班；田辺達磨、C班；長谷川龍

第12回		成)
	内容	1. 筋力トレーニングの実施にあたって 2. 筋力トレーニングの代表的エクササイズ（30種目）の実技と指導
第13回	担当教員	上岡 尚代 田辺 達磨 長谷川 龍成 筋力トレーニングの実際（上半身）（A班；上岡尚代、B班；田辺達磨、C班；長谷川龍成）
	内容	1. ベンチプレスの基礎知識 2. ベンチプレスの実技と指導
第14回	担当教員	上岡 尚代 田辺 達磨 長谷川 龍成 筋力トレーニングの実際（下半身）（A班；上岡尚代、B班；田辺達磨、C班；長谷川龍成）
	内容	1. スクワットの基礎知識 2. スクワットの実技と指導
第15回	担当教員	上岡 尚代 田辺 達磨 長谷川 龍成 筋力トレーニングの実際（体幹）（A班；上岡尚代、B班；田辺達磨、C班；長谷川龍成）
	内容	1. デッドリフトの基礎知識 2. デッドリフトの実技と指導
第16回	担当教員	上岡 尚代 田辺 達磨 長谷川 龍成 パワー向上トレーニングの実際（オリンピックリフティング）（A班；上岡尚代、B班；田辺達磨、C班；長谷川龍成）
	内容	1. クイックリフト 2. ハイプル・スナッチ・パワークリーン
第17回	担当教員	上岡 尚代 田辺 達磨 長谷川 龍成 パワー向上トレーニングの実際（その他のパワー向上トレーニング）（A班；上岡尚代、B班；田辺達磨、C班；長谷川龍成）
	内容	1. ジャンプ系エクササイズ 2. プライオメトリクス
第18回	担当教員	上岡 尚代 田辺 達磨 長谷川 龍成 有酸素性及び無酸素性持久力向上トレーニングの実際（A班；上岡尚代、B班；田辺達磨、C班；長谷川龍成）
	内容	1. 持久力向上トレーニングを安全に実施するガイドライン 2. 持久力を向上させる代表的トレーニングの手段と方法
		上岡 尚代

第19回	担当 教員	田辺 達磨 長谷川 龍成 スピード向上トレーニングの実際（A班；上岡尚代、B班；田辺達磨、C班；長谷川龍成）
	内容	1. スピードの概念 2. スピード向上トレーニングの基礎動作 3. スピード向上トレーニングのエクササイズ
第20回	担当 教員	上岡 尚代 田辺 達磨 長谷川 龍成 ウォームアップとクールダウン・柔軟性向上トレーニングの実際（A班；上岡尚代、B班；田辺達磨、C班；長谷川龍成）
	内容	1. スタティックストレッチング 2. パートナーストレッチング 3. ダイナミックストレッチング
第21回	担当 教員	上岡 尚代 田辺 達磨 長谷川 龍成 トレーニング効果の測定と評価の実際（A班；上岡尚代、B班；田辺達磨、C班；長谷川龍成）
	内容	1. トレーニング指導における測定と評価の意義と目的 2. 測定の一般的留意点 3. 測定と評価の実際
第22回	担当 教員	上岡 尚代 田辺 達磨 長谷川 龍成 運動指導のための情報収集と活用（A班；上岡尚代、B班；田辺達磨、C班；長谷川龍成）
	内容	測定データの活用とフィードバックの実際
第23回	担当 教員	上岡 尚代 田辺 達磨 長谷川 龍成 実技試験（A班；上岡尚代、B班；田辺達磨、C班；長谷川龍成）
	内容	クイックリフトを実施

評価方法

実技試験（授業内試験）（100%）を持って判定する。

教科書

テキスト

- ・トレーニング指導者テキスト理論編、大修館書店、2800円+税
- ・トレーニング指導者テキスト実践編、大修館書店、2800円+税
- ・JATI認定トレーニング指導者認定試験（一般・専門）模擬問題集 改訂版、大修館書店、2000円+税

参考文献

- ・トレーニング指導者テキスト実技編、大修館書店、2800円+税
- ・スポーツトレーニングの常識を疑え！、ベースボールマガジン社、1700円+税

参考書

テキスト

- ・トレーニング指導者テキスト理論編、大修館書店、2800円+税
- ・トレーニング指導者テキスト実践編、大修館書店、2800円+税
- ・JATI認定トレーニング指導者認定試験（一般・専門）模擬問題集 改訂版、大修館書店、2000円+税

参考文献

- ・トレーニング指導者テキスト実技編、大修館書店、2800円+税
- ・スポーツトレーニングの常識を疑え！、ベースボールマガジン社、1700円+税

オフィスアワー

火曜日5限目、金曜日5限目

実務経験の有無

有

その他

本講義・実技はすべて対面形式にて実施する。

実技の際はジャージ、室内シューズ等、運動が可能な服装に着替えて集合すること。

実施場所：第1回～11回は206号室、第12回～第23回はトレーニングルーム

担当教員実務経験の有無，有